

令和 6・7 年度厚生労働科学研究費補助金
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業
(総合) 研究報告書

要指導医薬品及び一般用医薬品の販売における薬剤師等の資質向上に関する研究

研究代表者 鈴木 匡 名古屋市立大学医薬学総合研究院 特任教授

研究要旨

要指導医薬品及び一般用医薬品（一般用医薬品等）の販売において、デジタル化が進む中、使用者の安全を前提に適切なセルフケア・セルフメディケーションの推進の観点から、薬剤師、登録販売者等の専門家の関与について調査研究を行った。

令和 6 年度には、薬局及び店舗販売業に対するアンケート調査を実施し、一般用医薬品等の販売実態把握を行った。アンケート調査回答店舗では、リスク区分に合わせた一般用医薬品の販売について薬剤師、登録販売者により概ね法令に従った対応がなされていた。濫用等のおそれのある医薬品についても、販売者側では、他の医薬品とは分けて注意を行い、販売を行っていることがわかった。さらに、リスクが高い医薬品に加え、リスクが低い医薬品であっても専門家が関わることで適正使用につながる事例も確認できた。

調査店舗ではおおむね適切に情報提供等なされている調査結果を受け、次に店舗で専門家から適宜提供される情報等を需要者がどのように理解し利用しているのかが重要であると考え、令和 7 年度には、需要者の情報のニーズや理解の状況等を把握するためにアンケート調査を実施した。その結果、店舗での専門家への相談は半数以上が利用していない実態がある一方で、飲み合わせなど専門家が積極的に関与すべきニーズも確認できた。また、外箱や添付文書も重要な情報として利用されていることも確認できた。さらに今後の専門家のあり方を検討する材料として薬局及び店舗販売業での好事例を収集するため、実地調査を実施した。研究結果を総合して、需要者の一般用医薬品等の適正使用を推進し、より安全で効果的なセルフメディケーションを進めていくために必要な店舗での対応等について考察し、専門家の関与のあり方について検討した。また、それを推進するための専門家の研修についても教材の例示を行った。

研究協力者

赤池 昭紀	京都大学薬学部 名誉教授
亀井 美和子	帝京平成大学薬学部 教授
高橋 寛	岩手医科大学薬学部 教授
益山 光一	東京薬科大学薬学部 教授
太田 美紀	独立行政法人医薬品医療機器総合機構 安全性情報・企画管理部 部長
小澤 裕	静岡県健康福祉部医療局疾病対策課 主査
堀 英生	名古屋市立大学大学院薬学研究科 講師

A. 研究目的

高齢化社会の進展、医療供給体制の限界等の社会的要因により要指導医薬品及び一般用医薬品（以下「一般用医薬品等」という。）の活用をはじめとするセルフケア・セルフメディケーションが推進されている。

一般用医薬品等は医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和

35 年法律第 145 号。以下「薬機法」という。）において、「薬剤師その他の医薬関係者から提供された情報に基づく需要者の選択により使用されることが目的とされているもの」とされており、薬剤師、登録販売者等の専門家（以下「専門家」又は「資格者」という。）による情報提供等が不可欠であり、専門家の対応ルールは表 1 のとおりである。

また、一般用医薬品等の販売等に係る許可数は表2、薬剤師数及び登録販売者数は表3のとおりである。

表1 薬機法における一般用医薬品等の区分と主な専門家の対応ルール

	要指導 医薬品	第1類 医薬品	第2類 医薬品	第3類 医薬品
専門家	薬剤師		薬剤師又は 登録販売者	
販売時 の関与	義務			
情報 提供	義務		努力 義務	規定なし
相談時 の対応	義務			

※第2類医薬品は指定第2類医薬品を含む
 ※濫用等のおそれのある医薬品は第1類又は第2類医薬品に含まれる

表2 一般用医薬品等の販売等に係る許可数（令和7年3月末）

区分	許可数
薬局	63,203
店舗販売業	29,535
配置販売業	4,362

（出典：厚生労働省「衛生行政報告例」）

表3 薬剤師数（令和6年12月末）及び登録販売者数（令和7年3月末）

区分	主な従事先	人数
薬剤師	薬局	197,437
	店舗販売業	5,090
	その他	126,518
登録販売者		301,401

（出典：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」（薬剤師数）、厚生労働省「衛生行政報告例」（登録販売者数））

「医薬品の販売制度に関する検討会とりまとめ」（令和6年1月12日医薬品の販売制度に関する検討会）及び「薬機法等制度改正に関するとりまとめ」（令和7年1月10日厚生科学審議会医薬品医療機器制度部会）においても専門家の関与のあり方について次のとおり記載されている。

○医薬品の販売制度に関する検討会とりまとめ

4. 一般用医薬品の販売区分及び販売方法について

（2）具体的な方策

② 医薬品の販売方法について

- ・現行法で求められている「薬剤師等による販売」について、より実効的な規制となるように店舗に求められる内容を以下のとおり明確化し、事例を含めた詳細に関してガイドラインや指針等において提示する。
 - ア. 購入する医薬品と購入者の状況を薬剤師等が確認できる動線・体制を確保すること（例えば、薬剤師等のレジへの配置、情報提供設備を経由する動線等。一般用医薬品専用のレジ等があればより望ましい）。
 - イ. 販売に当たり薬剤師等が需要者の状況と購入する医薬品を把握した上で、販売の可否を判断し、適切な医薬品選択の支援、情報提供等について必要に応じて的確に実施すること。
 - ・一般用医薬品の購入・使用に当たっては積極的に薬剤師等を活用し、適正使用のための情報を得た上で、個々人の症状や体質等に合った適切な医薬品を正しく使用することが望ましいことについて販売業者、製造販売業者、行政が連携して啓発を行うとともに、店舗等においても、医薬品について需要者が薬剤師等に相談しやすい体制を整える。体制整備の方法としては、以下のような方法が考えられる。
 - ア. 情報提供設備や相談方法等を分かりやすく掲示・案内する。
 - イ. プライバシーが確保できる相談設備を設ける（推奨事項）。
 - ウ. インターネット販売の場合、販売時の画面に相談を促す内容及び薬剤師等の連絡先を表示する。
 - エ. インターネット販売の場合、購入決定の前に、相談が必要か確認する画面に遷移するようにする。
 - ・販売の際に確認すべき情報、追加的な状況確認の方法や要否の判断、提供が必要な情報の選択、情報提供の方法など、販売に関わる薬剤師等に対する研修を強化する。
 - ・情報提供については、販売に当たり薬剤師等が関与する際に得た情報等に基づき、必要に応じて情報提供を行う趣旨のものである旨

(全ての購入者への声掛けや、全ての購入者に対する同じ情報の機械的な提供を求めるものではないなど)を明確化する。

○薬機法等制度改正に関するとりまとめ

第5 薬局機能・薬剤師業務のあり方の見直し及び医薬品の適正使用の推進について

2. 具体的な方向性

(5) 医薬品の販売区分及び販売方法の見直し

④ 一般用医薬品の分類と販売方法

○ 一般用医薬品に関する第1類から第3類までの販売区分については、現行の区分が定着していること(購入者へのおよそのリスクの程度の分かりやすさ、説明のしやすさ)やリスクに応じた専門家の関与の度合いを考慮し、リスク分類に基づく現行の区分は維持することとする。

○ その上で、販売における専門家の関与のあり方については、販売区分に応じた留意事項も含めて、指針等により明確化すべきである。なお、販売区分の見直しについては、今般の制度見直しによる専門家の関与のあり方の明確化の効果を検証した上で、引き続き検討すべきである。

そこで、本研究では、国民の医薬品の安全かつ適正な使用を確保するとともに、医薬品への利便性を向上させるため、一般用医薬品等の販売の状況を調査・分析するとともに、専門家の関与のあり方等を提案することを目的とする。

B. 研究方法

1. 一般用医薬品等の取扱い状況に関するアンケート調査

(1) 対象

薬局及び店舗販売業

(2) 実施方法

Web 調査

関係団体(公益社団法人日本薬剤師会、一般社団法人日本保険薬局協会、一般社団法人日本チェーンドラッグストア協会、公益社団法人全日本医薬品登録販売者協会)を通じて協力を依頼した。

(3) 実施期間

令和6年12月25日～令和7年1月31日

(4) アンケート項目

(別添A)のとおりに

2. 要指導医薬品及び一般用医薬品の店舗販売に関するアンケート調査

一般消費者の一般用医薬品等の購入における、一般消費者の認識やニーズ等を把握するためアンケート調査を実施した。

(1) 対象

一般消費者

(2) 実施方法

Web 調査(楽天インサイト)

(3) 実施期間

令和7年12月

(4) アンケート項目

(別添B)のとおりに

3. 一般用医薬品等の販売に係る実地調査

一般用医薬品等の販売における好事例を把握するため、公益社団法人日本薬剤師会、一般社団法人日本保険薬局協会、一般社団法人日本チェーンドラッグストア協会及び公益社団法人全日本医薬品登録販売者協会、一般社団法人日本医薬品登録販売者会から推薦のあった店舗の現地に赴き視察・聞き取り調査を実施した。

(1) 調査期間

令和7年11月～12月

(2) 調査対象店舗

10店舗(表4)

表4 調査対象店舗

都道府県	店舗数	都道府県	店舗数
千葉県	1	静岡県	1
東京都	2	愛知県	1
神奈川県	2	兵庫県	1
富山県	1	福岡県	1

4. 一般用医薬品等の販売に関する教材の作成

消費者アンケートや実地調査等から一般用医薬品等の販売について、薬剤師、登録販売者が個々の相談者に合わせた的確な販売・服薬指導を行うための継続的なレベルアップが必要であると考察し、そのための研修の一例として、以下のアクティブラーニング教材を作成した。

<教材の概要>

- ・店頭での日ごろの販売、相談事例を「振り返り」複数スタッフで「体験を共有」することから事例検討を行い、さらに適切な対応を考察する学習
- ・事例検討を行った後、さらに良いと考えられ対応をシナリオにし「ロールプレイによるシ

ミュレーション」の検討を実施する学習

(倫理面への配慮)

消費者へのアンケート調査については名古屋市立大学医学研究科倫理審査委員会の承認を得て実施した。アンケート調査、実地調査結果については、個別の個人名及び施設名、企業名等が特定できないよう配慮した。

C. 研究結果

1. 一般用医薬品等の取扱い状況に関するアンケート調査

薬局及び店舗販売業 6,960 施設 (表 5) から回答が得られた (詳細な結果については別添 C-1、C-2 のとおり)。

表 5 回答者の従事先の形態

区分	薬局単独	店舗販売業 単独	薬局と 店舗販売業 併設	全体
回答数	2,851	1,566	2,543	6,960
割合 (%)	41.0	22.5	36.5	100.0

(1) 一般用医薬品等の取扱状況

要指導医薬品の取扱いのある店舗は 60.5%、第 1 類医薬品の取扱いがある店舗は 72.6%であった。一方、第 2 類、第 3 類医薬品を取り扱う店舗は 93.9%であり、ほとんど店舗で取り扱われていた。(表 6)

なお、要指導医薬品を取り扱わない理由としては、「薬剤師がいないため」「需要が見込めないため」、「近くに他の店舗 (薬局) があるため」などの理由が挙げられた。

表 6 リスク区分ごとの医薬品の取扱状況

区分	取扱有	取扱無
要指導	4,210 (60.5%)	2,750 (39.5%)
第 1 類	5,051 (72.6%)	1,909 (27.4%)
濫用品目	5,262 (75.6%)	1,698 (24.4%)
指定第 2 類	6,074 (87.3%)	886 (12.7%)
第 2 類	6,536 (93.9%)	424 (6.1%)
第 3 類	6,536 (93.9%)	424 (6.1%)

(2) 業務手順書の記載

一般用医薬品に係る業務手順書の記載内容についておおむね 9 割程度の店舗でいずれの項目も記載があったが、「医薬品の採用」が 84.0%、「業務手順書の見直し」が 80.5%とやや低い傾向が見られた。(表 7)

(3) 管理者の業務

管理者として行う業務は、医薬品の管理が

94.2%で最も多く、次いで従業員の管理が 80.1%であった。(表 8)

また、管理者としての業務に要する時間は、1～2 時間未満が 44.9%と最も多く、次いで 4 時間以上が 27.9%で多かったが、店舗形態や店舗規模によって異なる結果であった。(表 9)

(4) 資格者の対応状況

要指導医薬品及び第 1 類医薬品の販売においては、薬剤師がカウンター越しに対応するが最も多く、次いで、薬剤師がプライバシーに配慮したスペースで対応する (カウンター又は個室) が多かった。一部、レジで会計時に対応する店舗もあった。(図 1)

濫用等のおそれのある医薬品では、「購入者が直接手に取れないような陳列方法により、現物を手にする際に必ず資格者が対応」が 28.7%である一方、「一般従事者のレジ対応者が当該医薬品の購入者があった時に資格者を呼ぶ」が 44.5%で多かった。指定第 2 類医薬品、第 2 類医薬品及び第 3 類医薬品では、リスク区分が低くなるにつれ、資格者が積極的に関わる割合が減少し、「資格者が売り場全体が見渡せる状況にしており、気づきの点があれば声掛けする」の割合が増加した。(図 2)

(5) 販売時の会計方法

要指導医薬品及び第 1 類医薬品は、70%以上の店舗で「有人レジ (薬剤師がレジ打ち)」であった。(図 3) 濫用等のおそれのある医薬品でも、「有人レジ (資格者がレジ打ち)」が最も多く 57.5%であった一方、指定第 2 類医薬品、第 2 類医薬品及び第 3 類医薬品では、「(有人レジ (資格者又は一般従事者がレジ打ち)) が 60%以上であった。また、一部の店舗ではセルフレジが導入されていた。(図 4)

(6) 医薬品の陳列方法

一部の店舗では、購入者の手の届くところに陳列せず「カウンター内側のみ陳列」、「見本や空箱等を置き、購入者がとれないよう陳列」の回答があり、濫用等のおそれのある医薬品、指定第 2 類医薬品、第 2 類医薬品、第 3 類医薬品の順にこうした対策を取る店舗の割合が高かった。(図 5)

(7) 医薬品の販売を断った事例の有無

医薬品の販売を断った事例があると回答した割合は、濫用等のおそれのある医薬品が 51.3%で最も多く、次いで要指導医薬品が 31.9%、第 1 類医薬品が 27.0%であった。(図 6)

(8) 医薬品を購入しようとした者に対する受診勧奨の有無

医薬品の販売を断った事例の有無と同様の傾向が見られた。(図7)

表7 業務手順書に記載されている事項(複数回答可)

	医薬品の採用	医薬品の購入	陳列及び保管管理	情報提供する場所	情報の提供	販売時の対応	販売後の対応	医薬品情報等の収集と活用	従事者に対する教育・研修	手順書の見直しについて	全体
回答数	5,844	6,332	6,726	6,428	6,701	6,663	6,253	6,278	6,177	5,604	6,960
割合(%)	84.0	91.0	96.6	92.4	96.3	95.7	89.8	90.2	88.8	80.5	100.0

表8 管理者として要指導医薬品及び一般用医薬品の販売に関して実施している業務

	医薬品の管理(医薬品の発注、納品・検収、在庫管理、出庫・陳列、帳簿作成など)	従業員の管理(業務管理、研修など)	デジタルツールの導入・運用	その他	全体
回答数	5,974	5,077	1,214	61	6,342
割合(%)	94.2	80.1	19.1	1.0	100.0

表9 管理者としての業務に要する時間(1日当たり)

		1時間未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3～4時間未満	4時間以上	全体
薬局単独	回答数	319	1,740	174	44	312	2,589
	割合(%)	12.3	67.2	6.7	1.7	12.1	100.0
店舗販売業単独	回答数	8	137	92	471	696	1,404
	割合(%)	0.6	9.8	6.6	33.5	49.6	100.0
薬局と店舗販売業併設	回答数	67	964	315	244	751	2,341
	割合(%)	2.9	41.2	13.5	10.4	32.1	100.0
全体	回答数	394	2,841	581	759	1759	6,334
	割合(%)	6.2	44.9	9.2	12.0	27.8	100.0

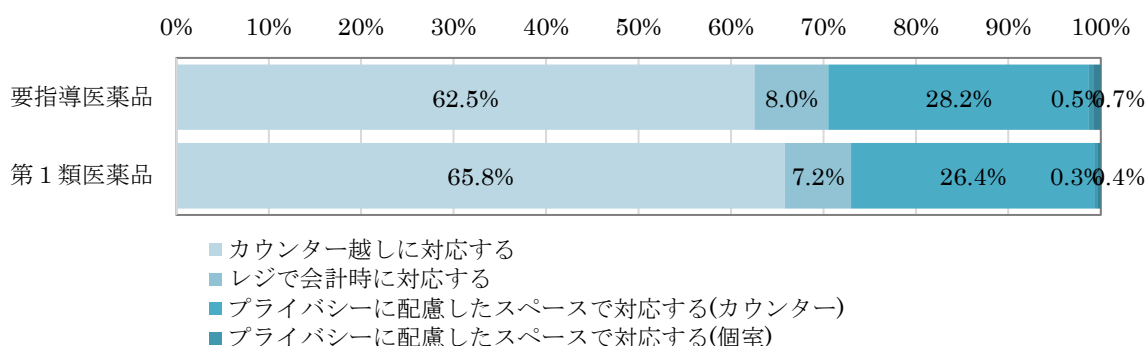


図1 販売時の薬剤師の対応方法

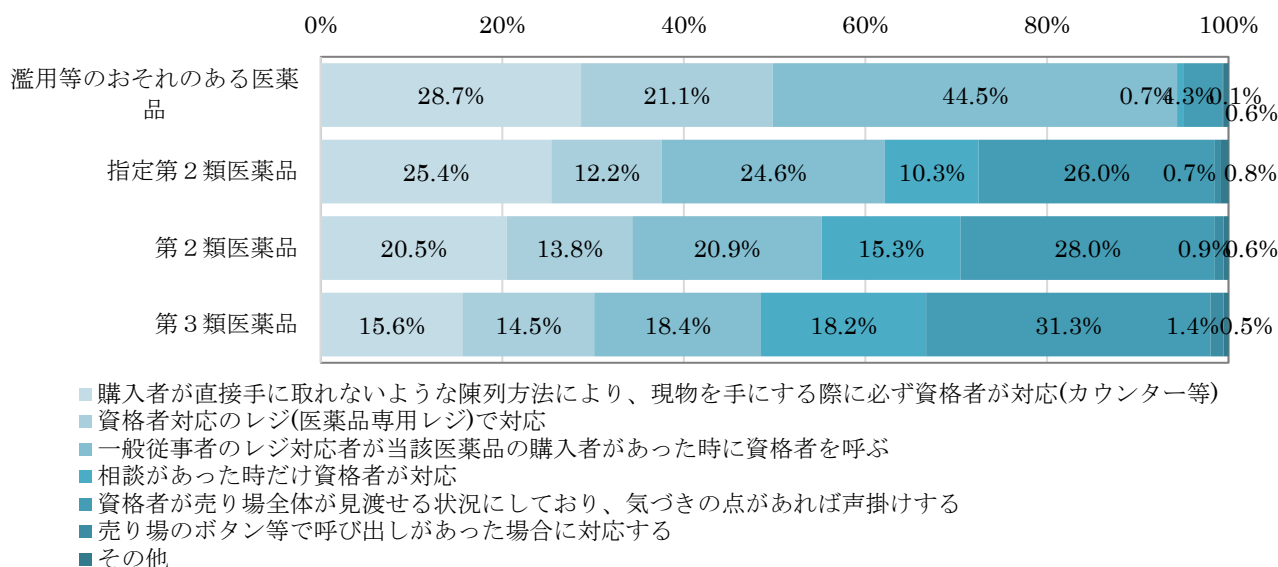


図2 販売時の資格者の対応方法

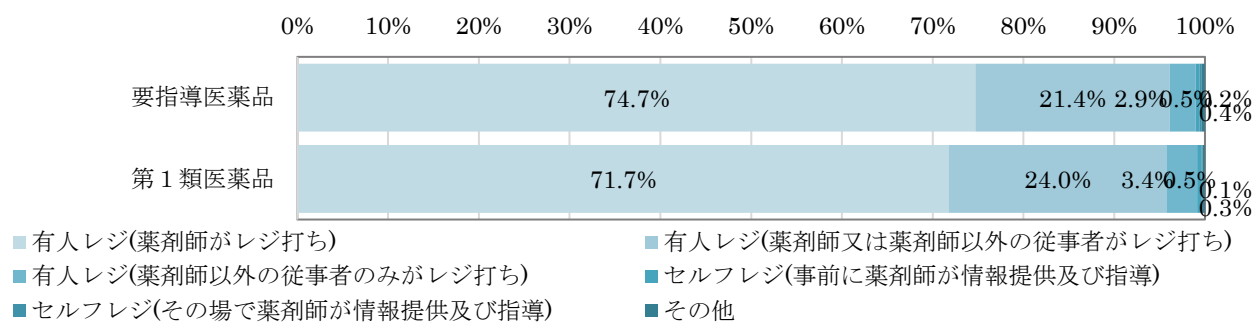


図3 販売時の会計方法（要指導医薬品、第1類医薬品）

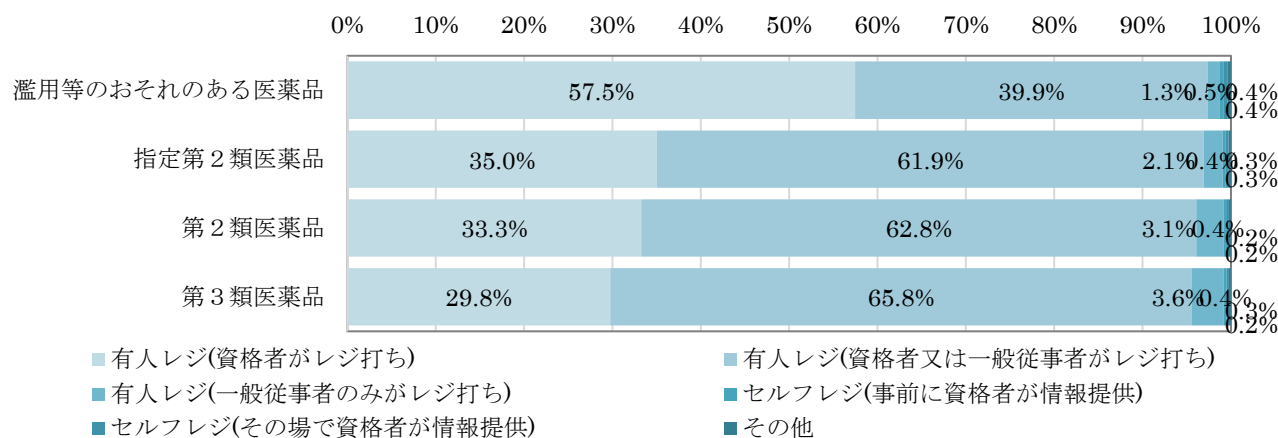


図4 販売時の会計方法（濫用等のおそれのある医薬品、指定第2類、第2類、第3類医薬品）

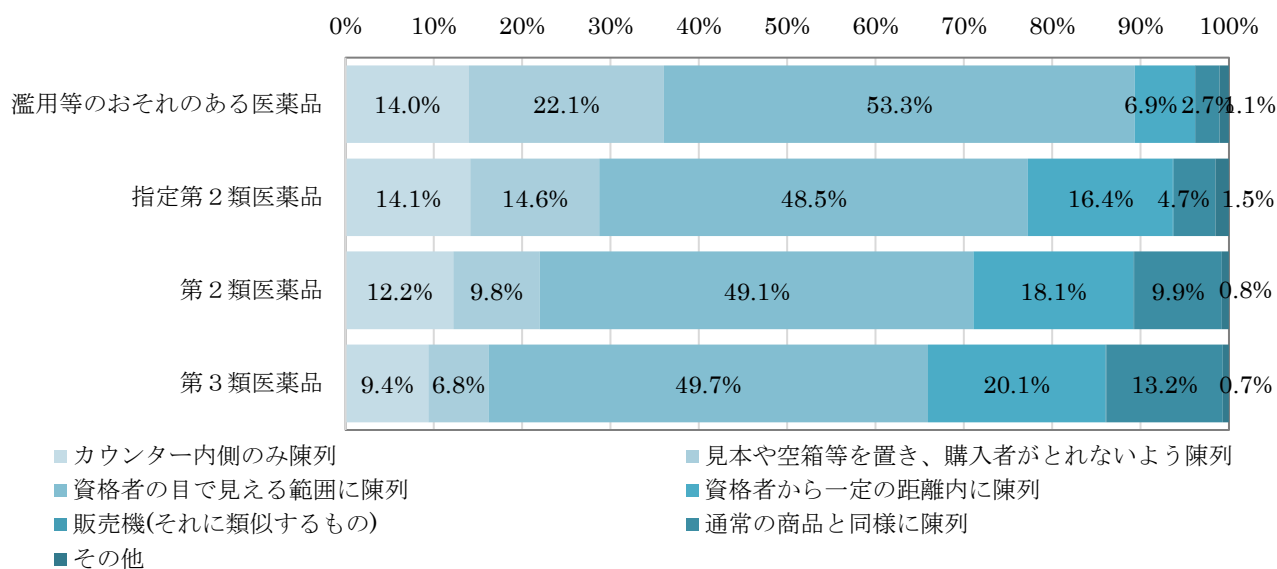


図5 医薬品の陳列方法

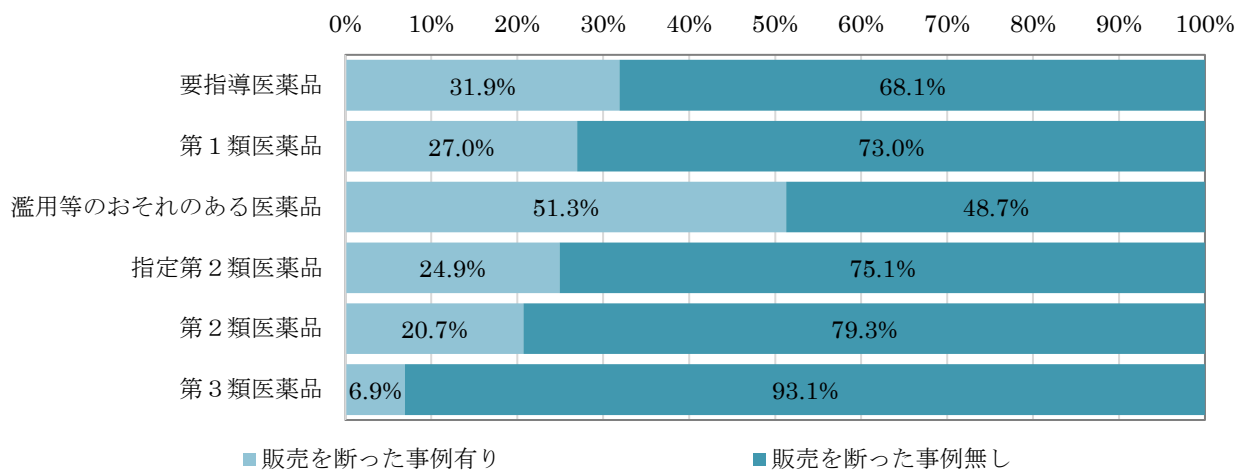


図6 医薬品の販売を断った事例の有無

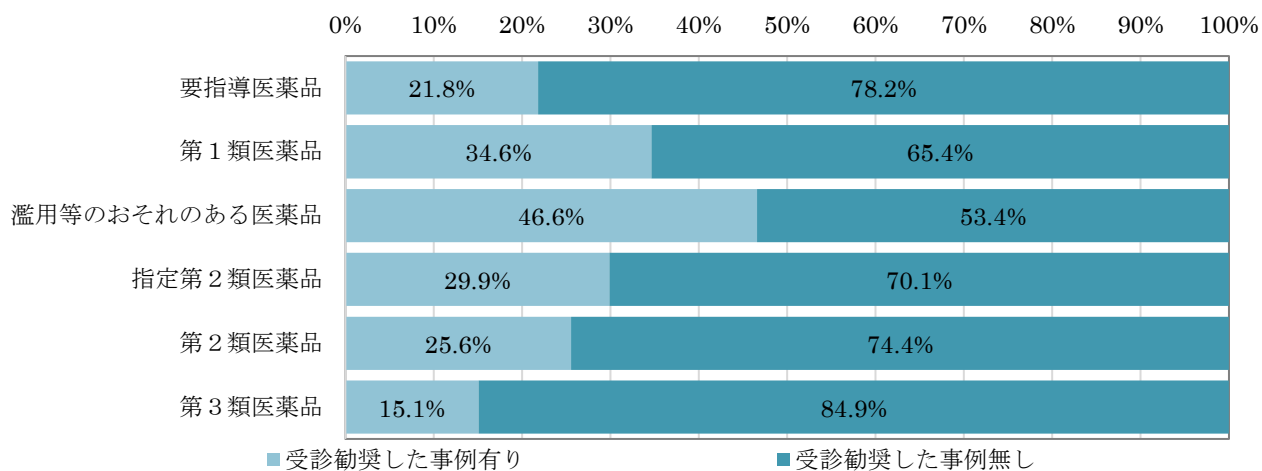


図7 医薬品を購入しようとした者に対する受診勧奨の有無

(9) 副作用報告の状況

過去1年以内の独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）への副作用報告の有無では、有が388店舗（5.6%）であった。回答者別では、薬剤師が回答者に含まれる店舗が339店舗（87.3%）であったが、登録販売者の49店舗（12.7%）でも有との回答があった。（表10）

表10 過去1年以内のPMDAへの医薬品副作用報告の有無

	有	無
回答者1人（①薬剤師）	295 7.4	3710 92.6
回答者1人（②登録販売者）	43 2.1	1993 97.9
回答者2人（①薬剤師・①薬剤師）	1 4.2	23 95.8
回答者2人（①薬剤師・②登録販売者（順不同））	43 5.3	765 94.7
回答者2人（②登録販売者・②登録販売者）	6 6.9	81 93.1
全体	388 5.6	6572 94.4

(10) インターネット販売

一般用医薬品の販売を行っている店舗数は、133（1.9%）であった。（表11）

表11 インターネット販売の実施の有無

	有り	無し	全体
薬局単独	18 0.6	2833 99.4	2851 100.0
店舗販売業単独	43 2.7	1523 97.3	1566 100.0
薬局と店舗販売業併設	72 2.8	2471 97.2	2543 100.0
全体	133 1.9	6827 98.1	6960 100.0

上段：回答数、下段：割合（%）

販売を行っている店舗の1日当たりの販売回数は、相談ありの場合、情報提供のみの場合ともに0回が最も多く、次いで1～5回が多かった。（表12）

表12 1日当たりの一般用医薬品の販売回数

	0回	1～5回	6～10回	11～20回	21～30回	31回～
相談あり	102 76.7	28 21.1	0 0.0	0 0.0	1 0.8	2 1.5
情報提供	87 65.4	40 30.1	3 2.3	0 0.0	0 0.0	3 2.3

上段：回答数、下段：割合（%）

販売にかかる時間は、相談ありの場合2～3分程度が25.8%と最も多く、次いで1分程度、6分以上、4～5分という順になった。一方、情報提供のみの場合、1分程度が37.0%と最も多く、次いで1分未満が28.3%と多い結果であった。（表13）

表13 一般用医薬品の販売にかかる時間

	1分未満	1分程度	2～3分程度	4～5分程度	6分～
相談あり	6 19.4	7 22.6	8 25.8	4 12.9	6 19.4
情報提供	13 28.3	17 37.0	10 21.7	3 6.5	3 6.5

上段：回答数、下段：割合（%）

(11) 濫用等のおそれのある医薬品

ア 取扱いの状況

取扱いがある店舗は、75.6%であった（再掲）。（図8）

形態別に見ると、店舗販売業単独では98.5%で多く、薬局単独では51.6%であった。（表14）

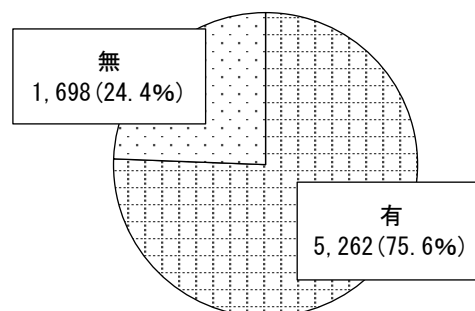


図8 取扱いの有無

表 14 店舗形態別の取扱の有無

	有	無
薬局単独	1470	1381
	51.6	48.4
店舗販売業単独	1543	23
	98.5	1.5
薬局と店舗販売業併設	2249	294
	88.4	11.6
全体	5262	1698
	75.6	24.4

上段：回答数、下段：割合（％）

イ 取扱品目数

100～500 品目が 53.5%と最も多く、次いで 40 品目未満が 39.0%であった。（図 9）

形態別では、薬局単独では取扱品目が少なく、店舗販売業単独や薬局と店舗販売業併設で多かった。（表 15）

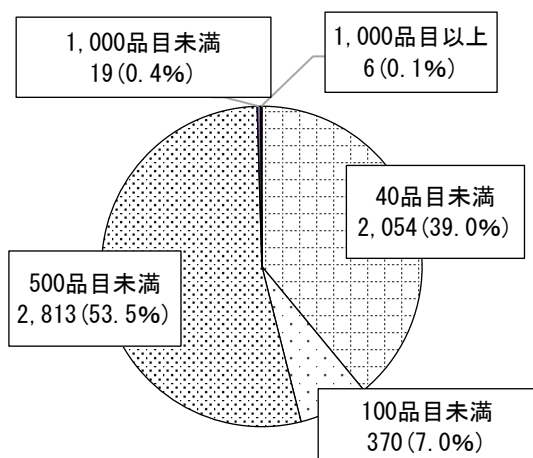


図 9 取扱品目数

表 15 店舗形態別の取扱品目数

	全体	40 品 目 未 満	100 品 目 未 満	500 品 目 未 満	1000 品 目 未 満	1000 品 目 以上
薬局単独	1470	1391	30	49	0	0
	100.0	94.6	2.0	3.3	0.0	0.0
店舗販売業 単独	1543	50	86	1405	2	0
	100.0	3.2	5.6	91.1	0.1	0.0
薬局と店舗 販売業併設	2249	613	254	1359	17	6
	100.0	27.3	11.3	60.4	0.8	0.3
全体	5262	2054	370	2813	19	6
	100.0	39.0	7.0	53.5	0.4	0.1

ウ 陳列状況

全体では、「資格者の目で見える範囲に陳列」が 53.3%と最も多く、次いで「見本や空箱等を置き、購入者がとれないよう陳列」が 22.1%であった。

一方、形態別で見ると、薬局と店舗販売業の併設では全体と同様の傾向であったが、薬局単独では、「見本や空箱等を置き、購入者がとれないよう陳列」が 35.6%で最も多く、次いで「カウンター内側のみ陳列」が 32.0%であった。店舗販売業単独では、「資格者の目で見える範囲に陳列」が 82.7%と圧倒的に多かった。（表 16）

エ 資格者の対応

全体では、「一般従事者のレジ対応者が濫用等のおそれのある医薬品の購入者があった時に資格者を呼ぶ」が 44.5%で最も多く、次いで「購入者が直接手に取れないような陳列方法により、現物を手にする際に必ず資格者が対応（カウンター等）」が 23.4%であった。

形態別に見ると、薬局単独では「購入者が直接手に取れないような陳列方法により、現物を手にする際に必ず資格者が対応（カウンター等）」が 63.6%と最も多く、店舗販売業単独では「資格者対応のレジ（医薬品専用レジ）で対応」が 44.7%と最も多かった。（表 17）

オ 説明事項

濫用等のおそれのある医薬品の情報提供や相談への対応時に購入者に特に注意をして説明している事項としては、「濫用等のおそれのある医薬品への該当」、「用法及び用量」、「使用上の注意（してはいけないこと、相談すること等）」の順に多かった。（表 18）

表 16 陳列状況

区分		カウンター内側の み陳列	見本や空 箱等を置 き、購入 者がとれ ないよう 陳列	資格者の 目で見え る範囲に 陳列	資格者か ら一定の 距離内に 陳列	販売機 (それに 類似する もの)	通常の商 品と同様 に陳列	その他	全体
薬局単独	回答数	471	523	309	87	0	43	37	1470
	割合(%)	32.0	35.6	21.0	5.9	0.0	2.9	2.5	100.0
店舗販売業単独	回答数	23	61	1276	147	0	31	5	1543
	割合(%)	1.5	4.0	82.7	9.5	0.0	2.0	0.3	100.0
薬局と店舗販売 業併設	回答数	241	577	1219	127	1	70	14	2249
	割合(%)	10.7	25.7	54.2	5.6	0.0	3.1	0.6	100.0
全体	回答数	735	1161	2804	361	1	144	56	5,262
	割合(%)	14.0	22.1	53.3	6.9	0.0	2.7	1.1	100.0

表 17 資格者の対応

区分		購入者が 直接手に 取れない ような陳 列方法に より、現 物を手に する際に 必ず資格 者が対応 (カウンタ ー等)	資格者対 応のレジ (医薬品専 用レジ)で 対応	一般従事 者のレジ 対応者が 濫用等 おそれの ある医薬 品の購入 者があつ た時に資 格者を呼 ぶ	相談があ った時だ け資格者 が対応	資格者が 売り場全 体が見渡 せる状況 にしてお り、気づ きの点が あれば声 掛けする	売り場の ボタン等 で呼び出 された場 合に対応 する	その他	全体
薬局単独	回答数	935	203	174	25	109	0	24	1470
	割合(%)	63.6	13.8	11.8	1.7	7.4	0.0	1.6	100.0
店舗販売業単 独	回答数	46	689	743	1	61	2	1	1543
	割合(%)	3.0	44.7	48.2	0.1	4.0	0.1	0.1	100.0
薬局と店舗販 売業併設	回答数	527	220	1426	10	57	3	6	2249
	割合(%)	23.4	9.8	63.4	0.4	2.5	0.1	0.3	100.0
全体	回答数	1508	1112	2343	36	227	5	31	5262
	割合(%)	28.7	21.1	44.5	0.7	4.3	0.1	0.6	100.0

表 18 濫用等のおそれのある医薬品の情報提供や相談への対応時に購入者に特に注意をして説明している事項

No.	選択肢	総合※		1 位		2 位		3 位	
		回答数	回答数	回答数	%	回答数	%	回答数	%
1	濫用等のおそれのある医薬品への該当	7829	24.8	2170	41.2	387	7.4	545	10.4
2	用法及び用量	7236	22.9	861	16.4	1969	37.4	715	13.6
3	使用上の注意(してはいけないこと、相談すること等)	5909	18.7	1006	19.1	823	15.6	1245	23.7
4	飲み合わせ	3306	10.5	273	5.2	696	13.2	1095	20.8
5	効能又は効果	1939	6.1	272	5.2	412	7.8	299	5.7
6	副作用	1925	6.1	126	2.4	419	8.0	709	13.5
7	製品の特徴	1589	5.0	254	4.8	262	5.0	303	5.8
8	リスク区分	888	2.8	209	4.0	90	1.7	81	1.5
9	成分及び分量	660	2.1	57	1.1	162	3.1	165	3.1
10	保管及び取扱い上の注意	138	0.4	6	0.1	21	0.4	78	1.5
11	その他	153	0.5	28	0.5	21	0.4	27	0.5
全体		31572	100.0	5262	100.0	5262	100.0	5262	100.0

※上位3つを選択する設問であり、「総合」は、1位を3点、2位を2点、3位を1点で重み付けした総合得点の集計である。

カ 複数購入時の対策

2個以上購入しようとする際の対応策やシステムは、全体で有りが82.1%であったが、形態別に見ると、薬局が61.4%、店舗販売業単独が98.0%であり、差が見えられた。(表19)

具体的な対策例としては、

- ・資格者が口頭で確認
 - ・レジで警告が表示される等のシステムによるチェック
 - ・店頭や商品棚での警告掲示
 - ・空箱陳列で一個のみ販売
- インターネット販売では、
- ・注意喚起が表示される
 - ・システムで購入制限がかかる
- などが挙げられた。

また、複数購入の疑いがある購入者を把握するための工夫の有無は、全体で有りが65.3%であったが、形態別に見ると薬局が37.5%、店舗販売業が91.1%であり、差が見られた。(表20)

具体的な対策例としては、

- ・販売記録(販売管理シート)や服用歴の管理によるチェック
- ・レジ販売記録の利用
- ・スタッフ間での頻回購入者に係る情報の伝達

共有

- ・店頭掲示や声かけ等による啓蒙
 - ・インターネット販売では、
 - ・購入履歴の確認
 - ・注文者情報の共有
- などが挙げられた。

表 19 2個以上の購入を希望される場合、資格者の確認を介さないと購入できない対応策やシステムの有無

		有り	無し	全体
薬局単独	回答数	903	567	1470
	割合(%)	61.4	38.6	100.0
店舗販売業単独	回答数	1512	31	1543
	割合(%)	98.0	2.0	100.0
薬局と店舗販売業併設	回答数	1904	345	2249
	割合(%)	84.7	15.3	100.0
全体	回答数	4319	943	5262
	割合(%)	82.1	17.9	100.0

表 20 頻回購入の疑いがある購入者の把握をする上での工夫の有無

		有り	無し	全体
薬局単独	回答数	551	919	1470
	割合(%)	37.5	62.5	100.0
店舗販売業単独	回答数	1405	138	1543
	割合(%)	91.1	8.9	100.0
薬局と店舗販売業併設	回答数	1478	771	2249
	割合(%)	65.7	34.3	100.0
全体	回答数	3434	1828	5262
	割合(%)	65.3	34.7	100.0

(12) 資格者の対応の好事例

アンケート調査で回答があった資格者が対応を行った以下の事例について、主なものを取りまとめた。(別添Bには各事例の自由記載項目の中から代表的な事例を抜粋して提示した。)

(12-1) 従事している店舗で、直近1か月において、医薬品の販売前に利用者から収集した情報に応じて、現在のOTCの使用を中止させた、医療機関への受診を勧めた又は生活指導を行った事例(Q8.1)

報告事例 81件

(12-2) 従事している店舗で、薬剤師又は登録販売者が関与した好事例(利用者の治療などの利益につながった事例)(Q10)

報告事例 114件

(12-3) 従事している店舗で、過去1年以内にPMDA医薬品副作用報告を行った事例【一般用医薬品関連】(Q11)

報告事例 114件

(12-4) 過去1年以内で要指導医薬品を購入しようとした者に対して販売を断った事例(代わりに他の医薬品の購入に切り替えてもらった等の対応も含む)(Q16.1)

報告事例 789件

(12-5) 過去1年以内で要指導医薬品を購入しようとした者に対して受診勧奨した事例(Q17.1)

報告事例 694件

(12-6) 過去1年以内で第1類医薬品を購入しようとした者に対して販売を断った事例(代わりに他の医薬品の購入に切り替えてもらった等の対応も含む)(Q22.1)

報告事例 1138件

(12-7) 過去1年以内で第1類医薬品を購入しようとした者に対して受診勧奨した事例(Q23.1)

報告事例 1415件

(12-8) 過去1年以内で濫用等のおそれのある医薬品を購入しようとした者に対して販売を断った事例(Q33.1)

報告事例 2402件

(12-9) 過去1年以内で濫用等のおそれのある医薬品を購入しようとした者に対して受診勧奨した事例(Q34.1)

報告事例 2024件

(12-10) 過去1年以内で指定第2類医薬品(濫用等のおそれのある医薬品を除く)を購入しようとした者に対して販売を断った事例(Q39.1)

報告事例 1305件

(12-11) 過去1年以内で指定第2類医薬品を購入しようとした者に対して受診勧奨した事例(Q40.1)

報告事例 1476件

(12-12) 過去1年以内で第2類医薬品(濫用等のおそれのある医薬品を除く)を購入しようとした者に対して販売を断った事例(Q45.1)

報告事例 1126件

(12-13) 過去1年以内で第2類医薬品(濫用等のおそれのある医薬品を除く)を購入しようとした者に対して受診勧奨した事例(Q46.1)

報告事例 1330件

(12-14) 過去1年以内で第3類医薬品を購入しようとした者に対して販売を断った事例(Q51.1)

報告事例 280件

(12-15) 過去1年以内に第3類医薬品を購入しようとした者に対して受診勧奨した事例 (Q52.1)

報告事例 749 研

(12-16) 過去1年以内にインターネット販売で一般用医薬品を購入しようとした者に対して販売を断った事例（代わりに他の医薬品の購入に切り替えてもらった等の対応も含む） (Q58.1)

報告事例 16 件

(12-17) 過去1年以内にインターネット販売で一般用医薬品を購入しようとした者に対して受診勧奨した事例 (Q59.1) 報告事例 3 件

2. 要指導医薬品及び一般用医薬品の店舗販売に関する一般消費者アンケート調査

一般消費者 1,000 人（表 21）から回答が得られた（詳細な結果については別添Dのとおり）。

表 21 回答者の属性

区分		人数
性別	男性	731
	女性	269
年代	10 代	0
	20 代	21
	30 代	62
	40 代	166
	50 代	265
	60 代	310
	70 歳以上	176

(1) 薬に関する相談経験

薬局やドラッグストア等で薬について相談したことがある人は42.4%であった（図10）。また、相談する店舗を決めている人は24.1%であった（図11）。

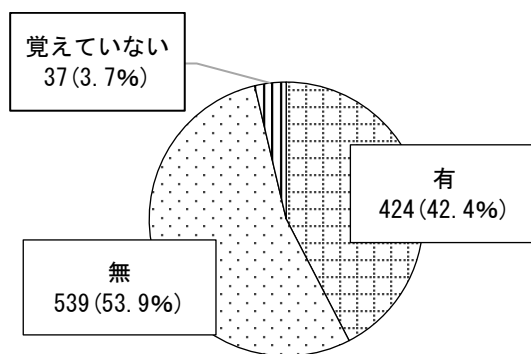


図 10 店舗での薬に関する相談の経験

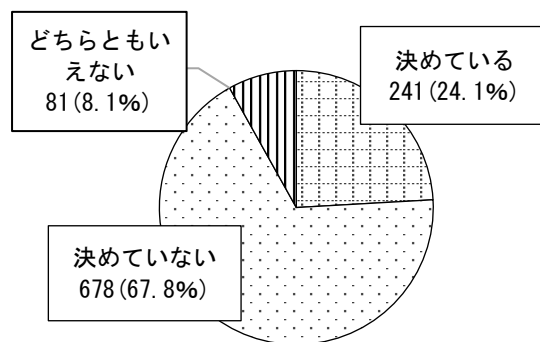


図 11 相談する時の店舗

店舗を決めている理由としては、「家から近いから」が最も多く、次いで「相談しやすい雰囲気だから」、「いつも相談するかかりつけの専門家（薬剤師、登録販売者）がいるから」の順であった（表22）。

表 22 相談する店舗を決めている理由

理由	回答数	割合 (%)
いつも相談するかかりつけの専門家（薬剤師、登録販売者）がいるから	47	19.5
相談しやすい雰囲気だから	76	31.5
家から近いから	154	63.9
交通の便が良いから	28	11.6
その他	6	2.5

(2) 一般用医薬品等を購入時の専門家への相談状況

一般用医薬品等を購入する際に専門家を選び方や使用方法等について相談する人の割合は、「毎回する」「時々する」が39.0%で、「ほとんどない」「全くない」が61.0%であった（図12）。

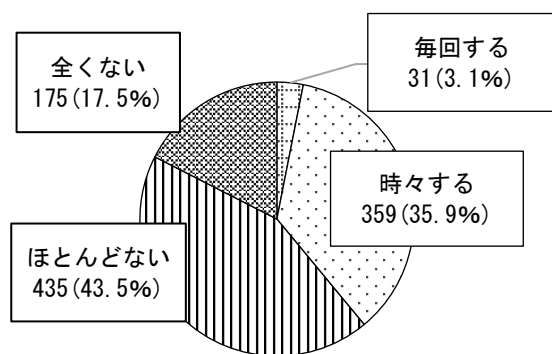


図 12 専門家への相談頻度

また、実際に相談した内容では、「症状に合っているか」が最も多く、次いで「使用方法や使用量」、「併用している薬との飲み合わせ」の順であった（表 23）。

表 23 一般用医薬品等の購入時の専門家への相談内容

理由	回答数	割合 (%)
症状に合っているか	318	81.5
使用方法や使用量	130	33.3
副作用について	76	19.5
(説明文書に書かれた)してはいけないこと、注意すること等に該当しているか	30	7.7
併用している薬との飲み合わせ	91	23.3
その他	3	0.8

一方、専門家へ相談しない理由は、「よく利用する市販薬だから」が最も多く、次いで「外箱等を確認して自分で判断できるから」、「相談する必要があるかわからないから」の順であった（表 24）。

表 24 一般用医薬品等の購入時の専門家へ相談しない理由

理由	回答数	割合 (%)
よく利用する市販薬だから	352	57.7
外箱等を確認して自分で判断できるから	253	41.5
忙しい・相談する時間がないから	29	4.8
店が相談できる雰囲気でないから	36	5.9
何を質問・相談したら良いかわからないから	55	9.0
相談できることを知らなかったから	36	5.9
相談する必要があるかわからないから	104	17.0
その他	18	3.0

(3) 一般用医薬品等の購入時の専門家からのアドバイスの状況

専門家からのアドバイスで医師の診察を受けた経験については、「ある」が 13.5%、「ない（アドバイスは受けた）」が 37.1%であり、「専門家からのアドバイスを受けたことがない」が 43.6%であった（図 13）。

また、専門家からのアドバイスを受けて購入する市販薬を変更したり、市販薬の購入を中止したりしたことは、「ある」が 21.5%、「ない（アドバイスは受けた）」が 31.8%であり、「専門家からのアドバイスを受けたことがない」が 40.1%と、専門家からのアドバイスを受けたことがない人が 4 割以上であった（図 14）。

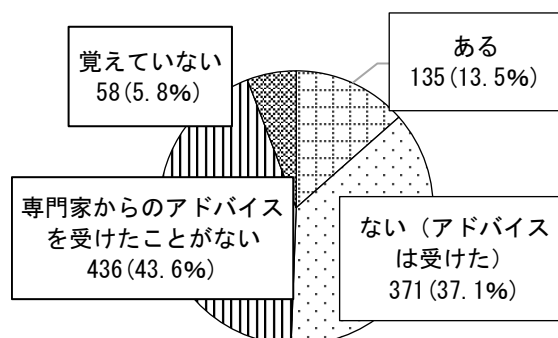


図 13 専門家からのアドバイスで医師の診察を受けた経験

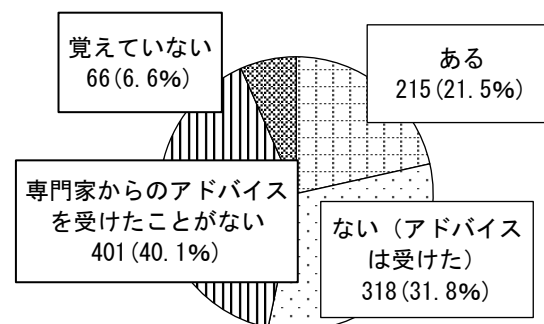


図 14 専門家からのアドバイスで購入する医薬品を変更・中止した経験

(4) 一般用医薬品等の購入時の専門家への確認状況

服用・使用している薬（市販薬、医療用）を専門家に伝えて飲み合わせなどを確認してもらっているかについては、「必ず伝えて確認してもらっている」が 12.7%、「時々伝えて確認してもらっている」が 26.0%である一方で、「ほとんど伝えず確認してもらっていない」が 36.1%、

「全く伝えていない」が25.2%であり、合わせて61.3%が確認していなかった（図15）。特に年齢が上がるにつれて、確認していない割合が高くなっていた（表25）。

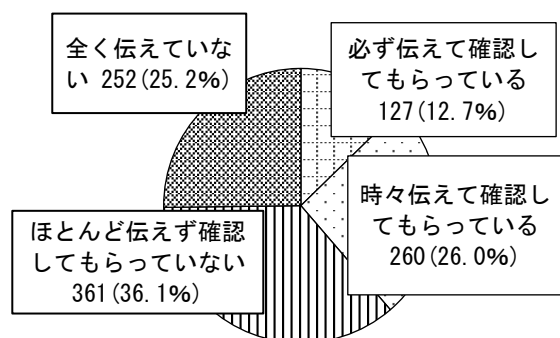


図15 薬の飲み合わせの確認状況

表25 年齢別の薬の飲み合わせの確認状況

	必ず伝えて確認してもらっている	時々伝えて確認してもらっている	ほとんど伝えず確認してもらっていない	全く伝えていない
20代	6 (28.6%)	5 (23.8%)	3 (14.3%)	7 (33.3%)
30代	10 (16.1%)	22 (35.5%)	11 (17.7%)	19 (30.6%)
40代	21 (12.7%)	48 (28.9%)	46 (27.7%)	51 (30.7%)
50代	42 (15.8%)	63 (23.8%)	95 (35.8%)	65 (24.5%)
60代	27 (8.7%)	77 (24.8%)	130 (41.9%)	76 (24.5%)
70歳以上	21 (11.9%)	45 (25.6%)	76 (43.2%)	34 (19.3%)

また、服用・使用しているサプリメント・健康食品を専門家に伝えて飲み合わせなどを確認してもらっているかについては、「必ず伝えて確認してもらっている」が8.2%、「時々伝えて確認してもらっている」が19.3%である一方で、「ほとんど伝えず確認してもらっていない」が34.8%、「全く伝えていない」が37.7%であり、合わせて72.5%が確認していなかった（図16、表26）

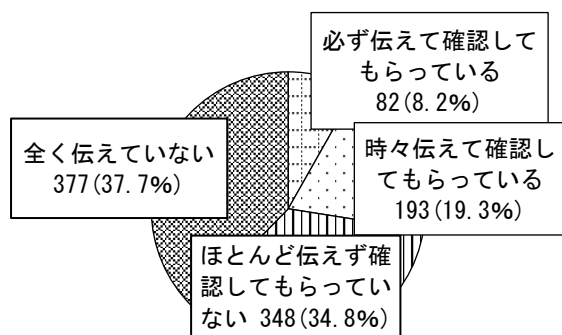


図16 サプリメント・健康食品の

飲み合わせの確認状況

表26 年齢別のサプリメント・健康食品の飲み合わせの確認状況

	必ず伝えて確認してもらっている	時々伝えて確認してもらっている	ほとんど伝えず確認してもらっていない	全く伝えていない
20代	7 (33.3%)	3 (14.3%)	3 (14.3%)	8 (38.1%)
30代	8 (12.9%)	15 (24.2%)	15 (24.2%)	24 (38.7%)
40代	13 (7.8%)	37 (22.3%)	46 (27.7%)	70 (42.2%)
50代	24 (9.1%)	59 (22.3%)	82 (30.9%)	100 (37.7%)
60代	16 (5.2%)	46 (14.8%)	130 (41.9%)	118 (38.1%)
70歳以上	14 (8.0%)	33 (18.8%)	72 (40.9%)	57 (32.4%)

(5) 外箱等や添付文書の確認の状況

一般用医薬品等を購入する際に外箱等の説明を確認するかについては、「必ず確認する」が49.3%、「時々確認する」が39.1%であり、合わせて88.4%が外箱の表示を確認しており、9割以上であった（図17）。

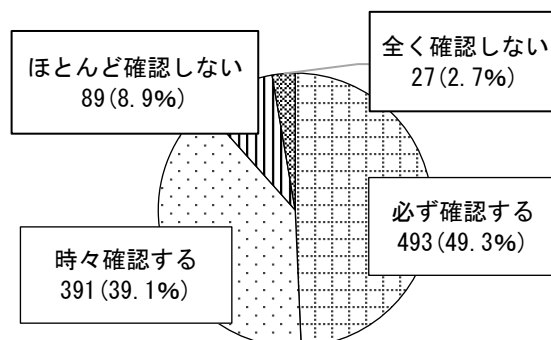


図17 外箱等の説明の確認状況

外箱等で必ず確認する事項については、「効能・効果」が89.7%と最も多く、次いで「用法・用量（服用・使用方法）」が81.6%であり、確認事項は効能効果、用法用量が多かった（表27）。

表27 外箱等で必ず確認する事項

理由	回答数	割合 (%)
効能・効果	793	89.7
用法・用量（服用・使用方法）	721	81.6
成分・分量	437	49.4
してはいけないこと	300	33.9
注意すること等	359	40.6
保管上の注意	117	13.2
その他	7	0.8

また、添付文書（医薬品の容器の中に入っている説明書）の説明を読むかについては、「毎回必ず読む」が19.0%、「初めて購入した時には読む」が39.2%であり、合わせて58.2%が半分以上添付文書を確認していた（図18）。

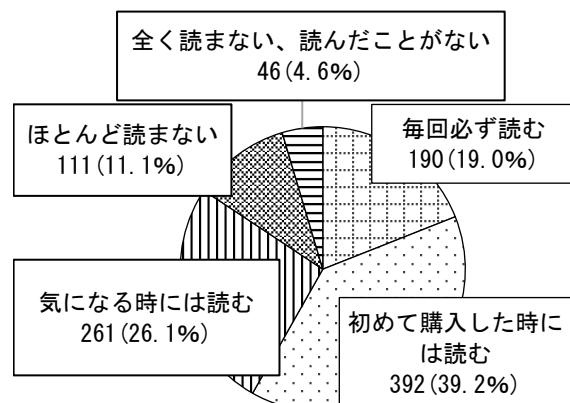


図18 添付文書の確認状況

（6）一般用医薬品等の購入時の専門家の関与
一般用医薬品等を購入する際に専門家から教えてほしいことについては、「効能・効果」が51.1%、「飲み合わせ」が44.1%、「副作用とその対応」が46.7%、「してはいけないこと、注意すること等に該当するか」が32.6%であったが、「教えてほしいことはない」が11.5%であった。（表28）。

また、要指導医薬品、第1類医薬品の購入時に、薬剤師からの説明は参考になったかについては、「参考になった」が37.9%、「あまり参考にならなかった」が7.7%であった（図19）。

薬剤師からの説明で参考になった内容については、「効能・効果」が62.5%と最も多く、次いで「副作用とその対応」が48.3%、「用法・用量（服用・使用方法）」が47.0%、「してはいけないこと、注意すること等に該当するか」が46.4%であった（表29）。

表28 専門家から教えてほしいこと

理由	回答数	割合 (%)
効能・効果	511	51.1
用法・用量（服用・使用方法）	267	26.7
有効成分	160	16.0
副作用とその対応	467	46.7
してはいけないこと、注意すること等に該当するか	326	32.6
保管上の注意	59	5.9

飲み合わせ	441	44.1
似ている薬との違い	270	27.0
治療や予防に必要な生活習慣の改善	59	5.9
価格	75	7.5
教えてほしいことはない	115	11.5

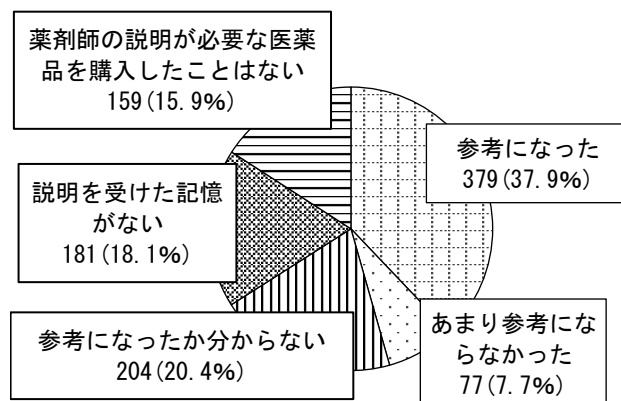


図19 薬剤師の説明効果

表29 参考になった薬剤師からの説明内容

理由	回答数	割合 (%)
効能・効果	237	62.5
用法・用量（服用・使用方法）	178	47.0
有効成分	87	23.0
副作用とその対応	183	48.3
してはいけないこと、注意すること等に該当するか	176	46.4
保管上の注意	25	6.6
飲み合わせ	130	34.3
何かあった時の相談先	16	4.2
その他	1	0.3

（7）濫用等のおそれのある医薬品に関する状況
「濫用等のおそれのある医薬品」を知っているかについては、「知っている」が20.6%、「聞いたことがある」が44.6%であり、合わせて65.2%が認知している一方で、「知らない」が34.8%と、濫用品を知らないが3割以上であった（図20）。

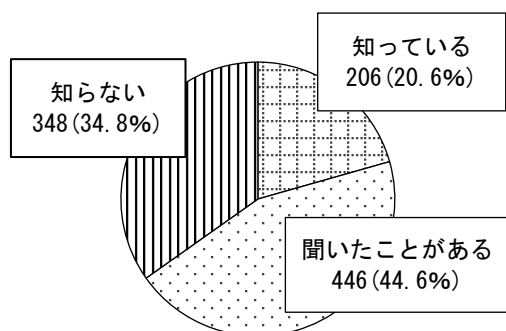


図 20 濫用等のおそれのある医薬品の認知状況

また、過剰摂取や若者による不適正な購入を防ぐため、有効な専門家の対応として「一度に複数の購入を防止するため複数回数購入の理由の確認」が 66.5%と最も多く、次いで「複数、頻回の購入を防止するため他の店舗での購入状況の確認」が 53.5%、「若年者と思われる者の氏名と年齢を確認」が 47.0%であった（表 30）。

表 30 不適正な購入に有効だと思う対応

理由	回答数	割合 (%)
若年者と思われる者の氏名と年齢を確認	470	47.0
複数、頻回の購入を防止するため他の店舗での購入状況の確認	535	53.5
一度に複数の購入を防止するため複数回数購入の理由の確認	665	66.5
その他	20	2.0

3. 一般用医薬品等の販売に係る実地調査

以下の項目を中心に実地調査を行い、好事例を収集した（詳細は別添Eのとおり）。

- ・一般用医薬品等の店舗での区分別販売方法、陳列方法、相談方法
- ・専門家がどのように関わっているか。相談しやすい工夫など
- ・一般用医薬品等の来店者向け表示（POP 等）、商品の情報提供、相談の必要な事項の掲示などの工夫点
- ・一般用医薬品の販売で使用している資料やツール
- ・一般用医薬品等の来店者からの相談内容、相談で困った事例、解決事例、受診勧奨事例
- ・健康イベントや地域貢献
- ・濫用のおそれのある医薬品販売の具体的対応方法、販売拒否事例等の対応事例、対応で工夫している点、課題など

- ・薬剤師・登録販売者の連携、店内連携、店舗間連携、地域連携等について
- ・一般用医薬品等の販売に導入しているシステム、データ解析について（POS レジ、OTC の適正販売に向けたツール）
- ・一般用医薬品等の販売に関する行政等への要望

3. 一般用医薬品等の販売に関する教材の作成 「店頭師相談による OTC 販売 アクティブラーニング」（教材詳細は別添F）

- (1) 店舗で複数スタッフが各自の販売・相談事例を持ち寄り、小グループ討論（SGD）でそれをどのように振り返り、情報共有するのかを進行するスライド資料を作成した。引き続き、SGD を行った事例検討について、それをさらに改善した事例としてシナリオを作成し、それをスタッフ同士でロールプレイしてシミュレーションし感想を述べあってさらにシナリオのレベルアップを図る研修を進行するスライド資料を作成した。この資料を研修参加者に配布して研修を進めることができる。
- (2) (1) の研修を理解しやすくするため、具体的な見本事例を以下の 5 つの模擬事例を使って例示し、ロールプレイの見本ビデオも以下の 5 種類作成した。この模擬事例から研修を開始することで、今回の教材の意義や活用方法が理解しやすいと考えられる。

<模擬事例>

- ① 咳止めを継続して購入している方の OTC 相談
- ② 医療用と同じ薬が欲しいという OTC 相談
- ③ 最近疲れやすいので栄養剤が欲しいという OTC 相談
- ④ 便秘が改善せず追加で薬を買いに来た OTC 相談
- ⑤ 未成年者が睡眠改善薬の OTC 購入を希望
模擬事例作成にあたっては、ウエルシア薬局株式会社供田将志氏、株式会社スギ薬局神保美沙子氏にもご協力いただいた。

D. 考察

1. 各店舗での実態
 - (1) 回答者の属性

今回のアンケート調査は、薬局及び店舗販売業全体のおよそ1割程度から回答が得られた。しかし、関係団体を通じて協力を依頼しており、回答数も全国の薬局及び店舗販売業の1割程度からの回答であり、一般用医薬品の販売を積極的に行っている店舗が主に回答した可能性は否定できず、全国状況を正しく反映しているかについては検証する必要がある。また、店舗での一般用医薬品の販売陳列方法や主に販売に関わるのが薬剤師か登録販売者かという点など店舗の販売状況を考慮して考察する必要があると考えられる。

(2) 管理者の業務について

管理者の業務に要する時間は、店舗の形態や規模によって大きく差が見られた。特にドラッグストアなどの大規模な店舗販売業又は薬局と店舗販売業の併設店舗では、医薬品以外の管理を担うこともあるため、医薬品の適正販売に当たり、薬機法で求める管理者の具体的な業務を明確化していくことが重要である。

また、関係団体において、業務手順書作成の手引き等が示されているところであるが、作成されてから見直されていないことも考えられるため、見直しを促すとともに現場での活用を促していく必要がある。

2. 一般用医薬品等の販売における専門家の関与

(1) 販売を断った事例

リスク区分ごとに割合は異なるが、最もリスクが低い第3類医薬品においても適切な情報収集により販売を断った事例が一定数挙げられた。

専門家が適切に関与することで、一般用医薬品等で対処できる範囲を超えている症状に対する受診勧奨や適正使用を促すことが期待される。

(2) 副作用報告

専門家の種別（薬剤師、登録販売者）を問わず、実施されていた。一般用医薬品等の販売においては、購入者の連絡先を記録することが義務となっていないが、使用上の注意に関すること、店舗の連絡先を適切に伝えることなどにより、副作用が発生した際の情報を把握していくことが重要である。

(3) インターネット販売

今回のアンケート調査においては、インターネット販売を行っている店舗は限られ、医薬品のインターネット販売全体を把握するには不十分ではあるが、相談対応を行っている店舗は少なく、専門家が十分に関与できていない可能性がある。

る。

(4) 濫用等のおそれのある医薬品

以下の点からより適正販売を意識していることが推察された。

- ・販売を断ったことがある割合が他のリスク区分に比べて高かったこと。

- ・購入者の手の届かないところに陳列している割合が他のリスク区分の医薬品に比べ高かったこと。

- ・専門家（有資格者）が必ずレジで対応するなどし、専門家が関与する体制がとられていること。

- ・購入者に特に注意して説明している事項として、①濫用等のおそれのある医薬品への該当、②用法及び用量、③使用上の注意（してはいけないこと、相談すること等）が挙げられていること。

- ・複数購入時の対策がとられていること。

複数購入時の対策については、事例に見られるような、多くの店舗で、複数個購入時にレジで警告が出るなどのシステム導入が行われており、システムが無い場合も個々販売時にレジ等で専門家の確認、頻回購入についても購入履歴管理等での対応が概ねなされていると考えられるが、複数店舗や複数のインターネット業者での購入で複数・頻回購入は防止できているとはいえない。少なくとも販売担当者間での販売歴の情報共有、地域での販売情報共有は進めていく必要がある。インターネット販売においても、業者間での情報共有などを行うなど不適切な複数・頻回購入が防止できるような施策は必要である。

2. 要指導医薬品及び一般用医薬品の店舗販売に関する一般消費者アンケート調査

一般用医薬品等の選び方や使用方法について専門家に相談する（「毎回する」「時々する」）人が39.0%に留まっており、また、専門家からアドバイスを受けたことがないと回答した人が約4割であったことから、薬局・店舗販売業店頭での継続的な相談行動が定着していないと考えられる。

特にリスクが高い、服用・使用している薬との飲み合わせを専門家に確認してもらっている（「必ず伝えて確認してもらっている」「時々伝えて確認してもらっている」）人が38.7%、サプリメント・健康食品の飲み合わせを専門家に確認してもらっている（「必ず伝えて確認してもらっている」「時々伝えて確認してもらっている」）

っている」人が27.5%にとどまっていた。

専門家に相談しない理由として、「よく利用する市販薬だから」「外箱等を確認して自分で判断できるから」という理由が両者とも5割程度となっていた。購入時に外箱等の説明を確認している（「必ず確認する」「時々確認する」）人が88.4%であったこと、添付文書の説明を読む（「毎回必ず読む」「初めて購入した時には読む」）が58.2%であったことを踏まえると、購入時には自力で収集した情報収集により十分と判断してると考えられる。

その一方で、一般用医薬品等の購入時に専門家から教えてほしい事項として、「効能・効果」「副作用とその対応」「飲み合わせ」がそれぞれ約5割となっており、専門家からの情報提供等を消費者が受けたいと考えており、専門家による情報提供に一定のニーズがあることが示唆された。

3. 専門家の関与のあり方について

（1）現状分析と課題

一般用医薬品等の購入時の消費者ニーズは多様であったが、先に述べたように、一般消費者が専門家に確認したい一定のニーズがあると考えられる。

令和6年度に実施した薬局・店舗販売業を対象としたアンケート調査結果では、一般用医薬品等の販売時には、薬剤師や登録販売者がリスク区分に合わせて、おおむね法令に従った対応を行っていた。一方で、専門家による対応が店頭での一般的・形式的なものについては順守されていても、個々の一般用医薬品等の購入についての対応を行っていることについては一般消費者に「あまり意識されていない」ことが課題であると考えられる。令和6年度のアンケートや令和7年度現地調査での聞き取りでも、相談者が服用していた医薬品との不適切な飲み合わせや、副作用と思われる症状に気づいていない事例や、一般用医薬品等では治療困難な症状について、一般用医薬品等を継続して服用していた事例が多く挙げられている。薬局・店舗での専門家への確認や相談は、安全かつ有効な一般用医薬品等の使用につながる最も手軽な手段の一つと思われるが、それを活用している消費者が多くないことは大きな課題である。この課題を解決

していくためには、以下に示した専門家が相談に的確に対応できるよう、信頼される資質・能力の研鑽、薬局・店舗での専門家からの積極的な声掛けなどのアプローチ、相談しやすい環境づくりを行っていく必要がある。さらに、それらを踏まえた上で消費者への啓蒙を継続的にしていく必要がある。

（2）専門家に求められる具体的な対応

専門家が適切な役割を果たすために、画一的な対応、外箱・添付文書に記載された情報の単なる提供にとどまらず、まずは消費者の体調・生活状況等を把握した上で、相談ニーズと情報ニーズに応じ個々の消費者に最適と考えられる柔軟な関与が重要である。また、具体的には以下の対応を取っていくことが望ましいと考えられる。

ア ニーズ対応型の情報提供

- ・症状を丁寧に聴取し、複数の一般用医薬品等の選択肢がある場合には、消費者の症状に最も適した一般用医薬品等を提案。
- ・使用経験がある、又は外箱等の情報により理解していると消費者が認識している一般用医薬品等についても、症状、併用薬、生活環境等を踏まえた個別の情報提供を実施。
- ・他の医薬品や健康食品等との飲み合わせに関する個別の情報を提供。
- ・単なる一般用医薬品等の説明にとどまらず、消費者の健康課題の解決に向けた個別相談を実施。

イ 消費者の年齢別・属性別対応

- ・特に高齢者においては相互作用リスクが高いため、飲み合わせの確認を重点的に実施。
- ・お薬手帳やポイントカード等の情報を活用し、来店頻度や購入履歴等に基づいた積極的な声掛けや問診を実施。

ウ 消費者が相談しやすい環境の整備

- ・「わかりにくいこと、心配なことはお気軽にご相談ください」などのポップや掲示を設置
- ・相談コーナーあります」という案内表示を設置

- ・相談するとポイントが付くなどのインセンティブの提供
- ・新規の消費者に対しても「何かご不明な点やご心配なことはありますか」と積極的に声掛けし、開かれた質問を実施
- ・相談が自然に行われる環境を醸成するための地域住民との関係性の構築

エ 薬剤師と登録販売者の役割分担と連携強化

店舗内又は店舗間で薬剤師と登録販売者さらに一般従事者等が役割分担し、効果的に連携している事例があった。

- ・登録販売者が消費者の接点となり、第2類医薬品以上のリスク区分の購入希望者では店舗内で積極的に声掛けし、購入目的や症状、治療状況等のスクリーニングを実施
- ・登録販売者では判断が困難な場合や医療用医薬品との相互作用に関する相談を受けた場合に、薬剤師につなぐ体制を構築。
- ・薬剤師、登録販売者さらには一般従事者が消費者や一般用医薬品等について情報共有する体制（定期ミーティングの実施等）を構築。
- ・売場レイアウトの工夫（薬局と店舗販売業の併設店で店舗販売業側の医薬品販売状況が薬局側からも見える配置にすることで、登録販売者が薬剤師への相談につなげることが容易になる。消費者も処方薬の相談をしやすくなる。）

オ 販売後のフォローアップ

- ・販売時に「体調が良くなったかどうかまた教えてください」という声掛けや、次回来店時に「前回の医薬品は効きましたか」などの確認を実施し、効果不十分な場合は医療機関への受診を提案。
- ・一般用医薬品等の使用後に体調変化がないかを聴取し、副作用を早期に発見。
- ・必要に応じて医療用医薬品と同様に一般用医薬品等の使用情報を消費者毎に記録。
- ・初めての一般用医薬品の使用開始時には必ず他に使用している医薬品との相互作用を確認。

カ 医療用医薬品との違いを踏まえた安全で効果的な指導

- ・医療用医薬品の通常の用法と乖離している一般用医薬品等もあるところ（例えば、医療では効果を高めるために複数の鎮咳去痰薬の成分（カルボシステインとデキストロメトルファン等）が使用されるが、一般用医薬品等では一律鎮咳去痰薬の縛りが適用され、同時に使用することは禁忌となっている等）、医療従事者の判断なしで使用できる一般用医薬品等の性質によるものであることに留意しつつ、薬剤師等は両者の違いを踏まえた安全で効果的な指導を行う必要がある。

キ ICT ツールの活用

先進的な店舗では、ICT ツールを活用して相談対応を効率化・標準化していた。ただし、ICT ツールはあくまで薬剤師や登録販売者による確認や情報提供等の正確性を担保する補助手段であり、薬剤師や登録販売者の判断に基づく対応が必要である。

- ・ICT ツールを活用した確認漏れの防止
- ・一般用医薬品等の商品バーコードを活用したお薬手帳への一般用医薬品等の登録
- ・濫用等のおそれのある医薬品等の頻回購入者に関する店舗間の情報共有システムの活用
- ・来店困難な場合の電話・オンライン相談システムの活用

4. 外箱等の表示について

市販薬の外箱表示は、消費者の88.4%が確認する重要な情報源となっている。現在の表示制度は法定事項を満たしているが、安全で効果的な医薬品使用につなげるためには、表示の改善と、その情報を活用した専門家による関与が必要である。

(1) 外箱表示の改善案

今回のアンケート結果は、外箱や添付文書の情報は消費者にとって重要な情報源となっていることを強く示唆している。したがって、外箱や添付文書の表示の改善は、医療安全等に大きく寄与すると考えられる。

ア 禁忌・相談すべき事項の強化表示

「してはいけないこと」（禁忌）を必ず確

認している人の割合は、33.9%と少なく、見落とされやすい可能性がある。このため、禁忌については、大きく目立つ位置に記載する（タバコ製品警告のような視認性）、「このような方は使用しないでください」という趣旨を目立つ位置に記載するなど、特に強調する必要がある。

イ 連用・過量服用に関する注意喚起の表示
濫用等のおそれのある医薬品を知らない人が34.8%存在しており、危険性が十分に周知されていないことが考えられる。このため、濫用等のおそれのある医薬品に関する周知や、濫用等のおそれのある医薬品に過量服用等に関する注意喚起を表示することも乱用防止の一助となると考えられる。

ウ 飲み合わせ・相談事項の明確化
専門家から教えてほしいこととして「飲み合わせ」が44.1%と比較的高い割合であった。一方で、専門家に飲み合わせを確認してもらっていない（「ほとんど伝えず確認してもらっていない」「全く伝えていない」）人が服用・使用している薬では61.3%、サプリメント・健康食品では72.5%であった。
「医療用医薬品を使用中の方は、必ず薬剤師に相談してください」「他の市販薬を使用中の方、サプリメント・健康食品を摂取されている方は、必ず薬剤師・登録販売者に相談してください」などと具体的に外箱に分かり易く表示することで、適切な専門家の関与につながると考えられる。

エ 専門家への相談を促す表示
「効果、飲み合わせ、副作用、体調の変化などわからないこと、心配なことは薬剤師・登録販売者にお気軽にご相談ください」など、相談可能な内容例を具体的に示し、店舗での相談を促すことで、適切な専門家の関与につながる。

オ その他
製造販売業者による自発的改善として、視認性の高い表示デザイン、可読性の確保、リスク情報の強調表示、レジでの安易な販売を防ぐ店舗運営の工夫を促進することが必要と考

えられる。

併せて、製造販売業者においては、薬剤師や登録販売者の研修に積極的に協力していくことで、専門家の資質向上に寄与できるものと考えられる。

また、登録販売者試験において、医薬品の外箱表示に関する事項や相談対応に関する理解度評価を積極的に取り入れることも重要である。

5. 薬剤師・登録販売者の消費者相談の積極的・継続的なレベルアップ

薬剤師や登録販売者の研修については、一般用医薬品等の商品や法的規制等の一般的な知識に関する研修だけでなく、外箱や添付文書の情報とその相談対応について店舗内の専門家全員が標準的に修得していくことが必要である。さらに、インターネット等で情報が手軽に入手できる現状においては、個々の消費者からの情報を丁寧に聞き取り、その消費者に最適な医薬品や対応について指導・助言できる資質・能力の修得が必須である。そのためには、日頃の消費者対応を（可能であれば複数人で）自主的に「振り返り」、より良い対応はなかったかを「考察」し、継続的にレベルアップを図る必要がある。特に登録販売者については、「さらなる研修」としてそのような研修を採り入れることが必要と考えられる。本研究では、そのような研修実施を補助する教材を作製した。

E. 結論

薬局及び店舗販売業を対象としたアンケート調査により、一般用医薬品等の取扱実態、販売時の専門家の関与の実態を把握することができた。アンケート調査に回答のあった店舗では、リスク区分に合せた一般用医薬品の販売について薬剤師、登録販売者により概ね法令に従った対応がなされていた。濫用等のおそれのある医薬品についても、販売者側では、他の医薬品とは分けて注意を行い、販売を行っていることがわかった。さらに、リスクが高い医薬品に加え、リスクが低い医薬品であっても専門家が関わることで適正使用につながる事例もあった。しかしながら、一般用医薬品等は、需要者の選択により使用される性質のものであることから、専門家から提供された情

報を需要者がどのように理解し利用しているのかが重要である。今後、需要者の情報のニーズや理解の状況等を把握し、需要者の一般用医薬品等の適正使用を推進し、より安全で効果的なセルフメディケーションを進めていくためには専門家はどのように関与していけばよいのか、そのあり方についてさらに検討していく必要がある。

店舗で対応する専門家は、「相談を待つ専門家」から「積極的に関与する専門家」への転換が必須である。需要者の相談意識が低い現在、専門家側が自主的に声かけし、個々の消費者のニーズに応じた情報提供をすることで、初めて「説明が届く」状況が生まれる。これらは登録販売者と薬剤師の役割分担と連携、需要者の属性に応じた対応、販売後のフォローアップを通じて、市販薬の安全で効果的な使用を実現するものと考えられる。

外箱等の確認率は高い一方で、相談率は低く、「自分で判断できる」という傾向が見受けられた。しかし、症状判断や飲み合わせなど複雑な判断では専門家ニーズは存在していた。付加価値情報（医療用医薬品との相互作用、濫用リスク、症状判断）の提示を通じて、相談の必要性を高める工夫が有効と考えられる。

外箱表示の改善は、需要者の自主性を尊重しながら、専門家の相談価値を高めるバランスをとることが重要である。禁忌・相互作用・濫用リスクの強調表示、専門家相談への導きの明確化、販売時説明資料の充実、企業・専門家・行政の三者連携により、市販薬の安全で効果的な使用が実現される。

さらに、「積極的に関与する専門家」として常に症例検討などを通して研鑽を積み、「相談されるに値する専門家」としての資質・能力を磨き住民から信頼を得る努力を継続的にしていただきたい。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

別添A

2024 年度に実施したアンケート項目 一覧

1. 回答者の属性、従事する薬局又は店舗の設備・体制に関する質問

(1) 基本情報に関する質問

Q1	回答者の従事先の店舗の属性を選択してください。	①1店舗経営（個人経営等）	②複数店舗経営（20～100店舗未満）	③複数店舗経営（20～100店舗未満）	④複数店舗経営（100店舗以上）	
Q1.1	回答者の従事先の店舗の形態を選択してください。	①薬局単独	②店舗販売業単独	③薬局と店舗販売業併設		
Q1.2	（Q1.1で①③の場合）以下の認定等がある場合は、該当する薬局の種別を選択してください。（複数選択可）	①健康サポート薬局	②地域連携薬局	③専門医療機関連携薬局	④地域支援体制加算の算定有	⑤特になし
Q2	回答者に関して教えてください。 本アンケートに回答いただく方の人数を選択してください。 薬局単独、店舗販売業単独の場合には、代表者1人が回答してください。⇒「1名」を選択してください。 薬局と店舗販売業併設の場合も、できるだけ代表者1名が回答してください。⇒「1名」を選択してください。 ただし、併設店舗で薬局と店舗販売業について1名で回答することが難しい場合、それぞれの代表者1名（合計2名）で回答いただくことも可能です。⇒「2名」を選択してください。	1名	2名			
Q2.1.1	（回答者1）資格を選択してください。	①薬剤師	②登録販売者			
Q2.1.2	（回答者2）資格を選択してください。	①薬剤師	②登録販売者			
Q2.2.1	（回答者1）回答者が従事している薬局又は店舗の管理者であれば「①はい」、そうでなければ「②いいえ」を選択してください。	①はい	②いいえ			
Q2.2.2	（回答者2）回答者が従事している薬局又は店舗の管理者であれば「①はい」、そうでなければ「②いいえ」を選択してください。	①はい	②いいえ			
Q2.3.1	（回答者1）回答者が従事している薬局又は店舗における勤続年数をお答えください。	[約 年]				
Q2.3.2	（回答者2）回答者が従事している薬局又は店舗における勤続年数をお答えください。	[約 年]				
Q3	1日の医薬品の販売等を行う時間を回答してください。日ごとに異なる場合は、平均の販売時間を回答してください。（薬局と店舗販売業併設で販売等を行う時間が異なるには、長い時間をお答えください。）	[時間]				
Q3.1	回答者含めて、店舗に1日当たりの常勤換算で何人資格者が従事していますか。日ごとに異なる場合は、平均の従事者数を回答してください。（小数第1位まで）	[薬剤師 人]	[登録販売者 人]			
Q4	従事する店舗での、各医薬品の取扱いの有無及びおおよその取扱い品目数を回答してください。	医薬品	取扱いの有無	品目数		
		要指導医薬品	有・無	[品目]		
		第1類医薬品	有・無	[品目]		
		指定第2類医薬品	有・無	①40品目未満 ②100品目未満 ③500品目未満 ④1000品目未満 ⑤1000品目以上		
		第2類医薬品	有・無	①40品目未満 ②100品目未満 ③500品目未満 ④1000品目未満 ⑤1000品目以上		
		第3類医薬品	有・無	①40品目未満 ②100品目未満 ③500品目未満 ④1000品目未満 ⑤1000品目以上		
		濫用等のおそれのある医薬品（再掲）	有・無	①40品目未満 ②100品目未満 ③500品目未満 ④1000品目未満 ⑤1000品目以上		
	※「要指導医薬品」、「第1類医薬品」はおおよその品目数を入力してください。それ以外の医薬品は、選択肢からもっとも近いものを選択してください。 ※包装単位違いのものは別品目として数えてください。 （例：同じ製品名で10錠入りと20錠入りがある場合、2品目と数えてください） ※濫用等のおそれのある医薬品 （エフェドリン、コデイン等6成分を含む医薬品。 https://www.mhlw.go.jp/content/11125000/001222768.pdf ）					

(2) 体制に関する質問

Q5	医薬品販売に関する手順等について、従事する店舗に整備されている業務手順書に記載されている事項を全て選択してください。（複数回答可）	①医薬品の採用	②医薬品の購入	③陳列及び保管管理	④情報提供する場所（情報提供場所）	⑤情報の提供
		⑥販売時の対応	⑦販売後の対応	⑧医薬品情報等の収集と活用	⑨従事者に対する教育・研修	⑩手順書の見直しについて
Q6	店舗での業務に関する内部研修について（省令に定める外部研修（継続的、追加的研修）を除く。）、従事する店舗での実施状況にもっとも近いものを選択してください。	①定期的にある（年1回以上）	②スタッフに異動が生じたとき	③新規採用者に対してのときのみ	④計画的に実施していない	
Q7	※Q7は回答者が2名の場合、どちらかが代表してお答えください。 回答者が管理者の場合（Q2.2で「①はい」に回答した方）に回答してください。 管理者として要指導医薬品及び一般用医薬品の販売に関して実施している業務をお答えください。（複数回答可）	①医薬品の管理（医薬品の発注、納品・検収、在庫管理、出庫・陳列、帳簿作成など）	②従業員の管理（業務管理、研修など）	③デジタルツールの導入・運用	④その他（自由記載）	
Q7.1	管理者としての業務（Q7で回答した業務）に要する時間はどれくらいですか。（1日あたりの平均）	[時間]				

2. 医薬品の区分ごとの販売時の対応状況に関する質問

(1) 要指導医薬品、一般用医薬品共通の質問

※ Q8～11は、回答者が2名の場合、どちらかが代表してお答えください。（なお、回答する内容はご自身の現在の状況で差し支えありません。）

Q8	従事している店舗で、直近1か月において、医薬品の販売前に利用者から収集した情報に応じて、現在のOTCの使用を中止させた、医療機関への受診を勧めた又は生活指導を行った事例はありますか。	①有り	②無し
Q8.1	（事例有りの場合）事例の概要を教えてください。	（自由記載）	
Q9	従事している店舗で、要指導医薬品又は一般用医薬品の販売時の相談内容として多い内容を記載してください。	（自由記載）	
Q10	従事している店舗で、薬剤師又は登録販売者が関与した好事例（利用者の治療などの利益につながった事例）があれば記載してください。	（自由記載）	
Q11	従事している店舗で、過去1年以内にPMDAへ医薬品副作用報告を行ったことがありますか。	①ある（ 回）	②ない
Q11.1	（報告有りの場合）報告事例の概要を教えてください。 ※重要だと思われる報告事例について、可能であれば医薬品名入りでお答えください。	（自由記載）	

(2) 要指導医薬品に関する質問

Q12	（Q4で要指導医薬品の取扱いが「無」の場合）要指導医薬品を取り扱っていない理由について回答してください。（複数選択可）	①品目が少なく、需要が見込めないから	②店舗に薬剤師がおらず取り扱うことができないから	③薬事規制により取扱、販売時に求められる事項が多いから	④その他（自由記載）
-----	---	--------------------	--------------------------	-----------------------------	------------

（Q13～Q17.1は要指導医薬品の取扱いがある（Q4）場合に回答してください）

Q13	要指導医薬品の販売について1か月当たり何回程度対応していますか。	約[回]				
Q14	要指導医薬品を販売する際の薬剤師の対応方法を選択してください。	①カウンター越しに対応する	②レジで会計時に対応する	③プライバシーに配慮したスペースで対応する（カウンター）	④プライバシーに配慮したスペースで対応する（個室）	⑤その他（自由記載）
Q15	要指導医薬品販売時の会計方法を選択してください。	①有人レジ（薬剤師がレジ打ち）	②有人レジ（薬剤師又は薬剤師以外の従事者がレジ打ち）	③有人レジ（薬剤師以外の従事者のみがレジ打ち）	④セルフレジ（事前に薬剤師が情報提供及び指導）	⑤セルフレジ（その場で薬剤師が情報提供及び指導）
Q16	過去1年以内で要指導医薬品を購入しようとした者に対して販売を断った事例（代わりに他の医薬品の購入に切り替えてもらった等の対応も含む）はありますか。	①有り	②無し			⑥その他（自由記載）
Q16.1	（事例有りの場合）事例の概要を教えてください。 ※可能であれば医薬品名入りでお答えください。	（自由記載）				
Q17	過去1年以内で要指導医薬品を購入しようとした者に対して受診勧奨した事例はありますか。	①有り	②無し			
Q17.1	（事例有りの場合）事例の概要を教えてください。	（自由記載）				

(3) 第1類医薬品に関する質問

Q18	（第1類医薬品の取扱いがない場合）第1類医薬品を取り扱っていない理由について回答してください。（複数選択可）	①品目が少なく、需要が見込めないから	②店舗に薬剤師がおらず取り扱うことができないから	③薬事規制により取扱、販売時に求められる事項が多いから	④その他（自由記載）
-----	--	--------------------	--------------------------	-----------------------------	------------

（Q19～Q23.1は第1類医薬品の取扱いがある（Q4）場合に回答してください）

Q19	第1類医薬品の販売について1か月当たり何回程度対応していますか。	[回]				
Q20	第1類医薬品を販売する際の薬剤師の対応方法を選択してください。	①カウンター越しに対応する	②レジで会計時に対応する	③プライバシーに配慮したスペースで対応する（カウンター）	④プライバシーに配慮したスペースで対応する（個室）	⑤その他（自由記載）
Q21	第1類医薬品販売時の会計方法を選択してください。	①有人レジ（薬剤師がレジ打ち）	②有人レジ（薬剤師又は薬剤師以外の従事者がレジ打ち）	③有人レジ（薬剤師以外の従事者のみがレジ打ち）	④セルフレジ（事前に薬剤師が情報提供及び指導）	⑤セルフレジ（その場で薬剤師が情報提供及び指導）
Q22	過去1年以内で第1類医薬品を購入しようとした者に対して販売を断った事例（代わりに他の医薬品の購入に切り替えてもらった等の対応も含む）はありますか。	①有り	②無し			⑥その他（自由記載）
Q22.1	（事例有りの場合）事例の概要を教えてください。 ※可能であれば医薬品名入りでお答えください。	（自由記載）				
Q23	過去1年以内で第1類医薬品を購入しようとした者に対して受診勧奨した事例はありますか。	①有り	②無し			
Q23.1	（事例有りの場合）事例の概要を教えてください。	（自由記載）				

(4) 濫用等のおそれのある医薬品に関する質問

※薬局と店舗販売業が併設していてもどちらも取扱いがある場合には、取扱いの多い方の対応等を回答してください。

Q24	(Q4で濫用等のおそれのある医薬品の取扱いが「無」の場合) 濫用等のおそれのある医薬品を取り扱っていない理由について回答してください。(複数選択可)	①需要が見込めないから	②薬事規制により取扱、販売時に求められる事項が多いから	③一般用医薬品の濫用が問題となっているから	④その他 (自由記載)
-----	--	-------------	-----------------------------	-----------------------	-------------

(Q25～Q34.1は濫用等のおそれのある医薬品の取扱いがある (Q4) 場合に回答してください)

Q25	濫用等のおそれのある医薬品の陳列方法のうち、最も多いものを選択してください。	①カウンター内側のみ陳列	②見本や空箱等を置き、購入者がとれないよう陳列	③資格者の目で見える範囲に陳列	④資格者から一定の距離内に陳列	⑤販売機 (それに類似するもの)	⑥通常の商品と同様に陳列	⑦その他 (自由記載)
Q26	濫用等のおそれのある医薬品を販売する際の資格者の対応方法のうち、最も多いものを選択してください。	①購入者が直接手に取れないような陳列方法により、現物を手にする際に必ず資格者が対応 (カウンター等)	②資格者対応のレジ (医薬品専用レジ) に対応	③一般従事者のレジ対応者が濫用等のおそれのある医薬品の購入者があった時に資格者を呼ぶ	④相談があった時だけ資格者が対応	⑤資格者が売り場全体を見渡せる状況にしており、気づきの点があれば声掛けする	⑥売り場のボタン等で呼び出された場合に対応する	⑦その他 (自由記載)
Q26.1	Q26で④を選択した場合、どのような相談に対応しましたか。	(自由記載)						
Q27	濫用等のおそれのある医薬品販売時の会計方法を選択してください	①有人レジ (資格者がレジ打ち)	②有人レジ (資格者又は一般従事者がレジ打ち)	③有人レジ (一般従事者のみがレジ打ち)	④セルフレジ (事前に資格者が情報提供)	⑤セルフレジ (その場で資格者が情報提供)	⑥その他 (自由記載)	
Q28	2 個以上の購入を希望される場合、資格者の確認を介さないと購入できない対応策やシステムの有無をお答えください。	①有り	②無し					
Q28.1	対応策やシステムがある場合には、具体的な対応方法を記載してください。	(自由記載)						
Q29	頻回購入の疑いがある購入者の把握をする上での工夫はありますか。	①有り	②無し					
Q29.1	Q29で「①有り」とした場合、実施している内容を記載してください。	(自由記載)						
Q30	濫用等のおそれのある医薬品を購入しようとする消費者に対して、回答者が積極的に情報提供を行う回数は月当たりおよそ何回程度ありますか。	①0 回	②1 ～ 5 回	③6 ～ 10 回	④11 ～ 20 回	⑤21 ～ 30 回	⑥31 回～	
Q30.1	Q30の情報提供について、情報提供を行う場合、どのような場合に行っていますか。	(自由記載)						
Q30.2	Q30の情報提供について、しない方が適切と考える場合はどのような場合ですか。	(自由記載)						
Q31	濫用等のおそれのある医薬品の情報提供や相談への対応時に購入者に説明している事項のうち、特に注意をしている順に 3 つ選択してください。	①リスク区分	②製品の特徴	③使用上の注意 (してはいけないこと、相談すること等)	④効能又は効果	⑤用法及び用量	⑥成分及び分量	
		⑦保管及び取扱い上の注意	⑧飲み合わせ	⑨副作用	⑩濫用等のおそれのある医薬品への該当	⑪その他 (自由記載)		
Q32	濫用等のおそれのある医薬品の販売対応において、1 回の対応にかけのおよその時間を選択してください。							
	(1) 相談ありの場合	①1 分未満	②1 ～ 3 分未満	③3 ～ 6 分未満	④6 分以上			
	(2) 情報提供のみの場合	①1 分未満	②1 ～ 3 分未満	③3 ～ 6 分未満	④6 分以上			
	(3) そのほか	①1 分未満	②1 ～ 3 分未満	③3 ～ 6 分未満	④6 分以上	⑤該当なし		
	そのほかは、どのようなケースか具体例を記載してください	(自由記載)						
Q33	過去 1 年以内で濫用等のおそれのある医薬品を購入しようとした者に対して販売を断った事例はありますか。	①有り	②無し					
Q33.1	(事例有りの場合) 事例の概要を教えてください。 ※可能であれば医薬品名入りでお答えください。	(自由記載)						
Q34	過去 1 年以内で濫用等のおそれのある医薬品を購入しようとした者に対して受診勧奨した事がありますか。	①有り	②無し					
Q34.1	(事例有りの場合) 事例の概要を教えてください。	(自由記載)						

※薬局と店舗販売業が併設していてどちらも取扱いがある場合には、取扱いの多い方の対応等を回答してください。

(Q36～Q40. 1は指定第2類医薬品の取扱いがある(Q4)場合に回答してください)

Q37.1 Q37で④を選択した場合、どのような相談に対応しましたか。

Q39	過去1年以内に指定第2類医薬品（濫用等のおそれのある医薬品を除く）を購入しよ	①有り
-----	--	-----

Q39.1 (事例有りの場合) 事例の概要を教えてください。
※可能であれば医薬品名入りでお答えください。

Q40	ありますか。
-----	--------

6) 第2類医薬品（濫用等のおそれのある医薬品を除く）に属する

※薬局と店舗販売業が併設していてどちらも取扱いがある場合には、取扱いの多い方の対応等を回答してください。

(Q42～Q46. 1は第2類医薬品の取扱いがある(Q4)場合に回答してください)

Q43.1	Q43で④を選択した場合、どのような相談に対応しましたか。
-------	-------------------------------

Q45	過去1年以内に第2類医薬品（濫用等のおそれのある医薬品を除く）を購入しようと	①有り
-----	--	-----

Q45.1 (事例有りの場合) 事例の概要を教えてください。
※可能であれば医薬品名入りでお答えください。

Q46	した者に対して受診勧奨した事例はありますか
-----	-----------------------

7) 第3類医薬品に関する質問

※薬局と店舗販売業が併設していてどちらも取扱いがある場合には、取扱いの多い方の対応等を回答してください。

(Q48～Q54. 1は第3類医薬品の取扱いがある(Q4)場合に回答してください)

Q49.1	Q49で④を選択した場合、どのような相談に対応しましたか。
-------	-------------------------------

Q51	過去1年以内に第3類医薬品を購入しようとした者に対して販売を断った事例はあり	①有り
-----	--	-----

Q51.1 (事例有りの場合) 事例の概要を教えてください。
※可能であれば医薬品名入りでお答えください。

Q52	ますか。
-----	------

3. インターネット販売に関する質問

※ここでは、一般用医薬品をインターネットにて販売している場合について伺います。

Q53	インターネット販売について、従事する店舗での実施状況について回答してください。	①有り	②無し					
(有りの場合、以降の質問にもお答えください。)								
Q54	インターネット販売を実施している一般用医薬品の種類についてお答えください。 (複数選択可)	①第1類医薬品	②指定第2類医薬品	③第2類医薬品	④第3類医薬品			
Q55	インターネット販売の実施方法についてお答えください (複数選択可)	①購入サイトでの入力 (チャットのやりとり含む)	②電子メール	③SNS (LINEなど) (ビデオ通話なし)	④SNS (LINEなど) (ビデオ通話あり)	⑤リアルタイム音声通話 (ビデオ通話なし)	⑥リアルタイム音声通話 (ビデオ通話あり)	⑦その他 (自由記載)
Q55.1	インターネット販売の購入者の情報はどのように収集していますか。(複数回答可)	①購入サイトでの入力 (チャットのやりとり含む)	②電子メール	③SNS (LINEなど) (ビデオ通話なし)	④SNS (LINEなど) (ビデオ通話あり)	⑤リアルタイム音声通話 (ビデオ通話なし)	⑥リアルタイム音声通話 (ビデオ通話あり)	⑦その他 (自由記載)
Q55.2	インターネット販売の情報提供はどのように行っていますか。(複数回答可)	①購入サイトでの入力 (チャットのやりとり含む)	②電子メール	③SNS (LINEなど) (ビデオ通話なし)	④SNS (LINEなど) (ビデオ通話あり)	⑤リアルタイム音声通話 (ビデオ通話なし)	⑥リアルタイム音声通話 (ビデオ通話あり)	⑦その他 (自由記載)
Q55.3	インターネット販売の相談対応はどのように行っていますか。(複数回答可)	①購入サイトでの入力 (チャットのやりとり含む)	②電子メール	③SNS (LINEなど) (ビデオ通話なし)	④SNS (LINEなど) (ビデオ通話あり)	⑤リアルタイム音声通話 (ビデオ通話なし)	⑥リアルタイム音声通話 (ビデオ通話あり)	⑦その他 (自由記載)
Q56	一般用医薬品のインターネット販売について1日当たり何回程度対応していますか							
	(1) 相談あり	①0回	②1～5回	③6～10回	④11～20回	⑤21～30回	⑥31回～	
	(2) 情報提供のみ	①0回	②1～5回	③6～10回	④11～20回	⑤21～30回	⑥31回～	
Q57	一般用医薬品のインターネット販売の対応において、1回の対応にかかる時間およその時間を回答してください。							
	(1) 相談ありの場合	①1分未満	②1分程度	③2～3分程度	④4～5分程度	⑤6分～		
	(2) 情報提供のみの場合	①1分未満	②1分程度	③2～3分程度	④4～5分程度	⑤6分～		
Q58	過去1年以内にインターネット販売で一般用医薬品を購入しようとした者に対して販売を断った事例 (代わりに他の医薬品の購入に切り替えてもらった等の対応も含む) はありますか	①有り	②無し					
Q58.1	(事例有りの場合) 事例の概要を教えてください。 ※可能であれば医薬品名入りでお答えください。	(自由記載)						
Q59	過去1年以内にインターネット販売で一般用医薬品を購入しようとした者に対して受診勧奨した事例はありますか	①有り	②無し					
Q59.1	(事例有りの場合) 事例の概要を教えてください。	(自由記載)						
Q60	濫用等のおそれのある医薬品について、インターネット販売で2個以上買おうとすると資格者の確認を介さないと購入できないシステムの有無を選択してください。	①有り	②無し	③インターネット販売で濫用等のおそれのある医薬品を取り扱っていない				
Q60.1	システムがある場合には、具体的な対応方法を記載してください。	(自由記載)						
Q61	濫用等のおそれのある医薬品について、インターネット販売で頻回購入の疑いがある購入者の把握をする上での工夫はありますか。	①有り	②無し	③インターネット販売で濫用等のおそれのある医薬品を取り扱っていない				
Q61.1	Q61で「①有り」とした場合、実施している内容を記載してください。	(自由記載)						

別添 B 要指導医薬品及び一般用医薬品の店舗販売に関する一般消費者の意識調査研究 アンケート調査内容

1. 研究の概要

【研究の目的】

薬局やドラッグストア等の店舗で購入することができる要指導医薬品、第1類医薬品、第2類医薬品、第3類医薬品（市販薬）は、薬剤師あるいは登録販売者という資格をもった専門家が店舗で管理をして販売しています。市販薬は手軽に使用することができますが、医薬品ですので間違った使用や他の薬との併用などによって健康被害を起こす可能性があります。本アンケートでは、さらに安全に効果的に市販薬を広く利用してもらうために、一般の方々の市販薬の購入状況と購入時の意識についてさらに薬剤師や登録販売者についての意識を調査し、どのように店舗での販売を行えばよいか、薬剤師や登録販売者がどのように販売に関わればよいかを考察いたします。

ご協力の程 何卒よろしくお願い申し上げます。

【研究の対象となる方】

18歳以上の方にアンケートをお願いしています。（全国調査）

【研究の方法（利用する情報）】

市販薬購入の際にどのような確認あるいは相談をされているかなどについてインターネットでお尋ねします。氏名や連絡先など個人が直接特定されるような情報は取得しません。収集した情報は研究目的以外には使用しません。

【研究期間】

2026年6月30日まで

アンケート実施期間は2025年12月～2026年2月です。

【研究実施機関】

名古屋市立大学（研究責任者：大学院薬学研究科 臨床薬学分野 鈴木 匡）

ご質問がある場合は、「7. 相談やお問い合わせがある場合の連絡先」へご連絡ください。なお、回答完了後はあなたのアンケート結果を取り除くことはできません。

この研究は、名古屋市立大学医学系研究倫理審査委員会の審査を受け承認されたうえで、研究機関の長から実施の許可を受けています。また、この研究が適正に実施されているか継続して審査を受けます。この委員会にかかわる規程等は、以下のWEBサイトでご確認いただけます。

＜名古屋市立大学病院臨床研究開発支援センター「患者の皆様へ」<https://ncu-cr.jp/patient>>

2 研究の方法

【利用目的】

本研究では、市販薬を購入される際の確認・相談の状況を明らかにし、薬剤師や登録販売者の関与が安全で効果的な医薬品使用に結び付いているかを明らかにし、市販薬販売時の適切な情報提供等について考察する基礎データを作成します。

【取得する情報と取得方法】

・取得する情報：市販薬の購入頻度、購入時の医薬品情報の確認状況、店舗での専門家への相談状況、濫用のおそれのある医薬品の認知状況など。

・取得方法：インターネット上のアンケート（自記式）により、ご自身のパソコンやスマートフォンから回答していただきます（個人を直接特定できる情報は取得しません）。

【対象者の範囲】

18 歳以上の方

【他機関（委託先）との情報の授受】

・本研究のアンケート配信・回収は、調査会社（株）シード・プランニング社）から再委託先の楽天インサイト（株）に委託します。

・楽天インサイト（株）が回収した個人を直接特定できない形の回答データを、調査会社へ電子的に安全な方法（暗号化ファイル・パスワード別送 等）で提供し、調査会社の実施した集計・分析結果を名古屋市立大学（大学院薬学研究科 臨床薬学分野）へ提供します。

・受領後のデータは、名古屋市立大学が責任をもって管理します。

【解析の方法】

回答結果を集計し、平均や割合の算出、項目同士の関係の有無を統計的に調べます。結果は個人が特定されない形で報告・公表します。

3. この研究で用いるあなたの情報の内容について

この研究で用いるのは、氏名・住所・電話・メールアドレス等の個人を直接特定できる情報を含まないアンケートの回答情報です。

利用する情報の種類（具体例）

市販薬の購買頻度、購入店舗の選定理由、専門家への相談状況、医薬品の情報確認の状況
濫用等のおそれのある医薬品の理解度

4. 研究の実施体制

この研究は、名古屋市立大学が単独で実施します。

5. 個人情報等の取り扱いについて

研究者は、あなたの情報を、氏名など個人が直接特定される情報ではなく符号をつけた状態で取り扱います。また、この研究の成果を公的機関への報告や学会で発表することがありますが、その際も、そこに含まれるデータがあなたのものであると特定されることはありません。

6. この研究の資金源および利益相反について

この研究は、厚生労働科学研究費補助金（医薬品・医療機器レギュラトリーサイエンス政策研究事業）の支援を得て実施するものです。利益相反（企業等の関与により研究の公正さが損なわれる可能性がある状態のこと）の状況については、名古屋市立大学大学院医学研究科医学研究等利益相反委員会に必要事項を申告し、適切に管理しています。

7. 相談やお問合せがある場合の連絡先

この研究について知りたいことや、ご心配なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。また、この研究の計画について詳しくお知りになりたい場合は、研究に参加している他の方の個人情報や研究の知的財産等に影響しない範囲で、資料をお渡ししたり、お見せしたりすることが可能です。

【連絡先】

楽天インサイトの問い合わせフォーム

【アンケート内容】

本アンケート調査へのご協力についてお答えください。

- 上記の調査の説明を読み理解した上で、本調査に同意する
- 本調査に同意しない（こちらにチェックした場合は終了）

（スクリーニング設問）

直近1年で、薬局やドラッグストアあるいはインターネット等で市販薬を購入しましたか。

※インターネットでしか購入がない方は「④直近1年で購入したことはない」を選択してください。

- ①自分用に購入したことがある ②自分用の購入はないが、家族用に購入したことがある
- ③自分は購入したことがないが家族・知人等が購入した ④直近1年で購入したことはない

（スクリーニング設問で①自分用に購入したことがある、②自分用の購入はないが、家族用に購入したことがあると回答された方が、以下の調査に進む）

設問1

直近1年で薬局やドラッグストアあるいはインターネット等で自分用に市販薬を何回くらい購入しましたか。

- ①30回以上 ②10～29回 ③5～9回 ④1～4回 ⑤全く購入していない

設問2

今までに実際に薬局やドラッグストア等で薬のことについて相談したことがありますか。

- ①ある ②ない ③おぼえていない

設問3

薬局やドラッグストア等で薬の相談をする時は店舗を決めていますか。

- ①決めている ②決めていない ③どちらともいえない

設問4

（①決めていると回答された方）

その店舗に決めている理由は何ですか(複数回答可)

- ①いつも相談するかかりつけの専門家（薬剤師、登録販売者）がいるから
- ②相談しやすい雰囲気だから
- ③家から近いから
- ④交通の便が良いから
- ⑤その他（自由記載）

設問 5

薬局・ドラッグストア等で市販薬を買うときに専門家（薬剤師、登録販売者）に選び方や使用方法等について相談をすることはありますか。

- ①毎回する ②時々する ③ほとんどない ④全くない

設問 5－2

（①毎回する、②時々すると回答された方）

どのような内容を相談しましたか。(複数回答可)

- ①症状に合っているか
- ②使用方法や使用量
- ③副作用について
- ④(説明文書に書かれた)してはいけないこと、注意すること等に該当しているか
- ⑤併用している薬との飲み合わせ
- ⑥その他（自由記載）

設問 5－3

（③ほとんどない、④全くないと回答された方）

相談しない理由はどれですか。(複数回答可)

- ①よく利用する市販薬だから
- ②外箱等を確認して自分で判断できるから
- ③忙しい・相談する時間がないから
- ④店が相談できる雰囲気でないから
- ⑤何を質問・相談したら良いかわからないから
- ⑥相談できることを知らなかったから
- ⑦相談する必要があるかわからないから
- ⑧その他（自由記載）

設問 6

市販薬を購入する目的で薬局やドラッグストア等に出向いた際、専門家（薬剤師、登録販売者）からのアドバイスで医師の診察を受けた（病院や診療所に行った）ことがありますか。

- ①ある ②ない（アドバイスは受けた） ③専門家からのアドバイスを受けたことがない

④覚えていない

設問 7

市販薬を購入する目的で薬局やドラッグストア等に出向いた際、専門家からのアドバイスを受けて購入する市販薬を変更したり、市販薬の購入を中止したりしたことはありますか。

- ①ある ②ない（アドバイスは受けた） ③専門家からのアドバイスを受けたことがない
④覚えていない

設問 8

市販薬を購入する時、外箱等の説明を確認しますか。

- ①必ず確認する ②時々確認する ③ほとんど確認しない ④全く確認しない

設問 8－2

（①必ず確認する、②時々確認すると回答された方）

市販薬を購入する際、外箱等で必ず確認する事項はどれですか（複数回答可）。

- ①効能・効果 ②用法・用量（服用・使用方法） ③成分・分量
④してはいけないこと ⑤注意すること等 ⑥保管上の注意
⑦その他（自由記載）

設問 9

市販薬を購入する際、専門家から教えてほしいことはどれですか（複数選択可）。

- ①効能・効果 ②用法・用量（服用・使用方法） ③有効成分 ④副作用とその対応
⑤してはいけないこと、注意すること等に該当するか ⑥保管上の注意 ⑦飲み合わせ
⑧似ている薬との違い ⑨治療や予防に必要な生活習慣の改善 ⑩価格
⑪教えてほしいことはない

設問 10

市販薬を使用する時、添付文書（医薬品の容器の中に入っている説明書）の説明を読みますか。

- ①毎回必ず読む ②初めて購入した時には読む ③気になる時には読む
④ほとんど読まない ⑤全く読まない、読んだことがない

設問 11

市販薬を購入する際、服用・使用している薬（市販薬、医療用）を専門家に伝えて飲み合わせなどを確認してもらっていますか。

- ①必ず伝えて確認してもらっている ②時々伝えて確認してもらっている
③ほとんど伝えず確認してもらっていない ④全く伝えていない

設問 1 2

市販薬を購入する際、服用・使用しているサプリメント・健康食品を専門家に伝えて飲み合わせなどを確認してもらっていますか。

- ①必ず伝えて確認してもらっている ②時々伝えて確認してもらっている
- ③ほとんど伝えず確認してもらっていない ④全く伝えていない

設問 1 3

要指導医薬品、第1類医薬品（薬剤師の説明が必要な医薬品）は、副作用などのリスクがあり、特に注意が必要なものであるため、販売時に薬剤師が使用上の注意などを説明する必要があります。薬剤師からの説明は参考になりましたか。

- ①参考になった ②あまり参考にならなかった ③参考になったか分からない
- ④説明を受けた記憶がない ⑤薬剤師の説明が必要な医薬品を購入したことはない

設問 1 3 - 2

（①参考になったと回答された方）

薬剤師からの説明でどのような内容が参考になりましたか。

- ①効能・効果 ②用法・用量（服用・使用方法） ③有効成分 ④副作用とその対応
- ⑤してはいけないこと、注意すること等に該当するか ⑥保管上の注意 ⑦飲み合わせ
- ⑧何かあった時の相談先 ⑨その他（自由記載）

設問 1 4

「濫用等のおそれのある医薬品※」を知っていますか。

※一定の成分を含む風邪薬、咳止めなどのことで、間違った使い方により、健康被害が出たり、やめられなくなったりするリスクがあります

- ①知っている ②聞いたことがある ③知らない

設問 1 5

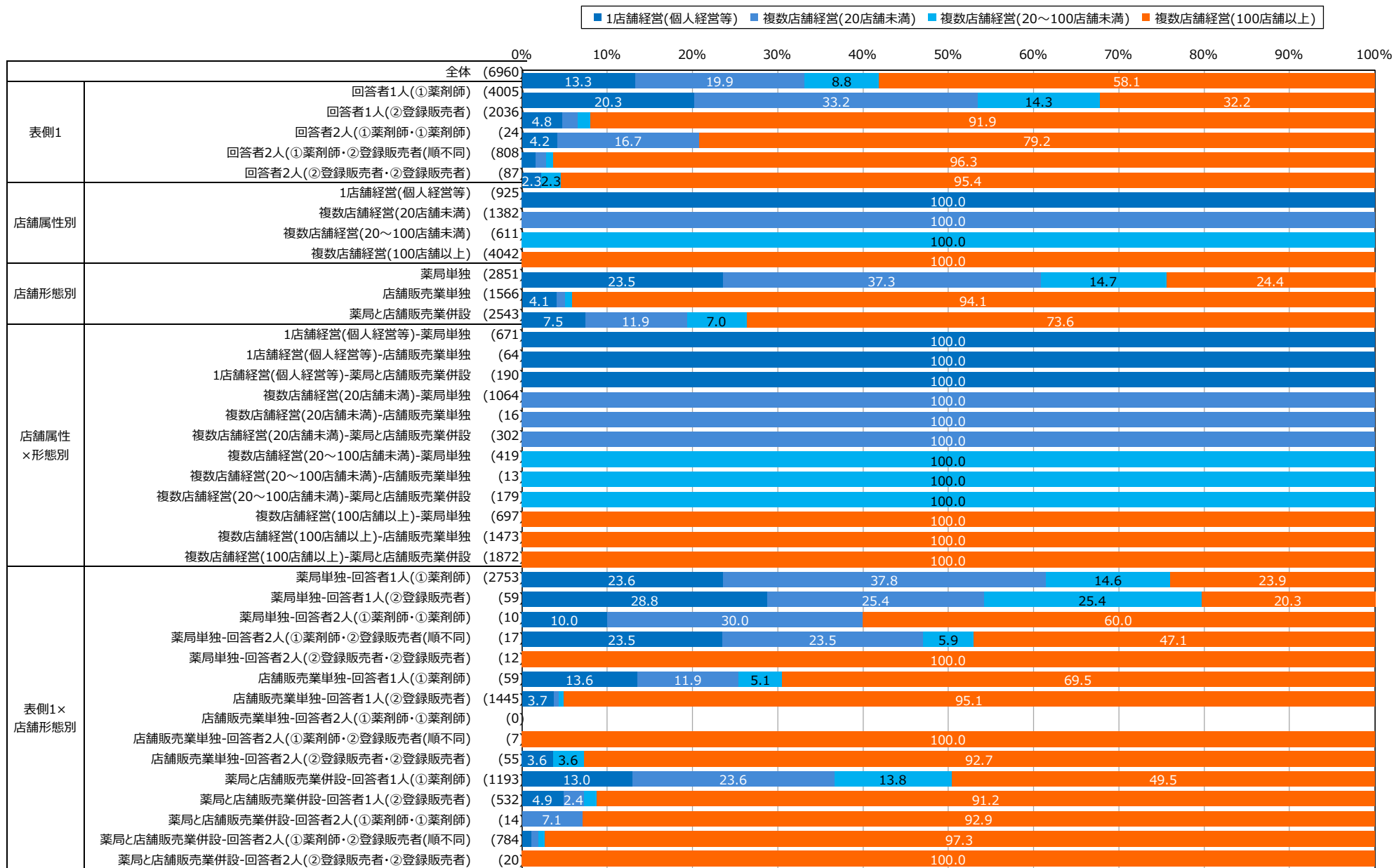
「濫用等のおそれのある医薬品」について、過剰摂取や若者による不適正な購入を防ぐため、販売時に専門家が行う対応で特に有効だと思うものを選んでください。（複数回答可）

- ①若年者と思われる者の氏名と年齢を確認
- ②複数、頻回の購入を防止するため他の店舗での購入状況の確認
- ③一度に複数の購入を防止するため複数個数購入の理由の確認
- ④その他（自由記載）

別添 C-1

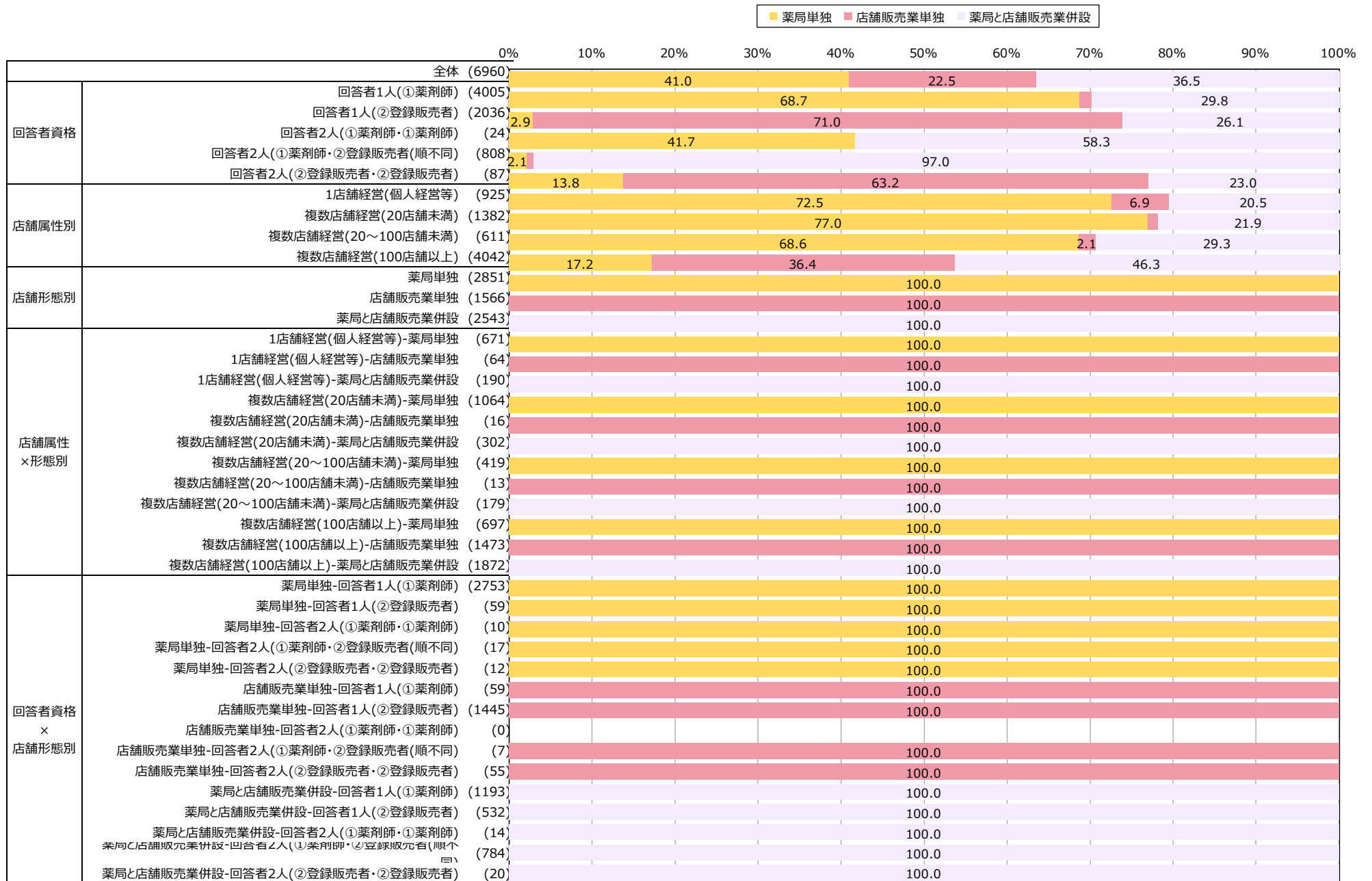
2024 年度 アンケート調査回答 集計

Q1 回答者の従事先の店舗の属性を選択してください。



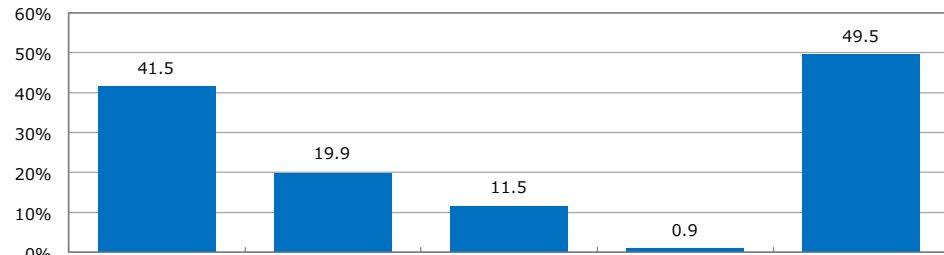
2%未満の数値ラベルは非表示

Q1.1 回答者の従事先の店舗の形態を選択してください。



2%未満の数値ラベルは非表示

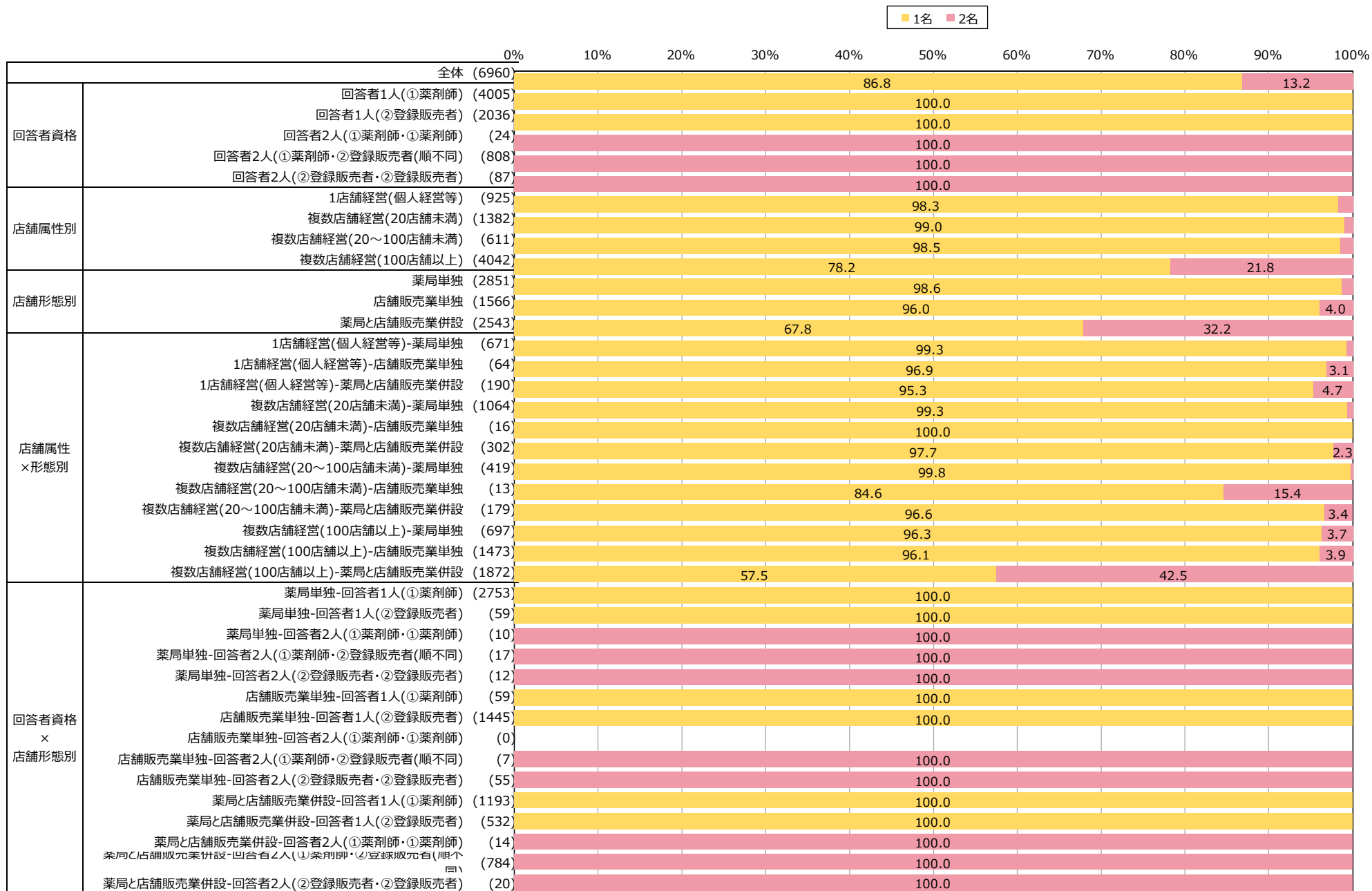
Q1.2 (Q1.1で①③の場合)以下の認定等がある場合は、該当する薬局の種別を選択してください。(複数選択可)



■ 全体+10pt以上 ■ 全体+5pt以上
■ 全体-10pt以下 ■ 全体-5pt以下
(n=30以上)

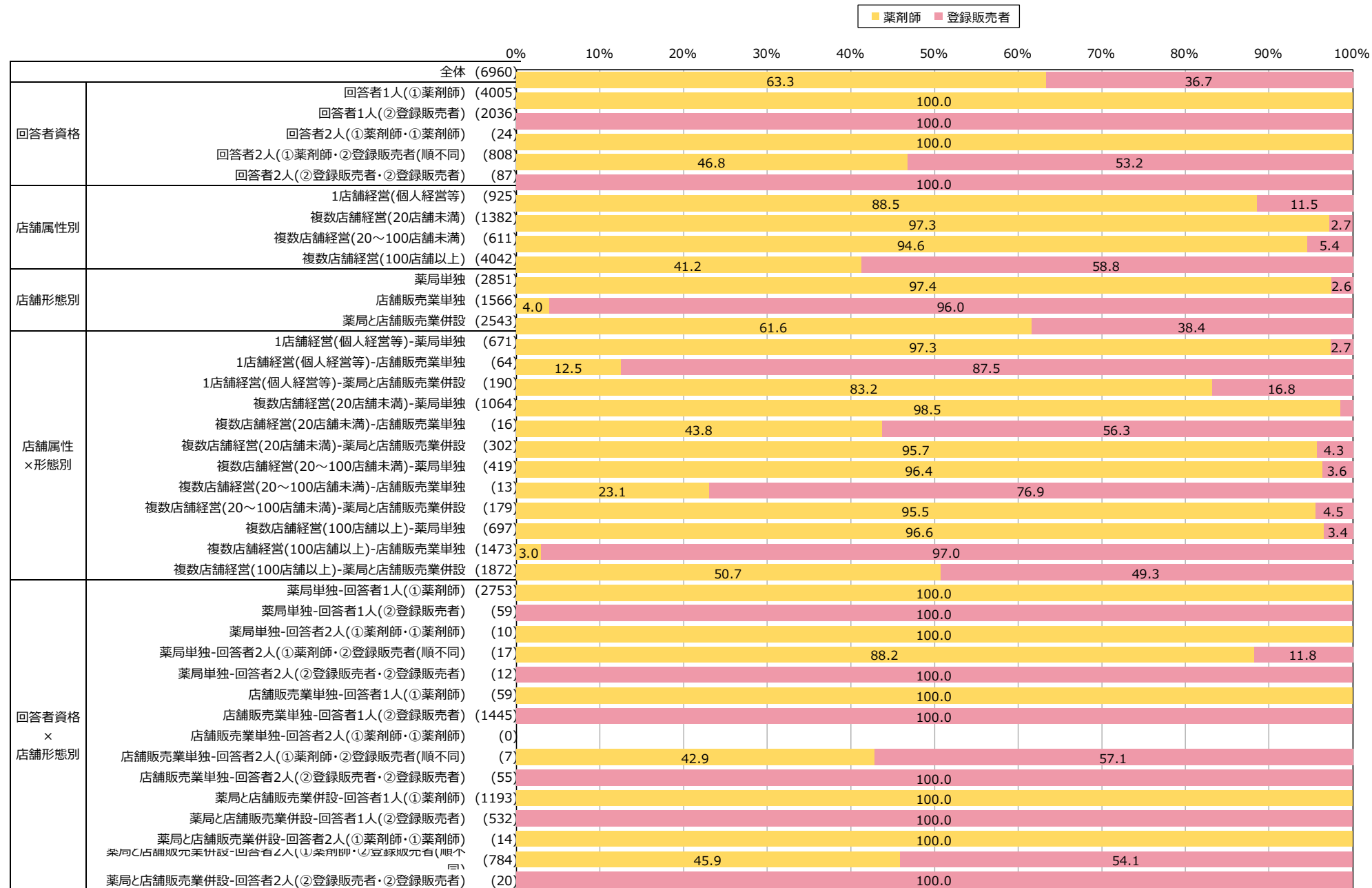
■全体+10pt以上 ■全体+5pt以上 ■全体－10pt以下 ■全体－5pt以下 (n=30以上)		n	地域支援体制加算の算 定有	地域連携薬局	健康サポート薬局	専門医療機関連携薬局	特になし
全体		5394	41.5	19.9	11.5	0.9	49.5
回答者資格	回答者1人(①薬剤師)	3946	47.0	21.8	12.3	0.7	44.3
	回答者1人(②登録販売者)	591	31.8	18.1	12.5	2.2	57.4
	回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	24	50.0	12.5	12.5	-	45.8
	回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	801	22.0	12.4	7.1	1.1	68.4
	回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	32	18.8	12.5	9.4	-	71.9
店舗属性別	1店舗経営(個人経営等)	861	40.5	13.1	8.8	0.2	52.7
	複数店舗経営(20店舗未満)	1366	54.8	22.5	11.9	0.5	36.9
	複数店舗経営(20～100店舗未満)	598	44.1	22.2	15.1	1.0	47.5
	複数店舗経営(100店舗以上)	2569	34.0	20.3	11.4	1.3	55.6
店舗形態別	薬局単独	2851	49.4	22.3	12.4	0.7	42.4
	店舗販売業単独	0	-	-	-	-	-
薬局と店舗販売業併設		2543	32.6	17.3	10.6	1.1	57.5
店舗属性 ×形態別	1店舗経営(個人経営等)-薬局単独	671	40.4	12.4	7.9	0.3	53.8
	1店舗経営(個人経営等)-店舗販売業単独	0	-	-	-	-	-
	1店舗経営(個人経営等)-薬局と店舗販売業併設	190	41.1	15.8	12.1	-	48.9
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局単独	1064	54.2	21.3	11.3	0.5	37.7
	複数店舗経営(20店舗未満)-店舗販売業単独	0	-	-	-	-	-
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	302	57.0	26.5	14.2	0.7	34.1
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-薬局単独	419	44.4	20.8	14.1	1.0	46.3
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-店舗販売業単独	0	-	-	-	-	-
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	179	43.6	25.7	17.3	1.1	50.3
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局単独	697	53.5	34.3	17.4	1.1	36.2
	複数店舗経営(100店舗以上)-店舗販売業単独	0	-	-	-	-	-
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局と店舗販売業併設	1872	26.8	15.1	9.2	1.3	62.9
回答者資格 × 店舗形態別	薬局単独-回答者1人(①薬剤師)	2753	49.5	22.1	12.2	0.7	42.3
	薬局単独-回答者1人(②登録販売者)	59	52.5	33.9	18.6	-	35.6
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	10	50.0	20.0	20.0	-	40.0
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	17	52.9	29.4	29.4	-	41.2
	薬局単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	12	-	-	-	-	100.0
	店舗販売業単独-回答者1人(①薬剤師)	0	-	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者1人(②登録販売者)	0	-	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	0	-	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	0	-	-	-	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(①薬剤師)	1193	41.2	21.2	12.6	0.6	49.1
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(②登録販売者)	532	29.5	16.4	11.8	2.4	59.8
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	14	50.0	7.1	7.1	-	50.0
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	784	21.3	12.0	6.6	1.1	69.0
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	20	30.0	20.0	15.0	-	55.0

Q2 本アンケートに回答いただく方の人数を選択してください。



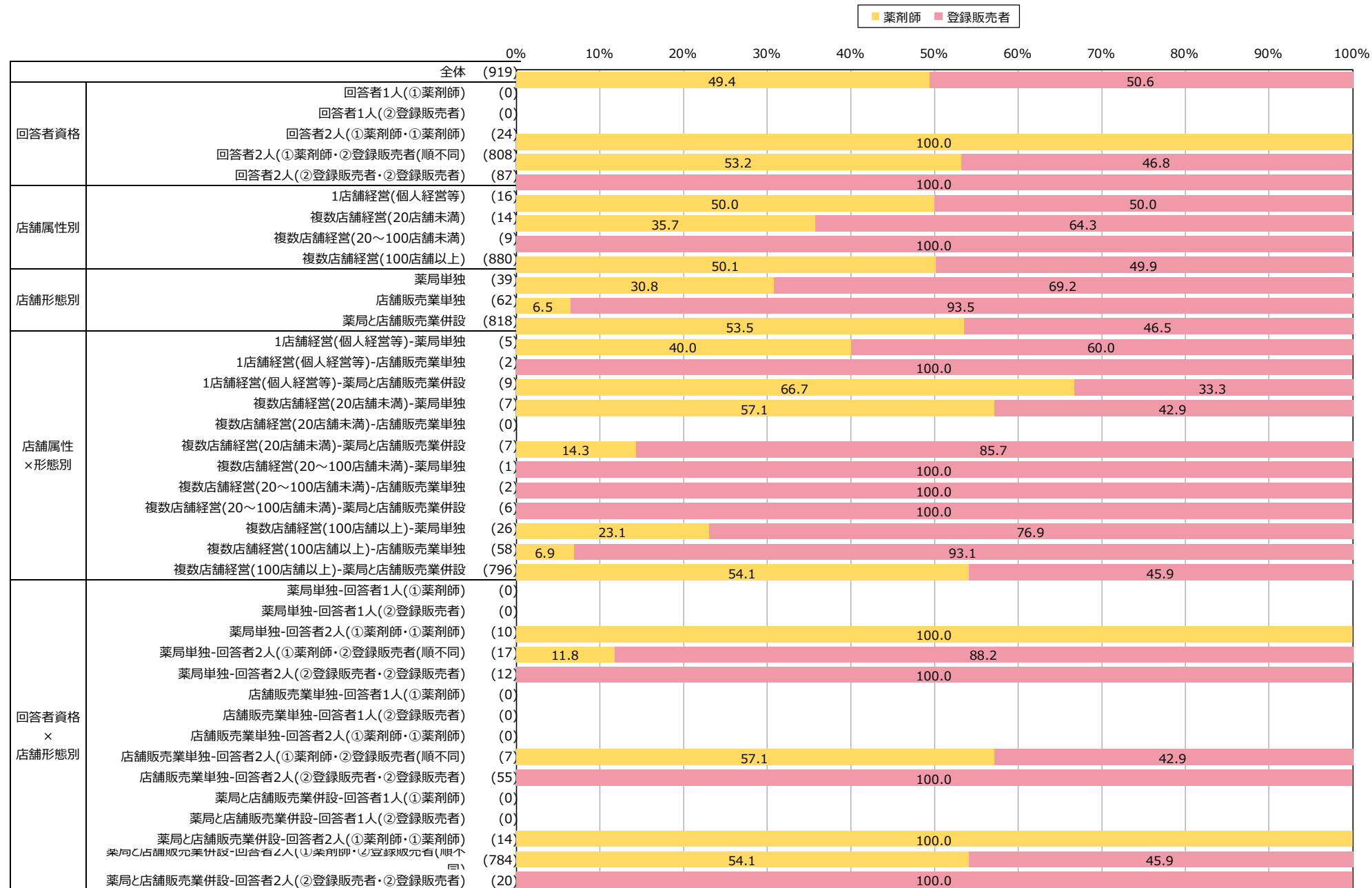
2%未満の数値ラベルは非表示

Q2. 1. 1	(回答者 1) 資格を選択してください。
----------	----------------------



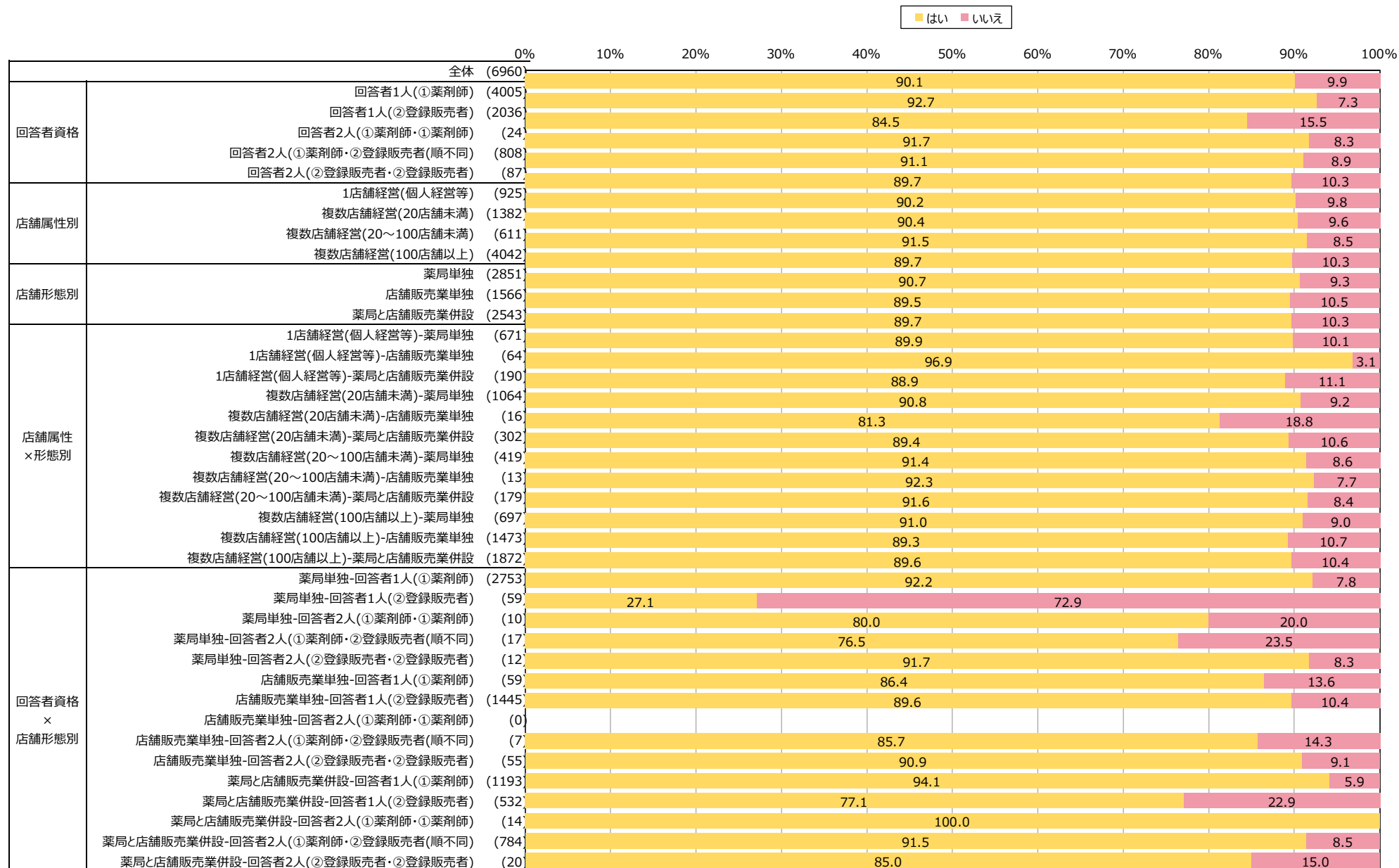
2%未満の数値ラベルは非表示

Q2. 1. 2	(回答者 2) 資格を選択してください。
----------	----------------------



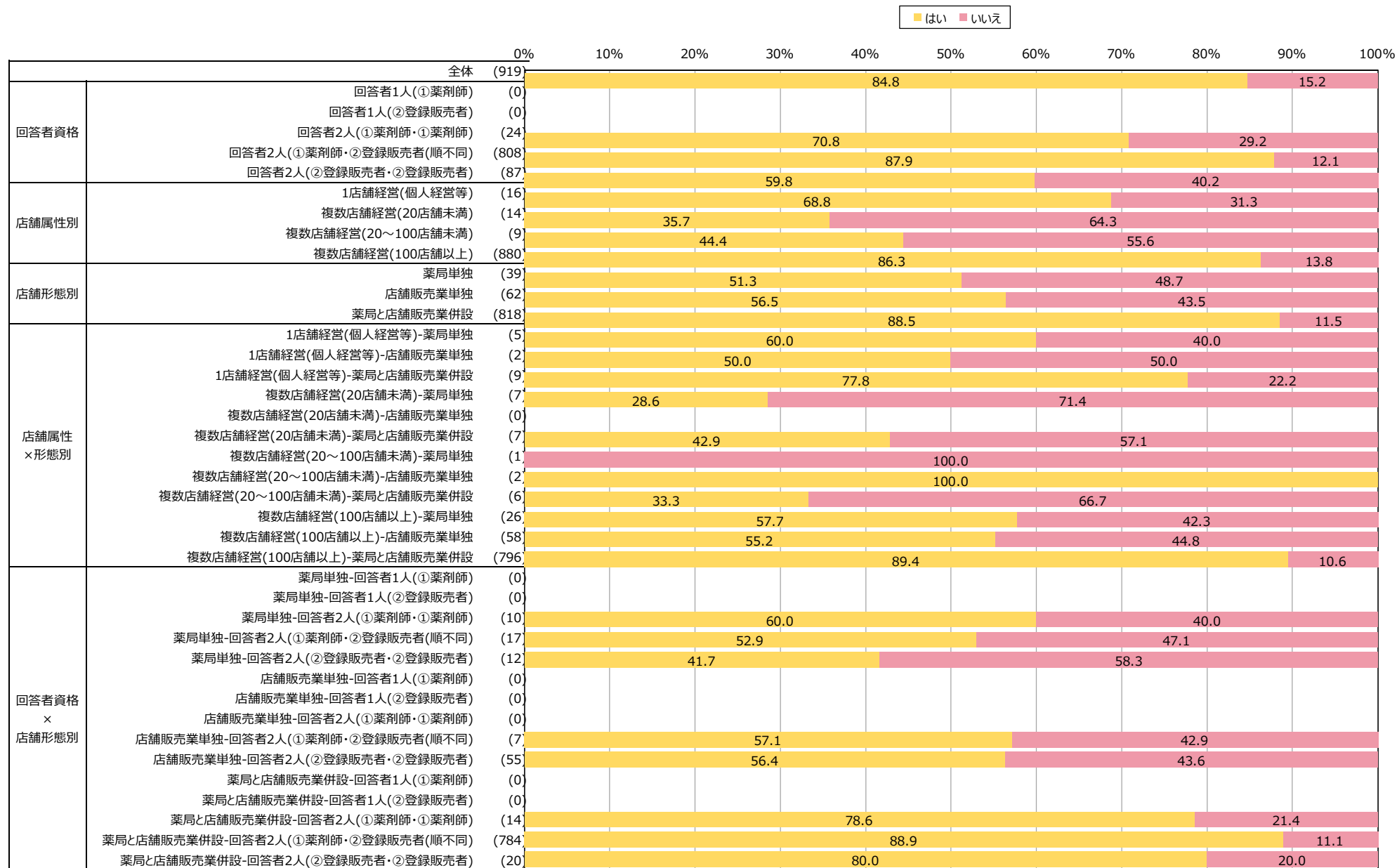
2%未満の数値ラベルは非表示

Q2.2.1	(回答者1) 回答者が従事している薬局又は店舗の管理者であれば「①はい」、そうでなければ「②いいえ」を選択してください。
--------	--



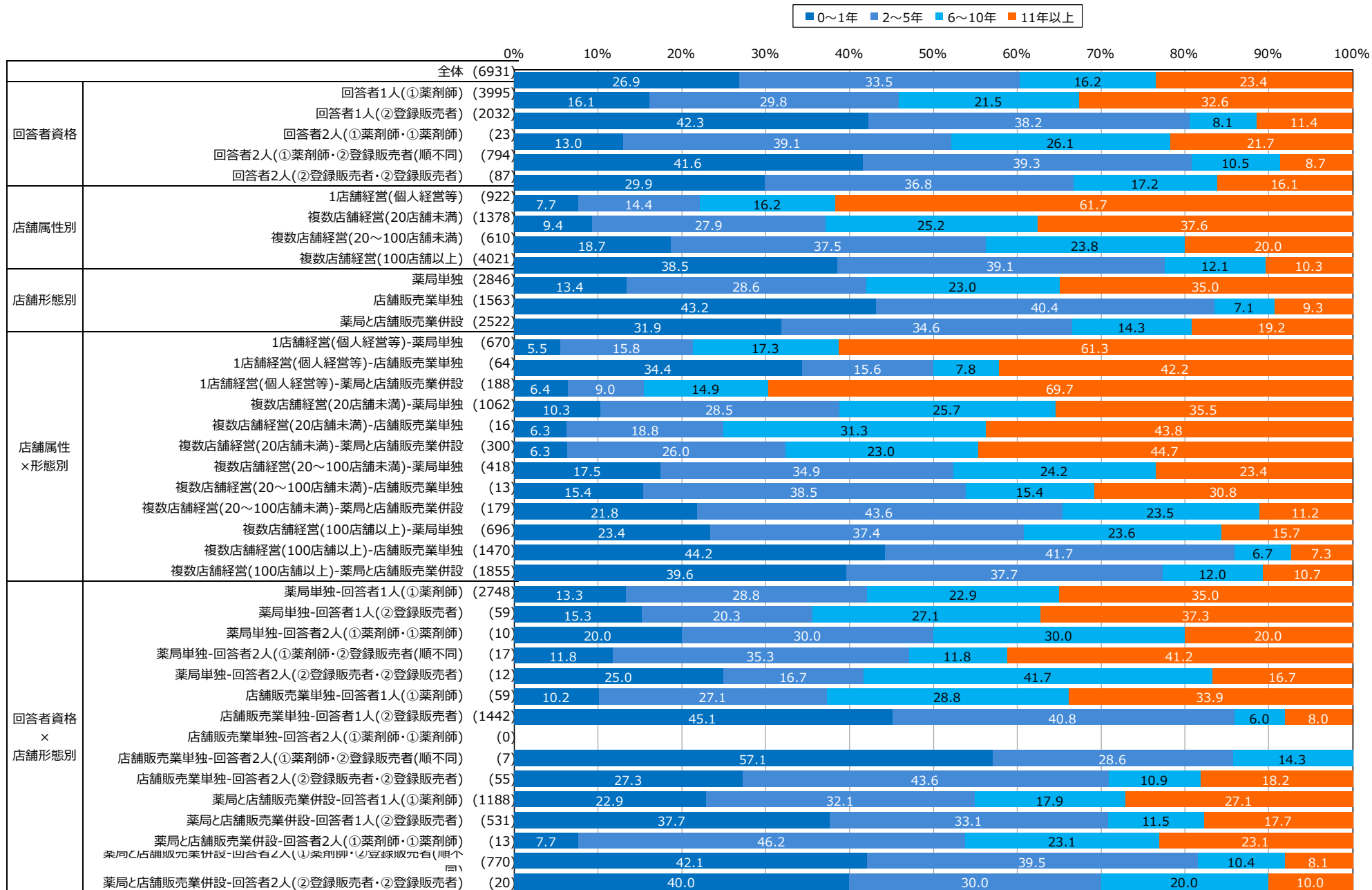
2%未満の数値ラベルは非表示

Q2.2.2 (回答者2) 回答者が従事している薬局又は店舗の管理者であれば「①はい」、そうでなければ「②いいえ」を選択してください。



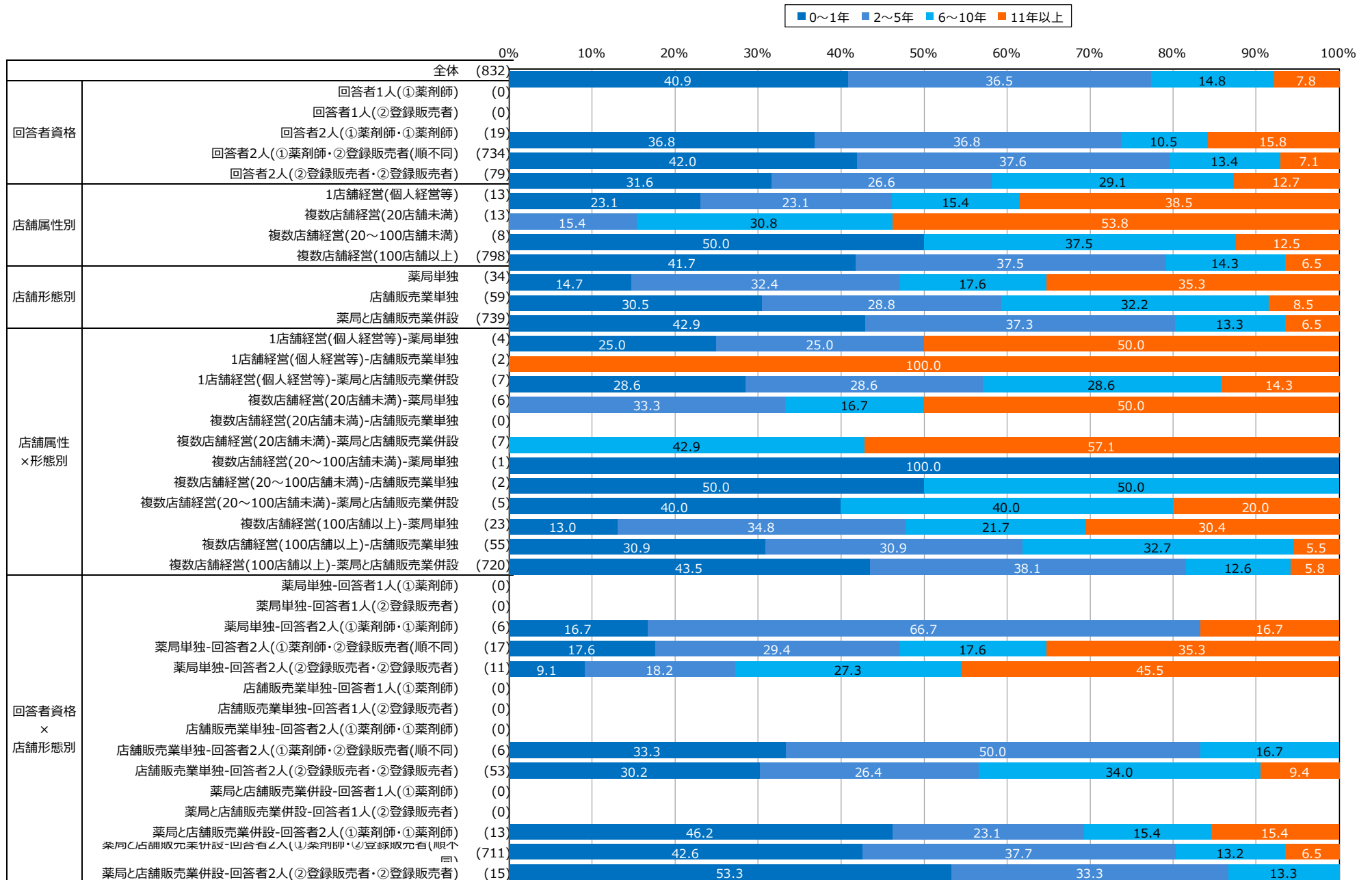
2%未満の数値ラベルは非表示

Q2.3.1 (回答者1) 回答者が従事している薬局又は店舗における勤続年数をお答えください。

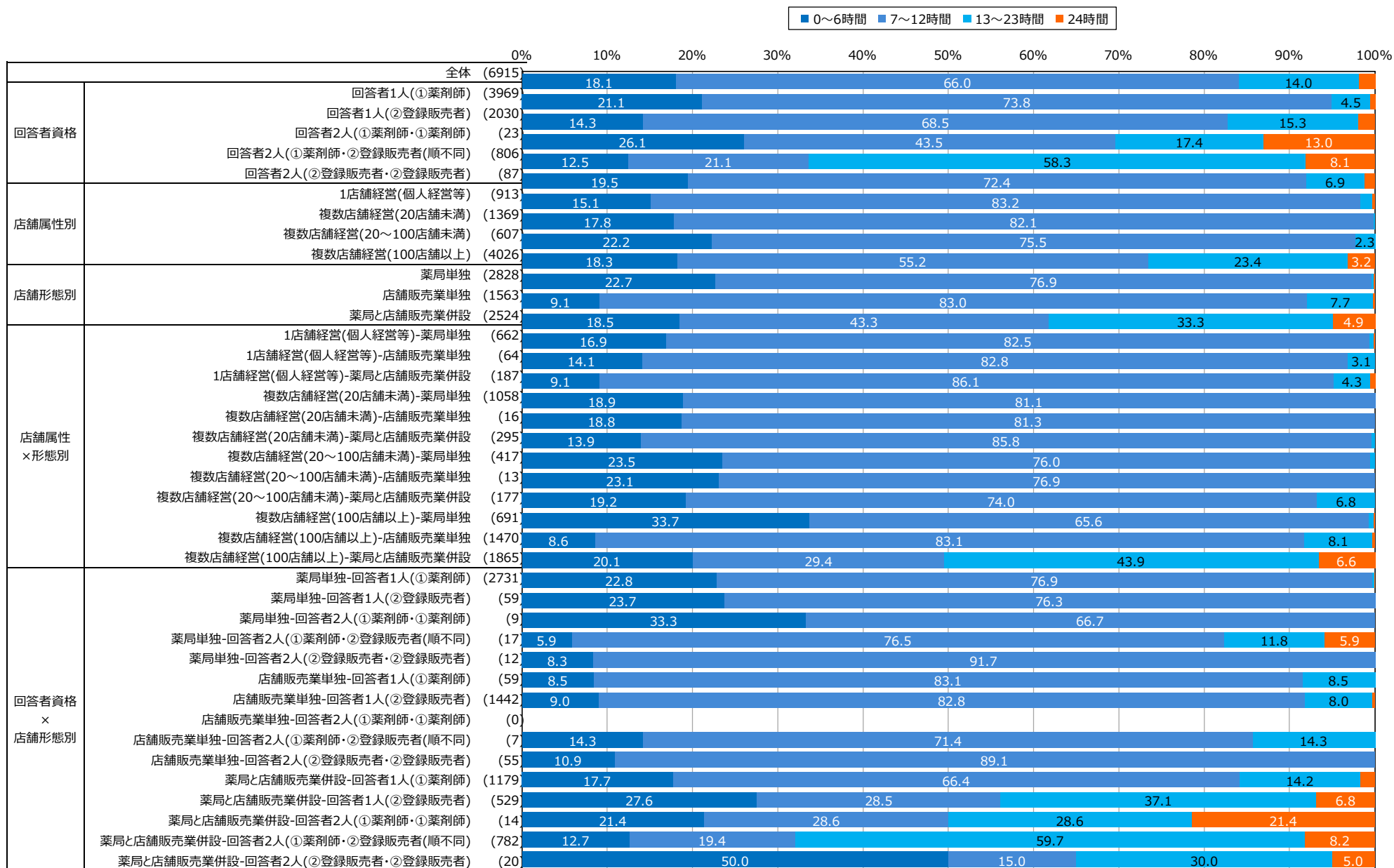


2%未満の数値ラベルは非表示

Q2.3.2 (回答者2) 回答者が従事している薬局又は店舗における勤続年数をお答えください。

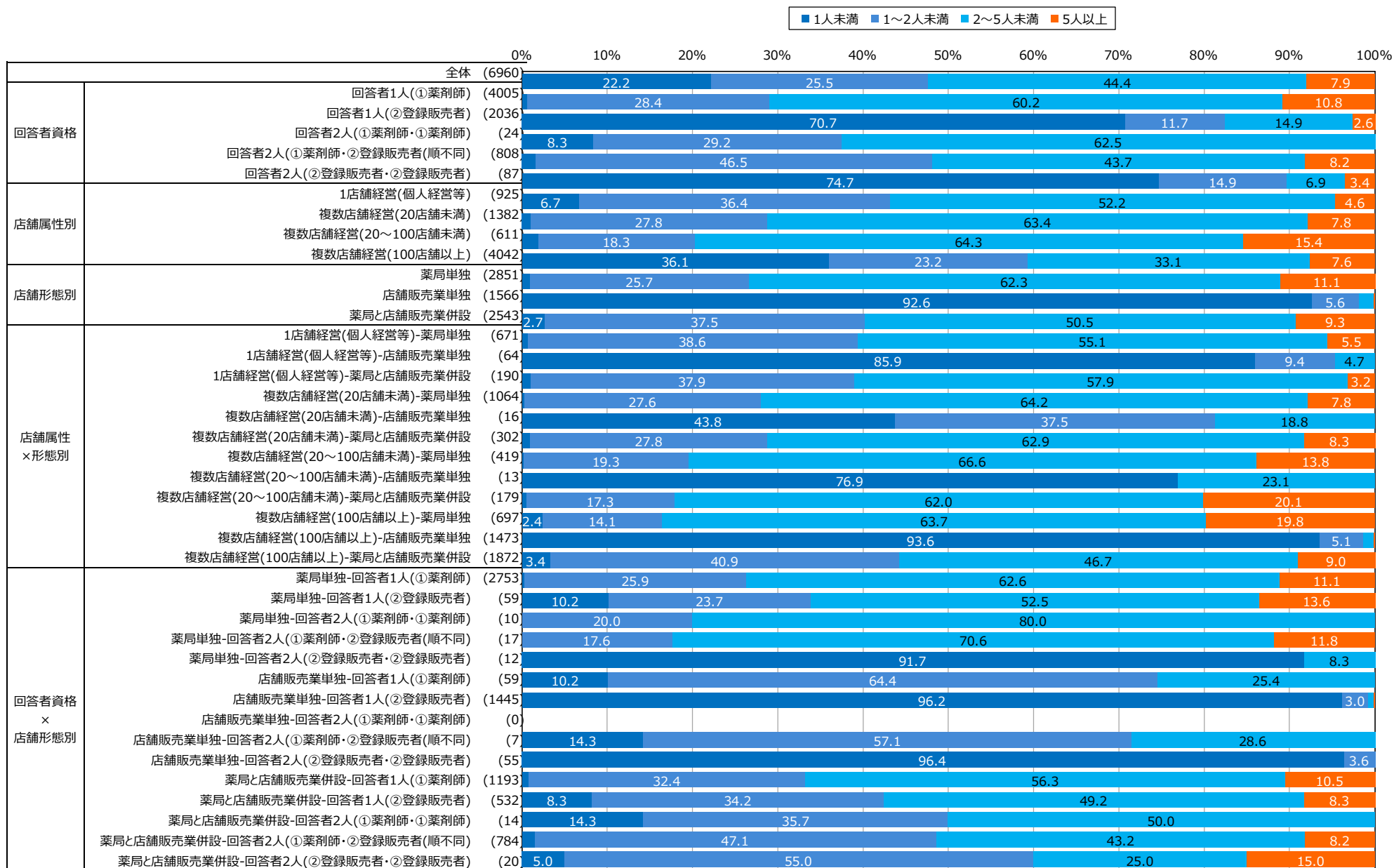


Q3	1日の医薬品の販売等を行う時間を回答してください。 日ごとに異なる場合は、平均の販売時間を回答してください。 (薬局と店舗販売業併設で販売等を行う時間が異なるには、長い時間をお答えください。)
----	--



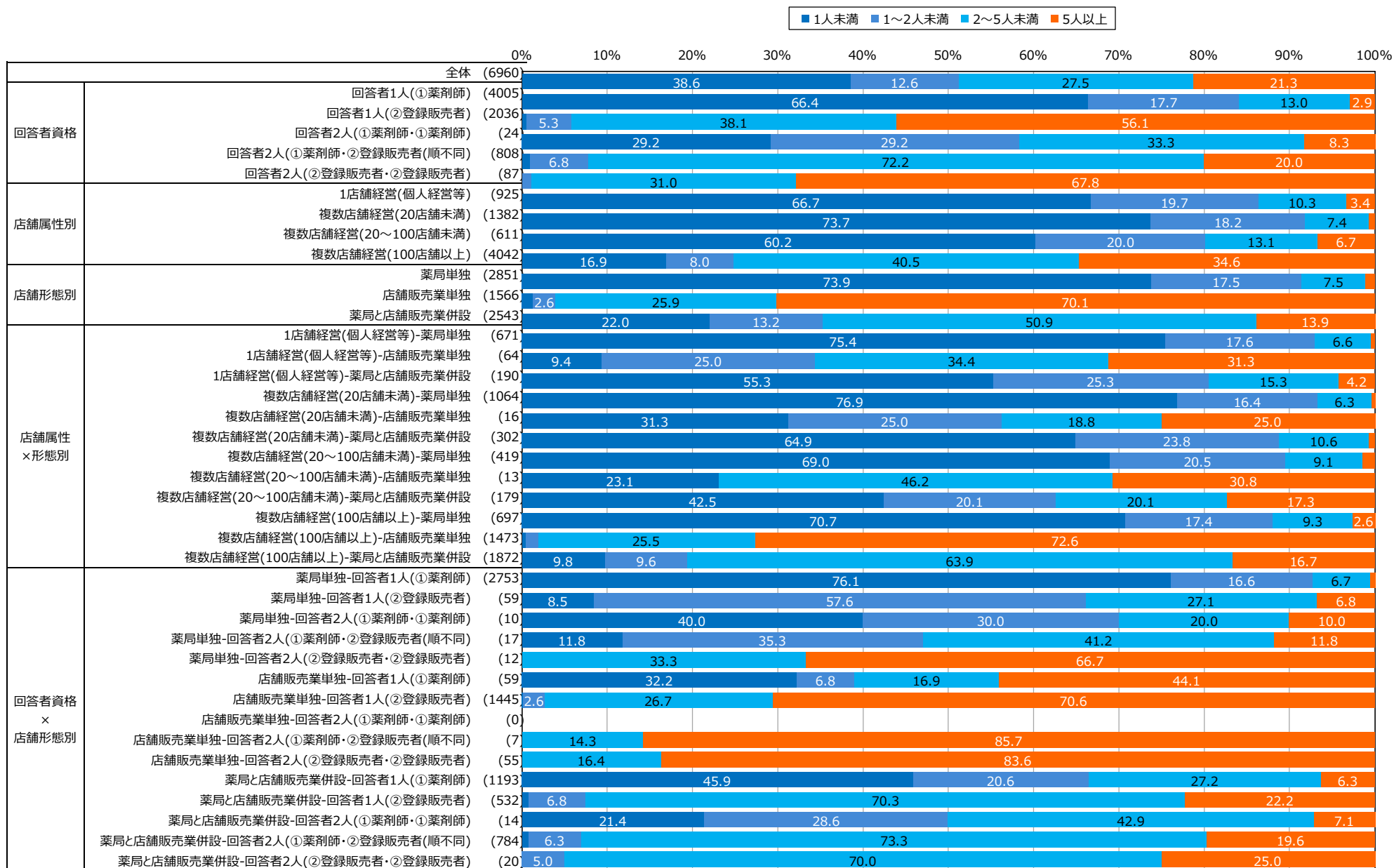
2%未満の数値ラベルは非表示

Q3.1	回答者含めて、店舗に1日当たりの常勤換算で何人資格者が従事していますか。日ごとに異なる場合は、平均の従事者数を回答してください。（小数第1位まで）（薬剤師）
------	--



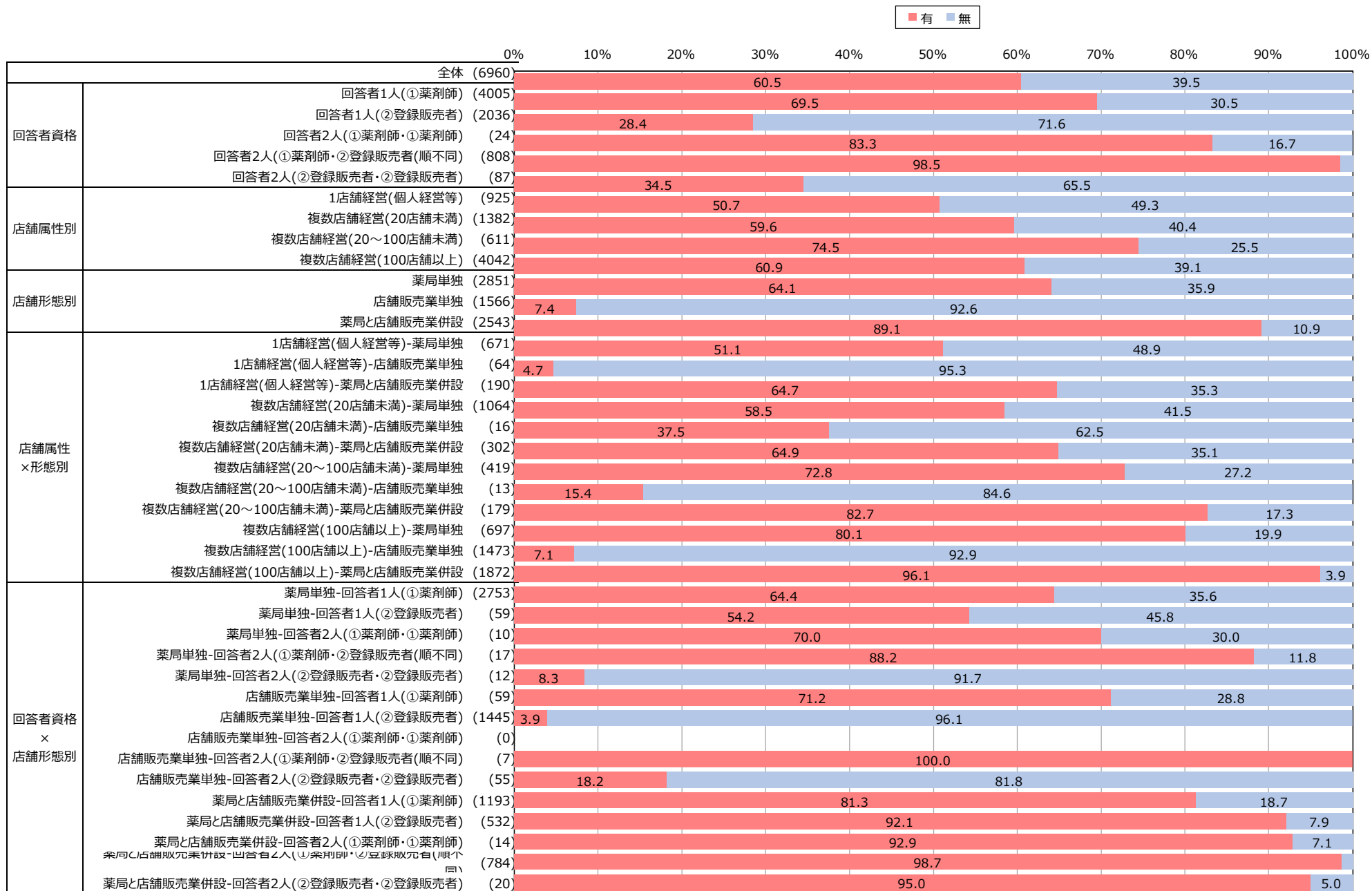
2%未満の数値ラベルは非表示

Q3.1	回答者含めて、店舗に1日当たりの常勤換算で何人資格者が従事していますか。日ごとに異なる場合は、平均の従事者数を回答してください。（小数第1位まで）（登録販売者）
------	--



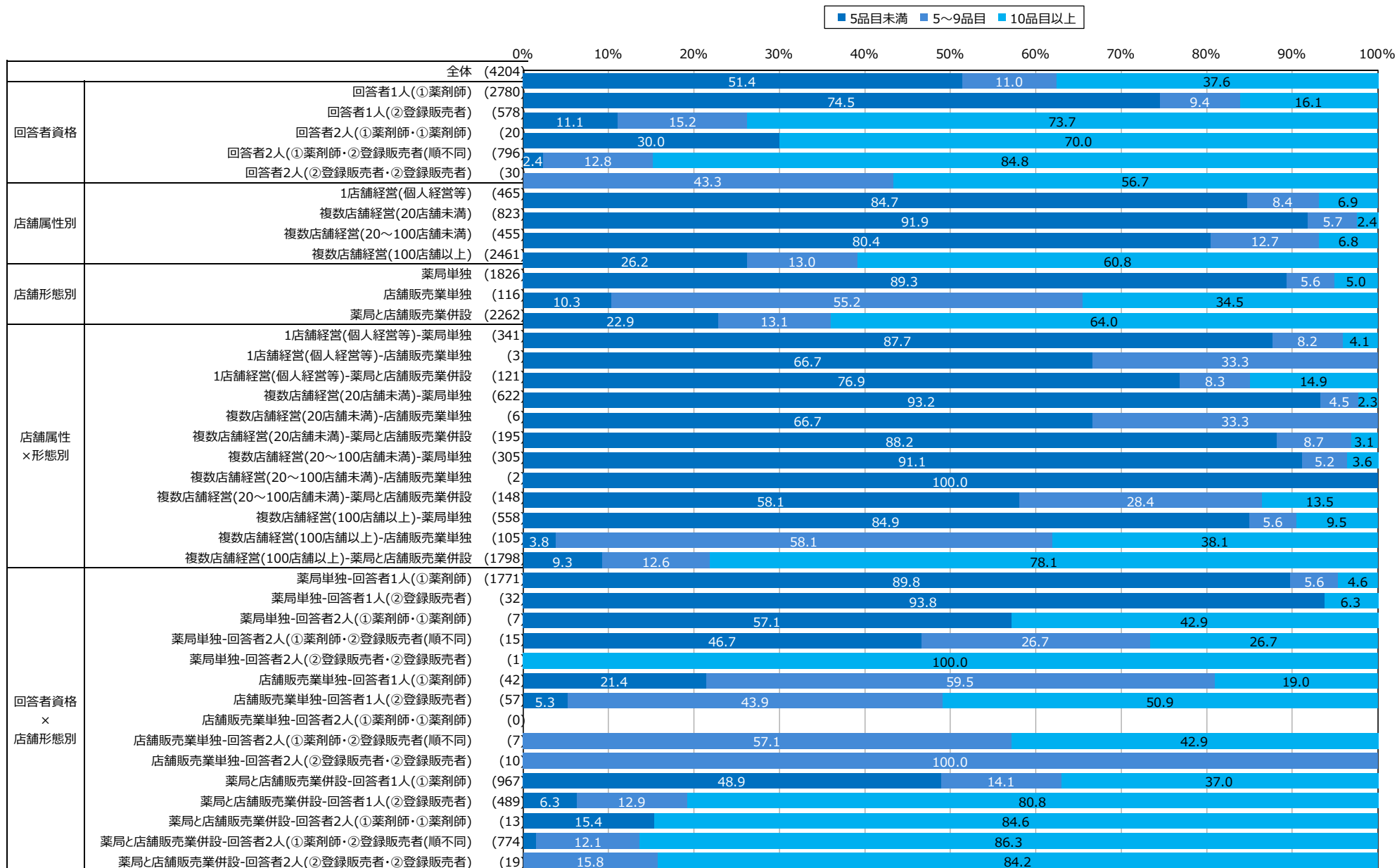
2%未満の数値ラベルは非表示

Q4	従事する店舗での、各医薬品の取扱いの有無及びおおよその取扱い品目数を回答してください。（要指導医薬品の有無）
----	--



2%未満の数値ラベルは非表示

Q4	従事する店舗での、各医薬品の取扱いの有無及びおおよその取扱い品目数を回答してください。（要指導医薬品の品目数）
----	---



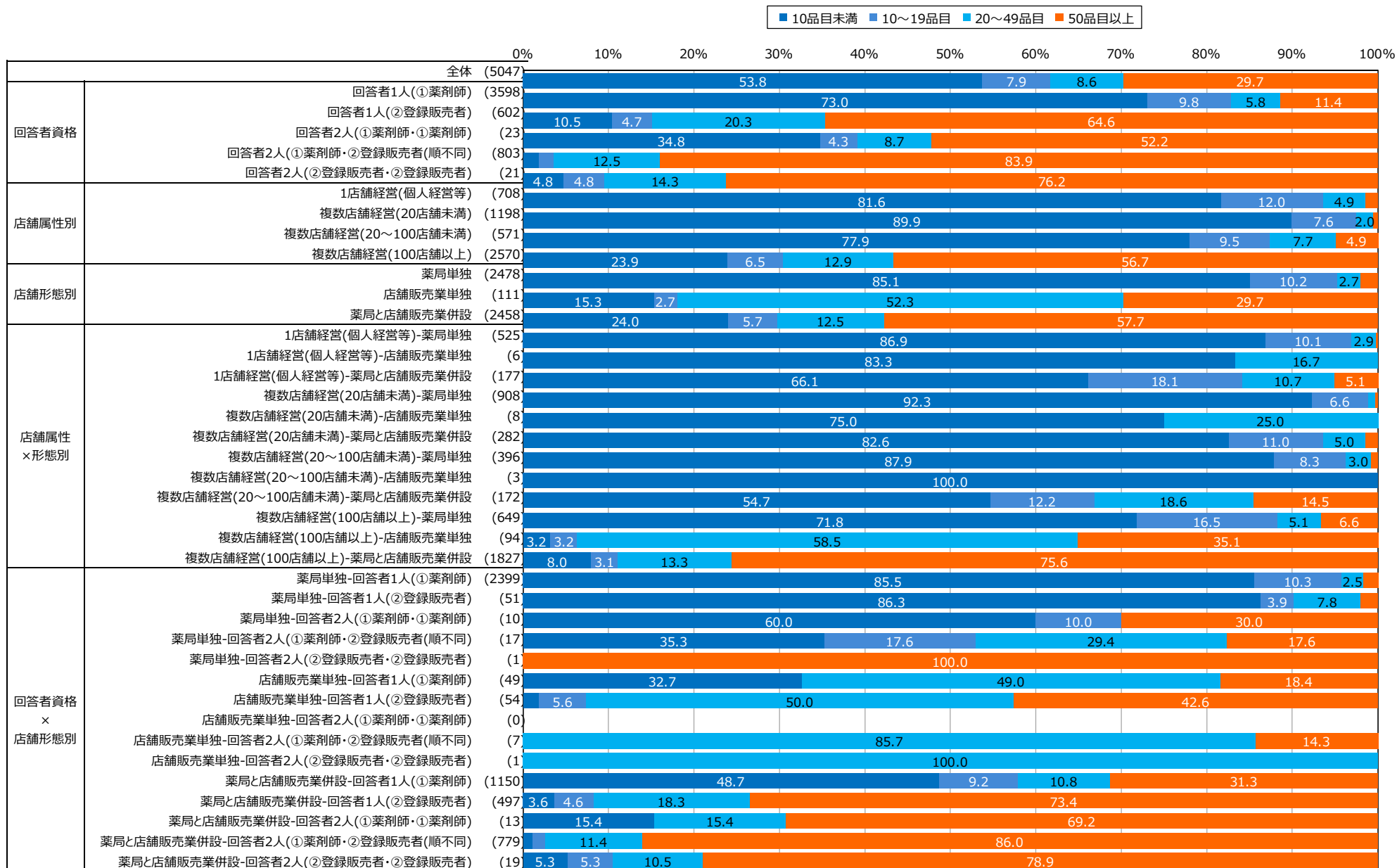
2%未満の数値ラベルは非表示

Q4	従事する店舗での、各医薬品の取扱いの有無及びおおよその取扱い品目数を回答してください。（第1類医薬品の有無）
----	--



2%未満の数値ラベルは非表示

Q4	従事する店舗での、各医薬品の取扱いの有無及びおおよその取扱い品目数を回答してください。（第1類医薬品の品目数）
----	---



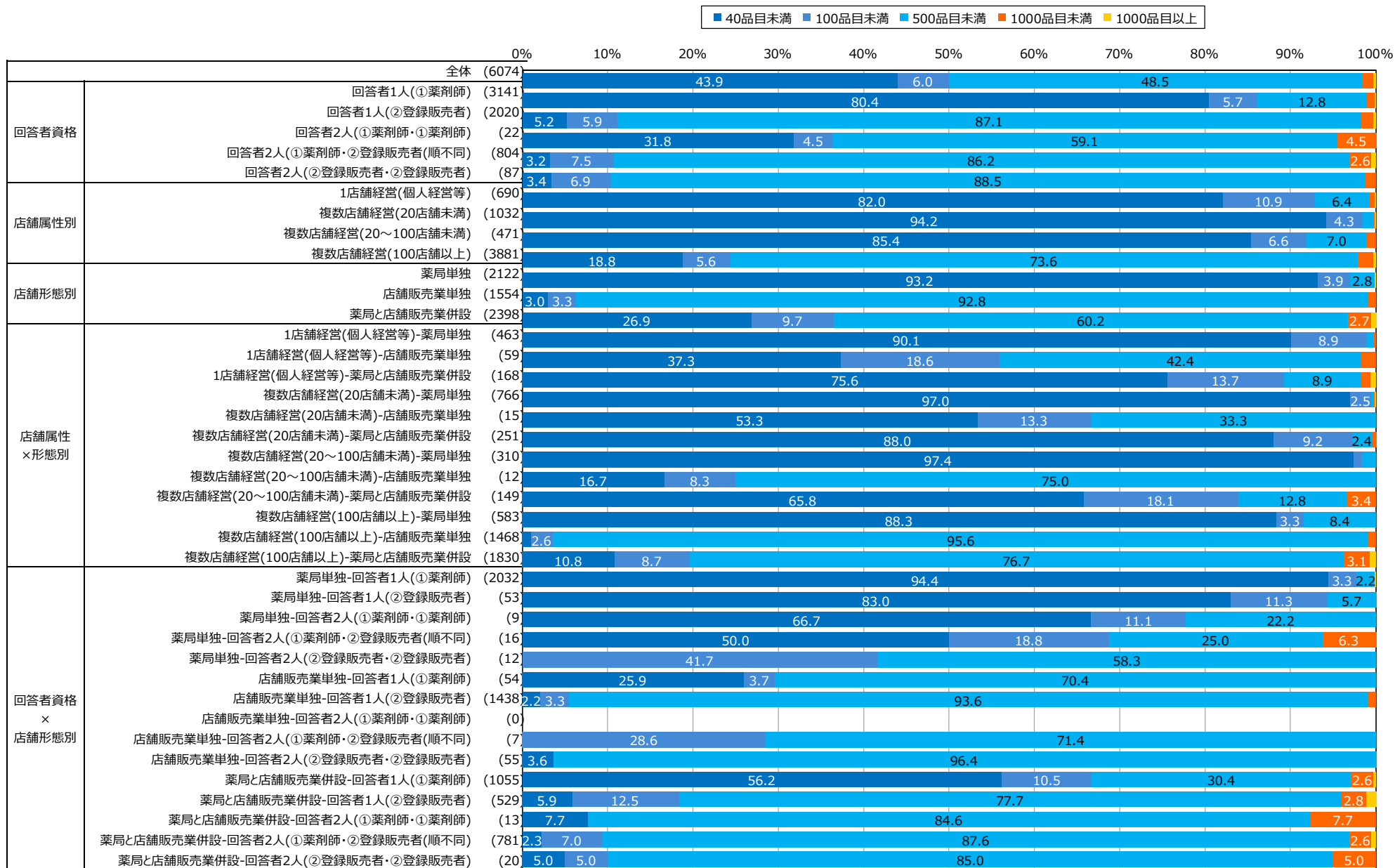
2%未満の数値ラベルは非表示

Q4	従事する店舗での、各医薬品の取扱いの有無及びおおよその取扱い品目数を回答してください。（指定第2類医薬品の有無）
----	--



2%未満の数値ラベルは非表示

Q4	従事する店舗での、各医薬品の取扱いの有無及びおおよその取扱い品目数を回答してください。（指定第2類医薬品の品目数）
----	---



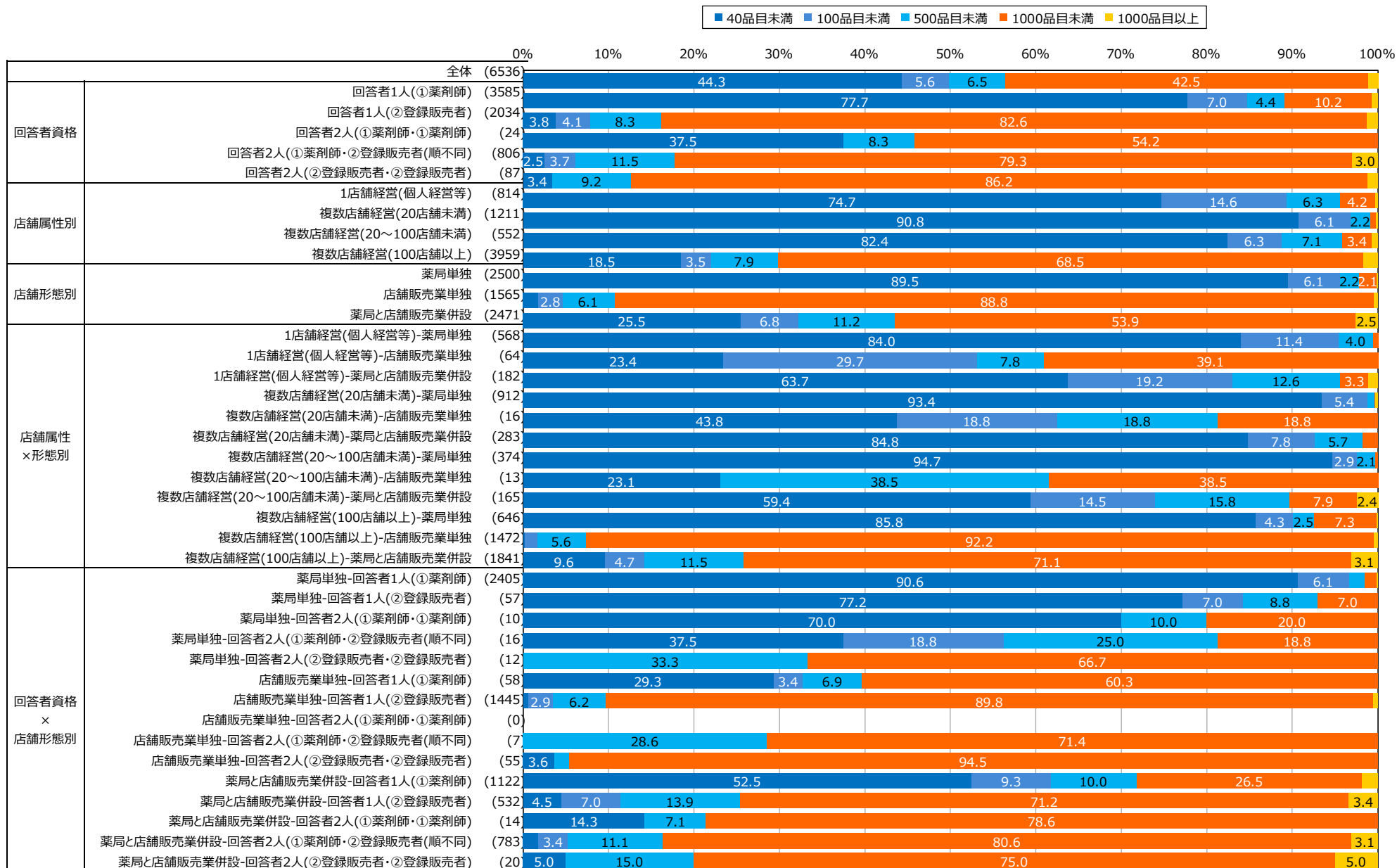
2%未満の数値ラベルは非表示

Q4	従事する店舗での、各医薬品の取扱いの有無及びおおよその取扱い品目数を回答してください。（第2類医薬品の有無）
----	--



2%未満の数値ラベルは非表示

Q4	従事する店舗での、各医薬品の取扱いの有無及びおおよその取扱い品目数を回答してください。（第2類医薬品の品目数）
----	---



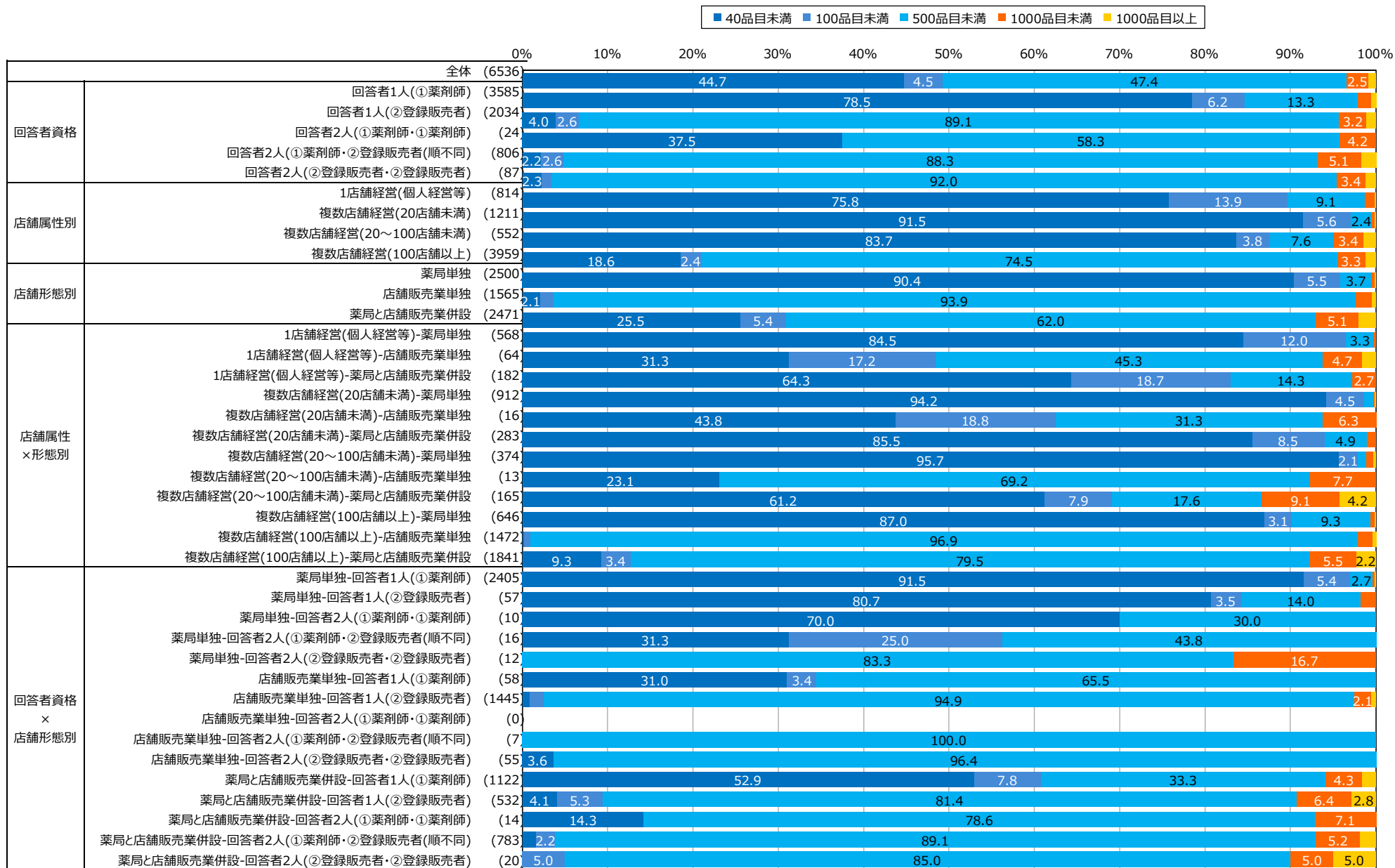
2%未満の数値ラベルは非表示

Q4	従事する店舗での、各医薬品の取扱いの有無及びおおよその取扱い品目数を回答してください。（第3類医薬品の有無）
----	--



2%未満の数値ラベルは非表示

Q4	従事する店舗での、各医薬品の取扱いの有無及びおおよその取扱い品目数を回答してください。（第3類医薬品の品目数）
----	---



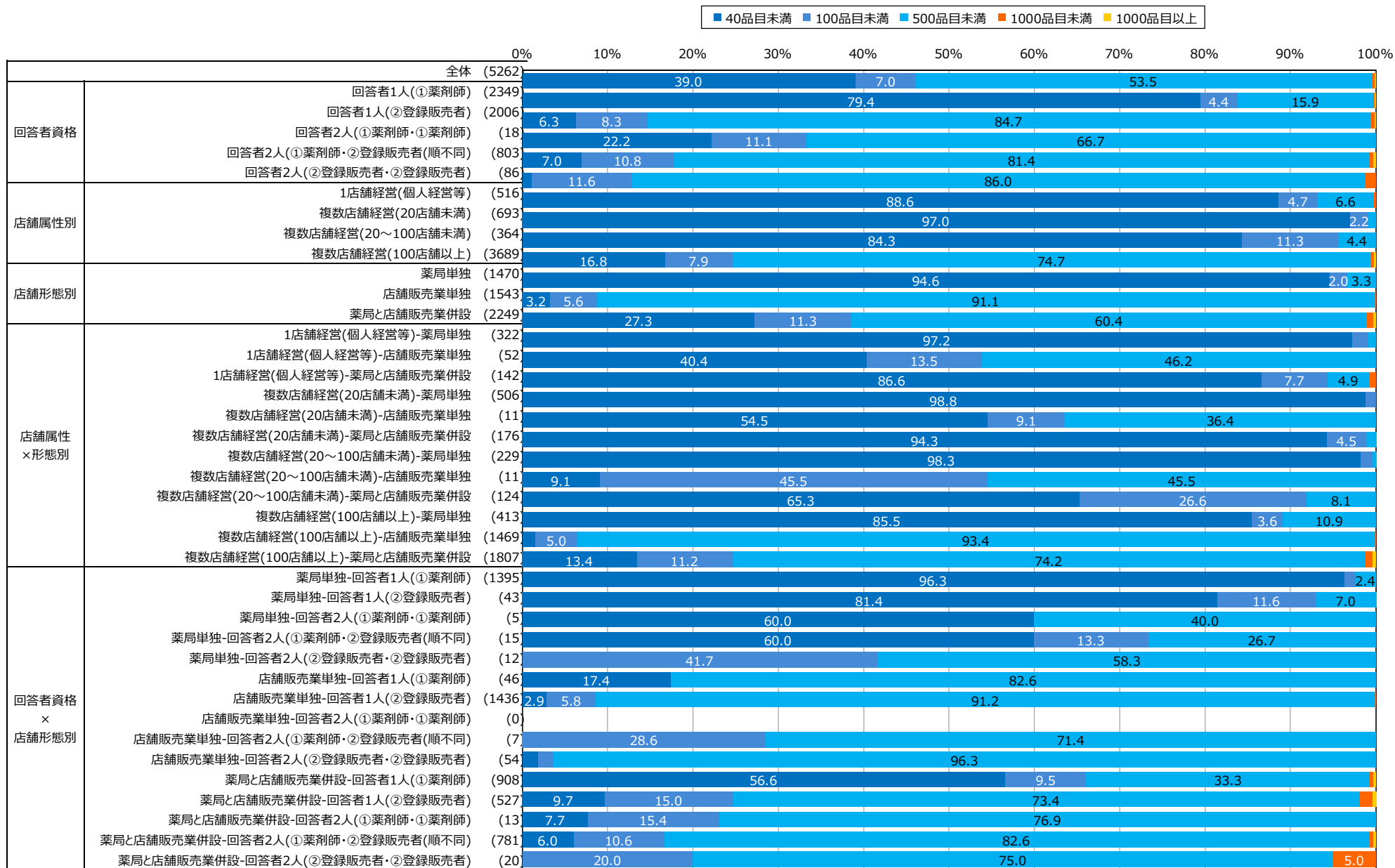
2%未満の数値ラベルは非表示

Q4	従事する店舗での、各医薬品の取扱いの有無及びおおよその取扱い品目数を回答してください。（濫用等のおそれのある医薬品の有無）
----	---



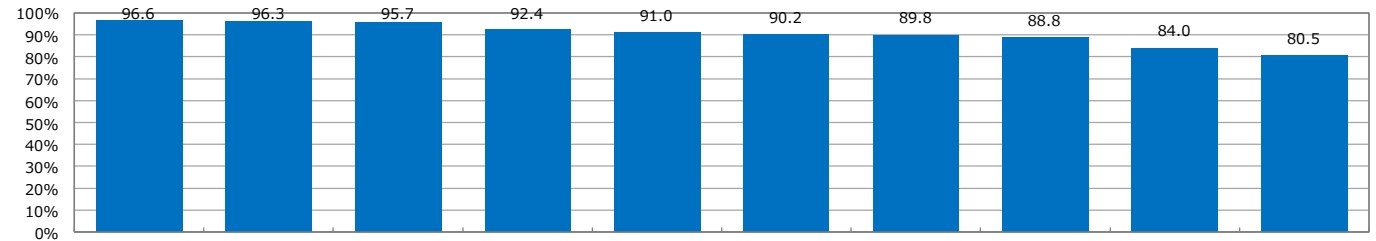
2%未満の数値ラベルは非表示

Q4	従事する店舗での、各医薬品の取扱いの有無及びおおよその取扱い品目数を回答してください。（濫用等のおそれのある医薬品の品目数）
----	--



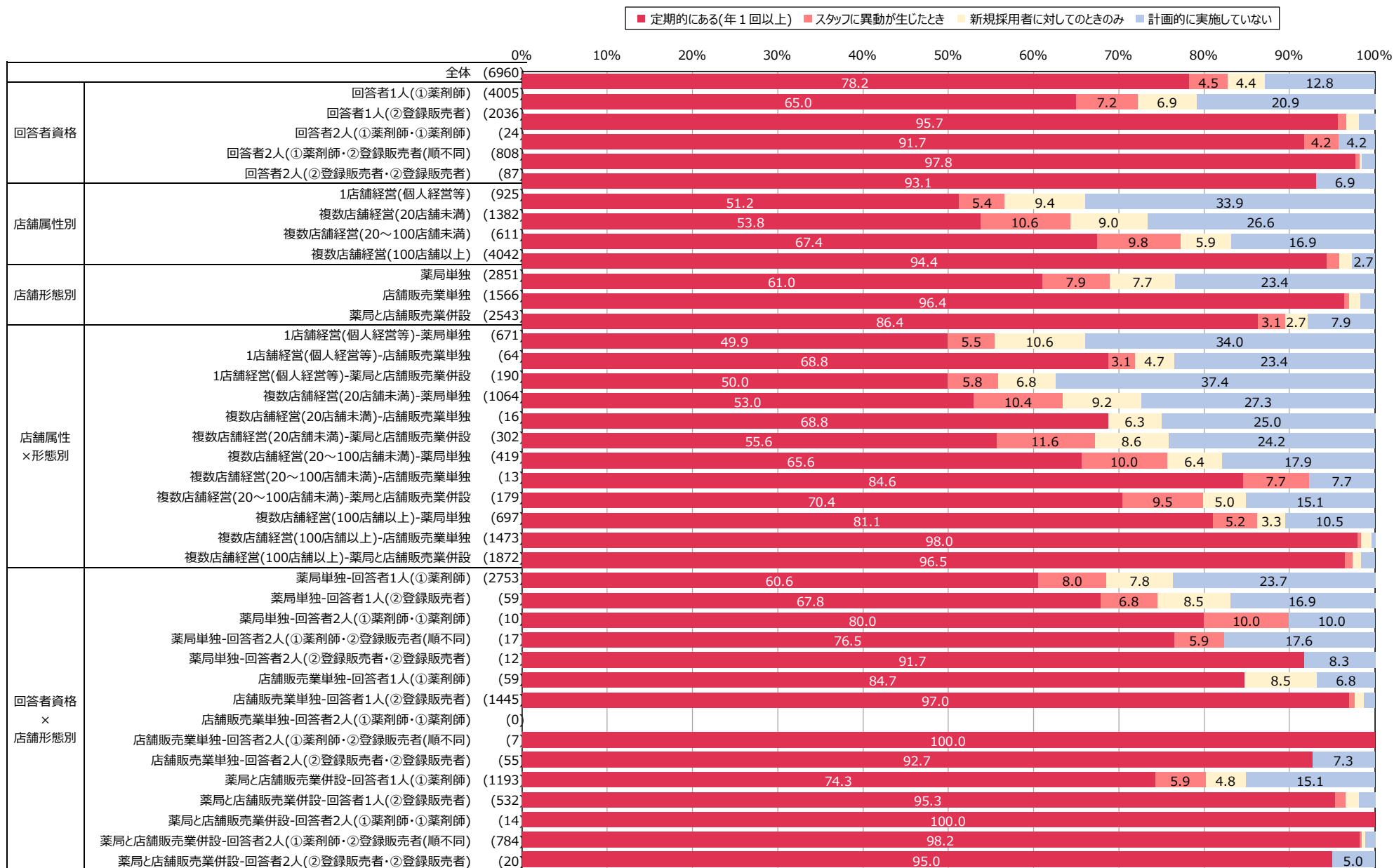
2%未満の数値ラベルは非表示

Q5	医薬品販売に関する手順等について、従事する店舗に整備されている業務手順書に記載されている事項を全て選択してください。（複数回答可）
----	---



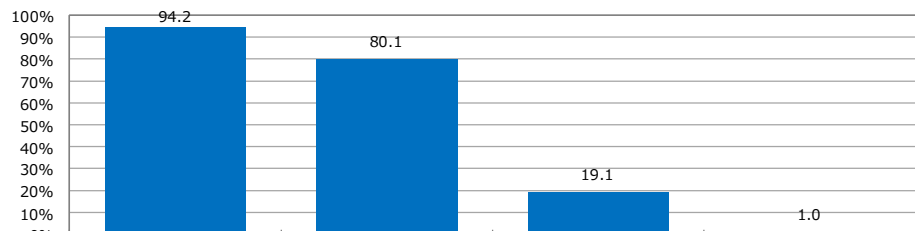
		n	陳列及び保管管理	情報の提供	販売時の対応	情報提供する場所 (情報提供場所)	医薬品の購入	医薬品情報等の収集と活用	販売後の対応	従事者に対する教育・研修	医薬品の採用	手順書の見直しについて
全体		6960	96.6	96.3	95.7	92.4	91.0	90.2	89.8	88.8	84.0	80.5
回答者資格	回答者1人(①薬剤師)	4005	94.9	94.1	93.3	88.3	87.8	85.2	84.8	82.6	80.0	72.7
	回答者1人(②登録販売者)	2036	99.1	99.2	99.1	97.7	95.4	96.8	96.3	96.9	89.3	90.8
	回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	24	100.0	100.0	100.0	95.8	95.8	100.0	95.8	100.0	91.7	100.0
	回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	808	98.9	99.3	99.0	98.3	96.5	97.6	97.6	98.0	92.9	93.9
	回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	87	98.9	98.9	98.9	98.9	78.2	92.0	97.7	92.0	56.3	67.8
店舗属性別	1店舗経営(個人経営等)	925	94.5	93.1	90.6	86.1	84.5	84.0	78.4	78.9	78.2	67.2
	複数店舗経営(20店舗未満)	1382	92.0	91.5	90.7	83.6	84.2	80.9	80.5	78.0	76.9	65.5
	複数店舗経営(20～100店舗未満)	611	95.4	94.4	94.6	88.1	87.4	85.1	87.7	83.1	77.9	75.6
	複数店舗経営(100店舗以上)	4042	98.9	98.9	98.8	97.5	95.3	95.6	96.0	95.5	88.6	89.4
店舗形態別	薬局単独	2851	94.0	92.8	92.7	86.5	86.4	83.3	83.0	80.9	78.8	70.0
	店舗販売業単独	1566	99.6	99.6	99.6	98.6	95.5	97.7	97.6	97.8	88.1	91.6
	薬局と店舗販売業併設	2543	97.8	98.1	96.8	95.1	93.4	93.3	92.8	91.9	87.1	85.5
店舗属性×形態別	1店舗経営(個人経営等)-薬局単独	671	93.7	91.8	90.3	85.5	84.2	82.9	78.1	79.3	78.8	65.6
	1店舗経営(個人経営等)-店舗販売業単独	64	98.4	96.9	95.3	93.8	87.5	89.1	82.8	79.7	71.9	78.1
	1店舗経営(個人経営等)-薬局と店舗販売業併設	190	95.8	96.3	90.0	85.3	84.7	86.3	77.9	77.4	77.9	69.5
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局単独	1064	91.8	90.9	90.6	82.9	83.9	79.9	79.9	77.6	76.5	64.9
	複数店舗経営(20店舗未満)-店舗販売業単独	16	100.0	100.0	93.8	100.0	100.0	87.5	87.5	93.8	100.0	62.5
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	302	92.4	93.4	90.7	85.1	84.4	84.1	82.1	78.5	77.2	67.5
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-薬局単独	419	95.7	94.5	95.0	87.6	86.6	84.7	86.2	82.3	77.6	74.9
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-店舗販売業単独	13	100.0	100.0	100.0	84.6	69.2	84.6	100.0	92.3	61.5	69.2
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	179	94.4	93.9	93.3	89.4	90.5	86.0	90.5	84.4	79.9	77.7
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局単独	697	96.7	95.8	96.7	92.1	92.1	88.1	90.5	86.7	83.2	79.2
	複数店舗経営(100店舗以上)-店舗販売業単独	1473	99.6	99.7	99.8	98.9	96.0	98.3	98.3	98.7	88.9	92.7
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局と店舗販売業併設	1872	99.1	99.4	98.8	98.3	95.9	96.2	96.2	96.3	90.4	90.7
回答者資格×店舗形態別	薬局単独-回答者1人(①薬剤師)	2753	94.0	92.8	92.6	86.6	86.5	83.3	82.9	80.9	79.0	70.2
	薬局単独-回答者1人(②登録販売者)	59	93.2	91.5	93.2	76.3	83.1	79.7	79.7	74.6	78.0	61.0
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	10	100.0	100.0	100.0	90.0	90.0	100.0	90.0	100.0	90.0	100.0
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	17	100.0	100.0	94.1	88.2	94.1	94.1	94.1	94.1	82.4	76.5
	薬局単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	12	100.0	100.0	100.0	100.0	58.3	75.0	100.0	75.0	25.0	50.0
	店舗販売業単独-回答者1人(①薬剤師)	59	100.0	100.0	98.3	96.6	91.5	94.9	96.6	96.6	81.4	88.1
	店舗販売業単独-回答者1人(②登録販売者)	1445	99.6	99.7	99.6	98.7	96.4	98.1	97.7	98.1	89.9	92.9
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	7	85.7	85.7	100.0	85.7	71.4	71.4	71.4	85.7	71.4	71.4
	店舗販売業単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	55	100.0	100.0	100.0	100.0	78.2	92.7	98.2	94.5	50.9	61.8
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(①薬剤師)	1193	96.6	97.0	94.6	91.8	90.7	89.3	88.5	85.8	82.1	77.9
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(②登録販売者)	532	98.5	98.7	98.5	97.4	94.2	95.1	94.4	96.1	89.1	88.3
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	14	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	92.9	100.0
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	784	99.0	99.4	99.1	98.6	96.8	98.0	98.0	98.2	93.4	94.5
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	20	95.0	95.0	95.0	95.0	90.0	100.0	95.0	95.0	90.0	95.0

Q6	店舗での業務に関する内部研修について（省令に定める外部研修（継続的、追加的研修）を除く。）、従事する店舗での実施状況にもっとも近いものを選択してください。
----	---



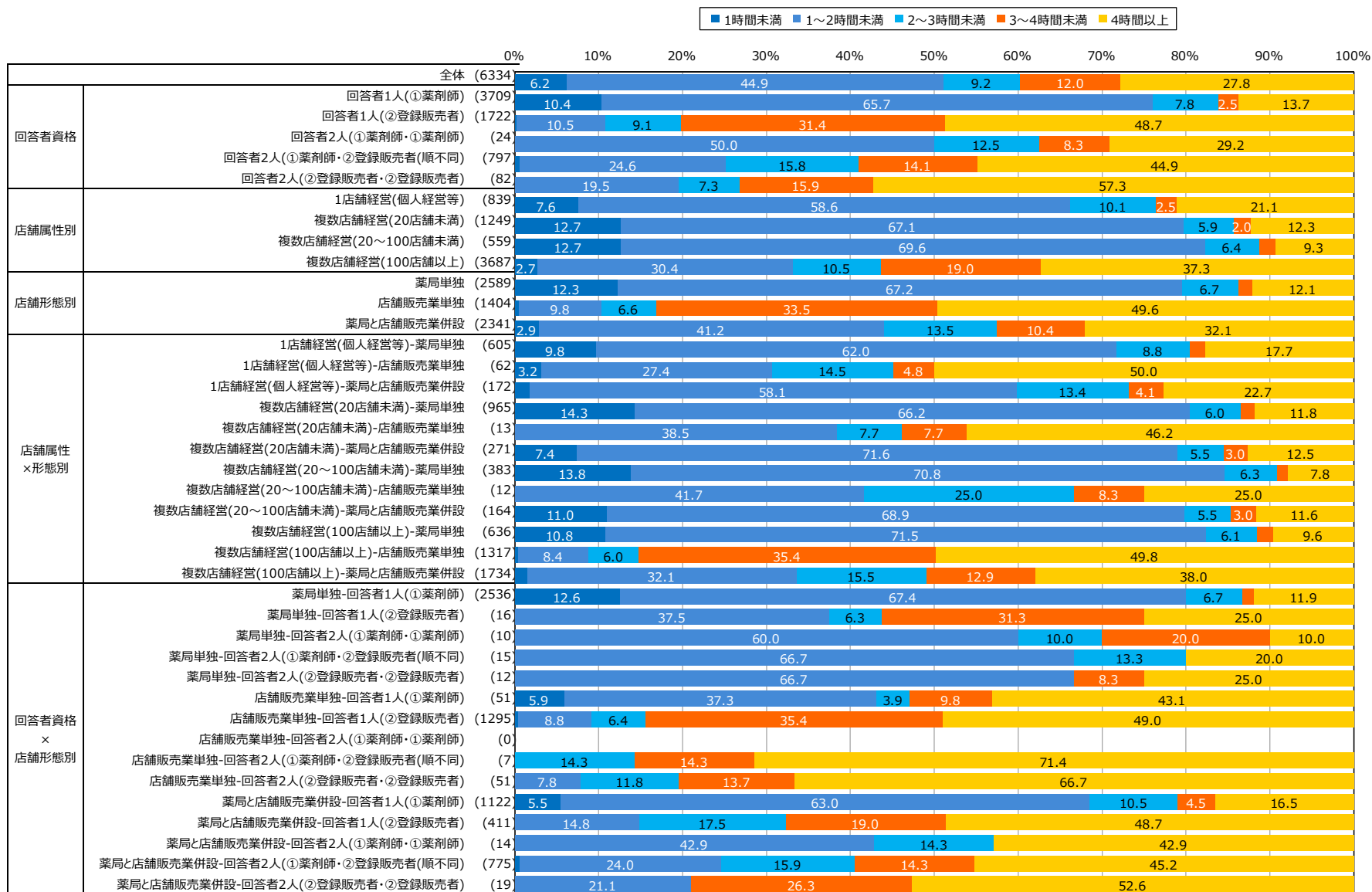
2%未満の数値ラベルは非表示

Q7 ※Q7は回答者が2名の場合、どちらかが代表してお答えください。
回答者が管理者の場合（Q2.2で「①はい」に回答した方）に回答してください。
管理者として要指導医薬品及び一般用医薬品の販売に関して実施している業務をお答えください。（複数回答可）



		n	医薬品の管理(医薬品の発注、納品・検収、在庫管理、出庫・陳列、帳簿作成など)	従業員の管理(業務管理、研修など)	デジタルツールの導入・運用	その他
全体		6342	94.2	80.1	19.1	1.0
回答者資格	回答者1人(①薬剤師)	3715	92.4	69.7	15.8	1.5
	回答者1人(②登録販売者)	1723	97.1	95.2	19.3	0.4
	回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	24	91.7	79.2	29.2	-
	回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	798	97.6	94.1	34.5	-
	回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	82	84.1	92.7	15.9	-
店舗属性別	1店舗経営(個人経営等)	840	93.9	58.3	20.1	2.4
	複数店舗経営(20店舗未満)	1251	92.2	63.6	15.4	1.5
	複数店舗経営(20～100店舗未満)	559	89.3	74.8	12.2	0.9
	複数店舗経営(100店舗以上)	3692	95.7	91.4	21.2	0.5
店舗形態別	薬局単独	2594	91.3	66.8	14.4	1.7
	店舗販売業単独	1404	96.4	95.2	15.5	0.6
	薬局と店舗販売業併設	2344	96.1	85.6	26.6	0.3
店舗属性×形態別	1店舗経営(個人経営等)-薬局単独	606	93.2	58.6	18.6	2.6
	1店舗経営(個人経営等)-店舗販売業単独	62	95.2	67.7	43.5	3.2
	1店舗経営(個人経営等)-薬局と店舗販売業併設	172	95.9	54.1	16.9	1.2
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局単独	967	91.8	62.5	13.8	1.8
	複数店舗経営(20店舗未満)-店舗販売業単独	13	100.0	76.9	15.4	-
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	271	93.0	67.2	21.4	0.7
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-薬局単独	383	89.8	73.9	11.5	0.8
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-店舗販売業単独	12	83.3	75.0	8.3	-
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	164	88.4	76.8	14.0	1.2
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局単独	638	89.5	77.1	13.0	1.4
	複数店舗経営(100店舗以上)-店舗販売業単独	1317	96.5	96.9	14.3	0.5
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局と店舗販売業併設	1737	97.4	92.4	29.5	0.1
回答者資格×店舗形態別	薬局単独-回答者1人(①薬剤師)	2541	91.4	66.5	14.3	1.8
	薬局単独-回答者1人(②登録販売者)	16	87.5	75.0	12.5	-
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	10	80.0	70.0	30.0	-
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	15	86.7	80.0	20.0	-
	薬局単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	12	91.7	100.0	16.7	-
	店舗販売業単独-回答者1人(①薬剤師)	51	98.0	76.5	7.8	3.9
	店舗販売業単独-回答者1人(②登録販売者)	1295	97.1	96.1	16.1	0.5
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	7	100.0	71.4	14.3	-
	店舗販売業単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	51	76.5	94.1	7.8	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(①薬剤師)	1123	94.3	76.7	19.5	0.6
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(②登録販売者)	412	97.6	93.0	29.6	0.2
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	14	100.0	85.7	28.6	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	776	97.8	94.6	34.9	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	19	100.0	84.2	36.8	-

Q7 ※Q7は回答者が2名の場合、どちらかが代表してお答えください。
回答者が管理者の場合（Q2.2で「①はい」に回答した方）に回答してください。
管理者として要指導医薬品及び一般用医薬品の販売に関して実施している業務をお答えください。（複数回答可）



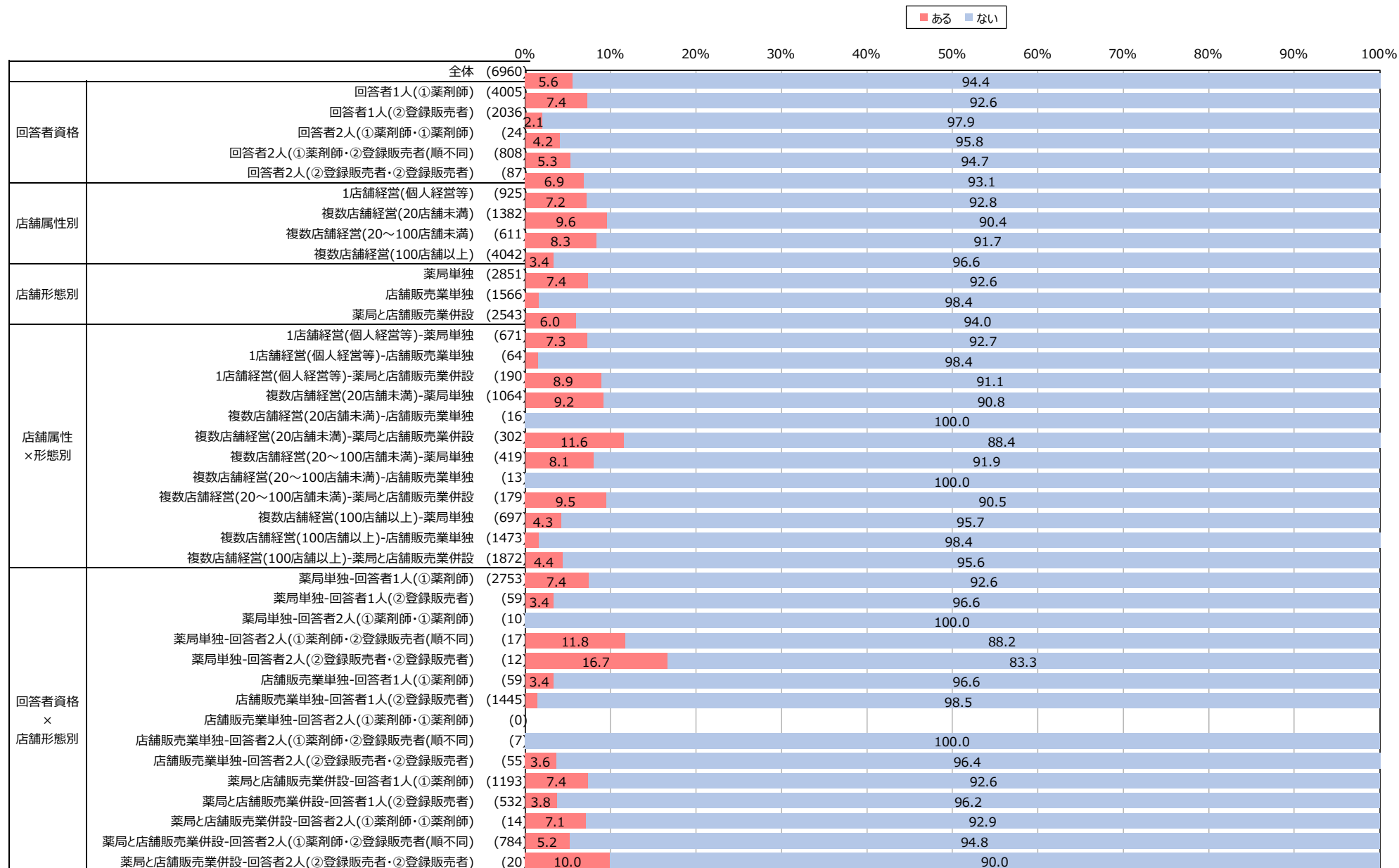
2%未満の数値ラベルは非表示

Q8	従事している店舗で、直近1か月において、医薬品の販売前に利用者から収集した情報に応じて、現在のOTCの使用を中止させた、医療機関への受診を勧めた又は生活指導を行った事例はありますか。
----	---



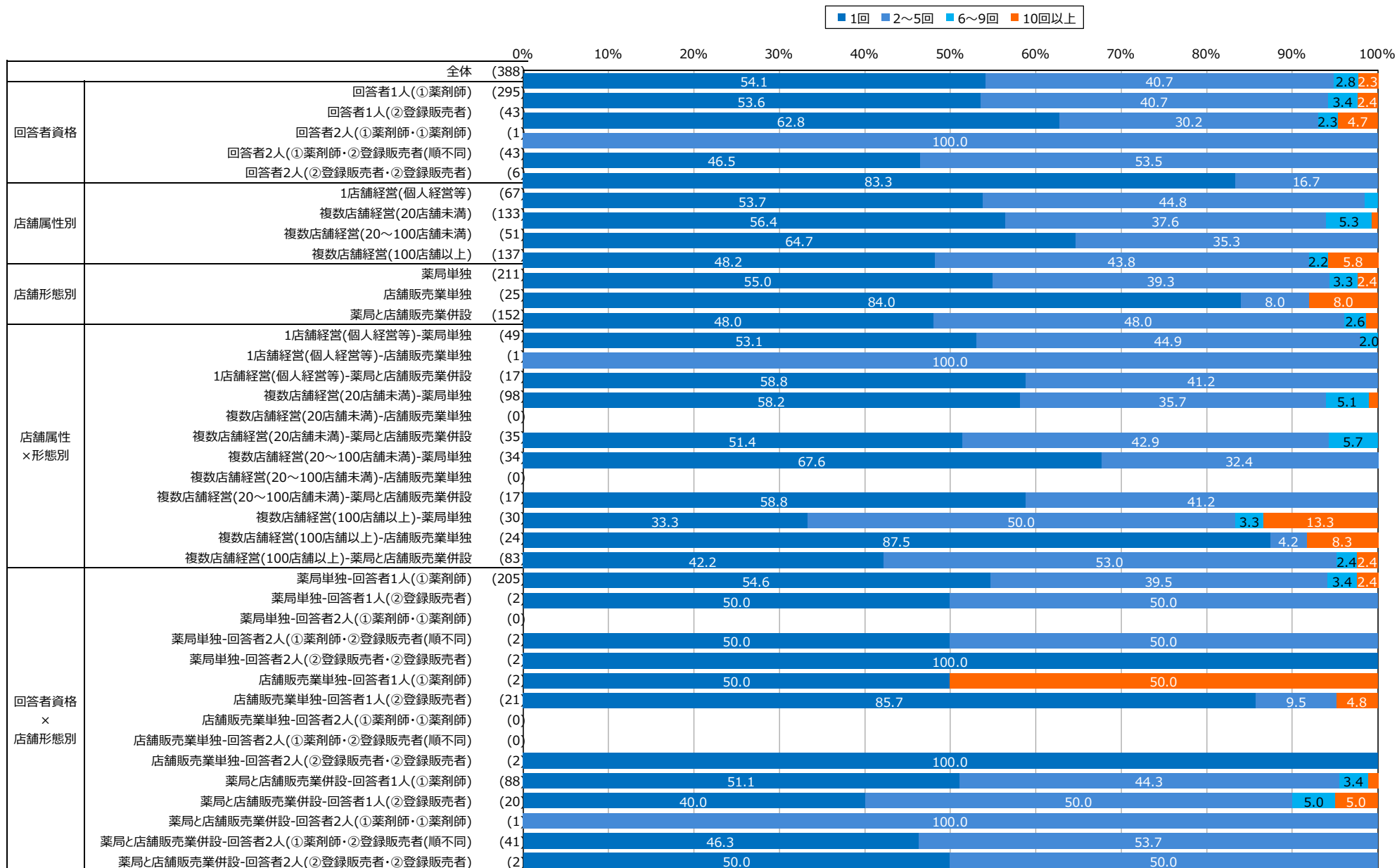
2%未満の数値ラベルは非表示

Q11	従事している店舗で、過去1年以内にPMDAへ医薬品副作用報告を行ったことがありますか。(有無)
-----	---



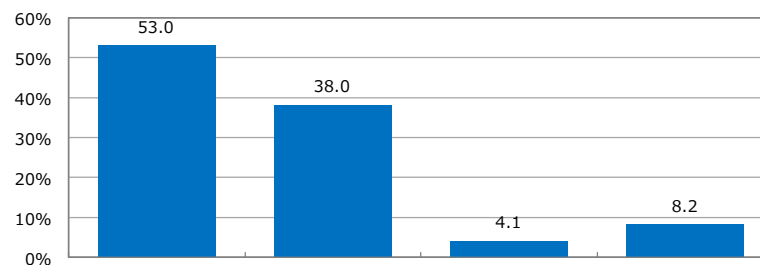
2%未満の数値ラベルは非表示

Q11	従事している店舗で、過去１年以内にPMDAへ医薬品副作用報告を行ったことがありますか。（回数）
-----	---



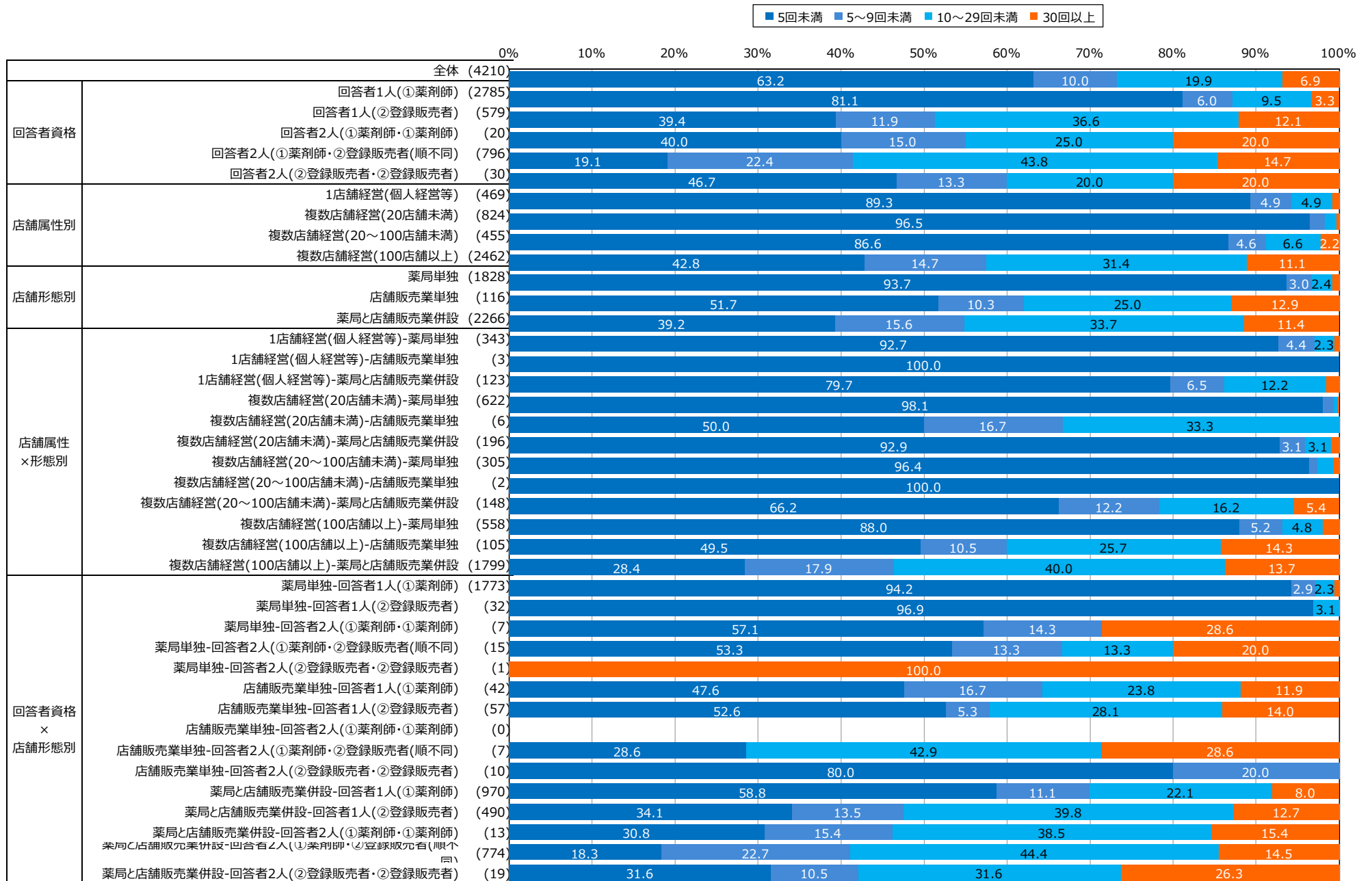
2%未満の数値ラベルは非表示

Q12	(Q4で要指導医薬品の取扱いが「無」の場合) 要指導医薬品を取り扱っていない理由について回答してください。(複数選択可)
-----	--



		n	店舗に薬剤師がおらず取り扱うことができないから	品目が少なく、需要が見込めないから	薬事規制により取扱、販売時に求められる事項が多いから	その他
全体		2750	53.0	38.0	4.1	8.2
回答者資格	回答者1人(①薬剤師)	1220	0.3	82.5	8.7	15.2
	回答者1人(②登録販売者)	1457	95.9	2.0	0.3	2.4
	回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	4	-	75.0	-	25.0
	回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	12	16.7	50.0	8.3	25.0
	回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	57	96.5	1.8	-	1.8
店舗属性別	1店舗経営(個人経営等)	456	12.1	72.8	10.3	11.8
	複数店舗経営(20店舗未満)	558	1.3	83.3	8.2	14.3
	複数店舗経営(20~100店舗未満)	156	7.1	75.0	5.1	17.9
	複数店舗経営(100店舗以上)	1580	87.7	8.3	0.7	4.0
店舗形態別	薬局単独	1023	1.7	81.1	8.9	14.7
	店舗販売業単独	1450	97.8	1.1	0.1	1.5
	薬局と店舗販売業併設	277	8.3	71.8	6.9	19.1
店舗属性×形態別	1店舗経営(個人経営等)-薬局単独	328	0.3	81.1	11.9	13.4
	1店舗経営(個人経営等)-店舗販売業単独	61	88.5	11.5	1.6	4.9
	1店舗経営(個人経営等)-薬局と店舗販売業併設	67	-	88.1	10.4	10.4
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局単独	442	-	83.3	9.5	14.7
	複数店舗経営(20店舗未満)-店舗販売業単独	10	70.0	30.0	-	10.0
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	106	-	88.7	3.8	13.2
	複数店舗経営(20~100店舗未満)-薬局単独	114	-	82.5	4.4	18.4
	複数店舗経営(20~100店舗未満)-店舗販売業単独	11	90.9	9.1	-	-
	複数店舗経営(20~100店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	31	3.2	71.0	9.7	22.6
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局単独	139	11.5	73.4	3.6	14.4
	複数店舗経営(100店舗以上)-店舗販売業単独	1368	98.5	0.4	0.1	1.3
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局と店舗販売業併設	73	30.1	32.9	6.8	34.2
回答者資格×店舗形態別	薬局単独-回答者1人(①薬剤師)	980	-	82.3	9.2	15.1
	薬局単独-回答者1人(②登録販売者)	27	22.2	66.7	3.7	7.4
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	3	-	100.0	-	-
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	2	-	100.0	-	-
	薬局単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	11	100.0	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者1人(①薬剤師)	17	23.5	58.8	-	17.6
	店舗販売業単独-回答者1人(②登録販売者)	1388	98.7	0.4	0.1	1.4
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	0	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	45	97.8	2.2	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(①薬剤師)	223	-	84.8	7.2	15.2
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(②登録販売者)	42	50.0	14.3	4.8	33.3
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	1	-	-	-	100.0
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	10	20.0	40.0	10.0	30.0
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	1	-	-	-	100.0

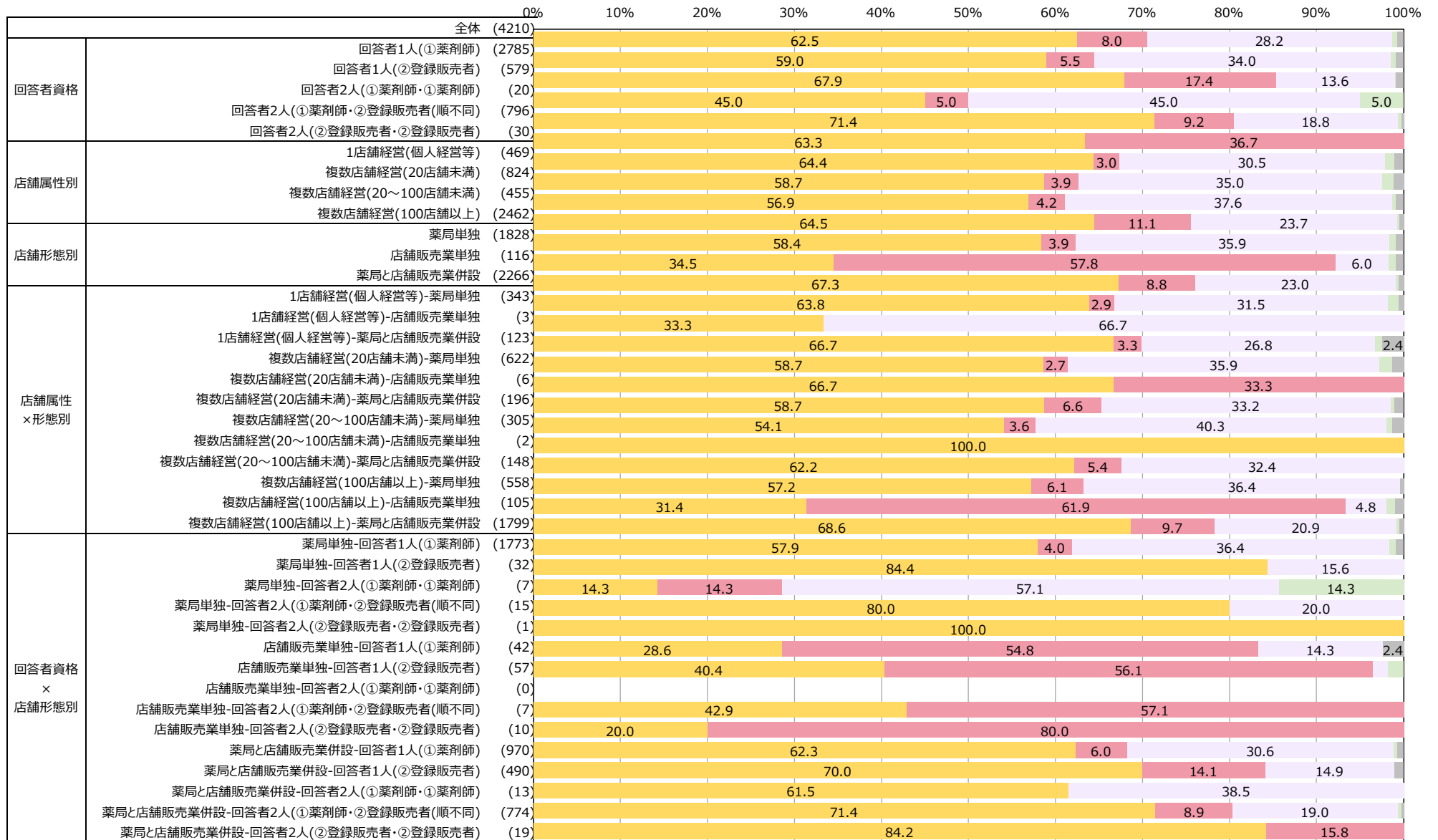
Q13 要指導医薬品の販売について1か月当たり何回程度
対応していますか。



2%未満の数値ラベルは非表示

Q14 要指導医薬品を販売する際の薬剤師の対応方法を選択してください。

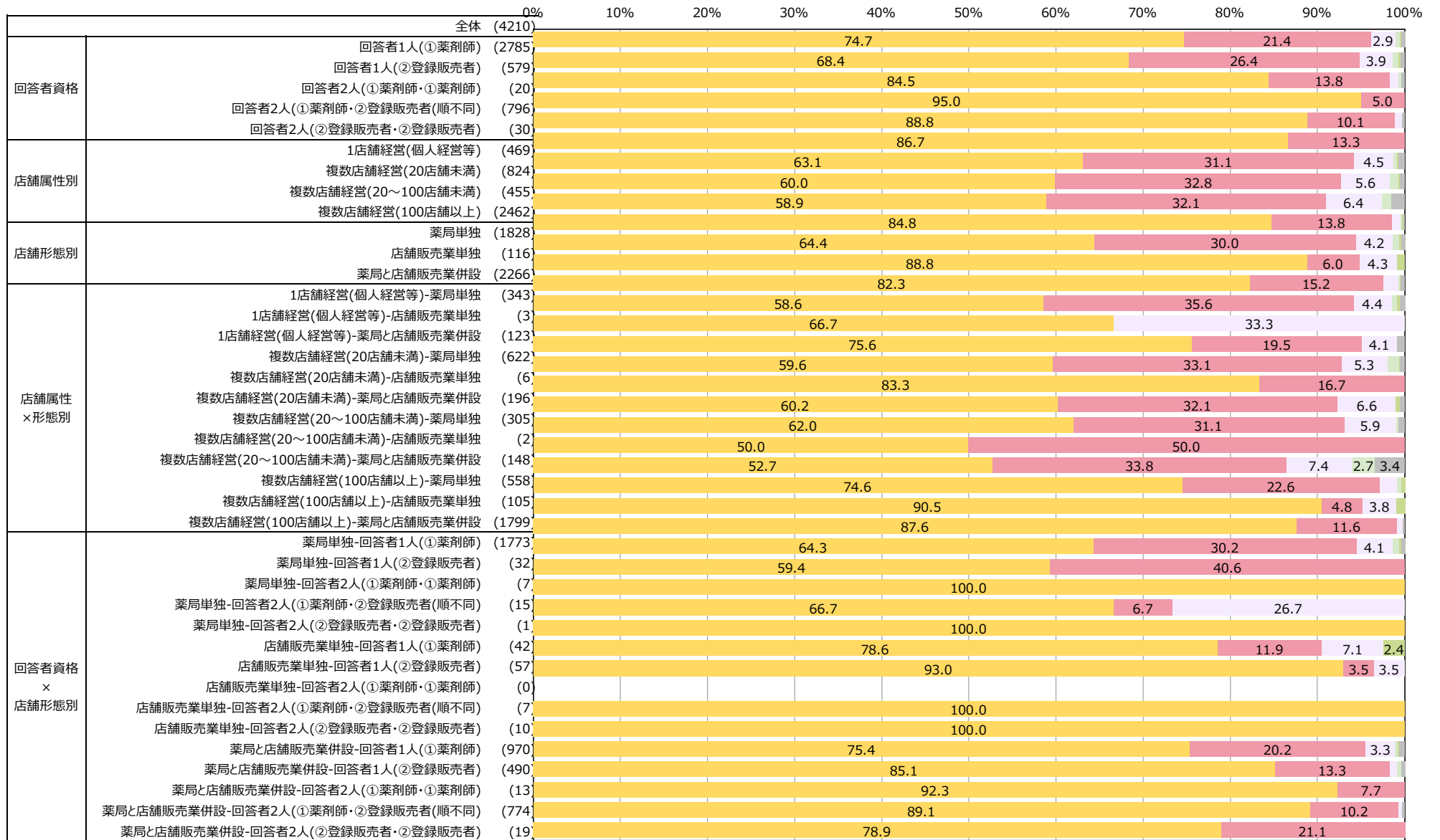
■ カウンター越しに対応する
■ レジで会計時に対応する
■ プライバシーに配慮したスペースに対応する(カウンター)



2%未満の数値ラベルは非表示

Q15 要指導医薬品販売時の会計方法を選択してください。

■ 有人レジ(薬剤師がレジ打ち)
 ■ 有人レジ(薬剤師又は薬剤師以外の従事者がレジ打ち)
 ■ 有人レジ(薬剤師以外の従事者のみがレジ打ち)



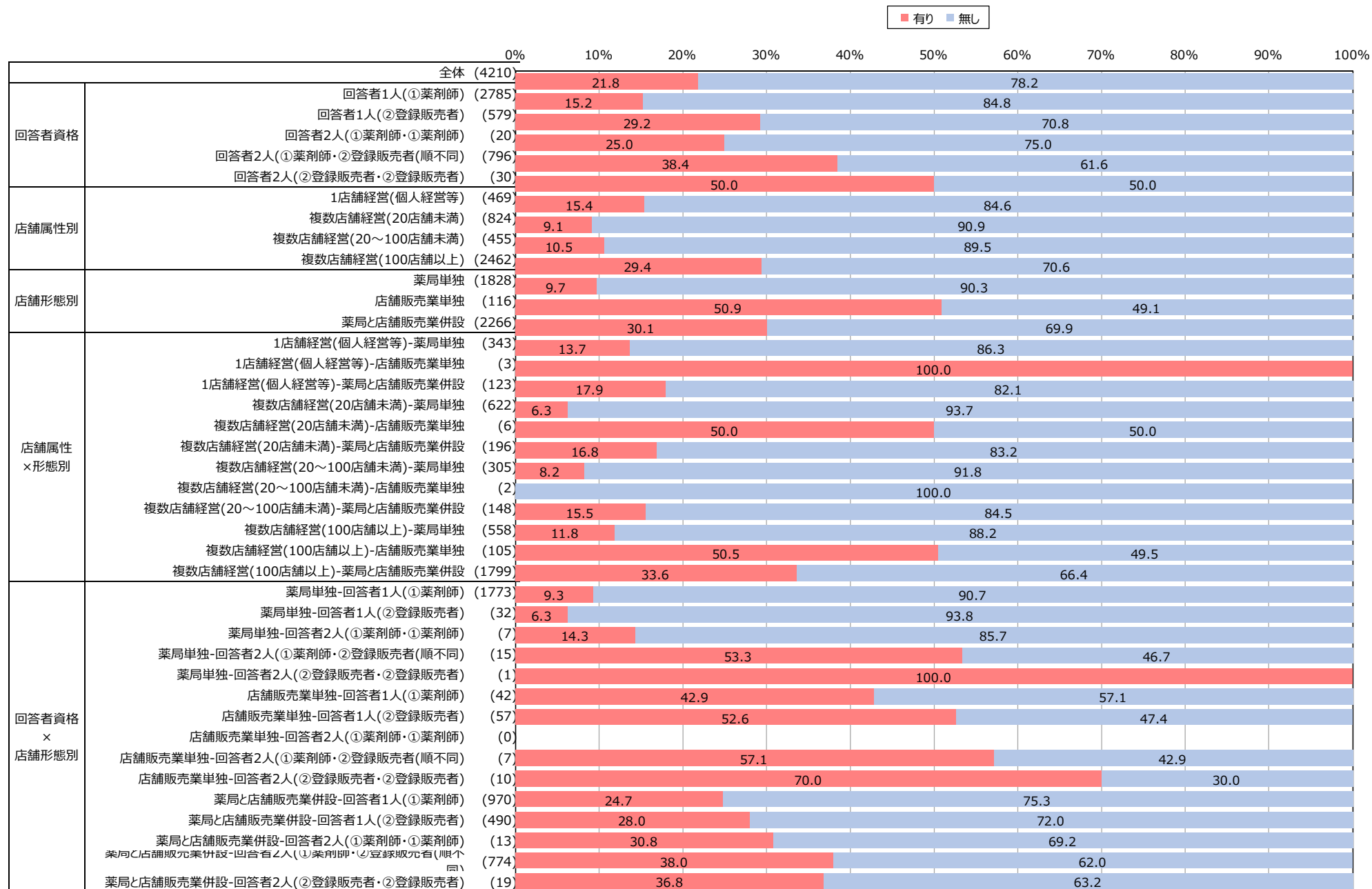
2%未満の数値ラベルは非表示

Q16	過去1年以内で要指導医薬品を購入しようとした者に対して販売を断った事例（代わりに他の医薬品の購入に切り替えてもらった等の対応も含む）はありますか。
-----	---



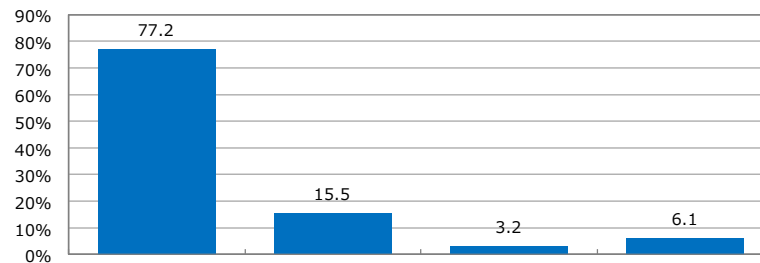
2%未満の数値ラベルは非表示

Q17 過去1年以内に要指導医薬品を購入しようとした者
に対して受診勧奨した事例はありますか。



2%未満の数値ラベルは非表示

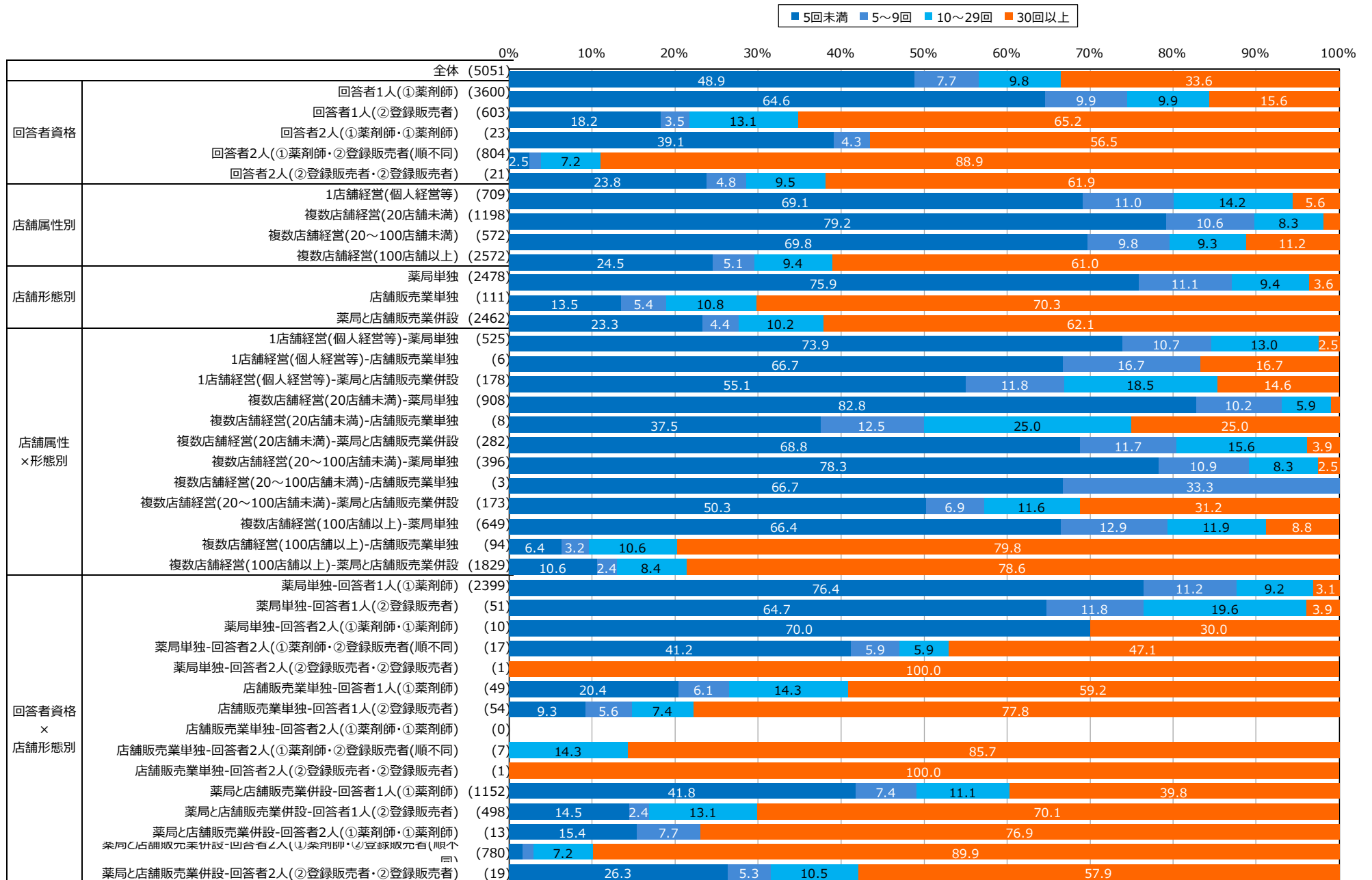
Q18	(第1類医薬品の取扱いがない場合)第1類医薬品を取り扱っていない理由について回答してください。 (複数選択可)
-----	--



■ 全体+10pt以上 ■ 全体+5pt以上
 ■ 全体-10pt以下 ■ 全体-5pt以下
 (n=30以上)

	n	店舗に薬剤師がおらず取り扱うことができないから	品目が少なく、需要が見込めないから	薬事規制により取扱、販売時に求められる事項が多いから	その他
全体	1909	77.2	15.5	3.2	6.1
回答者資格	回答者1人(①薬剤師)	405	1.0	72.1	21.2
	回答者1人(②登録販売者)	1433	97.9	0.2	2.0
	回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	1	-	-	100.0
	回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	4	50.0	-	25.0
	回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	66	97.0	1.5	1.5
店舗属性別	1店舗経営(個人経営等)	216	25.9	54.6	12.0
	複数店舗経営(20店舗未満)	184	3.8	71.7	15.8
	複数店舗経営(20~100店舗未満)	39	28.2	46.2	2.6
	複数店舗経営(100店舗以上)	1470	95.2	1.9	0.4
店舗形態別	薬局単独	373	4.6	69.7	13.4
	店舗販売業単独	1455	98.4	0.3	0.4
	薬局と店舗販売業併設	81	29.6	38.3	7.4
店舗属性×形態別	1店舗経営(個人経営等)-薬局単独	146	0.7	74.0	16.4
	1店舗経営(個人経営等)-店舗販売業単独	58	94.8	3.4	1.7
	1店舗経営(個人経営等)-薬局と店舗販売業併設	12	-	66.7	8.3
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局単独	156	-	73.7	16.0
	複数店舗経営(20店舗未満)-店舗販売業単独	8	87.5	12.5	-
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	20	-	80.0	20.0
	複数店舗経営(20~100店舗未満)-薬局単独	23	-	60.9	4.3
	複数店舗経営(20~100店舗未満)-店舗販売業単独	10	100.0	-	-
	複数店舗経営(20~100店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	6	16.7	66.7	-
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局単独	48	33.3	47.9	-
	複数店舗経営(100店舗以上)-店舗販売業単独	1379	98.6	0.1	0.4
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局と店舗販売業併設	43	53.5	7.0	2.3
回答者資格×店舗形態別	薬局単独-回答者1人(①薬剤師)	354	-	72.9	14.1
	薬局単独-回答者1人(②登録販売者)	8	75.0	25.0	-
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	0	-	-	-
	薬局単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	11	100.0	-	-
	店舗販売業単独-回答者1人(①薬剤師)	10	40.0	30.0	-
	店舗販売業単独-回答者1人(②登録販売者)	1391	98.8	0.1	0.4
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	0	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	54	98.1	1.9	1.9
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(①薬剤師)	41	-	75.6	9.8
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(②登録販売者)	34	64.7	-	2.9
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	1	-	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	4	50.0	-	25.0
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	1	-	-	-
					100.0

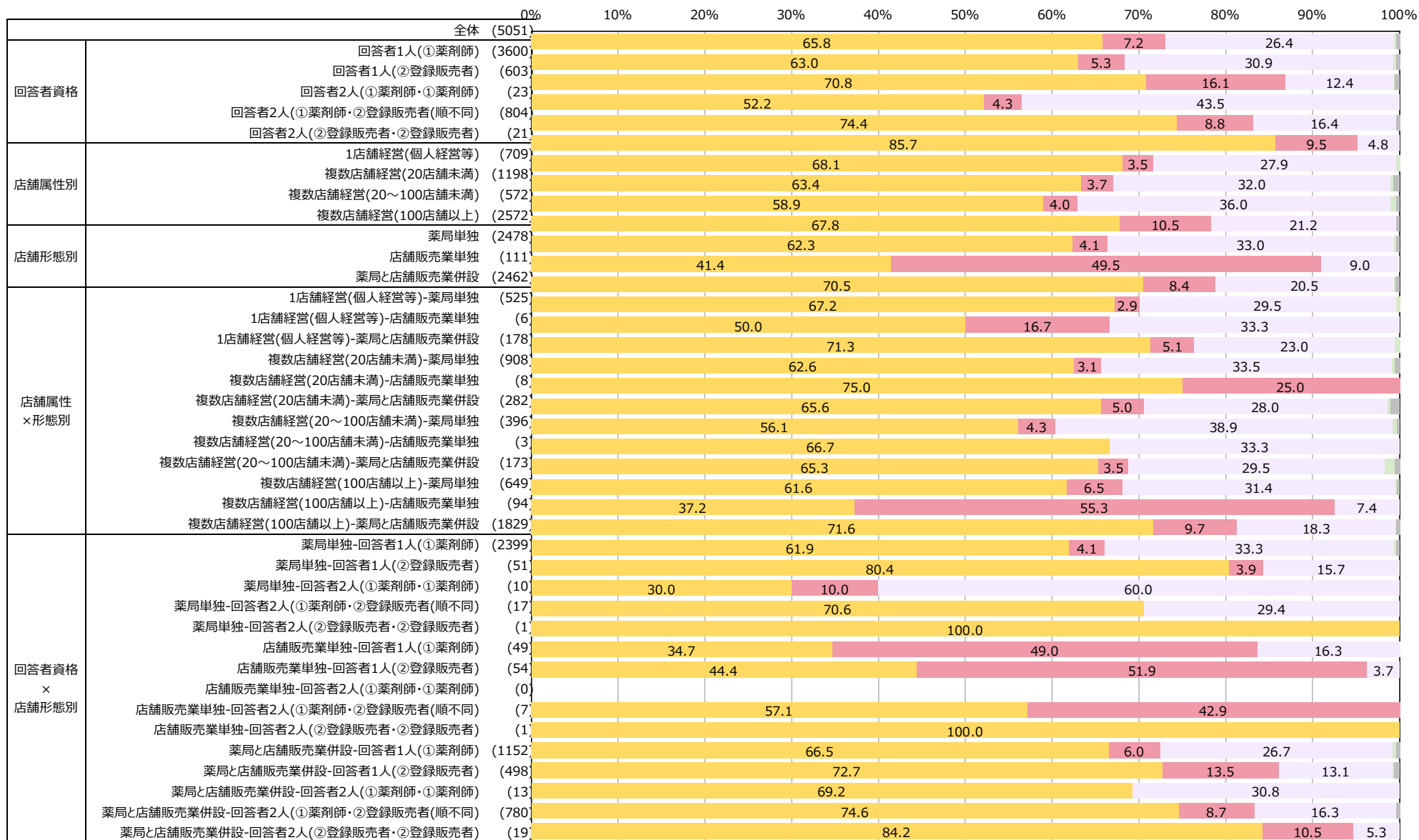
Q19 第1類医薬品の販売について1か月当たり何回程度
対応していますか。



2%未満の数値ラベルは非表示

Q20 第1類医薬品を販売する際の薬剤師の対応方法を選択してください。

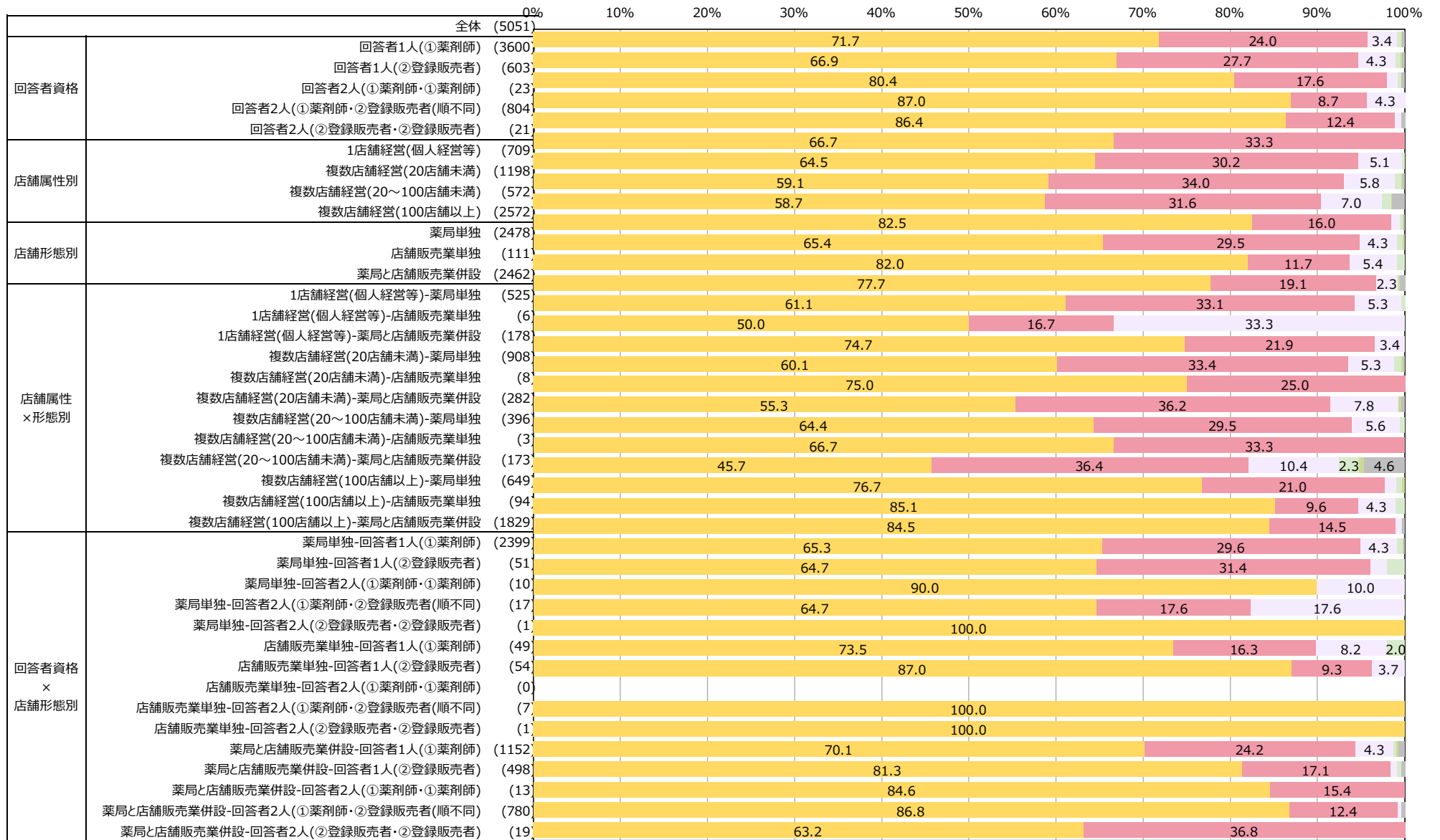
■ カウンター越しに対応する
■ レジで会計時に対応する
■ プライバシーに配慮したスペースで対応する(カウンター)



2%未満の数値ラベルは非表示

Q21 第1類医薬品販売時の会計方法を選択してください。

■ 有人レジ(薬剤師がレジ打ち)
 ■ 有人レジ(薬剤師又は薬剤師以外の従事者がレジ打ち)
 ■ 有人レジ(薬剤師以外の従事者のみがレジ打ち)



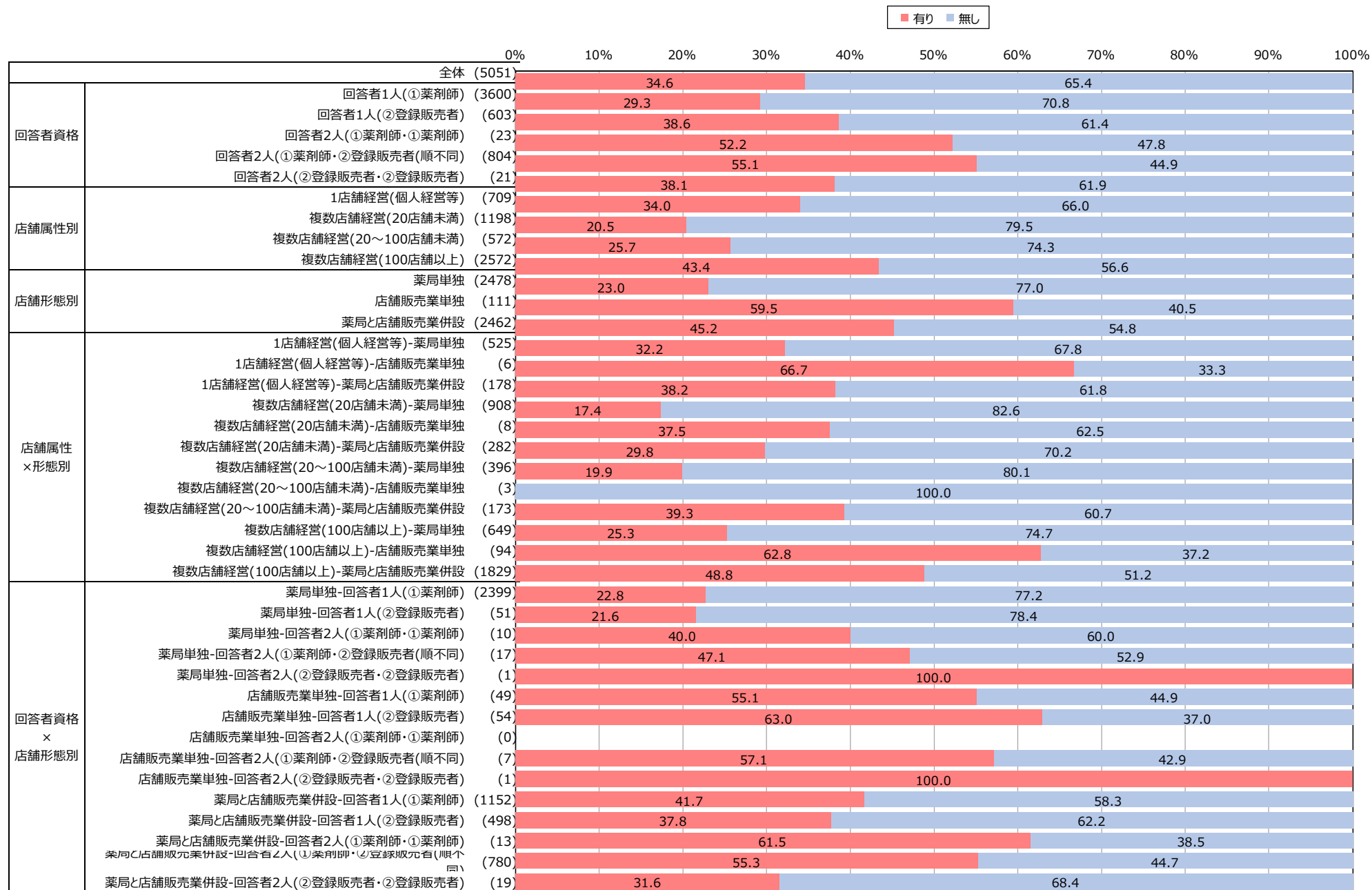
2%未満の数値ラベルは非表示

Q22	過去1年以内で第1類医薬品を購入しようとした者に対して販売を断った事例（代わりに他の医薬品の購入に切り替えてもらった等の対応も含む）はありますか。
-----	---



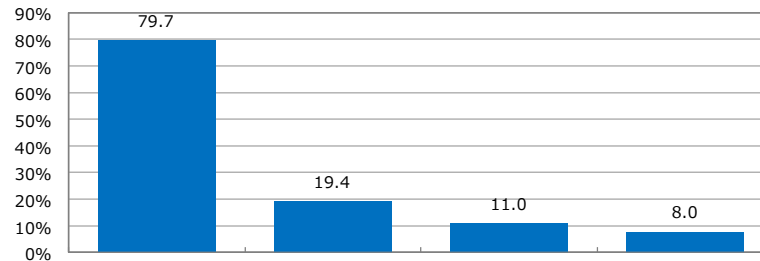
2%未満の数値ラベルは非表示

Q23	過去1年以内で第1類医薬品を購入しようとした者 に対して受診勧奨した事例はありますか。
-----	--



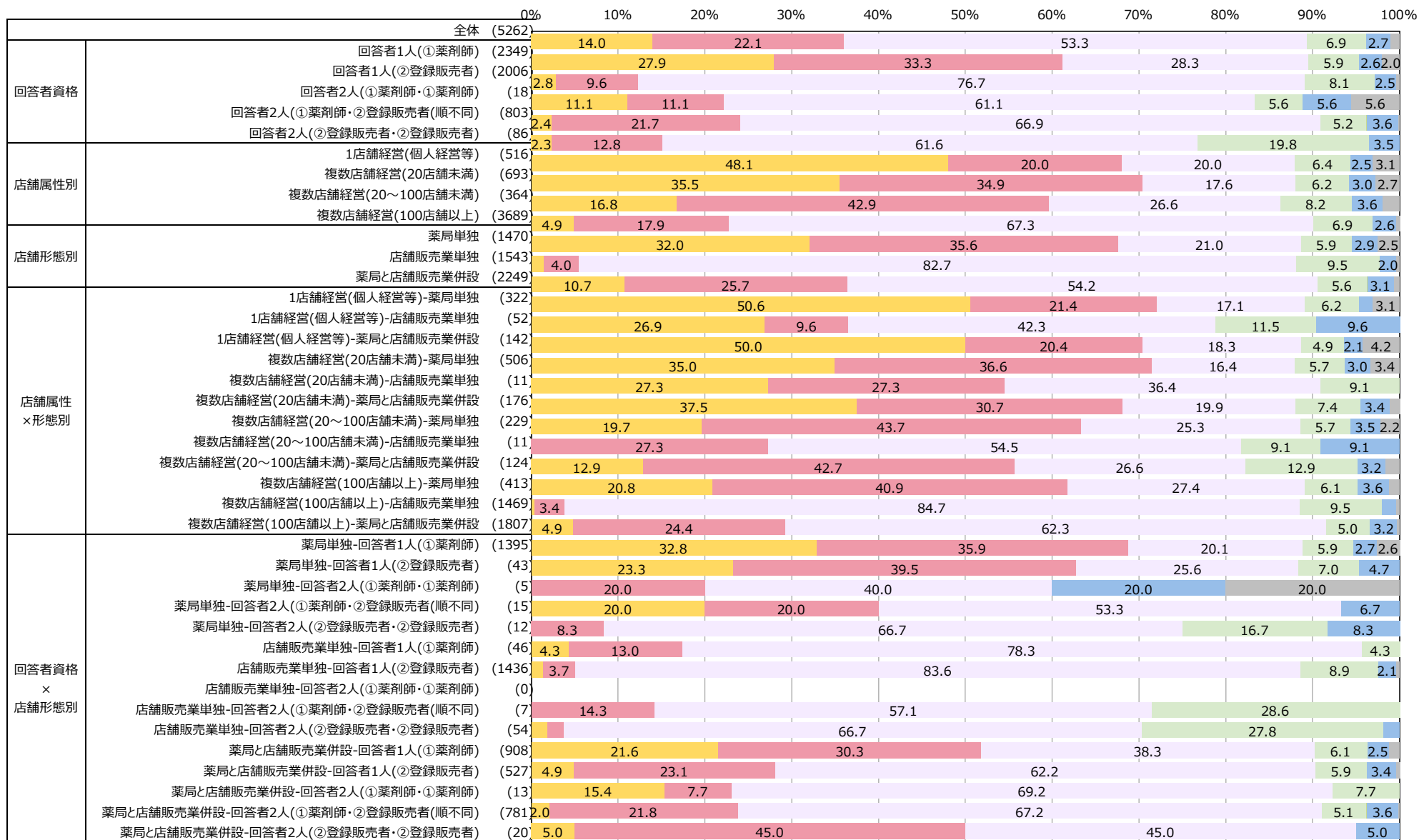
2%未満の数値ラベルは非表示

Q24	(Q4で濫用等のおそれのある医薬品の取扱いが「無」の場合) 濫用等のおそれのある医薬品を取り扱っていない理由について回答してください。(複数選択可)
-----	--



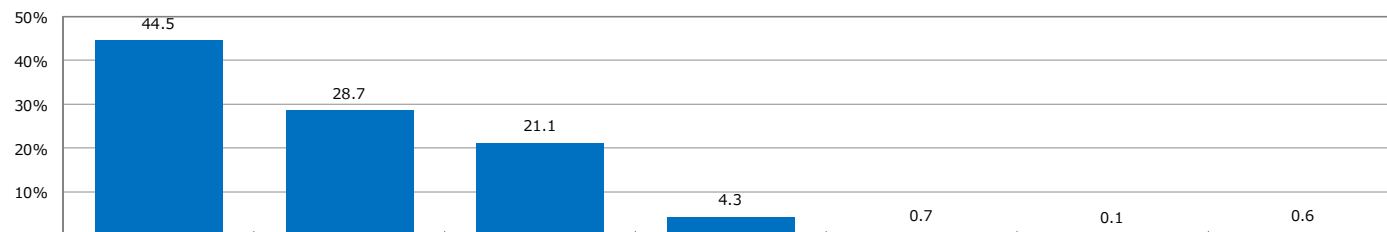
		n	需要が見込めないから	一般用医薬品の濫用が問題となっているから	薬事規制により取扱、販売時に求められる事項が多いから	その他
全体		1698	79.7	19.4	11.0	8.0
回答者資格	回答者1人(①薬剤師)	1656	80.0	19.2	11.1	7.6
	回答者1人(②登録販売者)	30	70.0	33.3	10.0	16.7
	回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	6	66.7	-	-	33.3
	回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	5	40.0	20.0	-	40.0
	回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	1	100.0	-	-	-
店舗属性別	1店舗経営(個人経営等)	409	75.6	22.0	13.7	7.8
	複数店舗経営(20店舗未満)	689	80.4	21.3	11.8	6.8
	複数店舗経営(20~100店舗未満)	247	81.8	17.4	8.9	9.3
	複数店舗経営(100店舗以上)	353	81.6	13.9	7.6	9.3
店舗形態別	薬局単独	1381	80.7	18.8	11.0	7.5
	店舗販売業単独	23	73.9	26.1	4.3	21.7
	薬局と店舗販売業併設	294	75.2	21.4	11.2	9.2
店舗属性 × 形態別	1店舗経営(個人経営等)-薬局単独	349	76.8	21.2	14.3	7.4
	1店舗経営(個人経営等)-店舗販売業単独	12	75.0	16.7	-	33.3
	1店舗経営(個人経営等)-薬局と店舗販売業併設	48	66.7	29.2	12.5	4.2
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局単独	558	81.2	20.8	11.6	6.6
	複数店舗経営(20店舗未満)-店舗販売業単独	5	80.0	20.0	-	-
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	126	77.0	23.8	12.7	7.9
	複数店舗経営(20~100店舗未満)-薬局単独	190	81.6	17.9	10.0	10.0
	複数店舗経営(20~100店舗未満)-店舗販売業単独	2	100.0	-	-	-
	複数店舗経営(20~100店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	55	81.8	16.4	5.5	7.3
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局単独	284	84.2	12.7	6.3	7.4
	複数店舗経営(100店舗以上)-店舗販売業単独	4	50.0	75.0	25.0	25.0
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局と店舗販売業併設	65	72.3	15.4	12.3	16.9
回答者資格 × 店舗形態別	薬局単独-回答者1人(①薬剤師)	1358	80.8	18.7	11.0	7.4
	薬局単独-回答者1人(②登録販売者)	16	87.5	31.3	12.5	-
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	5	60.0	-	-	40.0
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	2	50.0	50.0	-	-
	薬局単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	0	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者1人(①薬剤師)	13	84.6	30.8	7.7	7.7
	店舗販売業単独-回答者1人(②登録販売者)	9	55.6	22.2	-	44.4
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	0	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	1	100.0	-	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(①薬剤師)	285	76.1	21.1	11.2	8.4
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(②登録販売者)	5	40.0	60.0	20.0	20.0
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	1	100.0	-	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	3	33.3	-	-	66.7
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	0	-	-	-	-

Q25 濫用等のおそれのある医薬品の陳列方法のうち、最も多いものを選択してください。



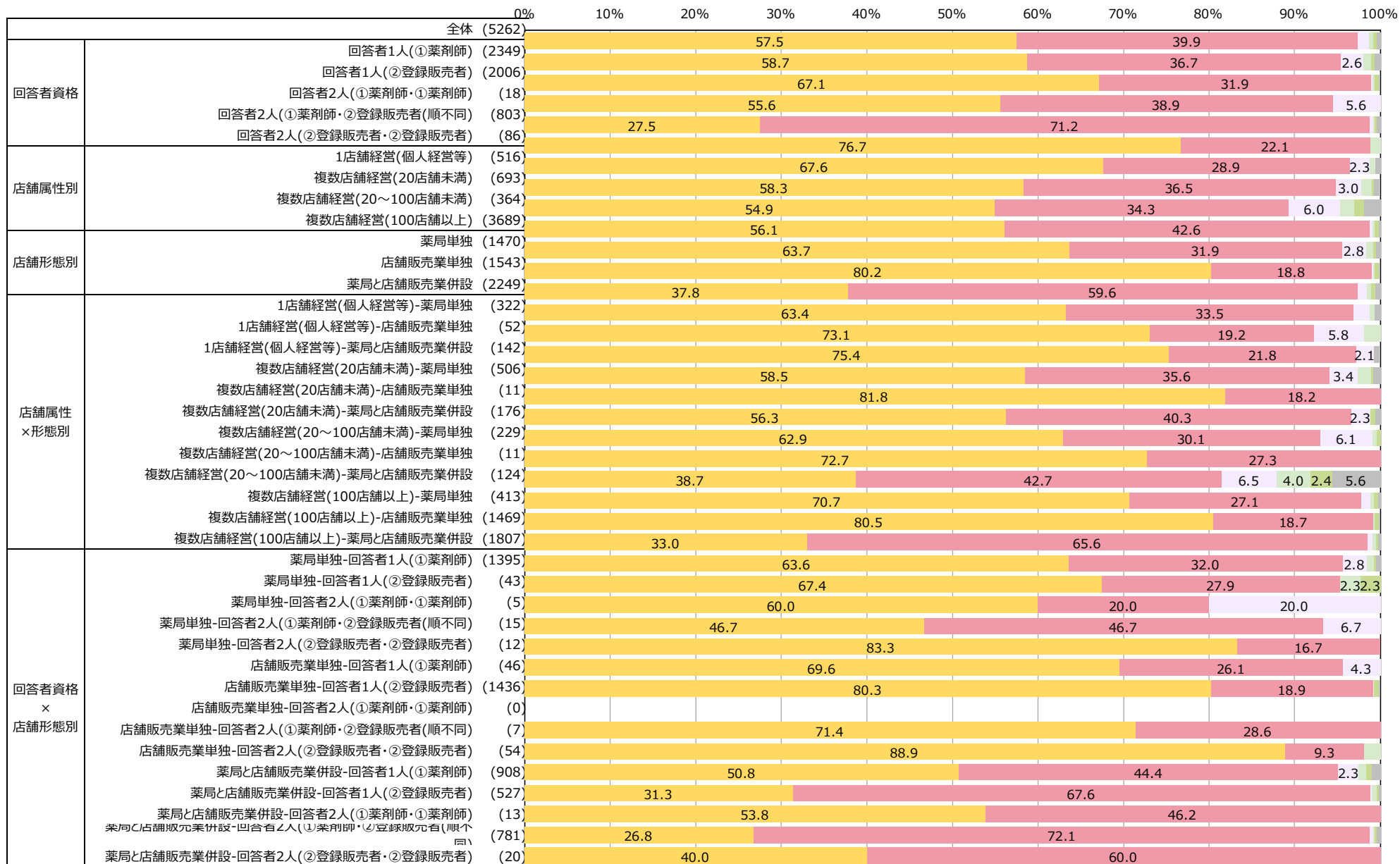
2%未満の数値ラベルは非表示

Q26 濫用等のおそれのある医薬品を販売する際の資格者の対応方法のうち、最も多いものを選択してください。



		n	一般従事者のレジ対応者が濫用等のおそれのある医薬品の購入者があった時に資格者を呼ぶ	購入者が直接手に取れないような陳列方法により、現物を手にする際に必ず資格者が対応(カウンター等)	資格者対応のレジ(医薬品専用レジ)で対応	資格者が売り場全体が見渡せる状況にしており、気づきの点があれば声掛けする	相談があった時だけ資格者が対応	売り場のボタン等で呼び出された場合に対応する	その他
全体		5262	44.5	28.7	21.1	4.3	0.7	0.1	0.6
回答者資格	回答者1人(①薬剤師)	2349	22.2	54.8	13.8	6.5	1.4	0.1	1.2
	回答者1人(②登録販売者)	2006	56.2	6.1	34.1	3.3	0.1	0.1	-
	回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	18	38.9	22.2	27.8	11.1	-	-	-
	回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	803	80.4	11.0	7.5	0.7	-	0.1	0.2
	回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	86	46.5	7.0	45.3	1.2	-	-	-
店舗属性別	1店舗経営(個人経営等)	516	11.0	64.1	15.3	6.4	1.4	0.2	1.6
	複数店舗経営(20店舗未満)	693	9.5	68.0	9.7	8.9	2.0	-	1.9
	複数店舗経営(20～100店舗未満)	364	21.4	49.5	14.8	10.7	2.7	-	0.8
	複数店舗経営(100店舗以上)	3689	58.1	14.3	24.7	2.5	0.1	0.1	0.2
店舗形態別	薬局単独	1470	11.8	63.6	13.8	7.4	1.7	-	1.6
	店舗販売業単独	1543	48.2	3.0	44.7	4.0	0.1	0.1	0.1
薬局と店舗販売業併設		2249	63.4	23.4	9.8	2.5	0.4	0.1	0.3
店舗属性 ×形態別	1店舗経営(個人経営等)-薬局単独	322	7.8	70.5	11.5	6.8	1.6	-	1.9
	1店舗経営(個人経営等)-店舗販売業単独	52	26.9	28.8	40.4	-	-	1.9	1.9
	1店舗経営(個人経営等)-薬局と店舗販売業併設	142	12.7	62.7	14.8	7.7	1.4	-	0.7
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局単独	506	8.1	69.6	9.5	8.7	1.6	-	2.6
	複数店舗経営(20店舗未満)-店舗販売業単独	11	9.1	36.4	54.5	-	-	-	-
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	176	13.6	65.3	7.4	10.2	3.4	-	-
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-薬局単独	229	13.5	54.6	15.7	11.8	3.5	-	0.9
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-店舗販売業単独	11	27.3	27.3	36.4	9.1	-	-	-
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	124	35.5	41.9	11.3	8.9	1.6	-	0.8
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局単独	413	18.6	55.9	19.9	3.9	1.0	-	0.7
	複数店舗経営(100店舗以上)-店舗販売業単独	1469	49.4	1.6	44.8	4.1	0.1	0.1	-
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局と店舗販売業併設	1807	74.2	15.0	9.5	0.9	-	0.2	0.2
回答者資格 × 店舗形態別	薬局単独-回答者1人(①薬剤師)	1395	10.9	64.7	13.5	7.5	1.7	-	1.7
	薬局単独-回答者1人(②登録販売者)	43	20.9	60.5	7.0	9.3	2.3	-	-
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	5	-	40.0	40.0	20.0	-	-	-
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	15	40.0	33.3	26.7	-	-	-	-
	薬局単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	12	58.3	-	41.7	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者1人(①薬剤師)	46	45.7	8.7	41.3	2.2	-	-	2.2
	店舗販売業単独-回答者1人(②登録販売者)	1436	48.7	2.8	44.2	4.1	0.1	0.1	-
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	7	28.6	14.3	57.1	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	54	38.9	1.9	57.4	1.9	-	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(①薬剤師)	908	38.4	42.0	12.8	5.2	1.0	0.2	0.4
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(②登録販売者)	527	79.7	10.8	8.7	0.6	0.2	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	13	53.8	15.4	23.1	7.7	-	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	781	81.7	10.5	6.7	0.8	-	0.1	0.3
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	20	60.0	25.0	15.0	-	-	-	-

Q27 濫用等のおそれのある医薬品販売時の会計方法を選択してください。



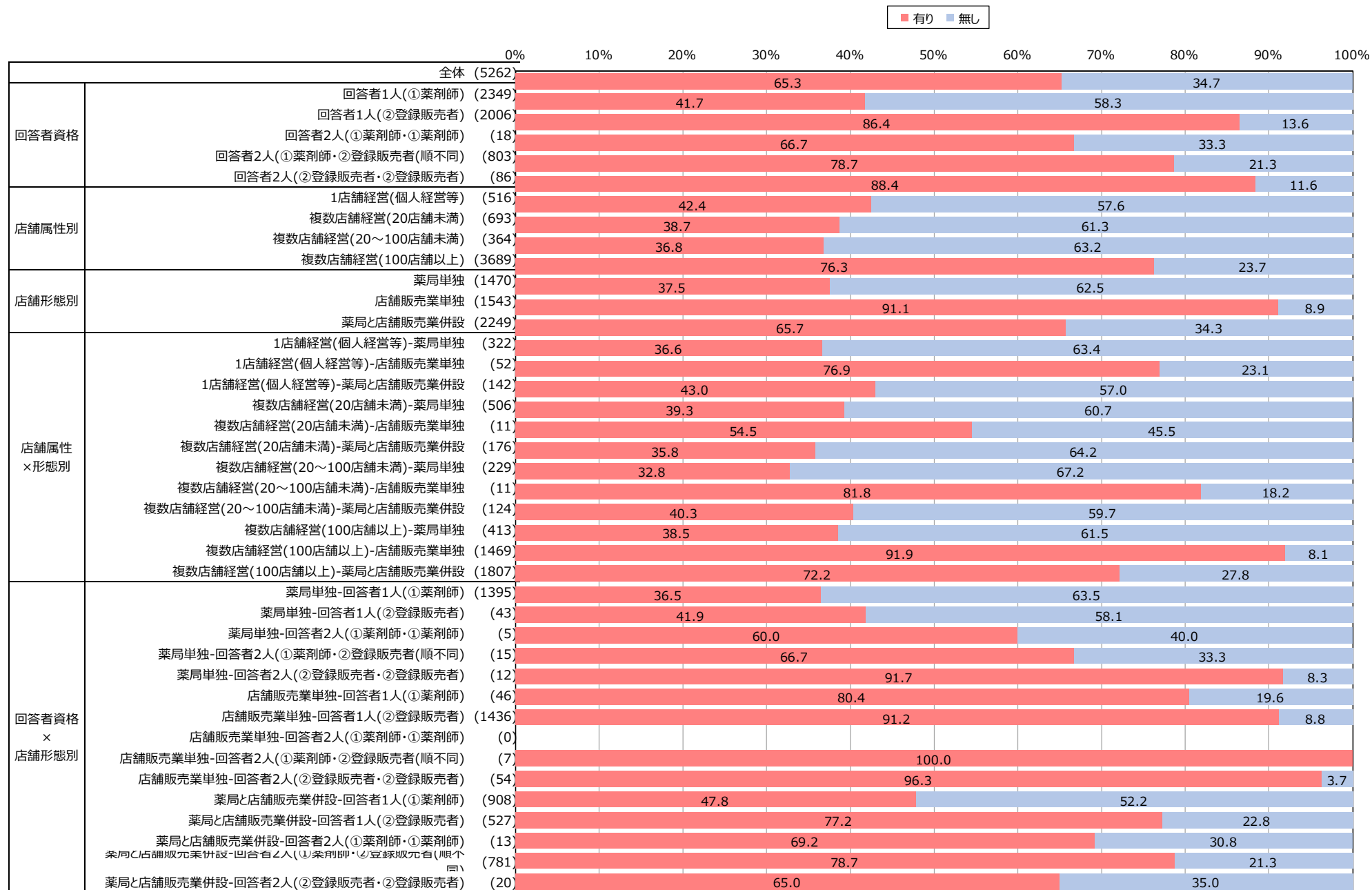
2%未満の数値ラベルは非表示

Q28	2個以上の購入を希望される場合、資格者の確認を介さないと購入できない対応策やシステムの有無をお答えください。
-----	--



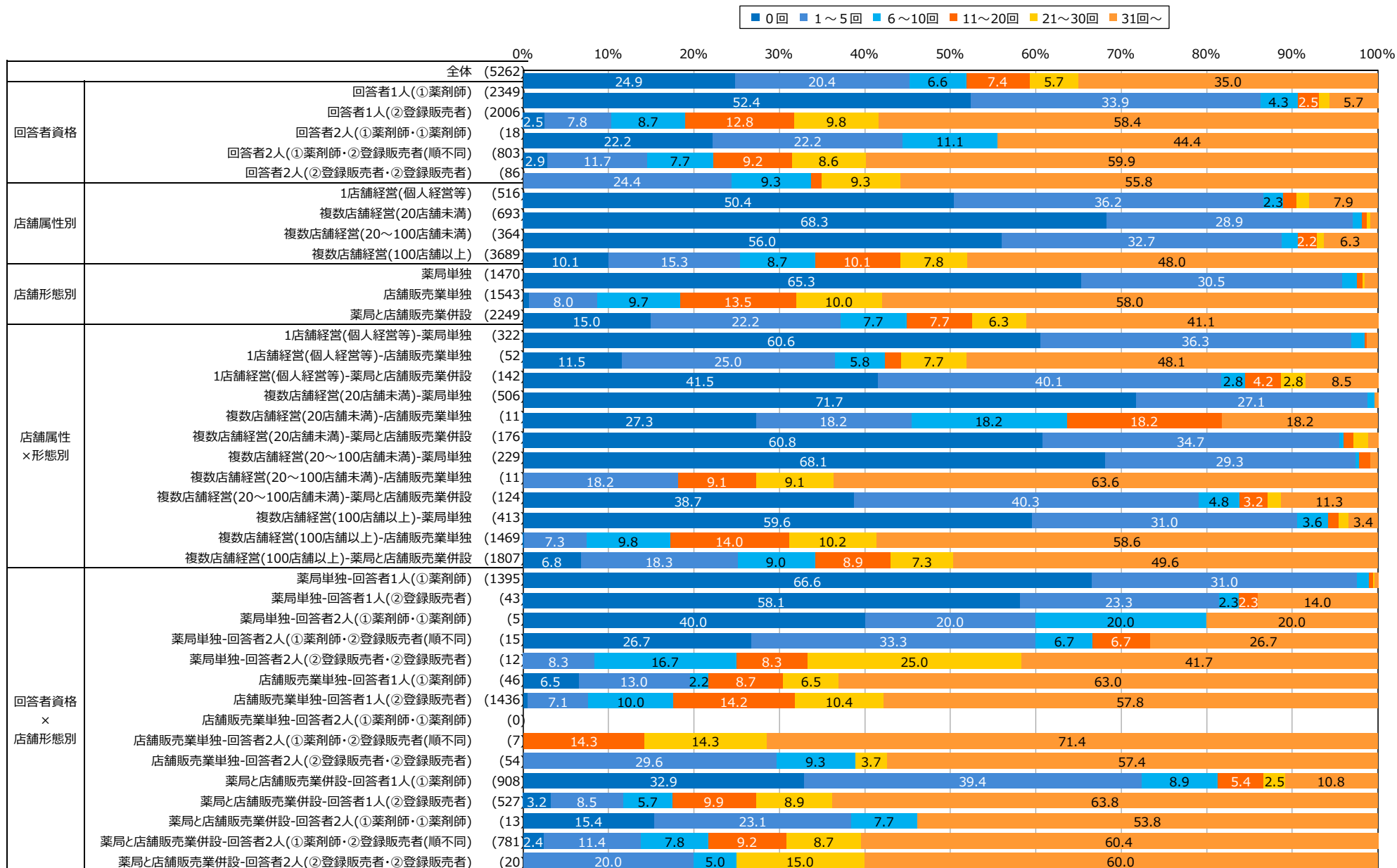
2%未満の数値ラベルは非表示

Q29 頻回購入の疑いがある購入者の把握をする上での工夫はありますか。



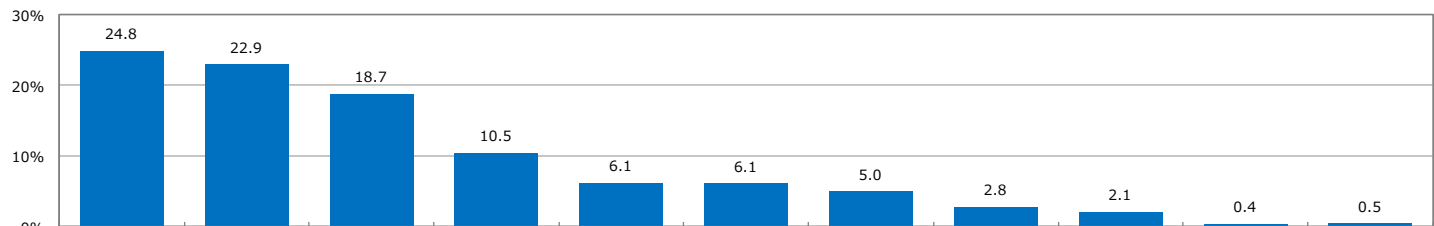
2%未満の数値ラベルは非表示

Q30	濫用等のおそれのある医薬品を購入しようとする消費者に対して、回答者が積極的に情報提供を行う回数は月当たりおよそ何回程度ありますか。
-----	---



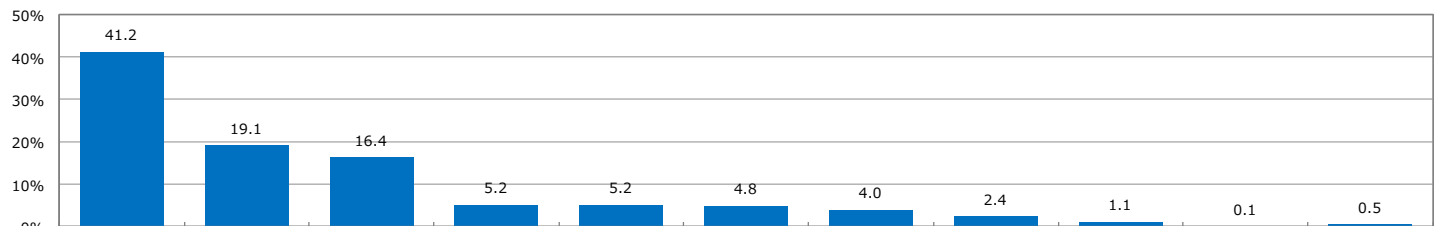
2%未満の数値ラベルは非表示

Q31 (全体) 濫用等のおそれのある医薬品の情報提供や相談への対応時に購入者に説明している事項のうち、特に注意をしている順に3つ選択してください。



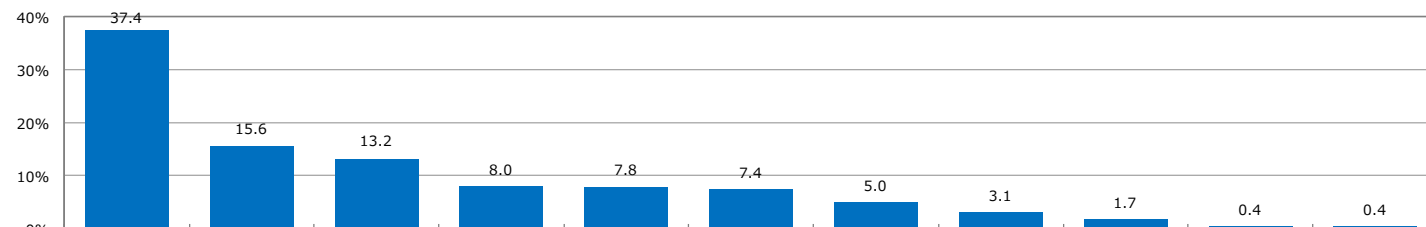
		n	濫用等のおそれのある 医薬品への該当	用法及び用量	使用上の注意(して はいけないこと、相 談すること等)	飲み合わせ	効能又は効果	副作用	製品の特徴	リスク区分	成分及び分量	保管及び取扱い上 の注意	その他
全体		31572	24.8	22.9	18.7	10.5	6.1	6.1	5.0	2.8	2.1	0.4	0.5
回答者資格	回答者1人(①薬剤師)	14094	14.9	23.5	20.6	9.3	7.9	9.1	6.7	4.7	2.2	0.7	0.4
	回答者1人(②登録販売者)	12036	35.8	24.7	15.8	11.1	3.6	2.8	3.1	1.0	1.7	0.2	0.3
	回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	108	17.6	13.0	29.6	11.1	12.0	11.1	5.6	-	-	-	-
	回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	4818	26.0	16.8	20.9	11.9	7.2	5.5	5.3	2.1	3.0	0.2	1.1
	回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	516	30.4	24.6	13.4	12.8	7.0	5.0	3.5	0.6	1.7	-	1.0
店舗属性別	1店舗経営(個人経営等)	3096	11.8	22.7	19.5	8.7	8.6	10.8	8.9	4.8	3.0	0.7	0.5
	複数店舗経営(20店舗未満)	4158	14.1	24.5	19.2	8.7	9.0	8.4	7.7	5.0	2.1	0.6	0.6
	複数店舗経営(20～100店舗未満)	2184	14.6	25.3	21.6	9.0	7.9	9.3	5.3	4.7	1.3	0.8	0.2
	複数店舗経営(100店舗以上)	22134	29.6	22.4	18.2	11.2	5.1	4.7	4.0	1.9	2.0	0.3	0.5
店舗形態別	薬局単独	8820	12.4	24.9	20.0	8.7	8.4	9.6	7.3	4.9	2.4	0.8	0.5
	店舗販売業単独	9258	39.0	28.1	13.7	10.8	2.6	1.9	1.7	0.5	1.4	0.1	0.1
	薬局と店舗販売業併設	13494	23.2	18.0	21.3	11.4	7.1	6.6	5.9	3.1	2.3	0.4	0.7
店舗属性 ×形態別	1店舗経営(個人経営等)-薬局単独	1932	9.9	23.8	19.2	8.1	8.9	12.2	9.0	4.1	3.5	0.8	0.6
	1店舗経営(個人経営等)-店舗販売業単独	312	11.9	16.7	22.4	17.6	11.2	6.4	8.7	4.5	0.6	-	-
	1店舗経営(個人経営等)-薬局と店舗販売業併設	852	16.1	22.4	19.2	6.7	7.0	9.0	9.0	6.5	2.6	0.9	0.5
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局単独	3036	13.6	25.3	19.3	8.1	8.9	8.7	7.9	4.9	2.1	0.7	0.5
	複数店舗経営(20店舗未満)-店舗販売業単独	66	31.8	21.2	18.2	6.1	-	6.1	9.1	7.6	-	-	-
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	1056	14.5	22.4	19.0	10.5	10.0	7.6	7.0	5.0	2.4	0.6	0.9
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-薬局単独	1374	12.4	25.8	22.0	8.2	7.9	10.0	5.5	5.8	1.7	0.7	0.1
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-店舗販売業単独	66	21.2	24.2	12.1	22.7	10.6	4.5	-	-	1.5	3.0	-
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	744	18.0	24.6	21.6	9.4	7.7	8.5	5.5	3.1	0.5	0.7	0.4
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局単独	2478	13.0	25.0	20.5	10.3	7.7	8.6	6.1	4.8	2.4	0.8	0.7
	複数店舗経営(100店舗以上)-店舗販売業単独	8814	40.1	28.6	13.4	10.5	2.3	1.7	1.4	0.3	1.4	0.1	0.1
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局と店舗販売業併設	10842	24.9	16.8	21.7	12.0	6.7	6.2	5.5	2.6	2.4	0.4	0.7
回答者資格 × 店舗形態別	薬局単独-回答者1人(①薬剤師)	8370	12.4	25.1	20.0	8.6	8.3	9.8	7.2	4.9	2.4	0.8	0.4
	薬局単独-回答者1人(②登録販売者)	258	10.9	21.3	20.9	14.0	9.3	5.4	9.7	3.9	2.3	0.4	1.9
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	30	10.0	6.7	26.7	10.0	30.0	16.7	-	-	-	-	-
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	90	18.9	18.9	17.8	10.0	13.3	7.8	3.3	2.2	4.4	2.2	1.1
	薬局単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	72	8.3	37.5	16.7	8.3	5.6	1.4	9.7	4.2	4.2	-	4.2
	店舗販売業単独-回答者1人(①薬剤師)	276	31.9	29.0	11.6	14.9	3.6	3.3	3.3	2.2	-	-	0.4
	店舗販売業単独-回答者1人(②登録販売者)	8616	39.4	28.3	13.8	10.5	2.5	1.8	1.7	0.4	1.5	0.1	0.1
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	42	35.7	26.2	16.7	16.7	4.8	-	-	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	324	34.9	23.5	12.0	15.4	6.2	5.6	0.9	-	1.5	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(①薬剤師)	5448	17.7	20.7	21.9	10.3	7.5	8.3	5.9	4.5	2.0	0.7	0.5
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(②登録販売者)	3162	27.9	15.4	20.8	12.6	6.1	5.3	6.5	2.2	2.2	0.4	0.6
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	78	20.5	15.4	30.8	11.5	5.1	9.0	7.7	-	-	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	4686	26.1	16.7	21.0	11.9	7.1	5.5	5.4	2.1	3.0	0.2	1.1
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	120	31.7	20.0	15.0	8.3	10.0	5.8	6.7	-	0.8	-	1.7

Q31 (1 位) 濫用等のおそれのある医薬品の情報提供や相談への対応時に購入者に説明している事項のうち、特に注意をしている順に3つ選択してください。



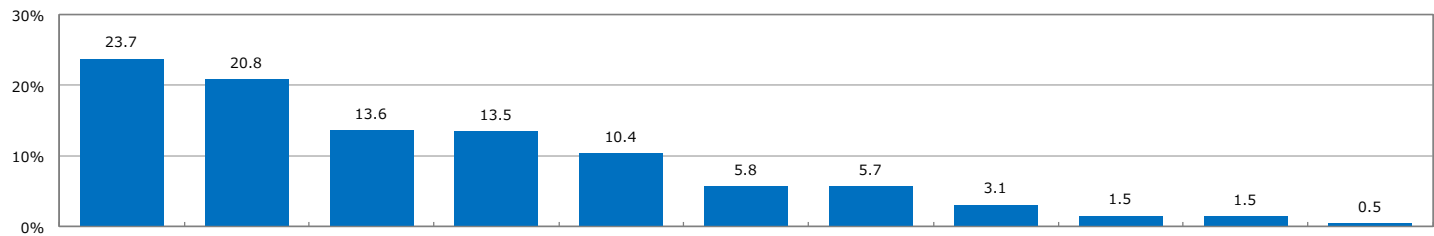
	n	濫用等のおそれのある医薬品への該当	使用上の注意(してはいけないこと、相談すること等)	用法及び用量	飲み合わせ	効能又は効果	製品の特徴	リスク区分	副作用	成分及び分量	保管及び取扱い上の注意	その他
全体	5262	41.2	19.1	16.4	5.2	5.2	4.8	4.0	2.4	1.1	0.1	0.5
回答者資格												
回答者1人(①薬剤師)	2349	19.4	22.8	24.7	5.7	7.6	7.3	6.6	3.6	1.4	0.2	0.6
回答者1人(②登録販売者)	2006	66.2	13.5	8.2	3.9	2.6	2.2	1.4	1.3	0.4	0.1	0.2
回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	18	22.2	38.9	11.1	5.6	5.6	11.1	-	5.6	-	-	-
回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	803	42.0	22.8	12.3	7.1	4.2	4.1	3.0	1.4	2.1	-	1.0
回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	86	52.3	10.5	18.6	1.2	8.1	3.5	1.2	3.5	-	-	1.2
店舗属性別												
1店舗経営(個人経営等)	516	14.1	18.6	26.4	5.8	9.1	9.9	6.8	5.0	3.3	0.4	0.6
複数店舗経営(20店舗未満)	693	17.7	18.8	27.3	6.1	9.1	9.1	6.8	3.2	0.9	0.1	1.0
複数店舗経営(20~100店舗未満)	364	19.0	24.2	27.5	4.4	8.2	5.2	7.1	3.6	0.5	-	0.3
複数店舗経営(100店舗以上)	3689	51.6	18.8	11.8	5.0	3.6	3.3	2.7	1.8	0.9	0.1	0.5
店舗形態別												
薬局単独	1470	15.0	21.2	28.2	5.4	8.6	8.2	6.9	4.1	1.5	0.2	0.7
店舗販売業単独	1543	74.3	9.7	7.9	2.9	2.1	1.2	0.6	1.0	0.3	-	0.1
薬局と店舗販売業併設	2249	35.7	24.3	14.4	6.7	5.1	5.1	4.4	2.2	1.3	0.1	0.7
店舗属性 × 形態別												
1店舗経営(個人経営等)-薬局単独	322	10.6	18.6	28.0	5.9	10.2	10.2	5.3	5.6	4.0	0.6	0.9
1店舗経営(個人経営等)-店舗販売業単独	52	15.4	21.2	21.2	11.5	13.5	7.7	7.7	1.9	-	-	-
1店舗経営(個人経営等)-薬局と店舗販売業併設	142	21.8	17.6	24.6	3.5	4.9	9.9	9.9	4.9	2.8	-	-
複数店舗経営(20店舗未満)-薬局単独	506	16.8	18.8	28.5	5.9	9.1	9.3	6.5	3.6	0.8	-	0.8
複数店舗経営(20店舗未満)-店舗販売業単独	11	54.5	9.1	9.1	-	-	18.2	9.1	-	-	-	-
複数店舗経営(20店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	176	18.2	19.3	25.0	6.8	9.7	8.0	7.4	2.3	1.1	0.6	1.7
複数店舗経営(20~100店舗未満)-薬局単独	229	14.8	24.9	29.3	3.5	7.9	5.7	8.7	4.4	0.9	-	-
複数店舗経営(20~100店舗未満)-店舗販売業単独	11	27.3	9.1	27.3	9.1	18.2	-	-	9.1	-	-	-
複数店舗経営(20~100店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	124	25.8	24.2	24.2	5.6	8.1	4.8	4.8	1.6	-	-	0.8
複数店舗経営(100店舗以上)-薬局単独	413	16.5	24.0	27.6	5.3	7.0	6.8	7.5	3.4	0.7	0.2	1.0
複数店舗経営(100店舗以上)-店舗販売業単独	1469	76.9	9.3	7.3	2.5	1.6	0.8	0.3	1.0	0.3	-	0.1
複数店舗経営(100店舗以上)-薬局と店舗販売業併設	1807	39.1	25.3	11.9	7.0	4.4	4.5	3.7	2.0	1.3	0.1	0.7
回答者資格 × 店舗形態別												
薬局単独-回答者1人(①薬剤師)	1395	14.7	21.5	28.4	5.2	8.4	8.3	7.0	4.1	1.6	0.2	0.6
薬局単独-回答者1人(②登録販売者)	43	18.6	18.6	18.6	11.6	11.6	7.0	7.0	4.7	-	-	2.3
薬局単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	5	20.0	40.0	-	-	20.0	-	-	20.0	-	-	-
薬局単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	15	33.3	6.7	26.7	6.7	20.0	6.7	-	-	-	-	-
薬局単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	12	16.7	-	58.3	-	-	8.3	8.3	-	-	-	8.3
店舗販売業単独-回答者1人(①薬剤師)	46	63.0	4.3	15.2	8.7	2.2	4.3	2.2	-	-	-	-
店舗販売業単独-回答者1人(②登録販売者)	1436	75.3	9.7	7.5	2.7	1.8	1.0	0.6	0.9	0.3	-	0.1
店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	7	57.1	14.3	14.3	14.3	-	-	-	-	-	-	-
店舗販売業単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	54	59.3	11.1	13.0	-	9.3	1.9	-	5.6	-	-	-
薬局と店舗販売業併設-回答者1人(①薬剤師)	908	24.4	25.8	19.5	6.4	6.6	5.9	6.4	3.1	1.1	0.1	0.7
薬局と店舗販売業併設-回答者1人(②登録販売者)	527	45.2	23.3	9.3	6.6	4.0	4.9	3.2	2.1	0.6	0.4	0.4
薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	13	23.1	38.5	15.4	7.7	-	15.4	-	-	-	-	-
薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	781	42.0	23.2	12.0	7.0	4.0	4.1	3.1	1.4	2.2	-	1.0
薬局と店舗販売業併設-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	20	55.0	15.0	10.0	5.0	10.0	5.0	-	-	-	-	-

Q31 (2 位) 濫用等のおそれのある医薬品の情報提供や相談への対応時に購入者に説明している事項のうち、特に注意をしている順に3つ選択してください。



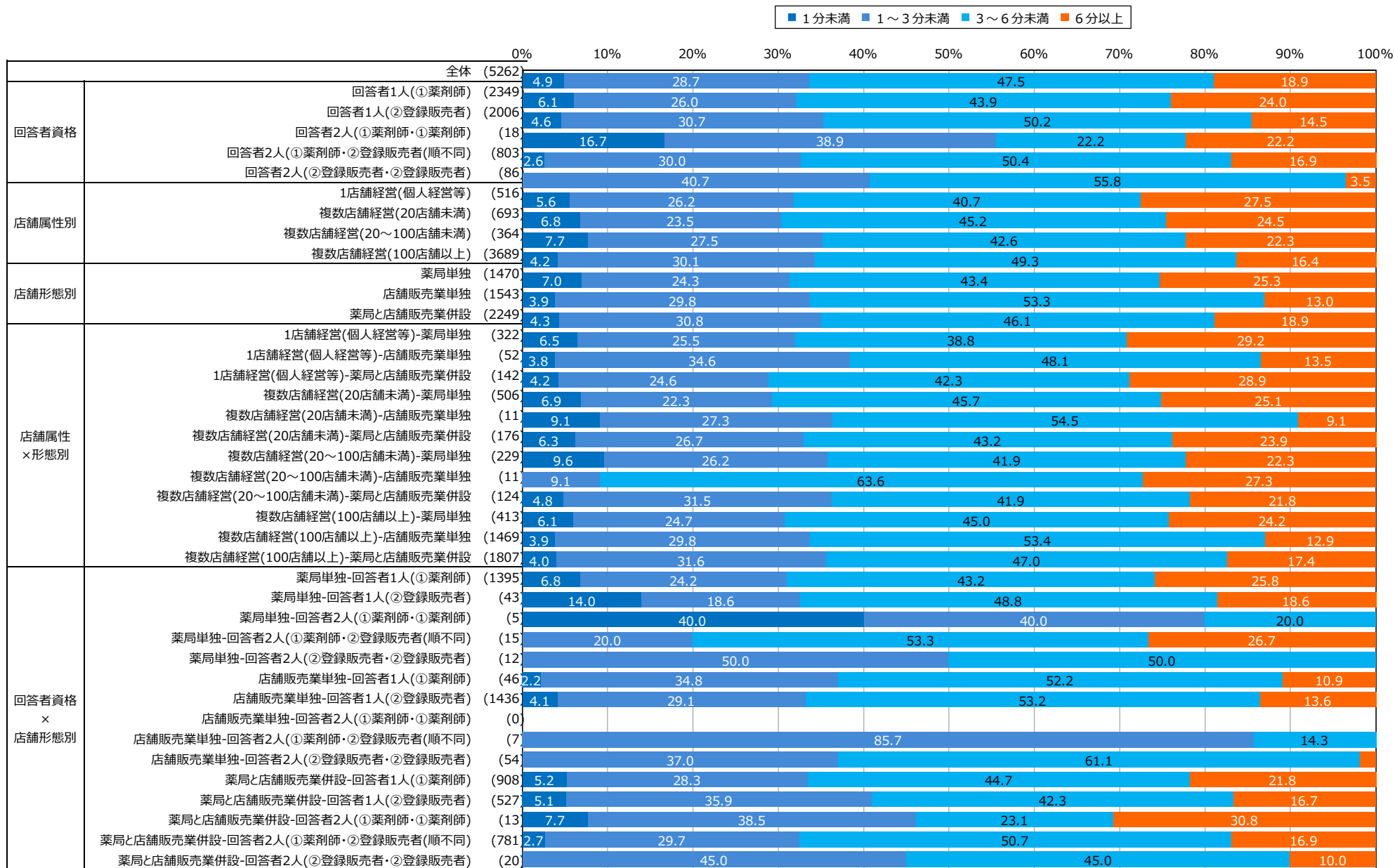
		n	用法及び用量	使用上の注意(して はいけないこと、相 談すること等)	飲み合わせ	副作用	効能又は効果	濫用等のおそれのある 医薬品への該当	製品の特徴	成分及び分量	リスク区分	保管及び取扱い上の 注意	その他
全体		5262	37.4	15.6	13.2	8.0	7.8	7.4	5.0	3.1	1.7	0.4	0.4
回答者資格	回答者1人(①薬剤師)	2349	25.6	18.4	13.3	11.3	9.7	8.7	6.1	3.0	3.0	0.6	0.2
	回答者1人(②登録販売者)	2006	56.9	11.0	11.1	3.8	4.5	5.0	3.6	3.1	0.4	0.2	0.4
	回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	18	11.1	16.7	16.7	11.1	27.8	16.7	-	-	-	-	-
	回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	803	23.4	19.9	16.7	8.7	10.3	9.3	5.7	3.2	1.5	0.2	0.9
	回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	86	40.7	9.3	27.9	4.7	7.0	4.7	1.2	3.5	-	-	1.2
店舗属性別	1店舗経営(個人経営等)	516	21.1	20.3	12.0	14.9	9.3	7.4	8.7	2.3	3.3	0.2	0.4
	複数店舗経営(20店舗未満)	693	25.4	20.2	11.3	9.4	10.7	8.7	6.3	3.5	3.6	0.9	0.1
	複数店舗経営(20～100店舗未満)	364	27.2	19.5	14.3	11.0	8.8	8.8	6.0	1.4	1.9	1.1	-
	複数店舗経営(100店舗以上)	3689	43.0	13.7	13.7	6.4	7.0	7.0	4.1	3.3	1.1	0.3	0.5
店舗形態別	薬局単独	1470	25.5	18.5	12.1	11.8	10.0	8.0	6.7	3.3	3.1	0.7	0.3
	店舗販売業単独	1543	69.2	7.8	9.1	2.5	3.0	3.3	1.9	2.7	0.3	0.1	0.2
		2249	23.4	19.2	16.8	9.2	9.7	9.7	6.0	3.2	1.7	0.4	0.6
店舗属性 ×形態別	1店舗経営(個人経営等)-薬局単独	322	22.0	17.7	10.9	18.0	8.7	6.8	8.7	2.8	3.7	0.3	0.3
	1店舗経営(個人経営等)-店舗販売業単独	52	13.5	25.0	25.0	9.6	9.6	5.8	9.6	-	1.9	-	-
	1店舗経営(個人経営等)-薬局と店舗販売業併設	142	21.8	24.6	9.9	9.9	10.6	9.2	8.5	2.1	2.8	-	0.7
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局単独	506	26.7	20.8	9.1	8.9	10.1	8.9	6.9	3.4	4.0	1.2	0.2
	複数店舗経営(20店舗未満)-店舗販売業単独	11	36.4	18.2	18.2	9.1	-	9.1	-	-	9.1	-	-
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	176	21.0	18.8	17.0	10.8	13.1	8.0	5.1	4.0	2.3	-	-
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-薬局単独	229	27.5	20.1	12.7	10.0	10.0	7.9	6.1	1.7	2.6	1.3	-
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-店舗販売業単独	11	18.2	18.2	45.5	-	-	9.1	-	-	-	9.1	-
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	124	27.4	18.5	14.5	13.7	7.3	10.5	6.5	0.8	0.8	-	-
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局単独	413	25.7	15.5	16.5	11.6	10.9	7.7	5.1	4.4	1.9	0.2	0.5
	複数店舗経営(100店舗以上)-店舗販売業単独	1469	71.7	7.0	8.2	2.2	2.8	3.1	1.6	2.9	0.2	0.1	0.2
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局と店舗販売業併設	1807	23.5	18.8	17.5	8.7	9.5	9.9	5.9	3.4	1.7	0.4	0.7
回答者資格 × 店舗形態別	薬局単独-回答者1人(①薬剤師)	1395	25.7	18.1	11.8	12.3	9.9	8.3	6.5	3.2	3.2	0.8	0.2
	薬局単独-回答者1人(②登録販売者)	43	30.2	20.9	18.6	2.3	7.0	-	16.3	2.3	-	-	2.3
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	5	-	-	20.0	20.0	60.0	-	-	-	-	-	-
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	15	13.3	33.3	13.3	6.7	6.7	6.7	-	13.3	6.7	-	-
	薬局単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	12	16.7	41.7	16.7	-	16.7	-	-	8.3	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者1人(①薬剤師)	46	58.7	13.0	10.9	6.5	6.5	-	2.2	-	2.2	-	-
	店舗販売業単独-回答者1人(②登録販売者)	1436	70.4	7.7	8.0	2.4	2.9	3.3	1.9	2.8	0.3	0.1	0.2
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	7	57.1	14.3	14.3	-	-	14.3	-	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	54	46.3	3.7	35.2	1.9	3.7	5.6	-	3.7	-	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(①薬剤師)	908	23.9	19.1	15.7	10.1	9.6	9.7	5.6	3.0	2.6	0.4	0.2
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(②登録販売者)	527	22.4	19.0	18.8	8.0	8.7	10.2	7.0	4.0	0.8	0.4	0.8
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	13	15.4	23.1	15.4	7.7	15.4	23.1	-	-	-	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	781	23.3	19.7	16.8	8.8	10.5	9.3	5.9	3.1	1.4	0.3	0.9
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	20	40.0	5.0	15.0	15.0	10.0	5.0	5.0	-	-	-	5.0

Q31 (3 位) 濫用等のおそれのある医薬品の情報提供や相談への対応時に購入者に説明している事項のうち、特に注意をしている順に3つ選択してください。



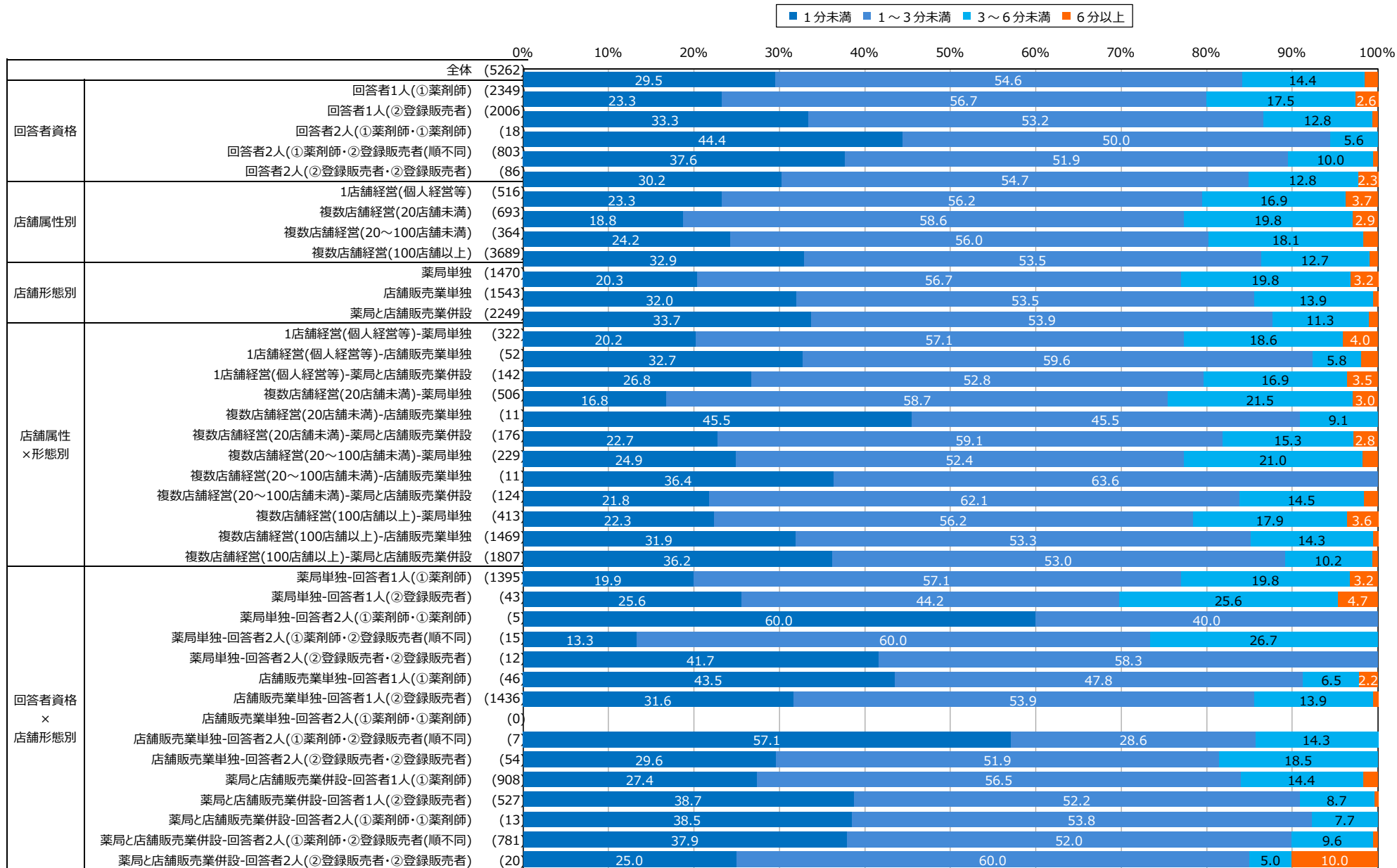
		n	使用上の注意(してはいけないこと、相談すること等)	飲み合わせ	用法及び用量	副作用	濫用等のおそれのある医薬品への該当	製品の特徴	効能又は効果	成分及び分量	リスク区分	保管及び取扱い上の注意	その他
全体		5262	23.7	20.8	13.6	13.5	10.4	5.8	5.7	3.1	1.5	1.5	0.5
回答者資格	回答者1人(①薬剤師)	2349	18.2	12.2	15.5	21.2	13.6	5.8	5.3	3.0	2.5	2.5	0.3
	回答者1人(②登録販売者)	2006	32.5	32.7	10.0	5.2	5.9	4.8	4.6	2.5	0.8	0.6	0.3
	回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	18	27.8	16.7	22.2	27.8	5.6	-	-	-	-	-	-
	回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	803	16.9	16.9	17.1	11.6	11.5	7.8	9.8	5.0	0.7	1.0	1.6
	回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	86	30.2	17.4	10.5	10.5	16.3	8.1	3.5	3.5	-	-	-
店舗属性別	1店舗経営(個人経営等)	516	20.5	10.7	14.7	19.6	13.6	6.6	5.8	3.3	1.7	2.9	0.6
	複数店舗経営(20店舗未満)	693	18.5	11.5	14.3	22.1	14.0	6.3	5.6	3.2	2.5	1.7	0.3
	複数店舗経営(20~100店舗未満)	364	17.9	12.4	15.1	23.1	12.9	4.1	5.2	3.6	3.0	2.5	0.3
	複数店舗経営(100店舗以上)	3689	25.6	24.8	13.1	10.1	9.0	5.7	5.7	3.1	1.2	1.1	0.6
店舗形態別	薬局単独	1470	19.7	12.0	13.9	22.0	13.4	5.6	4.8	3.5	2.3	2.4	0.3
	店舗販売業単独	1543	37.7	38.0	6.6	3.6	4.3	2.9	3.6	2.0	0.4	0.5	0.3
	薬局と店舗販売業併設	2249	16.6	14.7	18.1	14.7	12.5	7.9	7.6	3.6	1.8	1.5	0.8
店舗属性×形態別	1店舗経営(個人経営等)-薬局単独	322	23.6	9.3	14.6	20.5	14.0	5.6	5.3	3.4	1.2	2.2	0.3
	1店舗経営(個人経営等)-店舗販売業単独	52	21.2	21.2	9.6	13.5	13.5	9.6	7.7	3.8	-	-	-
	1店舗経営(個人経営等)-薬局と店舗販売業併設	142	13.4	9.9	16.9	19.7	12.7	7.7	6.3	2.8	3.5	5.6	1.4
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局単独	506	17.8	12.8	12.8	23.9	13.2	5.9	5.9	3.4	2.2	1.8	0.2
	複数店舗経営(20店舗未満)-店舗販売業単独	11	45.5	-	27.3	18.2	9.1	-	-	-	-	-	-
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	176	18.8	8.5	17.6	17.0	16.5	8.0	5.1	2.8	3.4	1.7	0.6
	複数店舗経営(20~100店舗未満)-薬局単独	229	17.0	13.1	11.8	26.6	14.0	3.5	3.9	4.4	3.5	1.7	0.4
	複数店舗経営(20~100店舗未満)-店舗販売業単独	11	9.1	18.2	27.3	-	27.3	-	9.1	9.1	-	-	-
	複数店舗経営(20~100店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	124	20.2	10.5	20.2	18.5	9.7	5.6	7.3	1.6	2.4	4.0	-
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局単独	413	20.3	12.6	16.0	18.2	12.8	6.3	3.6	3.4	2.7	3.9	0.2
	複数店舗経営(100店舗以上)-店舗販売業単独	1469	38.5	39.1	6.2	3.2	3.8	2.7	3.5	1.9	0.4	0.5	0.3
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局と店舗販売業併設	1807	16.4	16.0	18.2	13.8	12.3	8.0	8.0	3.9	1.5	1.0	0.9
回答者資格×店舗形態別	薬局単独-回答者1人(①薬剤師)	1395	19.4	12.0	14.0	22.3	13.8	5.4	4.8	3.4	2.4	2.4	0.2
	薬局単独-回答者1人(②登録販売者)	43	27.9	11.6	11.6	14.0	9.3	4.7	7.0	9.3	2.3	2.3	-
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	5	40.0	20.0	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	15	20.0	13.3	6.7	33.3	-	-	6.7	-	-	13.3	6.7
	薬局単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	12	16.7	16.7	16.7	8.3	-	33.3	-	8.3	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者1人(①薬剤師)	46	30.4	41.3	10.9	6.5	2.2	2.2	2.2	-	2.2	-	2.2
	店舗販売業単独-回答者1人(②登録販売者)	1436	38.2	38.6	6.4	3.2	3.8	3.0	3.6	2.1	0.3	0.6	0.2
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	7	28.6	28.6	-	-	14.3	-	28.6	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	54	31.5	22.2	9.3	13.0	20.4	-	1.9	1.9	-	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(①薬剤師)	908	15.7	11.0	18.1	20.3	13.8	6.5	6.3	2.6	2.6	2.8	0.3
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(②登録販売者)	527	17.1	18.2	19.7	9.9	11.6	9.9	7.0	3.2	2.1	0.6	0.8
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	13	23.1	15.4	15.4	38.5	7.7	-	-	-	-	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	781	16.8	16.9	17.4	11.3	11.7	8.1	9.7	5.1	0.8	0.8	1.5
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	20	35.0	5.0	10.0	5.0	15.0	15.0	10.0	5.0	-	-	-

Q32	濫用等のおそれのある医薬品の販売対応において、1回の対応にかけられるおよその時間を選択してください。（相談ありの場合）
-----	--



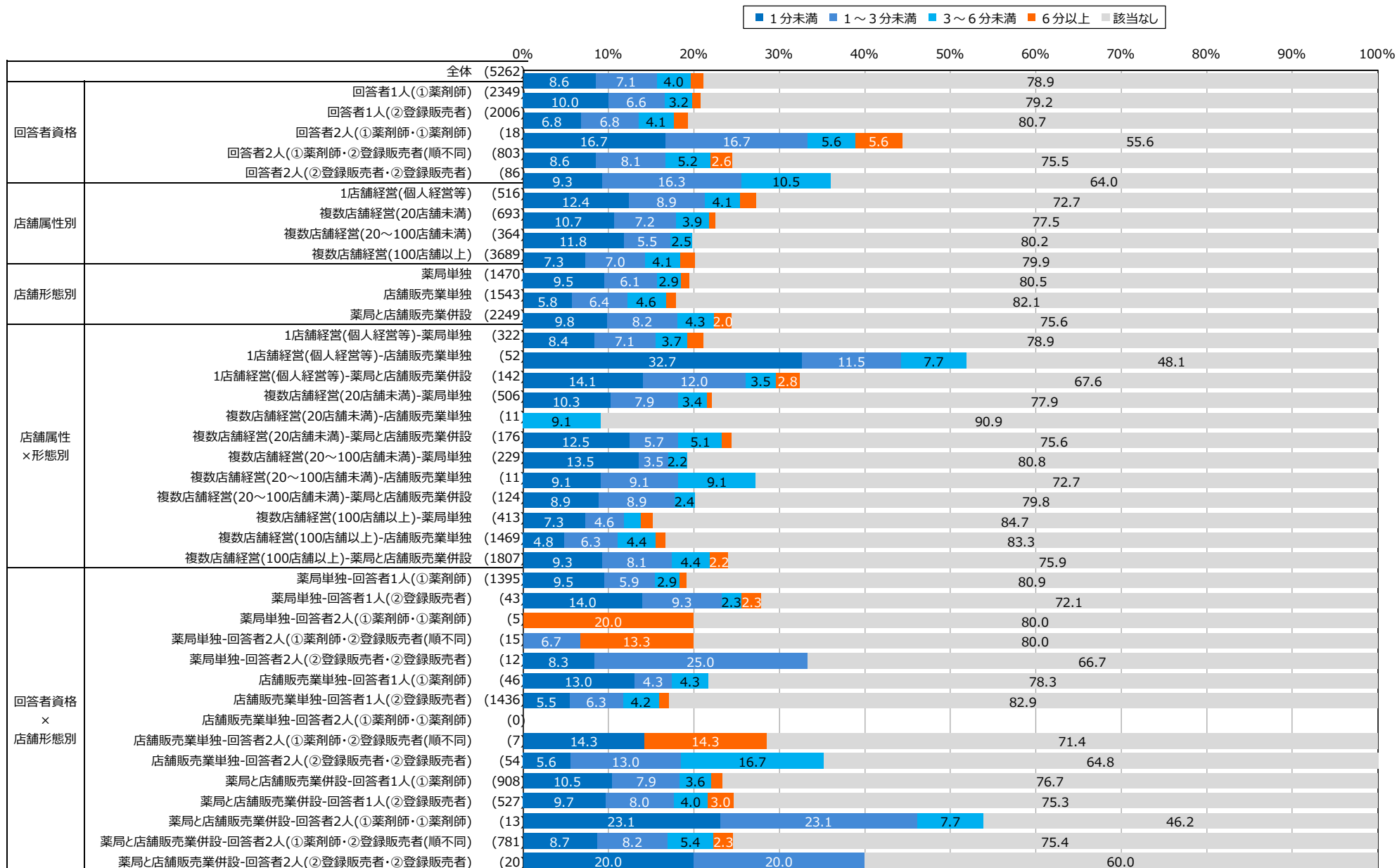
2%未満の数値ラベルは非表示

Q32	濫用等のおそれのある医薬品の販売対応において、1回の対応にかけられるおおよその時間を選択してください。（情報提供のみの場合）
-----	---



2%未満の数値ラベルは非表示

Q32	濫用等のおそれのある医薬品の販売対応において、1回の対応にかけられるおよその時間を選択してください。（そのほかの場合）
-----	--



2%未満の数値ラベルは非表示

Q33	過去1年以内で濫用等のおそれのある医薬品を購入しようとした者に対して販売を断った事例はありますか。
-----	---



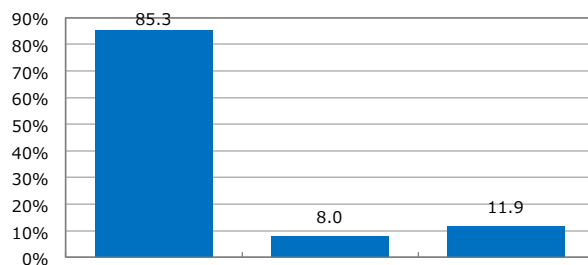
2%未満の数値ラベルは非表示

Q34	過去1年以内で濫用等のおそれのある医薬品を購入しようとした者に対して受診勧奨した事がありますか。
-----	--



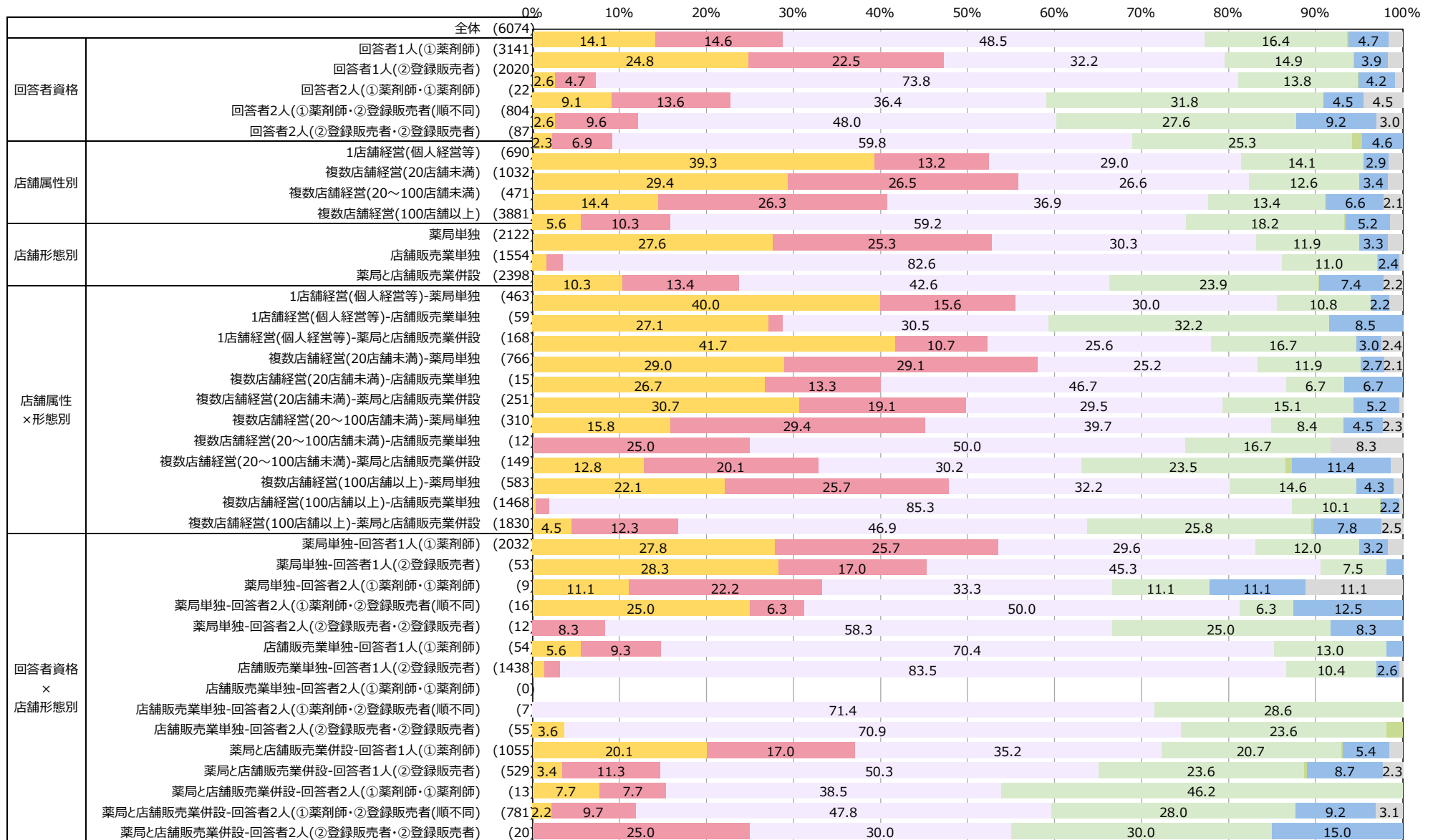
2%未満の数値ラベルは非表示

Q35	(Q4で指定第2類医薬品の取扱いが「無」の場合) 指定第2類医薬品を取り扱っていない理由について回答してください。(複数選択可)
-----	--



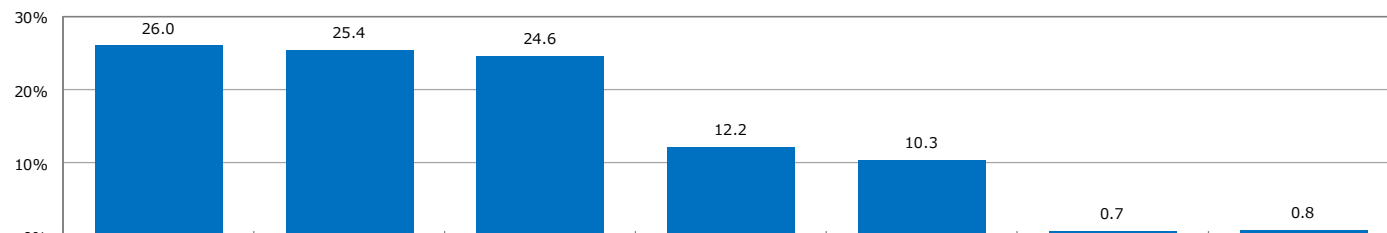
		n	需要が見込めないから	薬事規制により取扱、販売時に求められる事項が多いから	その他
全体+10pt以上					
全体+5pt以上					
全体-10pt以下					
全体-5pt以下					
(n=30以上)					
全体		885	85.3	8.0	11.9
回答者資格	回答者1人(①薬剤師)	863	85.6	7.8	11.9
	回答者1人(②登録販売者)	16	68.8	25.0	6.3
	回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	2	100.0	-	-
	回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	4	75.0	-	25.0
	回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	0	-	-	-
店舗属性別	1店舗経営(個人経営等)	234	86.3	11.5	7.7
	複数店舗経営(20店舗未満)	350	87.7	10.0	9.7
	複数店舗経営(20~100店舗未満)	140	87.1	4.3	10.7
	複数店舗経営(100店舗以上)	161	77.0	1.9	23.6
店舗形態別	薬局単独	728	87.2	8.1	10.2
	店舗販売業単独	12	50.0	33.3	16.7
	薬局と店舗販売業併設	145	78.6	5.5	20.0
店舗属性×形態別	1店舗経営(個人経営等)-薬局単独	207	87.0	11.1	7.7
	1店舗経営(個人経営等)-店舗販売業単独	5	80.0	-	20.0
	1店舗経営(個人経営等)-薬局と店舗販売業併設	22	81.8	18.2	4.5
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局単独	298	87.2	10.4	10.1
	複数店舗経営(20店舗未満)-店舗販売業単独	1	-	100.0	-
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	51	92.2	5.9	7.8
	複数店舗経営(20~100店舗未満)-薬局単独	109	89.0	4.6	9.2
	複数店舗経営(20~100店舗未満)-店舗販売業単独	1	100.0	-	-
	複数店舗経営(20~100店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	30	80.0	3.3	16.7
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局単独	114	86.0	-	15.8
	複数店舗経営(100店舗以上)-店舗販売業単独	5	20.0	60.0	20.0
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局と店舗販売業併設	42	59.5	-	45.2
回答者資格×店舗形態別	薬局単独-回答者1人(①薬剤師)	720	87.1	8.2	10.3
	薬局単独-回答者1人(②登録販売者)	6	100.0	-	-
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	1	100.0	-	-
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	1	100.0	-	-
	薬局単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	0	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者1人(①薬剤師)	5	80.0	-	20.0
	店舗販売業単独-回答者1人(②登録販売者)	7	28.6	57.1	14.3
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	0	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	0	-	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(①薬剤師)	138	78.3	5.8	20.3
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(②登録販売者)	3	100.0	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	1	100.0	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	3	66.7	-	33.3
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	0	-	-	-

Q36 指定第2類医薬品の陳列方法のうち、最も多いものを選択してください。



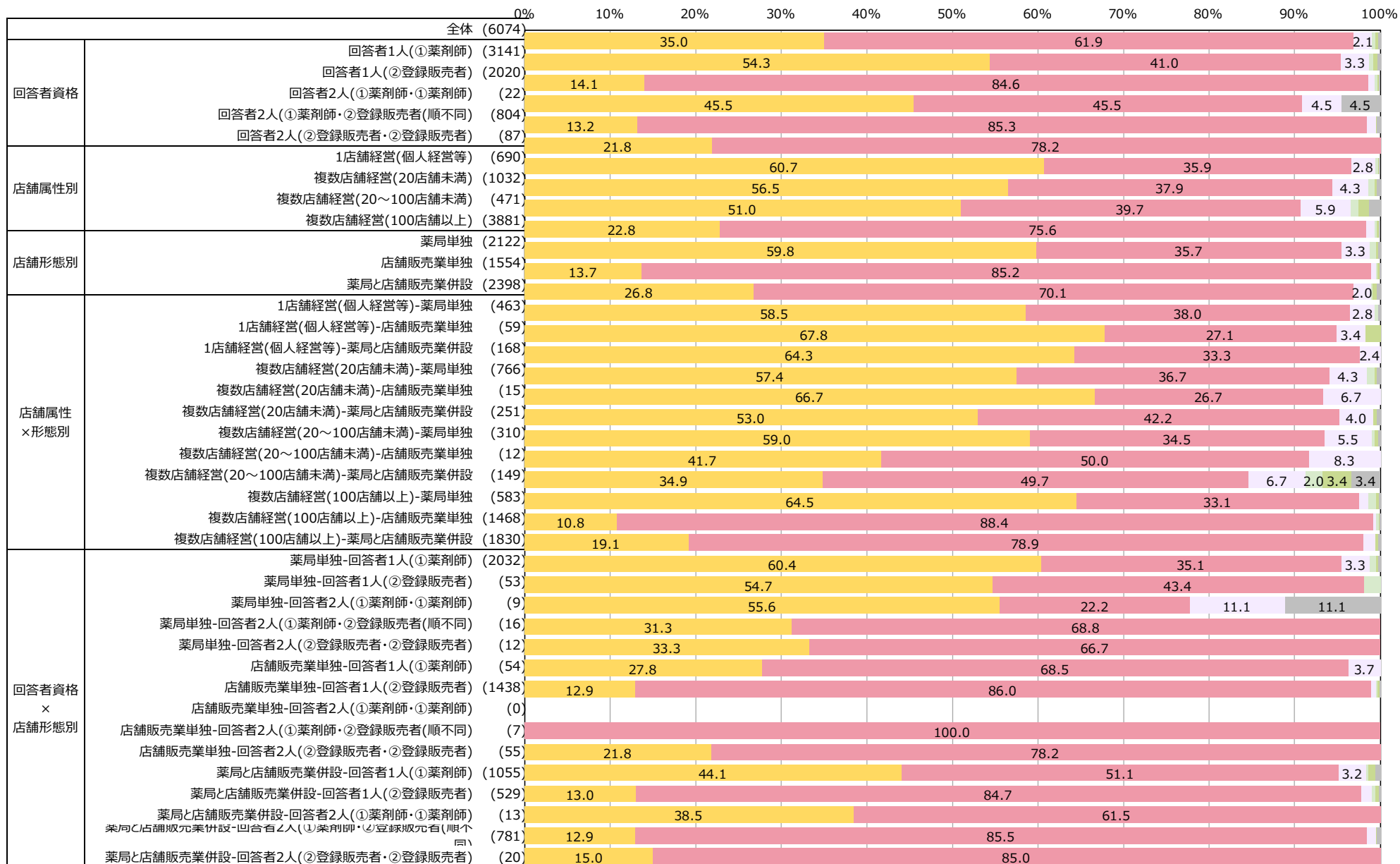
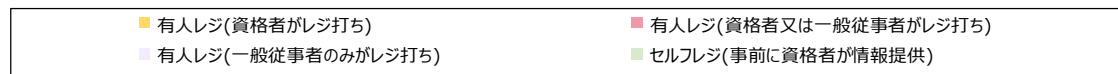
2%未満の数値ラベルは非表示

Q37 指定第2類医薬品を販売する際の資格者の対応方法のうち、最も多いものを選択してください。



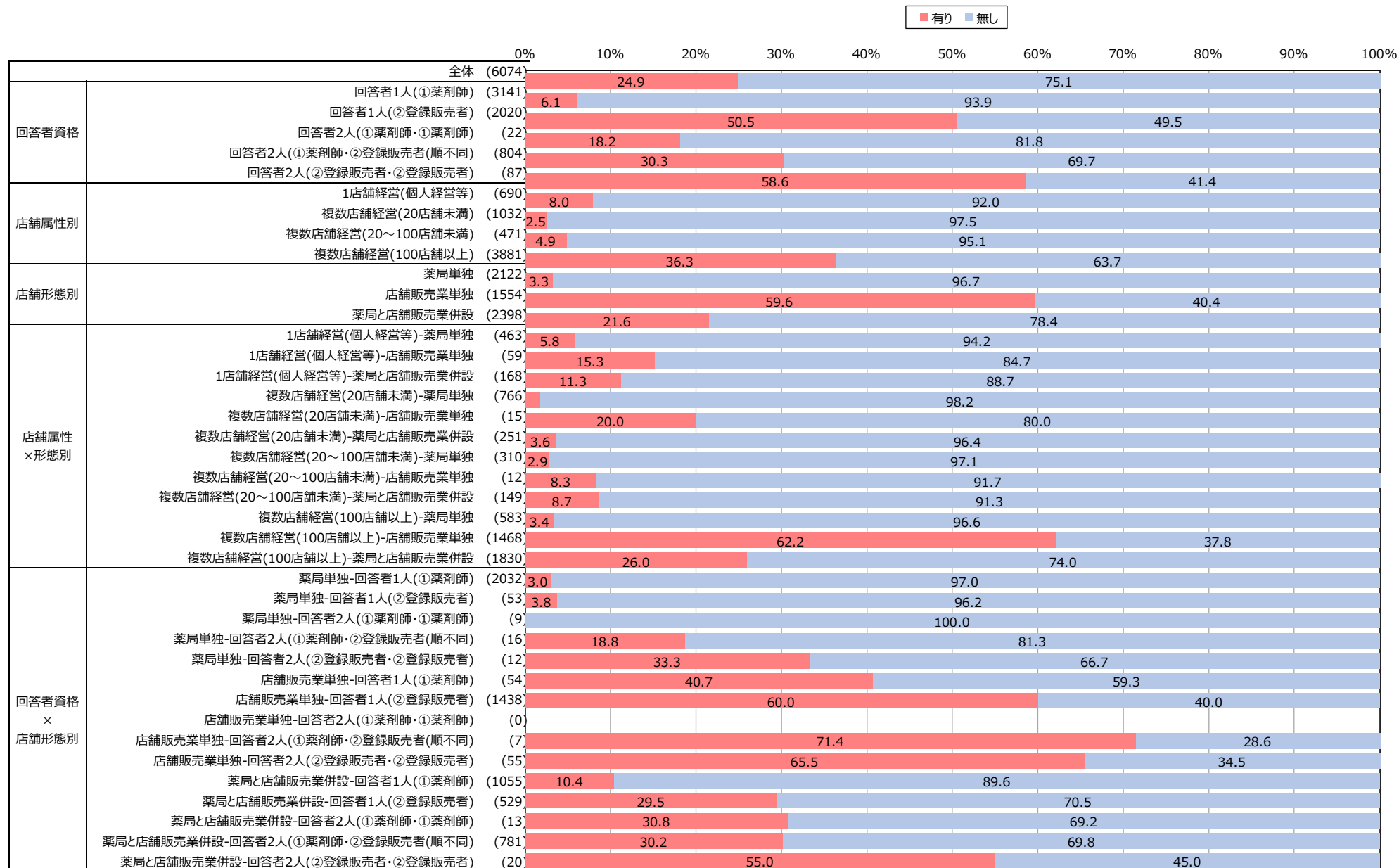
		n	資格者が売り場全体が見渡せる状況にあり、気づきの点があれば声掛けする	購入者が直接手に取れないような陳列方法により、現物を手にする際に必ず資格者が対応(カウンター等)	一般従事者のレジ対応者が指定第2類医薬品の購入者があった時に資格者を呼ぶ	資格者対応のレジ(医薬品専用レジ)で対応	相談があった時だけ資格者が対応	売り場のボタン等で呼び出された場合に対応する	その他
全体		6074	26.0	25.4	24.6	12.2	10.3	0.7	0.8
回答者資格	回答者1人(①薬剤師)	3141	10.5	44.4	21.7	17.3	4.5	0.4	1.2
	回答者1人(②登録販売者)	2020	54.0	4.4	20.5	7.0	13.1	0.7	0.3
	回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	22	9.1	22.7	40.9	13.6	4.5	4.5	4.5
	回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	804	14.9	6.2	45.6	4.5	26.4	1.7	0.6
	回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	87	44.8	3.4	25.3	16.1	10.3	-	-
店舗属性別	1店舗経営(個人経営等)	690	11.2	52.8	10.0	11.2	19.4	4.8	1.7
	複数店舗経営(20店舗未満)	1032	11.0	54.2	13.4	17.2	2.9	-	1.4
	複数店舗経営(20~100店舗未満)	471	13.2	36.1	26.5	17.4	4.9	0.2	1.7
	複数店舗経営(100店舗以上)	3881	34.2	11.6	29.9	8.9	13.9	1.0	0.4
店舗形態別	薬局単独	2122	10.2	50.6	15.1	18.7	3.7	0.1	1.6
	店舗販売業単独	1554	68.0	2.3	13.3	8.5	7.4	0.5	0.1
	薬局と店舗販売業併設	2398	12.8	18.1	40.3	8.8	18.1	1.3	0.5
店舗属性×形態別	1店舗経営(個人経営等)-薬局単独	463	11.2	55.3	9.1	18.1	3.9	-	2.4
	1店舗経営(個人経営等)-店舗販売業単独	59	15.3	25.4	15.3	40.7	1.7	1.7	-
	1店舗経営(個人経営等)-薬局と店舗販売業併設	168	9.5	55.4	10.7	15.5	8.3	-	0.6
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局単独	766	10.2	57.3	11.6	17.0	2.1	-	1.8
	複数店舗経営(20店舗未満)-店舗販売業単独	15	6.7	33.3	-	40.0	20.0	-	-
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	251	13.9	45.8	19.5	16.3	4.4	-	-
	複数店舗経営(20~100店舗未満)-薬局単独	310	12.6	40.3	19.7	19.4	6.1	0.3	1.6
	複数店舗経営(20~100店舗未満)-店舗販売業単独	12	41.7	25.0	-	25.0	-	-	8.3
	複数店舗経営(20~100店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	149	12.1	28.2	43.0	12.8	2.7	-	1.3
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局単独	583	8.1	43.6	22.0	21.1	4.3	0.2	0.9
	複数店舗経営(100店舗以上)-店舗販売業単独	1468	70.9	0.8	13.4	6.7	7.6	0.5	0.1
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局と店舗販売業併設	1830	13.1	10.1	45.7	6.8	22.1	1.7	0.5
回答者資格×店舗形態別	薬局単独-回答者1人(①薬剤師)	2032	10.1	51.3	14.5	18.8	3.5	0.0	1.7
	薬局単独-回答者1人(②登録販売者)	53	9.4	45.3	26.4	11.3	7.5	-	-
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	9	11.1	44.4	11.1	22.2	-	-	11.1
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	16	-	25.0	43.8	18.8	6.3	6.3	-
	薬局単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	12	33.3	-	33.3	25.0	8.3	-	-
	店舗販売業単独-回答者1人(①薬剤師)	54	48.1	13.0	11.1	14.8	9.3	3.7	-
	店舗販売業単独-回答者1人(②登録販売者)	1438	69.1	1.9	13.2	8.0	7.3	0.4	0.1
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	7	57.1	-	14.3	-	28.6	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	55	60.0	1.8	16.4	16.4	5.5	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(①薬剤師)	1055	9.2	32.9	36.1	14.5	6.1	0.9	0.4
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(②登録販売者)	529	17.4	7.2	39.7	4.0	29.3	1.7	0.8
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	13	7.7	7.7	61.5	7.7	7.7	7.7	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	781	14.9	5.9	46.0	4.2	26.8	1.7	0.6
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	20	10.0	10.0	45.0	10.0	25.0	-	-

Q38 指定第2類医薬品販売時の会計方法を選択してください。



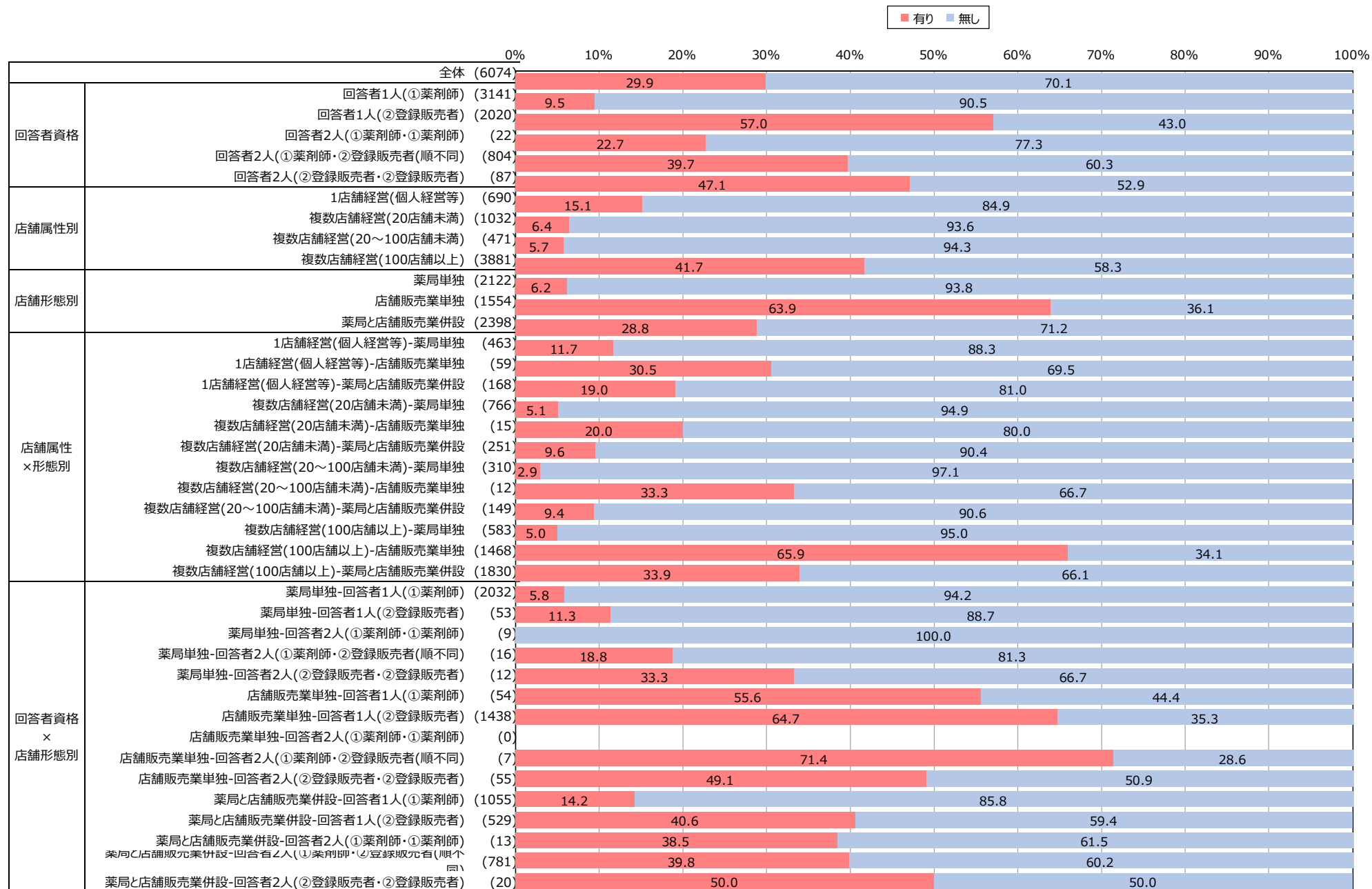
2%未満の数値ラベルは非表示

Q39	過去1年以内で指定第2類医薬品（濫用等のおそれのある医薬品を除く）を購入しようとした者に対して販売を断った事例はありますか。
-----	--



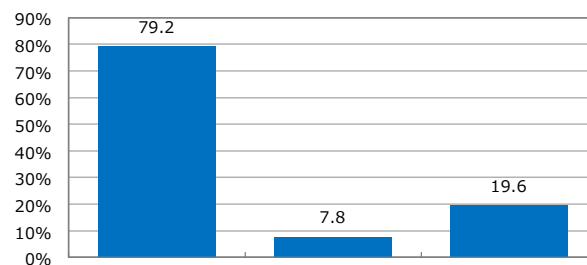
2%未満の数値ラベルは非表示

Q40 過去1年以内で指定第2類医薬品を購入しようとした者に対して受診勧奨した事例はありますか。



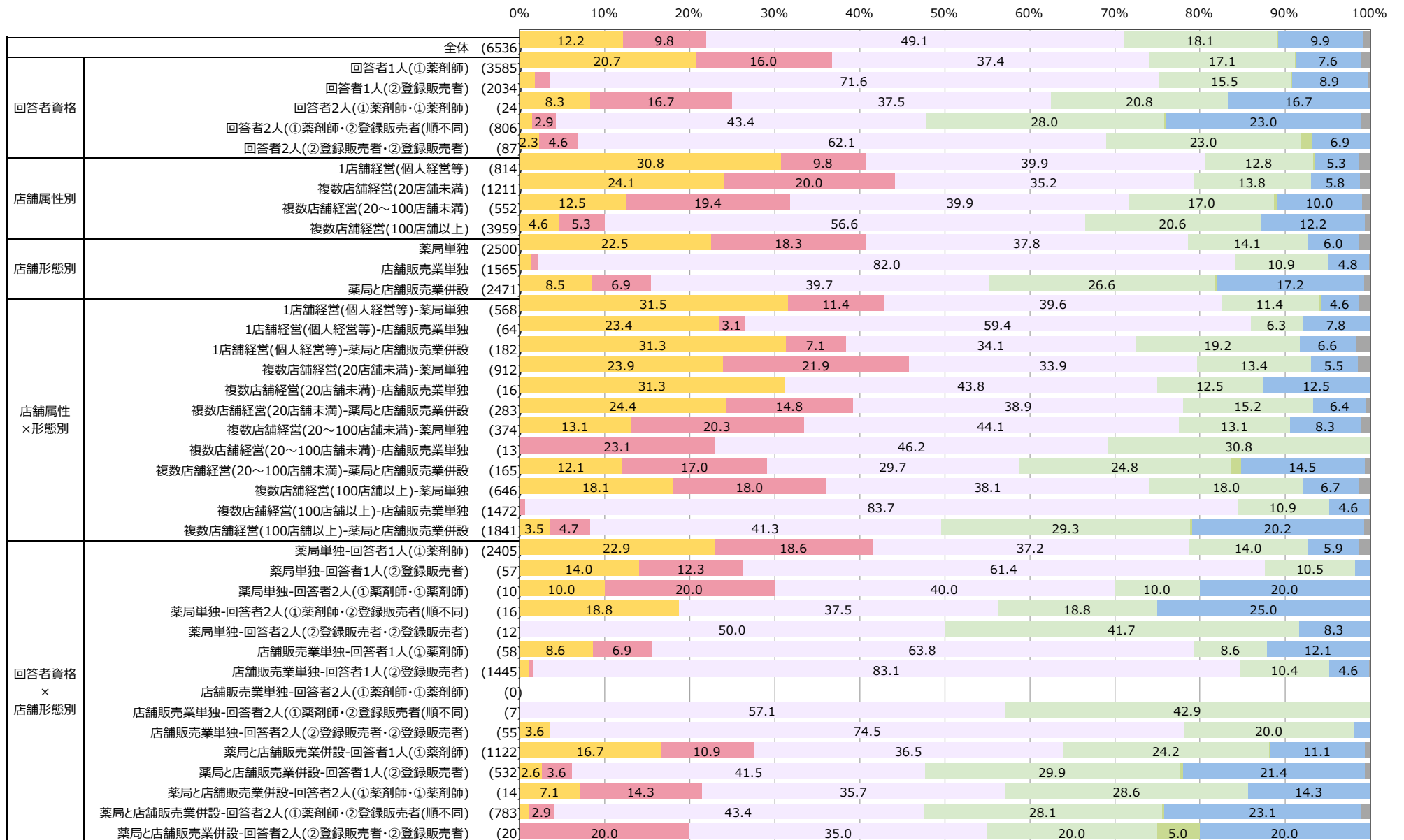
2%未満の数値ラベルは非表示

Q41	(Q4で第2類医薬品の取扱いが「無」の場合)第2類医薬品を取り扱っていない理由について回答してください。(複数選択可)
-----	---



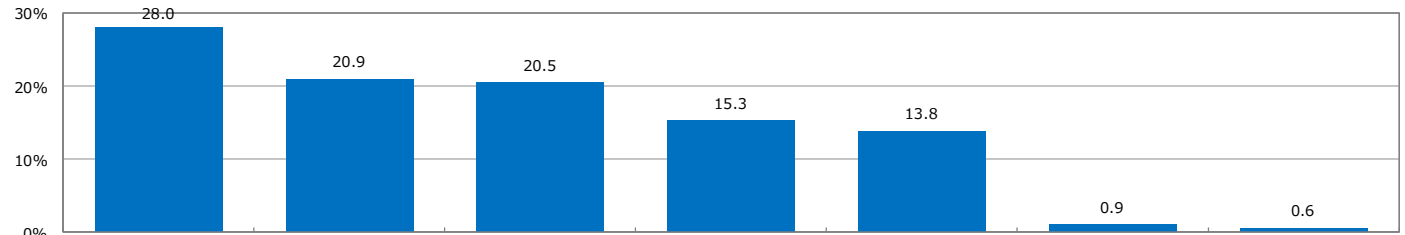
		n	需要が見込めないから	薬事規制により取扱、販売時に求められる事項が多いから	その他
全体		424	79.2	7.8	19.6
回答者資格	回答者1人(①薬剤師)	420	79.3	7.9	19.5
	回答者1人(②登録販売者)	2	100.0	-	-
	回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-
	回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	2	50.0	-	50.0
	回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	0	-	-	-
	回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	0	-	-	-
店舗属性別	1店舗経営(個人経営等)	111	82.9	14.4	11.7
	複数店舗経営(20店舗未満)	171	85.4	7.6	14.6
	複数店舗経営(20~100店舗未満)	59	76.3	6.8	20.3
	複数店舗経営(100店舗以上)	83	63.9	-	39.8
店舗形態別	薬局単独	351	82.3	8.5	16.2
	店舗販売業単独	1	-	-	100.0
	薬局と店舗販売業併設	72	65.3	4.2	34.7
店舗属性 × 形態別	1店舗経営(個人経営等)-薬局単独	103	84.5	13.6	11.7
	1店舗経営(個人経営等)-店舗販売業単独	0	-	-	-
	1店舗経営(個人経営等)-薬局と店舗販売業併設	8	62.5	25.0	12.5
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局単独	152	84.9	7.9	14.5
	複数店舗経営(20店舗未満)-店舗販売業単独	0	-	-	-
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	19	89.5	5.3	15.8
	複数店舗経営(20~100店舗未満)-薬局単独	45	80.0	8.9	15.6
	複数店舗経営(20~100店舗未満)-店舗販売業単独	0	-	-	-
	複数店舗経営(20~100店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	14	64.3	-	35.7
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局単独	51	72.5	-	31.4
	複数店舗経営(100店舗以上)-店舗販売業単独	1	-	-	100.0
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局と店舗販売業併設	31	51.6	-	51.6
	薬局単独-回答者1人(①薬剤師)	348	82.2	8.6	16.4
	薬局単独-回答者1人(②登録販売者)	2	100.0	-	-
回答者資格 × 店舗形態別	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	1	100.0	-	-
	薬局単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	0	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者1人(①薬剤師)	1	-	-	100.0
	店舗販売業単独-回答者1人(②登録販売者)	0	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	0	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	0	-	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(①薬剤師)	71	66.2	4.2	33.8
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(②登録販売者)	0	-	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	1	-	-	100.0
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	0	-	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	0	-	-	-

Q42 第2類医薬品（濫用等のおそれのある医薬品を除く）の陳列方法のうち、最も多いものを選択してください。



2%未満の数値ラベルは非表示

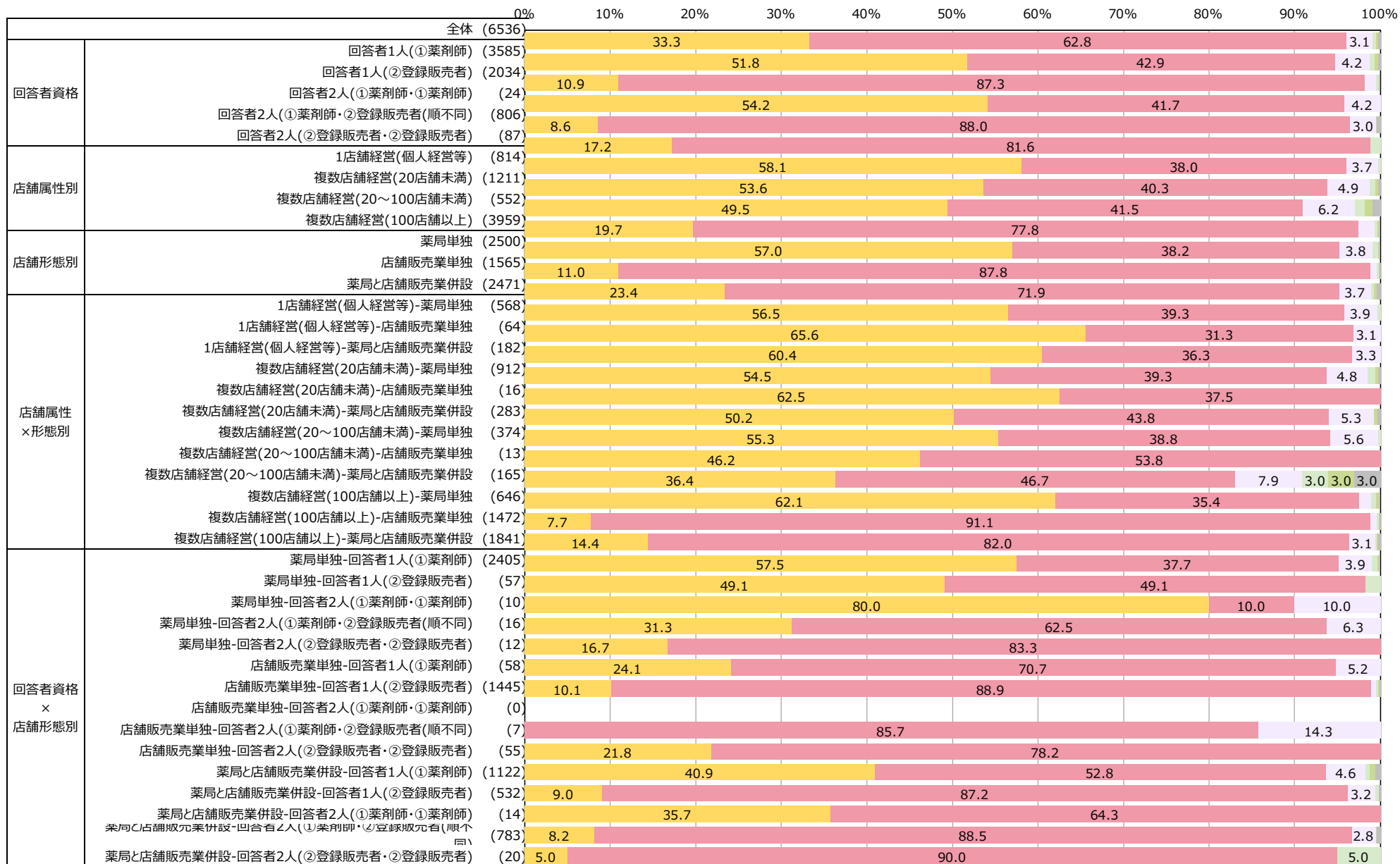
Q43 第2類医薬品（濫用等のおそれのある医薬品を除く）を販売する際の資格者の対応方法のうち、最も多いものを選択してください。



		n	資格者が売り場全体が見渡せる状況にしており、気づきの点があれば声掛けする	一般従事者のレジ対応者が第2類医薬品の購入者があつた時に資格者を呼ぶ	購入者が直接手に取れないような陳列方法により、現物を手にする際に必ず資格者が対応(カウンター等)	相談があつた時だけ資格者が対応	資格者対応のレジ(医薬品専用レジ)で対応	売り場のボタン等で呼び出された場合に対応する	その他
全体		6536	28.0	20.9	20.5	15.3	13.8	0.9	0.6
回答者資格	回答者1人(①薬剤師)	3585	13.9	21.9	35.1	7.3	20.6	0.5	0.8
	回答者1人(②登録販売者)	2034	56.1	15.0	2.5	19.5	5.9	0.9	0.1
	回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	24	16.7	33.3	20.8	4.2	20.8	4.2	-
	回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	806	18.2	30.9	3.0	40.4	3.8	3.0	0.6
	回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	87	49.4	19.5	4.6	16.1	10.3	-	-
店舗属性別	1店舗経営(個人経営等)	814	13.1	13.4	42.5	6.3	23.6	0.1	1.0
	複数店舗経営(20店舗未満)	1211	15.2	16.2	41.9	4.3	21.4	-	1.0
	複数店舗経営(20～100店舗未満)	552	17.9	26.8	27.7	6.7	19.7	0.4	0.7
	複数店舗経営(100店舗以上)	3959	36.4	23.0	8.4	21.6	8.7	1.5	0.3
店舗形態別	薬局単独	2500	13.9	17.3	39.5	5.7	22.5	0.1	1.0
	店舗販売業単独	1565	69.3	10.4	1.8	11.4	6.7	0.4	-
	薬局と店舗販売業併設	2471	16.2	31.2	13.1	27.4	9.6	2.1	0.5
店舗属性×形態別	1店舗経営(個人経営等)-薬局単独	568	13.4	12.9	44.9	5.3	22.4	-	1.2
	1店舗経営(個人経営等)-店舗販売業単独	64	12.5	17.2	26.6	4.7	39.1	-	-
	1店舗経営(個人経営等)-薬局と店舗販売業併設	182	12.6	13.7	40.7	9.9	22.0	0.5	0.5
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局単独	912	14.7	14.8	43.9	3.7	21.7	-	1.2
	複数店舗経営(20店舗未満)-店舗販売業単独	16	6.3	12.5	31.3	12.5	37.5	-	-
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	283	17.3	20.8	36.4	5.7	19.4	-	0.4
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-薬局単独	374	18.2	20.1	30.5	8.0	22.2	0.3	0.8
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-店舗販売業単独	13	38.5	7.7	23.1	7.7	23.1	-	-
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	165	15.8	43.6	21.8	3.6	13.9	0.6	0.6
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局単独	646	10.8	23.2	33.9	7.4	23.8	0.2	0.6
回答者資格×店舗形態別	複数店舗経営(100店舗以上)-店舗販売業単独	1472	72.7	10.1	0.2	11.8	4.8	0.5	-
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局と店舗販売業併設	1841	16.4	33.4	6.0	34.5	6.4	2.8	0.5
	薬局単独-回答者1人(①薬剤師)	2405	13.6	16.8	40.1	5.5	22.7	0.1	1.0
	薬局単独-回答者1人(②登録販売者)	57	21.1	26.3	29.8	7.0	15.8	-	-
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	10	20.0	20.0	40.0	-	20.0	-	-
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	16	6.3	43.8	12.5	18.8	18.8	-	-
	薬局単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	12	41.7	33.3	-	16.7	8.3	-	-
	店舗販売業単独-回答者1人(①薬剤師)	58	51.7	6.9	15.5	10.3	12.1	3.4	-
	店舗販売業単独-回答者1人(②登録販売者)	1445	70.2	10.4	1.2	11.6	6.3	0.3	-
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	7	57.1	-	-	42.9	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	55	65.5	14.5	3.6	3.6	12.7	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(①薬剤師)	1122	12.4	33.6	25.2	10.8	16.3	1.3	0.4
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(②登録販売者)	532	21.6	26.3	3.0	42.1	3.9	2.4	0.6
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	14	14.3	42.9	7.1	7.1	21.4	7.1	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	783	18.1	30.9	2.8	40.9	3.6	3.1	0.6
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	20	10.0	25.0	10.0	50.0	5.0	-	-

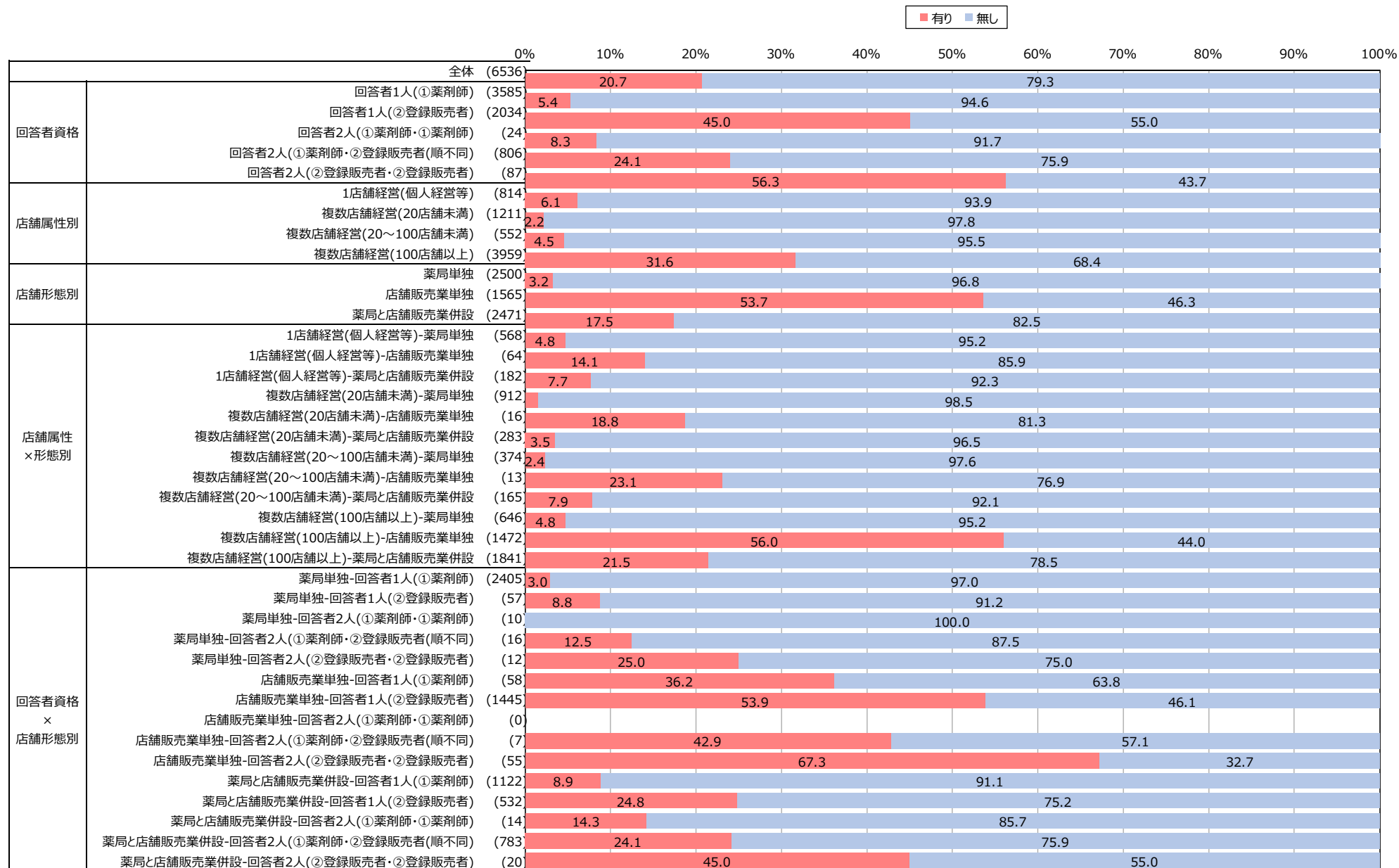
Q44 第2類医薬品（濫用等のおそれのある医薬品を除く）販売時の会計方法を選択してください。

■ 有人レジ(資格者がレジ打ち)
■ 有人レジ(資格者又は一般従事者がレジ打ち)
■ 有人レジ(一般従事者のみがレジ打ち)
■ セルフレジ(事前に資格者が情報提供)



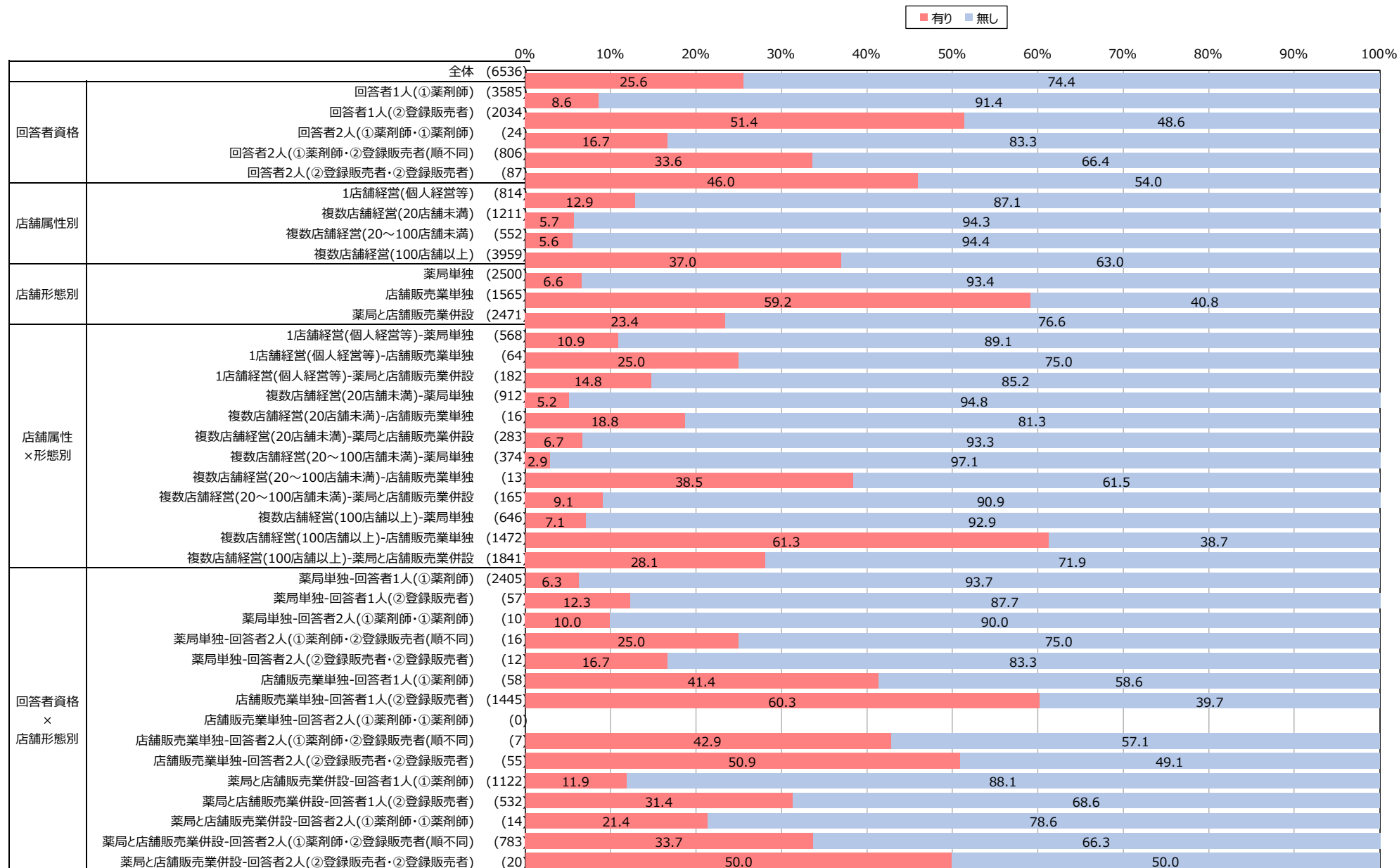
2%未満の数値ラベルは非表示

Q45	過去1年以内で第2類医薬品（濫用等のおそれのある医薬品を除く）を購入しようとした者に対して販売を断った事例はありますか。
-----	--



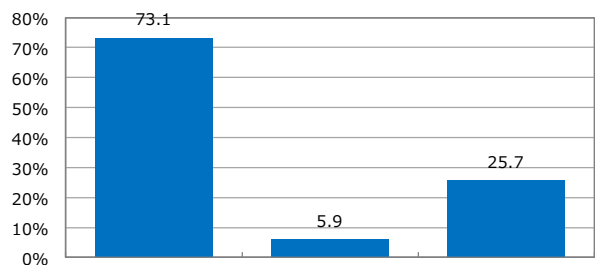
2%未満の数値ラベルは非表示

Q46	過去1年以内で第2類医薬品（濫用等のおそれのある医薬品を除く）を購入しようとした者に対して受診勧奨した事例はありますか。
-----	--



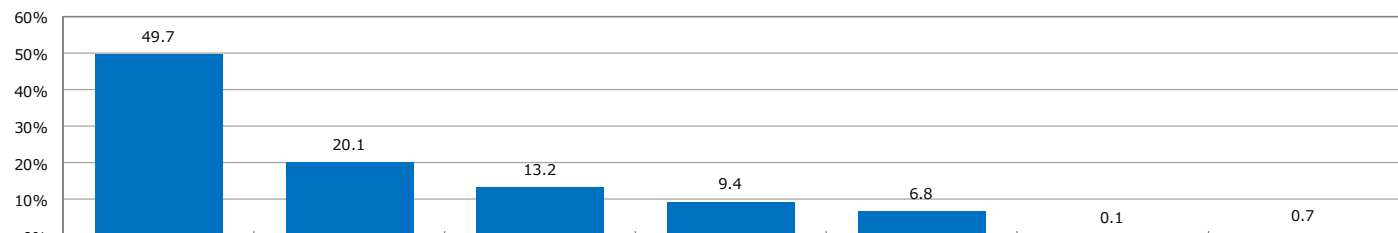
2%未満の数値ラベルは非表示

Q47	(Q4で第3類医薬品の取扱いが「無」の場合)第3類医薬品を取り扱っていない理由について回答してください。(複数選択可)
-----	---



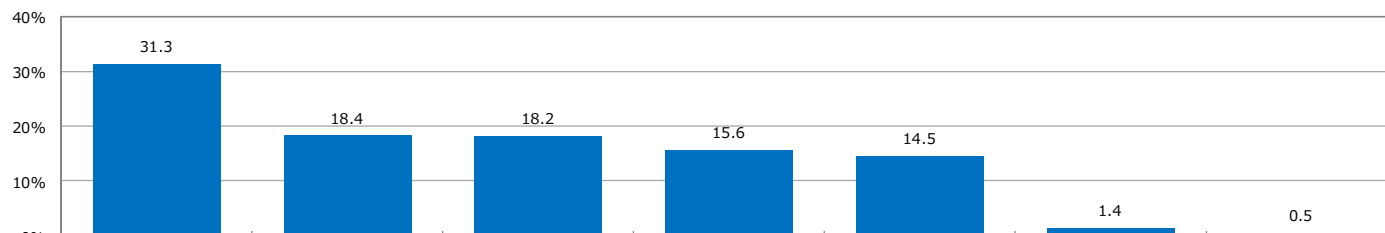
		n	需要が見込めないから	薬事規制により取扱、販売時に求められる事項が多いから	その他
全体		424	73.1	5.9	25.7
回答者資格	回答者1人(①薬剤師)	420	73.3	6.0	25.5
	回答者1人(②登録販売者)	2	50.0	-	50.0
	回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-
	回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	2	50.0	-	50.0
	回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	0	-	-	-
	回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	0	-	-	-
店舗属性別	1店舗経営(個人経営等)	111	78.4	9.0	18.9
	複数店舗経営(20店舗未満)	171	76.0	6.4	22.8
	複数店舗経営(20~100店舗未満)	59	71.2	6.8	25.4
	複数店舗経営(100店舗以上)	83	61.4	-	41.0
店舗形態別	薬局単独	351	76.1	6.8	22.5
	店舗販売業単独	1	-	-	100.0
	薬局と店舗販売業併設	72	59.7	1.4	40.3
店舗属性 × 形態別	1店舗経営(個人経営等)-薬局単独	103	80.6	8.7	17.5
	1店舗経営(個人経営等)-店舗販売業単独	0	-	-	-
	1店舗経営(個人経営等)-薬局と店舗販売業併設	8	50.0	12.5	37.5
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局単独	152	75.7	7.2	23.0
	複数店舗経営(20店舗未満)-店舗販売業単独	0	-	-	-
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	19	78.9	-	21.1
	複数店舗経営(20~100店舗未満)-薬局単独	45	73.3	8.9	22.2
	複数店舗経営(20~100店舗未満)-店舗販売業単独	0	-	-	-
	複数店舗経営(20~100店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	14	64.3	-	35.7
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局単独	51	70.6	-	31.4
	複数店舗経営(100店舗以上)-店舗販売業単独	1	-	-	100.0
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局と店舗販売業併設	31	48.4	-	54.8
	薬局単独-回答者1人(①薬剤師)	348	76.1	6.9	22.4
	薬局単独-回答者1人(②登録販売者)	2	50.0	-	50.0
回答者資格 × 店舗形態別	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	1	100.0	-	-
	薬局単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	0	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者1人(①薬剤師)	1	-	-	100.0
	店舗販売業単独-回答者1人(②登録販売者)	0	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	0	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	0	-	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(①薬剤師)	71	60.6	1.4	39.4
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(②登録販売者)	0	-	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	1	-	-	100.0
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	0	-	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	0	-	-	-

Q48 第3類医薬品の陳列方法のうち、最も多いものを選択してください。



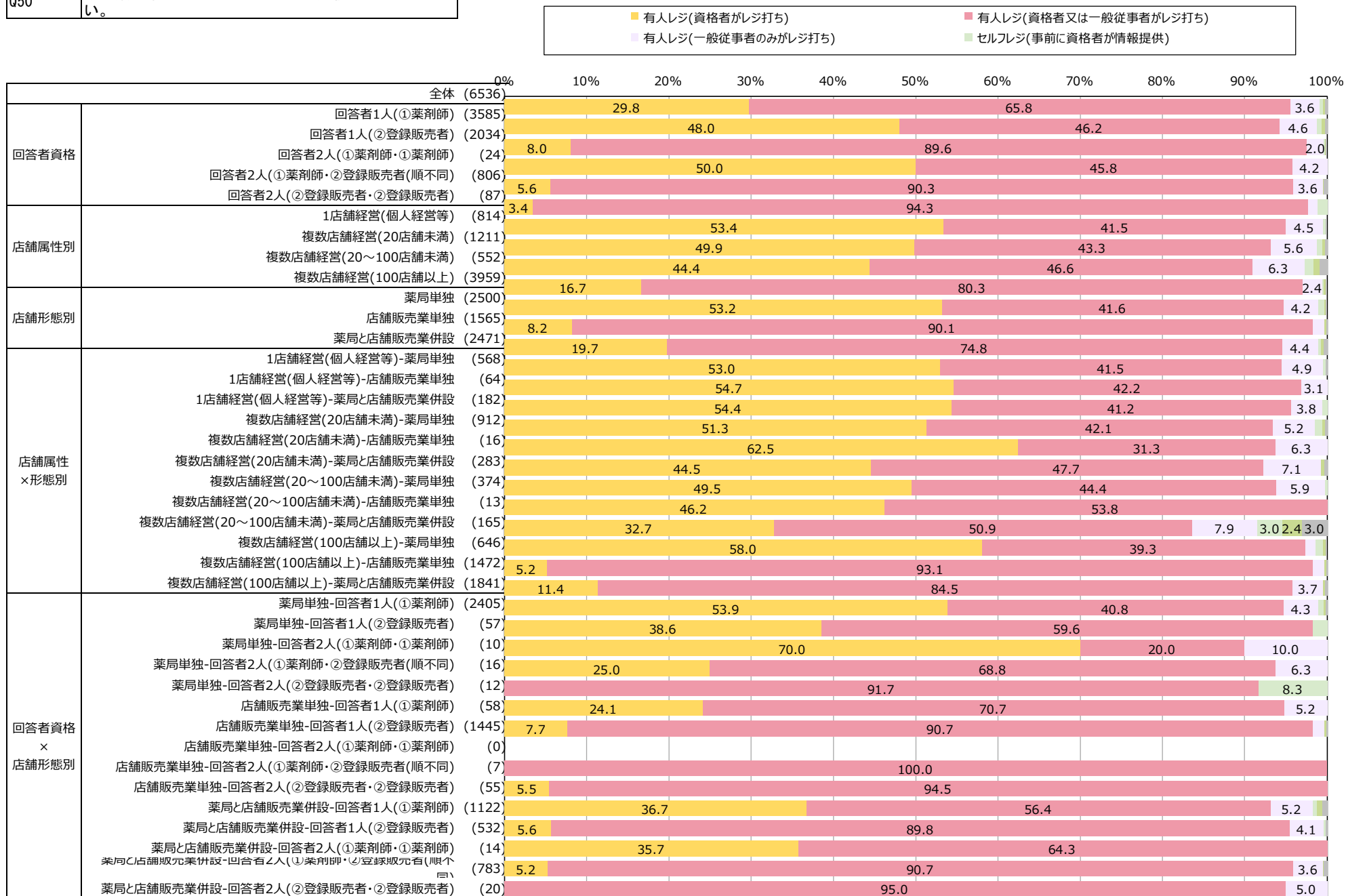
		n	資格者の目で見える範囲に陳列	資格者から一定の距離内に陳列	通常の商品と同様に陳列	カウンター内側のみ陳列	見本や空箱等を置き、購入者がとれないよう陳列	販売機(それに類似するもの)	その他
全体		6536	49.7	20.1	13.2	9.4	6.8	0.1	0.7
回答者資格	回答者1人(①薬剤師)	3585	41.1	18.9	11.0	16.3	11.7	0.1	1.0
	回答者1人(②登録販売者)	2034	69.3	17.4	11.3	0.9	0.9	0.0	0.1
	回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	24	37.5	20.8	20.8	8.3	12.5	-	-
	回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	806	38.1	31.8	27.5	0.9	0.4	0.2	1.1
	回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	87	60.9	23.0	12.6	1.1	1.1	1.1	-
店舗属性別	1店舗経営(個人経営等)	814	46.4	16.1	8.2	21.6	6.6	-	1.0
	複数店舗経営(20店舗未満)	1211	39.6	15.4	8.6	19.3	16.1	-	1.0
	複数店舗経営(20～100店舗未満)	552	43.3	16.3	14.7	9.2	15.4	0.2	0.9
	複数店舗経営(100店舗以上)	3959	54.4	22.9	15.4	3.8	2.8	0.1	0.6
店舗形態別	薬局単独	2500	42.0	15.8	9.1	18.2	13.9	-	1.1
	店舗販売業単独	1565	80.9	11.7	6.4	0.4	0.4	-	0.1
店舗属性 ×形態別	薬局と店舗販売業併設	2471	37.9	29.8	21.6	6.2	3.6	0.2	0.7
	1店舗経営(個人経営等)-薬局単独	568	47.2	14.6	7.0	22.9	7.6	-	0.7
	1店舗経営(個人経営等)-店舗販売業単独	64	64.1	14.1	9.4	7.8	4.7	-	-
	1店舗経営(個人経営等)-薬局と店舗販売業併設	182	37.9	21.4	11.5	22.5	4.4	-	2.2
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局単独	912	37.3	14.7	8.4	20.1	18.2	-	1.3
	複数店舗経営(20店舗未満)-店舗販売業単独	16	62.5	12.5	12.5	6.3	6.3	-	-
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	283	45.9	17.7	8.8	17.7	9.9	-	-
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-薬局単独	374	47.9	12.3	12.3	10.4	16.0	-	1.1
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-店舗販売業単独	13	38.5	38.5	7.7	-	15.4	-	-
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	165	33.3	23.6	20.6	7.3	13.9	0.6	0.6
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局単独	646	40.6	20.3	10.1	15.8	12.1	-	1.2
	複数店舗経営(100店舗以上)-店舗販売業単独	1472	82.2	11.3	6.2	0.1	0.1	-	0.1
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局と店舗販売業併設	1841	37.0	33.0	24.7	2.7	1.7	0.3	0.7
回答者資格 × 店舗形態別	薬局単独-回答者1人(①薬剤師)	2405	41.9	15.6	8.9	18.4	14.1	-	1.2
	薬局単独-回答者1人(②登録販売者)	57	54.4	17.5	7.0	12.3	8.8	-	-
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	10	20.0	20.0	30.0	10.0	20.0	-	-
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	16	31.3	18.8	31.3	18.8	-	-	-
	薬局単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	12	33.3	41.7	25.0	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者1人(①薬剤師)	58	62.1	12.1	15.5	5.2	5.2	-	-
	店舗販売業単独-回答者1人(②登録販売者)	1445	81.9	11.3	6.2	0.2	0.3	-	0.1
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	7	57.1	42.9	-	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	55	78.2	18.2	1.8	1.8	-	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(①薬剤師)	1122	38.2	26.6	15.3	12.4	6.7	0.2	0.6
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(②登録販売者)	532	36.8	33.8	25.6	1.5	1.9	0.2	0.2
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	14	50.0	21.4	14.3	7.1	7.1	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	783	38.1	31.9	27.7	0.5	0.4	0.3	1.1
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	20	30.0	25.0	35.0	-	5.0	5.0	-

Q49 第3類医薬品を販売する際の資格者の対応方法のうち、最も多いものを選択してください。



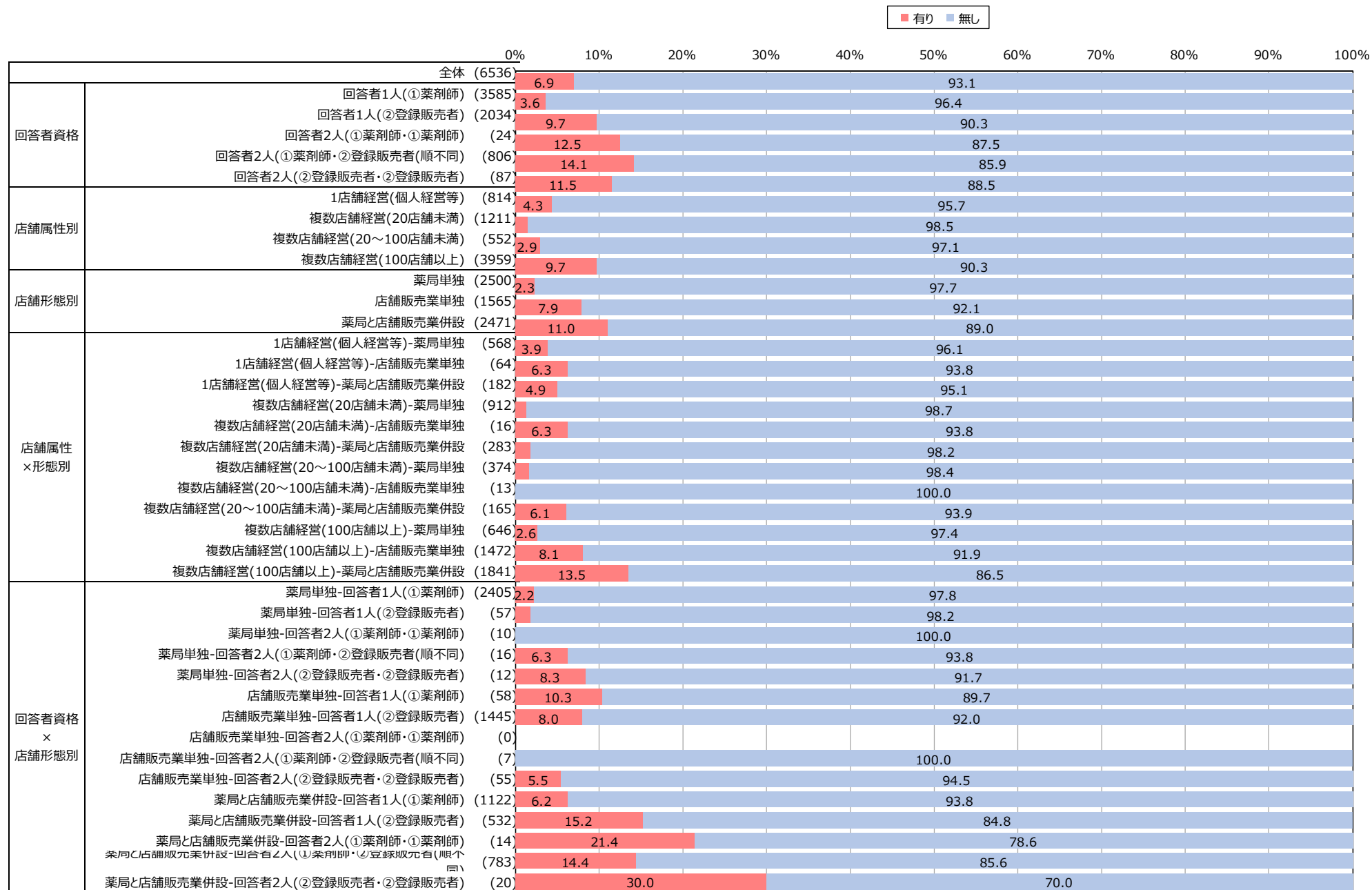
		n	資格者が売り場全体が見渡せる状況にあり、気づきの点があれば声掛けする	一般従事者のレジ対応者が第3類医薬品の購入者があった時に資格者を呼ぶ	相談があった時だけ資格者が対応	購入者が直接手に取れないような陳列方法により、現物を手にする際に必ず資格者が対応(カウンター等)	資格者対応のレジ(医薬品専用レジ)で対応	売り場のボタン等で呼び出しがあった場合に対応する	その他
全体		6536	31.3	18.4	18.2	15.6	14.5	1.4	0.5
回答者資格	回答者1人(①薬剤師)	3585	17.2	21.8	9.4	27.3	22.9	0.7	0.8
	回答者1人(②登録販売者)	2034	58.6	10.7	22.8	1.4	4.8	1.6	0.1
	回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	24	25.0	25.0	8.3	16.7	20.8	4.2	-
	回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	806	22.2	23.1	46.0	1.0	3.0	4.1	0.6
	回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	87	66.7	8.0	17.2	2.3	4.6	1.1	-
店舗属性別	1店舗経営(個人経営等)	814	18.2	14.7	7.7	30.1	28.0	0.2	1.0
	複数店舗経営(20店舗未満)	1211	18.2	17.6	5.7	33.9	23.8	0.1	0.7
	複数店舗経営(20～100店舗未満)	552	19.2	28.1	8.0	21.6	22.1	0.2	0.9
	複数店舗経営(100店舗以上)	3959	39.8	18.0	25.6	6.2	7.9	2.3	0.3
店舗形態別	薬局単独	2500	17.1	18.7	6.7	31.5	24.9	0.1	0.9
	店舗販売業単独	1565	71.9	7.2	13.7	0.8	5.2	1.1	0.1
店舗属性 ×形態別	薬局と店舗販売業併設	2471	20.1	25.1	32.6	8.9	10.0	3.0	0.4
	1店舗経営(個人経営等)-薬局単独	568	18.7	14.4	5.8	32.9	27.1	-	1.1
	1店舗経営(個人経営等)-店舗販売業単独	64	17.2	15.6	7.8	12.5	45.3	1.6	-
	1店舗経営(個人経営等)-薬局と店舗販売業併設	182	17.0	15.4	13.7	27.5	24.7	0.5	1.1
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局単独	912	17.0	16.9	4.8	36.8	23.5	0.1	0.9
	複数店舗経営(20店舗未満)-店舗販売業単独	16	12.5	12.5	18.8	12.5	37.5	-	6.3
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	283	22.6	20.1	7.8	25.4	24.0	-	-
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-薬局単独	374	19.8	21.4	8.8	24.3	24.3	0.3	1.1
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-店舗販売業単独	13	38.5	15.4	7.7	15.4	23.1	-	-
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	165	16.4	44.2	6.1	15.8	17.0	-	0.6
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局単独	646	14.4	23.5	9.0	26.8	25.4	0.2	0.8
	複数店舗経営(100店舗以上)-店舗販売業単独	1472	75.2	6.7	14.0	0.1	2.9	1.1	-
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局と店舗販売業併設	1841	20.3	25.0	40.7	3.9	5.7	4.0	0.4
回答者資格 × 店舗形態別	薬局単独-回答者1人(①薬剤師)	2405	16.7	18.4	6.4	32.0	25.4	0.1	1.0
	薬局単独-回答者1人(②登録販売者)	57	26.3	26.3	12.3	22.8	12.3	-	-
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	10	20.0	20.0	10.0	20.0	30.0	-	-
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	16	12.5	43.8	18.8	12.5	12.5	-	-
	薬局単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	12	58.3	16.7	25.0	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者1人(①薬剤師)	58	55.2	5.2	13.8	10.3	12.1	3.4	-
	店舗販売業単独-回答者1人(②登録販売者)	1445	72.3	7.4	13.8	0.4	4.9	1.0	0.1
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	7	57.1	-	42.9	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	55	80.0	5.5	7.3	1.8	5.5	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(①薬剤師)	1122	16.1	30.1	15.6	17.9	18.0	1.9	0.4
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(②登録販売者)	532	24.6	18.0	48.3	1.7	3.6	3.4	0.4
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	14	28.6	28.6	7.1	14.3	14.3	7.1	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	783	22.1	22.9	46.6	0.8	2.8	4.2	0.6
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	20	35.0	10.0	40.0	5.0	5.0	5.0	-

Q50 第3類医薬品販売時の会計方法を選択してください。



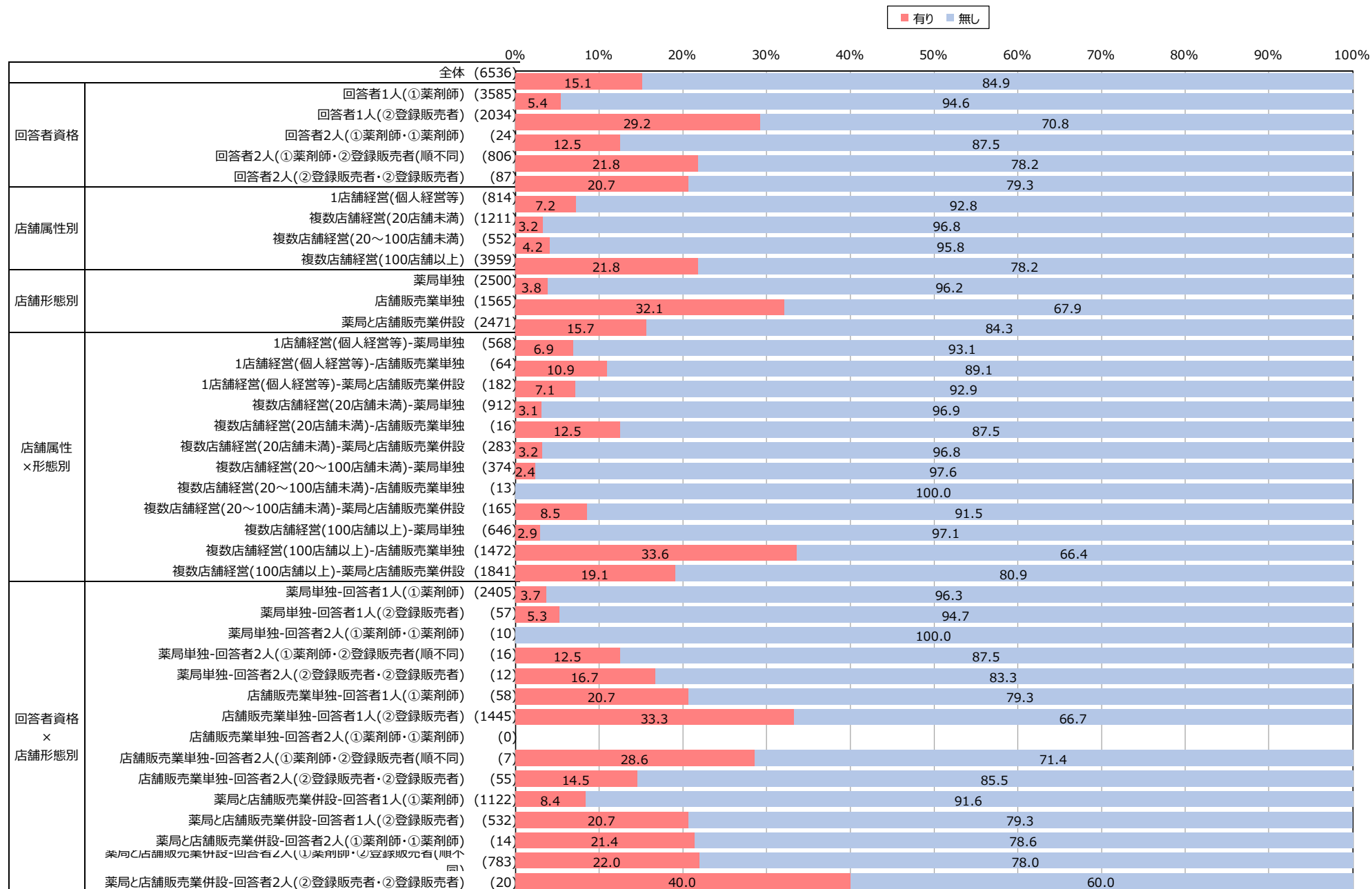
2%未満の数値ラベルは非表示

Q51 過去1年以内で第3類医薬品を購入しようとした者
に対して販売を断った事例はありますか。



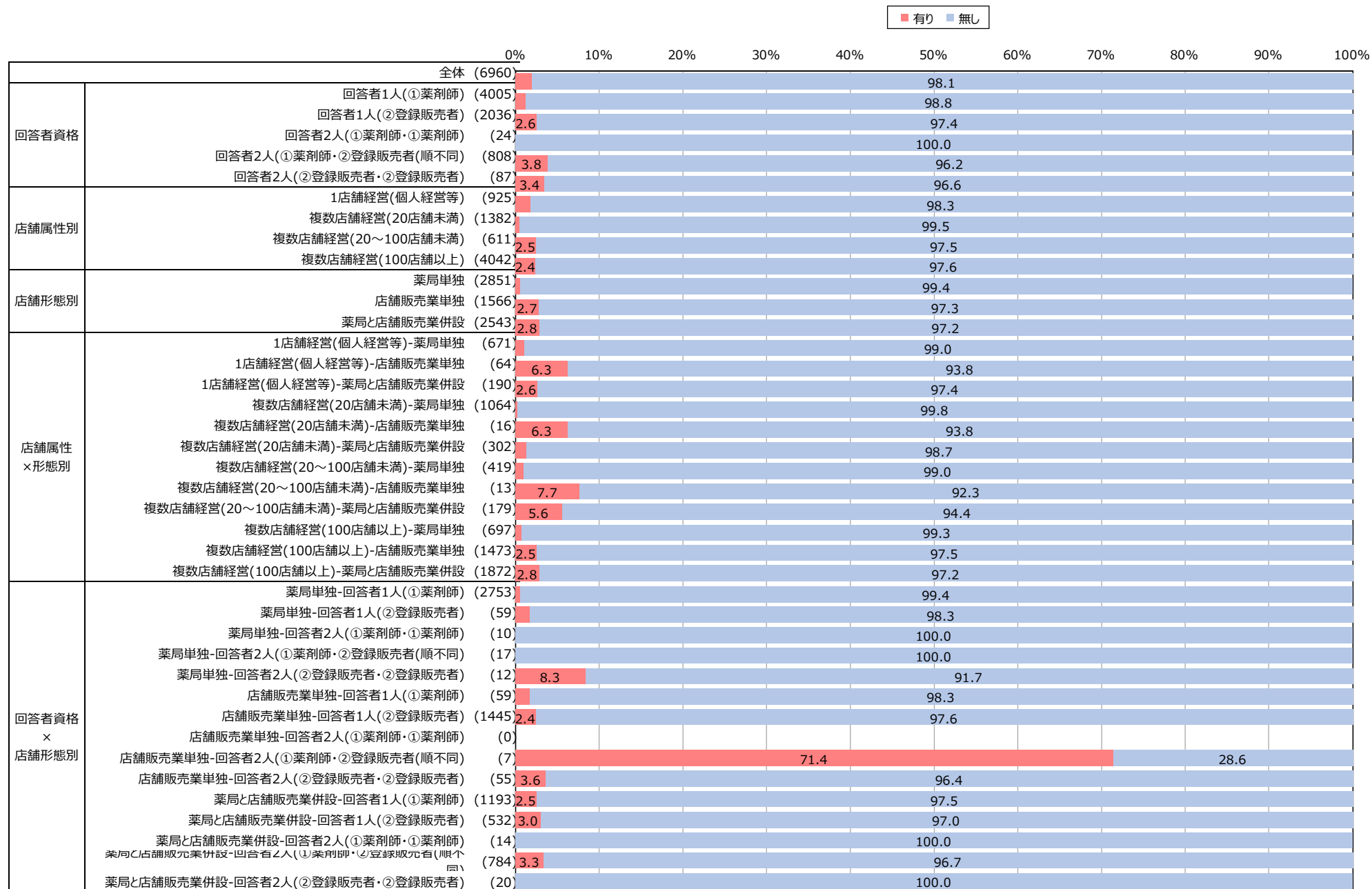
2%未満の数値ラベルは非表示

Q52	過去1年以内で第3類医薬品を購入しようとした者 に対して受診勧奨した事例はありますか。
-----	--



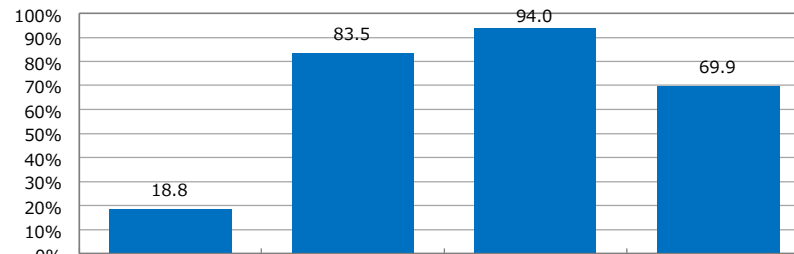
2%未満の数値ラベルは非表示

Q53 インターネット販売について、従事する店舗での実施状況について回答してください。



2%未満の数値ラベルは非表示

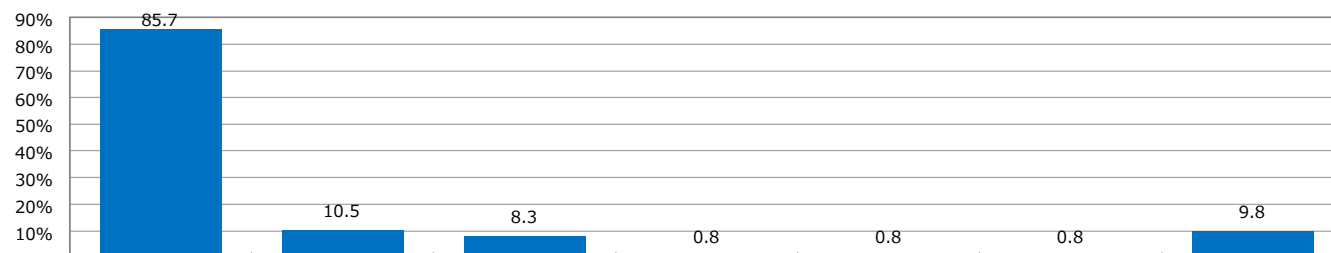
Q54 インターネット販売を実施している一般用医薬品の種類についてお答えください。（複数選択可）



■ 全体+10pt以上 ■ 全体+5pt以上
■ 全体-10pt以下 ■ 全体-5pt以下
(n=30以上)

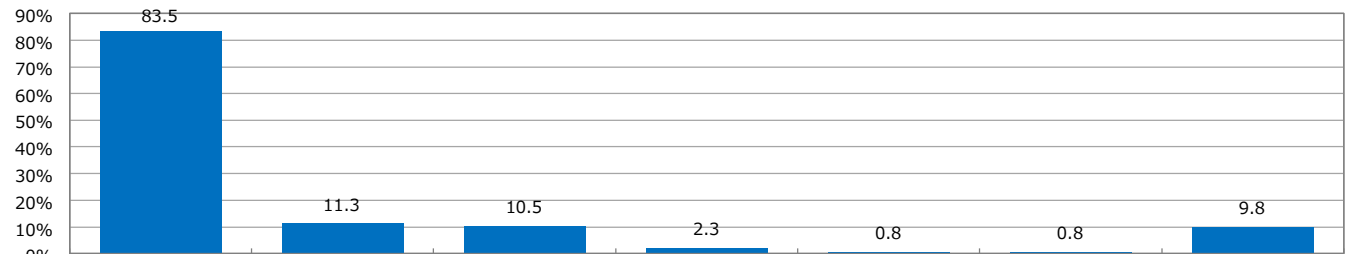
	n	第1類医薬品	指定第2類医薬品	第2類医薬品	第3類医薬品
全体	133	18.8	83.5	94.0	69.9
回答者資格	回答者1人(①薬剤師)	42.6	74.5	87.2	91.5
	回答者1人(②登録販売者)	1.9	88.5	96.2	42.3
	回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	-	-	-	-
	回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	12.9	93.5	100.0	83.9
	回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	-	33.3	100.0	66.7
	3	-	-	-	-
店舗属性別	1店舗経営(個人経営等)	18.8	37.5	68.8	93.8
	複数店舗経営(20店舗未満)	42.9	42.9	71.4	85.7
	複数店舗経営(20~100店舗未満)	60.0	93.3	100.0	100.0
	複数店舗経営(100店舗以上)	10.5	92.6	98.9	60.0
店舗形態別	薬局単独	61.1	55.6	77.8	94.4
	店舗販売業単独	2.3	88.4	95.3	23.3
	薬局と店舗販売業併設	18.1	87.5	97.2	91.7
店舗属性 ×形態別	1店舗経営(個人経営等)-薬局単独	28.6	14.3	57.1	100.0
	1店舗経営(個人経営等)-店舗販売業単独	-	50.0	75.0	100.0
	1店舗経営(個人経営等)-薬局と店舗販売業併設	20.0	60.0	80.0	80.0
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局単独	100.0	100.0	100.0	100.0
	複数店舗経営(20店舗未満)-店舗販売業単独	-	-	-	100.0
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	25.0	25.0	75.0	75.0
	複数店舗経営(20~100店舗未満)-薬局単独	75.0	100.0	100.0	100.0
	複数店舗経営(20~100店舗未満)-店舗販売業単独	-	-	100.0	100.0
	複数店舗経営(20~100店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	60.0	100.0	100.0	100.0
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局単独	80.0	60.0	80.0	80.0
	複数店舗経営(100店舗以上)-店舗販売業単独	2.7	97.3	100.0	10.8
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局と店舗販売業併設	9.4	92.5	100.0	92.5
	53	-	-	-	-
回答者資格× 店舗形態別	薬局単独-回答者1人(①薬剤師)	62.5	56.3	75.0	93.8
	薬局単独-回答者1人(②登録販売者)	100.0	100.0	100.0	100.0
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	-	-	-	-
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	-	-	-	-
	薬局単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	-	-	100.0	100.0
	店舗販売業単独-回答者1人(①薬剤師)	-	100.0	100.0	-
	店舗販売業単独-回答者1人(②登録販売者)	-	88.6	94.3	22.9
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	20.0	100.0	100.0	20.0
	店舗販売業単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	-	50.0	100.0	50.0
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(①薬剤師)	33.3	83.3	93.3	93.3
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(②登録販売者)	-	87.5	100.0	81.3
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	-	-	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	11.5	92.3	100.0	96.2
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	-	-	-	-
	0	-	-	-	-

Q55 インターネット販売の実施方法についてお答えください。（複数選択可）



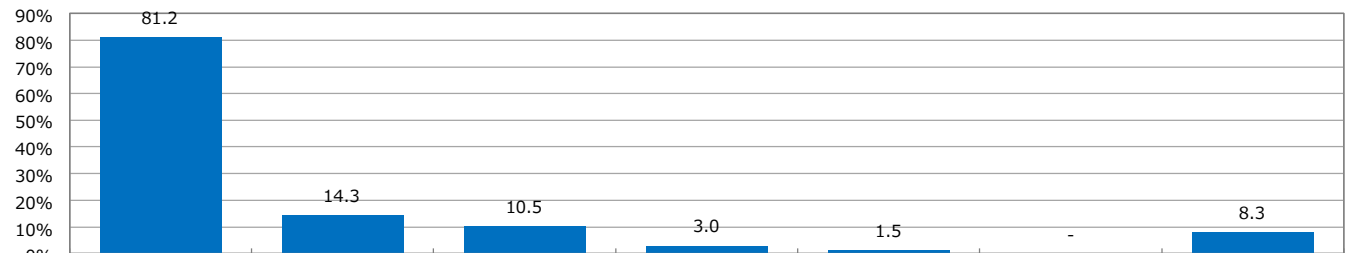
	n	購入サイトでの入力(チャットのやりとり含む)	電子メール	リアルタイム音声通話(ビデオ通話なし)	SNS(LINEなど)(ビデオ通話なし)	SNS(LINEなど)(ビデオ通話あり)	リアルタイム音声通話(ビデオ通話あり)	その他
全体	133	85.7	10.5	8.3	0.8	0.8	0.8	9.8
回答者資格	回答者1人(①薬剤師)	47	87.2	19.1	17.0	-	2.1	2.1
	回答者1人(②登録販売者)	52	92.3	7.7	1.9	-	-	11.5
	回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-	-	-	-
	回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	31	74.2	3.2	3.2	3.2	-	19.4
	回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	3	66.7	-	33.3	-	-	-
店舗属性別	1店舗経営(個人経営等)	16	75.0	37.5	18.8	-	6.3	6.3
	複数店舗経営(20店舗未満)	7	85.7	57.1	14.3	-	-	-
	複数店舗経営(20～100店舗未満)	15	86.7	13.3	20.0	-	-	-
	複数店舗経営(100店舗以上)	95	87.4	2.1	4.2	1.1	1.1	12.6
店舗形態別	薬局単独	18	83.3	22.2	22.2	-	5.6	-
	店舗販売業単独	43	95.3	7.0	4.7	-	-	-
	薬局と店舗販売業併設	72	80.6	9.7	6.9	1.4	-	18.1
店舗属性×形態別	1店舗経営(個人経営等)-薬局単独	7	100.0	14.3	14.3	-	14.3	-
	1店舗経営(個人経営等)-店舗販売業単独	4	75.0	25.0	50.0	-	-	-
	1店舗経営(個人経営等)-薬局と店舗販売業併設	5	40.0	80.0	-	-	-	20.0
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局単独	2	50.0	50.0	50.0	-	-	-
	複数店舗経営(20店舗未満)-店舗販売業単独	1	100.0	100.0	-	-	-	-
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	4	100.0	50.0	-	-	-	-
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-薬局単独	4	75.0	25.0	25.0	-	-	-
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-店舗販売業単独	1	-	100.0	-	-	-	-
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	10	100.0	-	20.0	-	-	-
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局単独	5	80.0	20.0	20.0	-	20.0	-
	複数店舗経営(100店舗以上)-店舗販売業単独	37	100.0	-	-	-	-	-
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局と店舗販売業併設	53	79.2	1.9	5.7	1.9	-	22.6
回答者資格×店舗形態別	薬局単独-回答者1人(①薬剤師)	16	81.3	18.8	25.0	-	6.3	-
	薬局単独-回答者1人(②登録販売者)	1	100.0	100.0	-	-	-	-
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-	-	-	-
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	0	-	-	-	-	-	-
	薬局単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	1	100.0	-	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者1人(①薬剤師)	1	100.0	-	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者1人(②登録販売者)	35	97.1	8.6	2.9	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	5	100.0	-	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	2	50.0	-	50.0	-	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(①薬剤師)	30	90.0	20.0	13.3	-	-	3.3
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(②登録販売者)	16	81.3	-	-	-	-	37.5
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-	-	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	26	69.2	3.8	3.8	3.8	-	23.1
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	0	-	-	-	-	-	-

Q55.1 インターネット販売の購入者の情報はどのように収集していますか。(複数回答可)



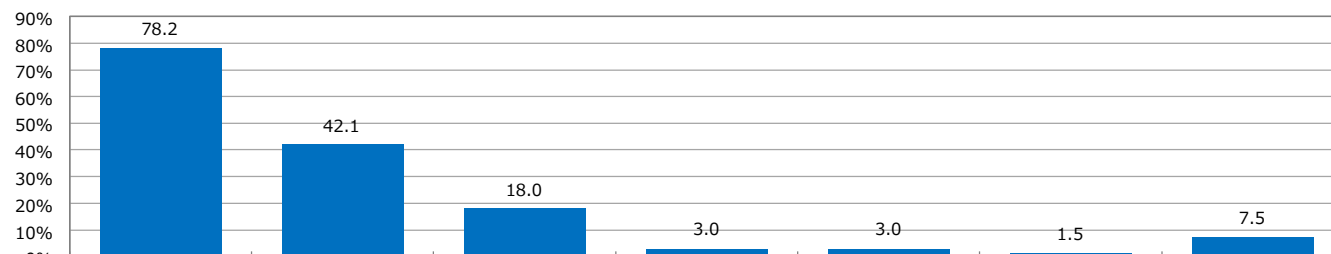
	n	購入サイトでの入力(チャットのやりとり含む)	リアルタイム音声通話(ビデオ通話なし)	電子メール	SNS(LINEなど)(ビデオ通話なし)	SNS(LINEなど)(ビデオ通話あり)	リアルタイム音声通話(ビデオ通話あり)	その他
全体	133	83.5	11.3	10.5	2.3	0.8	0.8	9.8
回答者資格	回答者1人(①薬剤師)	47	78.7	19.1	2.1	2.1	2.1	10.6
	回答者1人(②登録販売者)	52	94.2	3.8	7.7	-	-	3.8
	回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-	-	-	-
	回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	31	74.2	9.7	3.2	6.5	-	19.4
	回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	3	66.7	33.3	-	-	-	-
店舗属性別	1店舗経営(個人経営等)	16	81.3	18.8	31.3	6.3	-	6.3
	複数店舗経営(20店舗未満)	7	57.1	14.3	57.1	-	14.3	28.6
	複数店舗経営(20～100店舗未満)	15	80.0	33.3	13.3	-	-	6.7
	複数店舗経営(100店舗以上)	95	86.3	6.3	3.2	2.1	-	9.5
店舗形態別	薬局単独	18	72.2	22.2	22.2	5.6	-	5.6
	店舗販売業単独	43	95.3	4.7	7.0	-	-	-
	薬局と店舗販売業併設	72	79.2	12.5	9.7	2.8	1.4	16.7
店舗属性×形態別	1店舗経営(個人経営等)-薬局単独	7	100.0	14.3	14.3	14.3	-	-
	1店舗経営(個人経営等)-店舗販売業単独	4	75.0	50.0	25.0	-	-	-
	1店舗経営(個人経営等)-薬局と店舗販売業併設	5	60.0	-	60.0	-	-	20.0
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局単独	2	-	50.0	50.0	-	-	50.0
	複数店舗経営(20店舗未満)-店舗販売業単独	1	100.0	-	100.0	-	-	-
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	4	75.0	-	50.0	-	25.0	25.0
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-薬局単独	4	75.0	25.0	25.0	-	-	-
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-店舗販売業単独	1	-	-	100.0	-	-	-
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	10	90.0	40.0	-	-	-	10.0
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局単独	5	60.0	20.0	20.0	-	-	-
	複数店舗経営(100店舗以上)-店舗販売業単独	37	100.0	-	-	-	-	-
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局と店舗販売業併設	53	79.2	9.4	3.8	3.8	-	17.0
回答者資格×店舗形態別	薬局単独-回答者1人(①薬剤師)	16	68.8	25.0	18.8	6.3	-	6.3
	薬局単独-回答者1人(②登録販売者)	1	100.0	-	100.0	-	-	-
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-	-	-	-
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	0	-	-	-	-	-	-
	薬局単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	1	100.0	-	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者1人(①薬剤師)	1	100.0	-	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者1人(②登録販売者)	35	97.1	2.9	8.6	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	5	100.0	-	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	2	50.0	50.0	-	-	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(①薬剤師)	30	83.3	16.7	20.0	-	3.3	13.3
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(②登録販売者)	16	87.5	6.3	-	-	-	12.5
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-	-	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	26	69.2	11.5	3.8	7.7	-	23.1
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	0	-	-	-	-	-	-

Q55. 2 インターネット販売の情報提供はどのように行っていますか。(複数回答可)



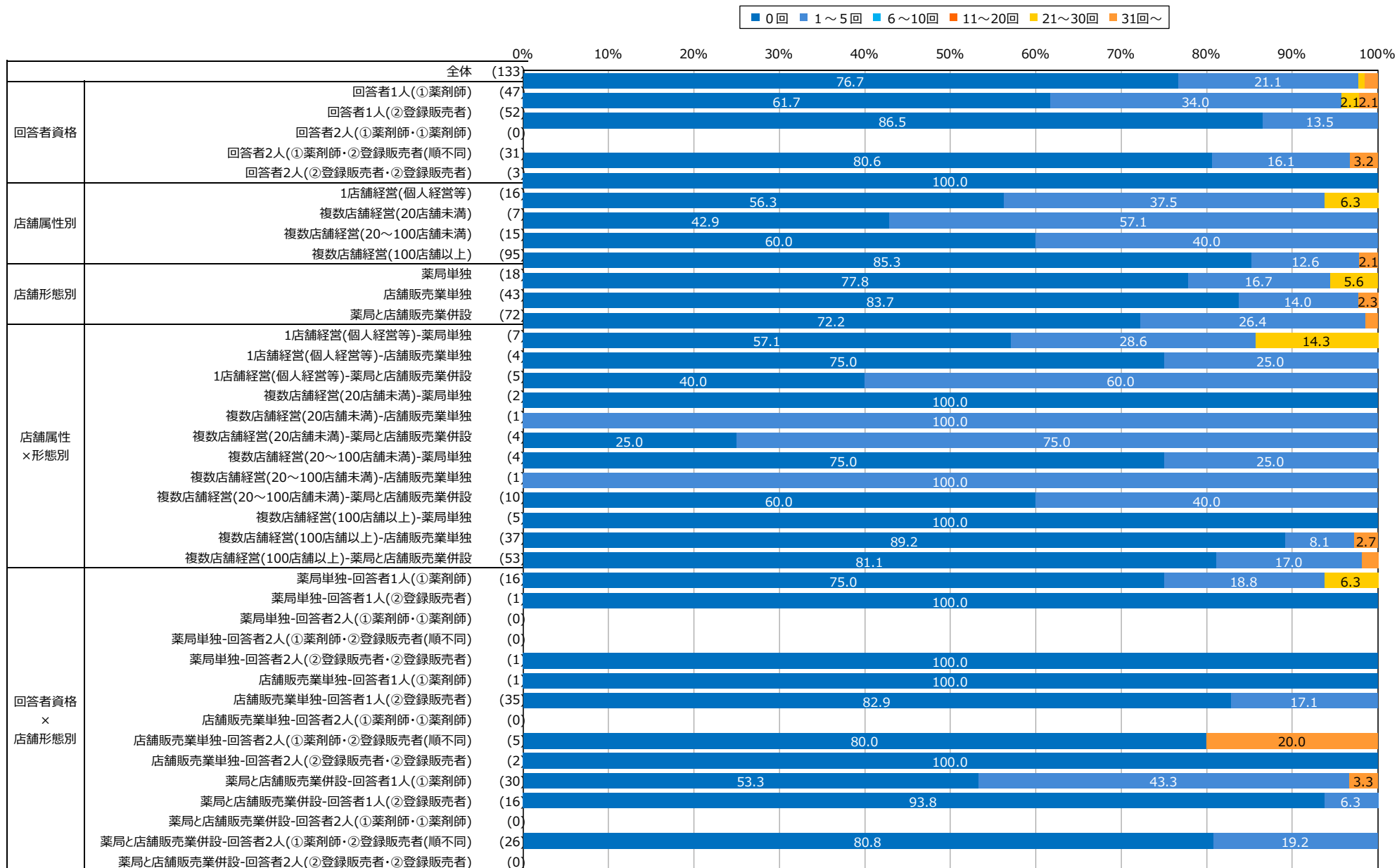
		n	購入サイトでの入力(チャットのやりとり含む)	リアルタイム音声通話(ビデオ通話なし)	電子メール	リアルタイム音声通話(ビデオ通話あり)	SNS(LINEなど)(ビデオ通話なし)	SNS(LINEなど)(ビデオ通話あり)	その他
全体		133	81.2	14.3	10.5	3.0	1.5	-	8.3
回答者資格	回答者1人(①薬剤師)	47	74.5	25.5	21.3	6.4	2.1	-	6.4
	回答者1人(②登録販売者)	52	92.3	3.8	5.8	1.9	-	-	5.8
	回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-	-	-	-	-
	回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	31	74.2	12.9	3.2	-	3.2	-	16.1
	回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	3	66.7	33.3	-	-	-	-	-
店舗属性別	1店舗経営(個人経営等)	16	81.3	18.8	37.5	6.3	18.8	-	6.3
	複数店舗経営(20店舗未満)	7	57.1	28.6	57.1	14.3	-	-	14.3
	複数店舗経営(20～100店舗未満)	15	86.7	40.0	6.7	-	-	-	-
	複数店舗経営(100店舗以上)	95	82.1	8.4	3.2	2.1	1.1	-	9.5
店舗形態別	薬局単独	18	72.2	27.8	22.2	11.1	5.6	-	-
	店舗販売業単独	43	97.7	4.7	4.7	-	-	-	2.3
	薬局と店舗販売業併設	72	73.6	16.7	11.1	2.8	1.4	-	13.9
店舗属性×形態別	1店舗経営(個人経営等)-薬局単独	7	100.0	14.3	14.3	14.3	14.3	-	-
	1店舗経営(個人経営等)-店舗販売業単独	4	75.0	50.0	25.0	-	-	-	25.0
	1店舗経営(個人経営等)-薬局と店舗販売業併設	5	60.0	-	80.0	-	-	-	-
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局単独	2	-	100.0	50.0	-	-	-	-
	複数店舗経営(20店舗未満)-店舗販売業単独	1	100.0	-	100.0	-	-	-	-
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	4	75.0	-	50.0	25.0	-	-	25.0
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-薬局単独	4	75.0	25.0	25.0	-	-	-	-
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-店舗販売業単独	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	10	90.0	50.0	-	-	-	-	-
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局単独	5	60.0	20.0	20.0	20.0	-	-	-
	複数店舗経営(100店舗以上)-店舗販売業単独	37	100.0	-	-	-	-	-	-
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局と店舗販売業併設	53	71.7	13.2	3.8	1.9	1.9	-	17.0
回答者資格×店舗形態別	薬局単独-回答者1人(①薬剤師)	16	68.8	31.3	18.8	12.5	6.3	-	-
	薬局単独-回答者1人(②登録販売者)	1	100.0	-	100.0	-	-	-	-
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-	-	-	-	-
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	0	-	-	-	-	-	-	-
	薬局単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者1人(①薬剤師)	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者1人(②登録販売者)	35	100.0	2.9	5.7	-	-	-	2.9
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	5	100.0	-	-	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(①薬剤師)	30	76.7	23.3	23.3	3.3	-	-	10.0
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(②登録販売者)	16	75.0	6.3	-	6.3	-	-	12.5
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-	-	-	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	26	69.2	15.4	3.8	-	3.8	-	19.2
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	0	-	-	-	-	-	-	-

Q55.3 インターネット販売の相談対応はどのように行っていますか。(複数回答可)



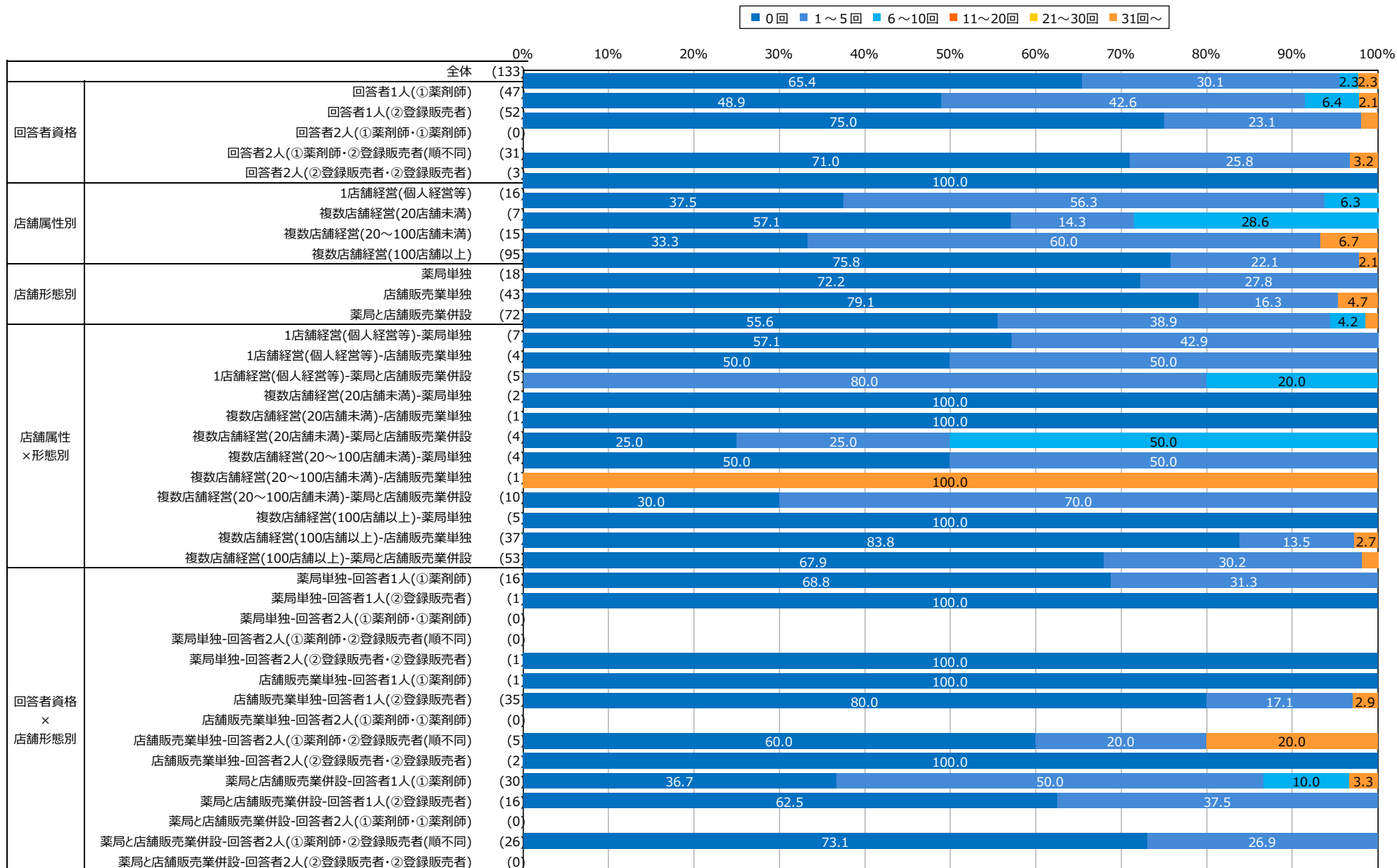
	n	購入サイトでの入力(チャットのやりとり含む)	電子メール	リアルタイム音声通話(ビデオ通話なし)	SNS(LINEなど)(ビデオ通話なし)	リアルタイム音声通話(ビデオ通話あり)	SNS(LINEなど)(ビデオ通話あり)	その他
全体	133	78.2	42.1	18.0	3.0	3.0	1.5	7.5
回答者資格	回答者1人(①薬剤師)	47	70.2	29.8	31.9	6.4	4.3	6.4
	回答者1人(②登録販売者)	52	88.5	65.4	5.8	-	1.9	3.8
	回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-	-	-	-
	回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	31	74.2	22.6	16.1	3.2	-	16.1
	回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	3	66.7	33.3	33.3	-	-	-
店舗属性別	1店舗経営(個人経営等)	16	68.8	56.3	31.3	6.3	12.5	6.3
	複数店舗経営(20店舗未満)	7	57.1	71.4	28.6	-	14.3	14.3
	複数店舗経営(20～100店舗未満)	15	80.0	13.3	40.0	6.7	-	-
	複数店舗経営(100店舗以上)	95	81.1	42.1	11.6	2.1	2.1	8.4
店舗形態別	薬局単独	18	66.7	33.3	33.3	5.6	11.1	-
	店舗販売業単独	43	93.0	86.0	4.7	-	-	2.3
	薬局と店舗販売業併設	72	72.2	18.1	22.2	4.2	2.8	12.5
店舗属性×形態別	1店舗経営(個人経営等)-薬局単独	7	85.7	42.9	28.6	14.3	14.3	28.6
	1店舗経営(個人経営等)-店舗販売業単独	4	50.0	50.0	50.0	-	-	25.0
	1店舗経営(個人経営等)-薬局と店舗販売業併設	5	60.0	80.0	20.0	-	-	-
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局単独	2	-	50.0	100.0	-	-	-
	複数店舗経営(20店舗未満)-店舗販売業単独	1	100.0	100.0	-	-	-	-
	複数店舗経営(20店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	4	75.0	75.0	-	-	25.0	25.0
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-薬局単独	4	75.0	25.0	25.0	-	-	-
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-店舗販売業単独	1	-	100.0	-	-	-	-
	複数店舗経営(20～100店舗未満)-薬局と店舗販売業併設	10	90.0	-	50.0	10.0	-	-
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局単独	5	60.0	20.0	20.0	-	20.0	-
	複数店舗経営(100店舗以上)-店舗販売業単独	37	100.0	89.2	-	-	-	-
	複数店舗経営(100店舗以上)-薬局と店舗販売業併設	53	69.8	11.3	18.9	3.8	1.9	15.1
回答者資格×店舗形態別	薬局単独-回答者1人(①薬剤師)	16	62.5	31.3	37.5	6.3	12.5	-
	薬局単独-回答者1人(②登録販売者)	1	100.0	100.0	-	-	-	-
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-	-	-	-
	薬局単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	0	-	-	-	-	-	-
	薬局単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	1	100.0	-	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者1人(①薬剤師)	1	100.0	100.0	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者1人(②登録販売者)	35	94.3	88.6	2.9	-	-	2.9
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	5	100.0	80.0	-	-	-	-
	店舗販売業単独-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	2	50.0	50.0	50.0	-	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(①薬剤師)	30	73.3	26.7	30.0	6.7	3.3	10.0
	薬局と店舗販売業併設-回答者1人(②登録販売者)	16	75.0	12.5	12.5	-	6.3	6.3
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・①薬剤師)	0	-	-	-	-	-	-
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(①薬剤師・②登録販売者(順不同))	26	69.2	11.5	19.2	3.8	-	19.2
	薬局と店舗販売業併設-回答者2人(②登録販売者・②登録販売者)	0	-	-	-	-	-	-

Q56	一般用医薬品のインターネット販売について1日当たり何回程度対応していますか。(相談ありの場合)
-----	---



2%未満の数値ラベルは非表示

Q56	一般用医薬品のインターネット販売について1日当たり何回程度対応していますか。(情報提供のみの場合)
-----	---



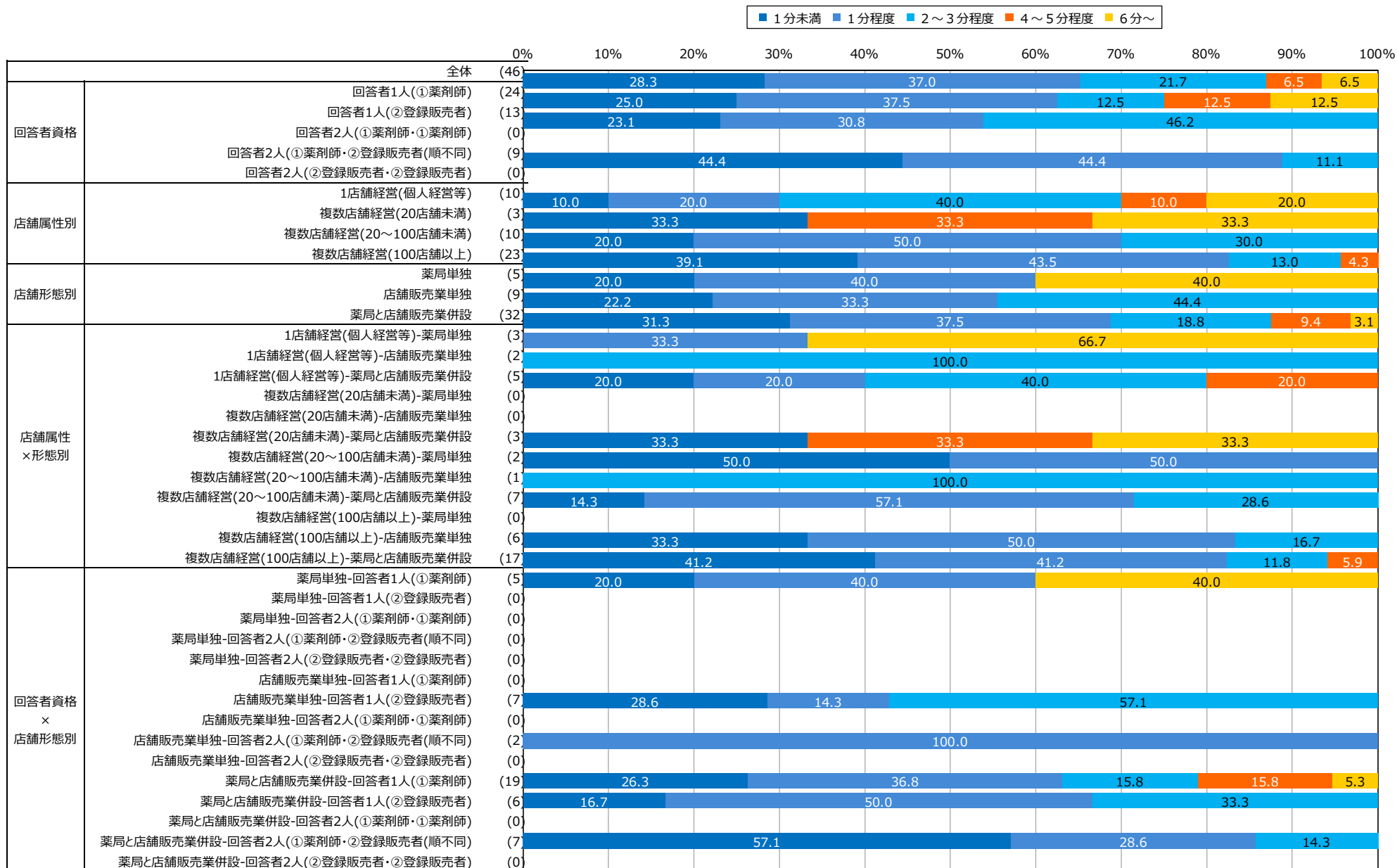
2%未満の数値ラベルは非表示

Q57	一般用医薬品のインターネット販売の対応において、1回の対応にかかる時間およその時間を回答してください。（相談ありの場合）
-----	--



2%未満の数値ラベルは非表示

Q57	一般用医薬品のインターネット販売の対応において、1回の対応にかかる時間およその時間を回答してください。（情報提供のみの場合）
-----	--



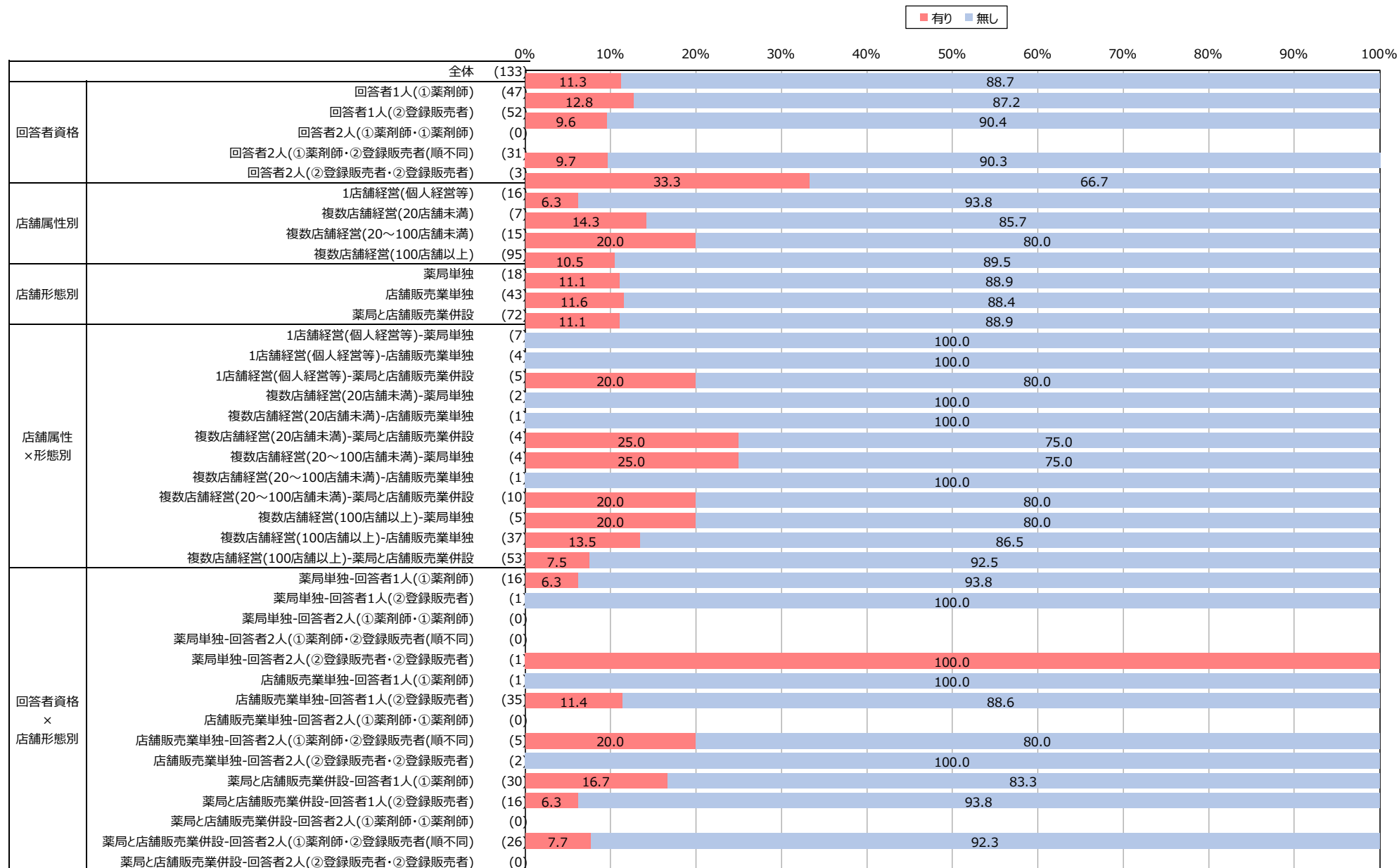
2%未満の数値ラベルは非表示

Q58	過去1年以内にインターネット販売で一般用医薬品を購入しようとした者に対して販売を断った事例（代わりに他の医薬品の購入に切り替えてもらった等の対応も含む）はありますか。
-----	---

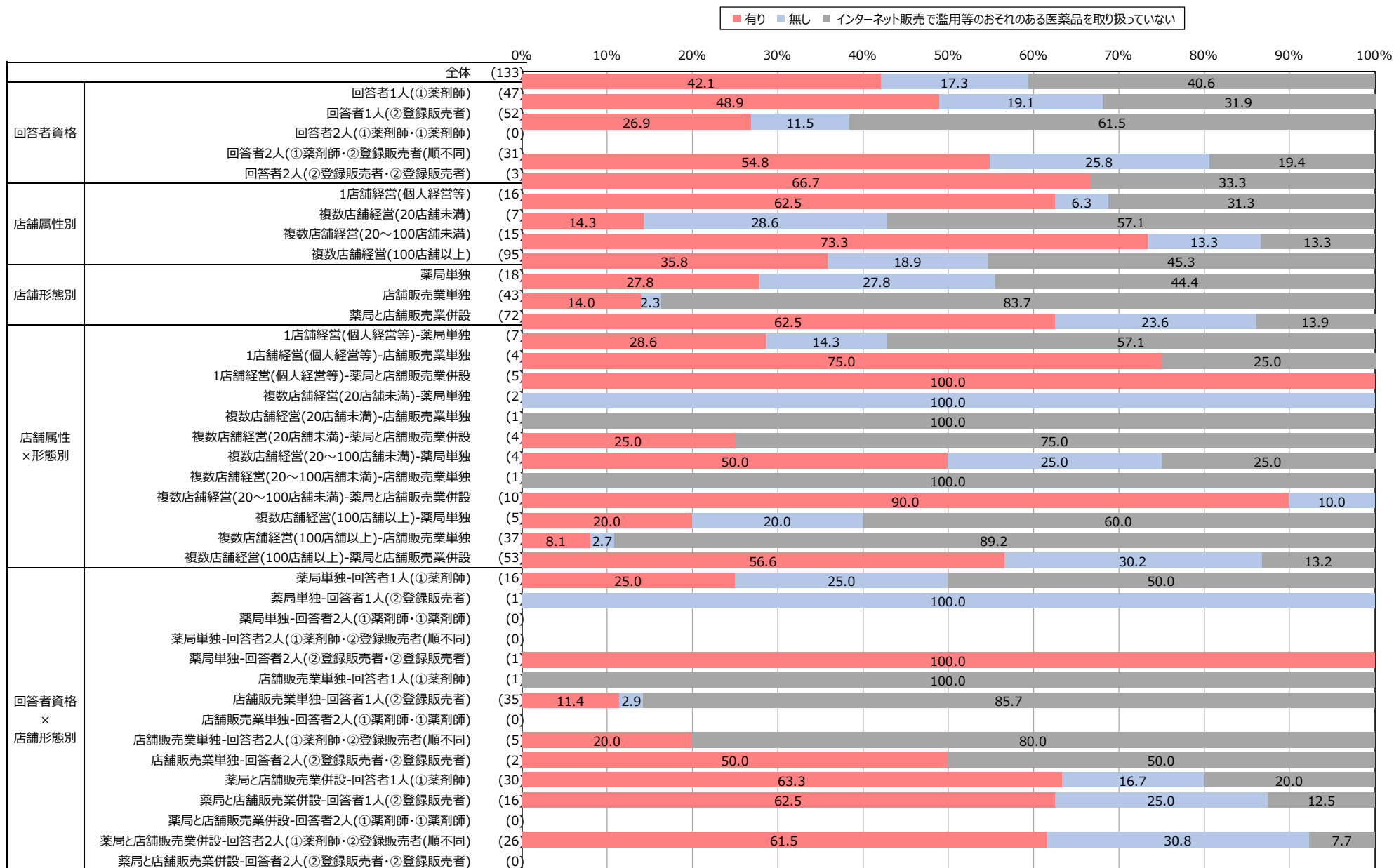


2%未満の数値ラベルは非表示

Q59	過去1年以内にインターネット販売で一般用医薬品を購入しようとした者に対して受診勧奨した事例はありますか。
-----	--

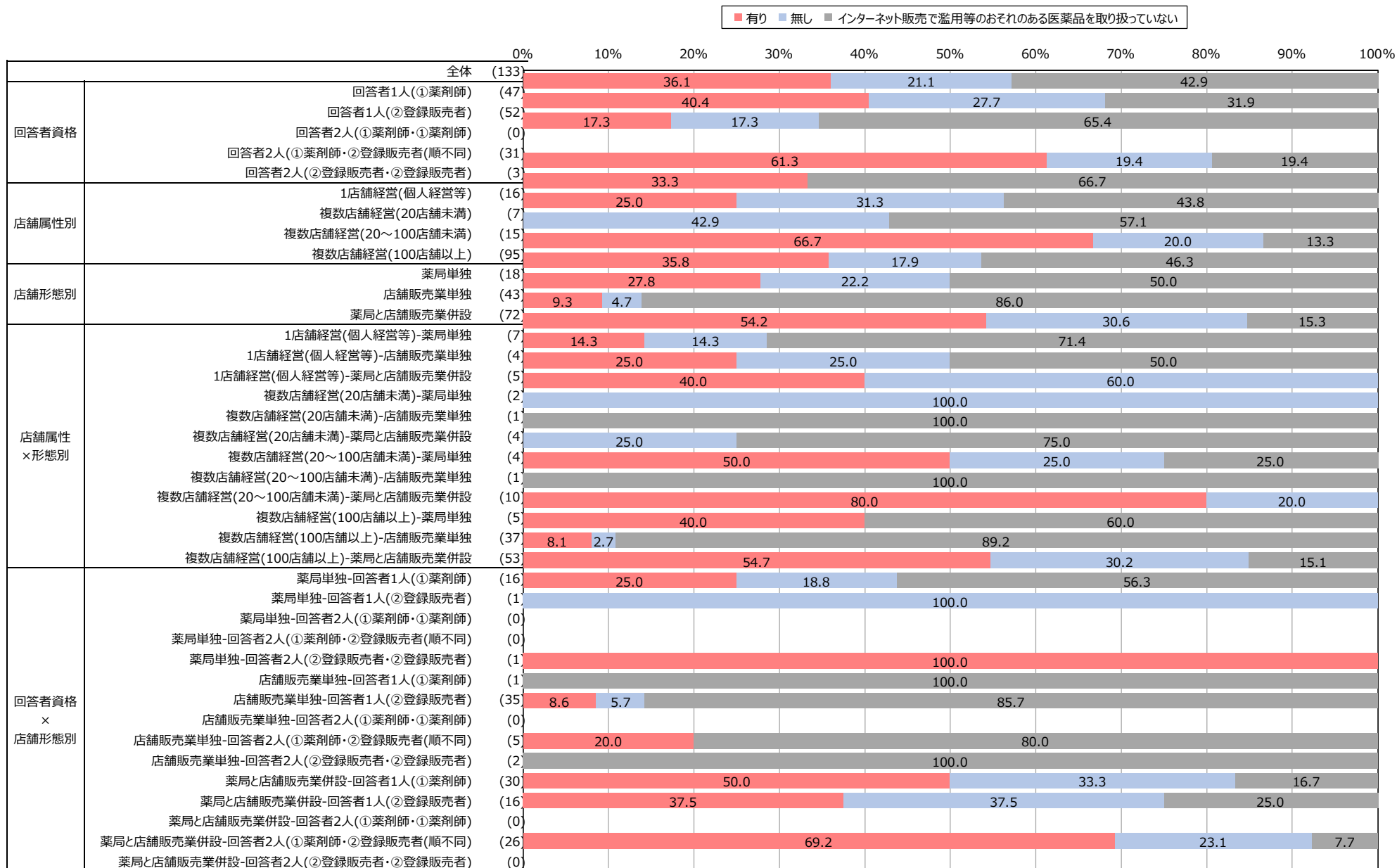


Q60	濫用等のおそれのある医薬品について、インターネット販売で2個以上買おうとすると資格者の確認を介さないと購入できないシステムの有無を選択してください。
-----	---



2%未満の数値ラベルは非表示

061	濫用等のおそれのある医薬品について、インターネット販売で頻回購入の疑いがある購入者の把握をする上での工夫はありますか。
-----	--



2%未満の数値ラベルは非表示

別添 C-2

2024 年度 アンケート調査回答 自由記載

	(4-1)Q08_1_従事している店舗で、直近1か月において、医薬品の販売前に利用者から収集した情報に応じて、現在のOTCの使用を中止させた、医療機関への受診を勧めた又は生活指導を行った事例
1	妊婦の風邪の相談
2	処方薬と同種同効薬
3	透析患者への市販カマグの中止
4	亜鉛サプリ多量摂取が疑われる貧血
5	カンジタの再発について受診勧奨した。
6	栄養ドリンク代わりに風邪薬を使っていた。
7	腎機能が低下している患者への鎮痛剤の販売。
8	前立腺肥大や緑内障の患者さんへの風邪薬の販売
9	化学薬品によるやけどで相談。受診勧奨を行った。
10	血尿が出ると相談に来られた方に受診勧奨し、即日入院
11	眼球に浮腫が出ており、痛みを訴えていたため受診を勧めた。
12	お客様が転倒で、腰の痛みと下肢のしびれ。受診勧奨結果、脊柱管狭窄症。
13	便秘薬を連用しており、症状の改善がみられないという方へ受診勧奨を行った。
14	緑内障に既往歴のある方に抗コリン薬を含む医薬品を購入しようとしていたため受診勧奨した。
15	総合感冒薬を服用されたお客様が蕁麻疹がでたため、服用を中止し、受診勧奨した。
16	目の腫れ、めやに、痛みに対して、市販の抗菌点眼薬使用、眼科受診を勧めた。
17	脳梗塞の薬を服用しているお客様がめまいの薬をご希望。医療機関の受診をおすすめした。
18	痔のお客様で痛みが激しいとのこと。詳しく効くと痔瘻の可能性があったため受診勧奨した。
19	爪水虫について相談を受けたが、爪水虫は市販薬では対応できないため病院に受診を勧めた。
20	皮膚薬にてステロイド剤を長期使用しているお客様へ使用を中止していただき病院を勧めた。
21	膝の痛みのお客様に患部を見たら変形していたので受診勧奨。治療法でリハビリが必要だった。
22	火傷の方で、患部の状態から、塗り薬だけでは治療できないと判断して、皮膚科へ受診勧奨した。
23	帯状疱疹疑いのある患者に対して痛み止めや軟膏を進めずに整形外科受診を促した。
24	急に目の中に黒い物が見えるため、目薬の購入希望。網膜裂孔の可能性もあり受診勧奨した。
25	背中 of 皮膚が盛り上がり、患部が赤黒く変色してステロイド剤を買おうと来店されていたが、病院受診を推奨した。
26	耳の詰まり感 耳の下部の痛みで来店された方に対して、内耳、中耳等の異常の可能性を考え、病院を受診するように促した。
27	頭痛薬を購入に見えたお客様、手のしびれ、お話をされていて、ろれつがいつもと違う違和感から、医療機関への受診を勧め。.
28	陰部にOTCの軟膏を継続で使用。OTCで対応をするのが難しいと感じたため医療機関への受診を勧めた。受診した結果、子宮頸がんの早期発見に繋がった。
29	定期的に風邪薬の購入者へ長期服用となるため、医療機関を勧め販売をお断りした。
30	濫用の恐れのある医薬品の連続使用の方への販売を中止し、受診勧奨を行った。
31	マオウが入っている漢方を毎日飲んでいるが、風邪の症状が治らない方に、連用をやめ受診を勧めた。
32	睡眠導入剤をコンスタントに購入されるお客様に、記録を取り購入の頻度をお伝えし、医療機関への相談を促した。

	(4-1)Q08_1_従事している店舗で、直近 1 か月において、医薬品の販売前に利用者から収集した情報に応じて、現在のOTCの使用を中止させた、医療機関への受診を勧めた又は生活指導を行った事例
33	湿疹に対し、薬局で購入した塗り薬を使用しているが、良くならない、という相談に対し、皮膚科への受診を勧めた。
34	回転性めまいに悩まれているお客様が、苓桂朮甘湯を飲んでいるが良くならないため、受診勧奨したところ、小脳炎であった。
35	マルチビタミン（Ca含有製品）やCaを含むサプリメントを服用中の患者に骨粗鬆治療薬（VD3製剤やテリパラチド製剤等）が新規で処方されたので、サプリメント関連の中止を指導した。
36	抗がん剤の副作用の下痢に対して、下痢止めを販売、症状改善しないため、中止し医療機関受診を指導。
37	立ってられないほどの胃痛の訴えがあるお客様に、胃薬使用中止指示と受診勧奨を行った。

	(4-2)Q10_従事している店舗で、薬剤師又は登録販売者が関与した好事例（利用者の治療などの利益につながった事例）
1	同種同効薬の重複内服の予防につながったこと。
2	充血で困っているお客様が網膜剥離だった。受診勧めた
3	飲み合わせの悪い組み合わせの販売を止め、他の代替薬を提案販売した
4	握力低下がみられる患者様に、握りやすい浣腸への変更を勧め喜ばれた。
5	片頭痛患者、受診勧告し、受診し、OTC頭痛薬乱用中止→治療し頭痛改善傾向
6	冷えでお悩みの方にビタミンEを紹介。冷えだけでなく、あかぎれなども緩和。
7	ろれつがまわらないと相談を受け、緊急受診を促し脳梗塞の早期発見に繋がった。
8	肝臓あたりが痛いとの相談があり、受診勧奨。病院に行き検査の結果、がん系の病気を早期発見。
9	胸にできものができたと相談に来られたお客様。目視すると、広範囲に黒い湿疹ができていた。受診勧奨。
10	背部放散痛がある患者さんを循環器内科に受診勧奨したところ、心筋梗塞であったことがわかり治療につながった。
11	皮膚にシミのようなものがあると相談に来たお客様。シミではなさそうということで受診勧奨。結果、皮膚がんだった。
12	患者さんで咳が止まらないと言われてこられたが 顔色など観察してただ事で無い様に感じ受診を勧めたら肺がんだった
13	ご家族の方が薬を購入しに来店され、薬の購入を迷われていたため、掛かりつけの病院の薬剤師と直接連絡をとり、最適な薬を紹介できた。
14	咳を止める薬を求めお客様。喘息風の咳が酷いため、内科の受診を勧奨。後日ステロイド吸引薬を処方され楽になったと報告いただきました。
15	痛み止めをお求めの患者様に片頭痛の予兆と思われる症状（目）が合ったため医師への相談を促した。その後、トリプタン系薬剤が処方された。
16	CKDが疑われる方に対し、NSAID s でなくアセトアミノフェン製剤を販売した。前立腺肥大の方に、抗ヒスタミン剤以外の鼻炎薬を販売した。
17	連続して胃薬を購入していたお客様へ症状の話を効くと、日に日に悪化しているとのことで強く受診を勧めた。結果、胃潰瘍であったとの報告があった
18	痛み止めを購入に来られた際、症状を聞いたところ痛み止めだけではダメだと思い受診勧告。その方はその日に入院となり、検査の結果膠原病と診断された。
19	下腹部が張るというお悩みのお客様、便通も問題がなく原因が不明だったため、受診勧奨。病院で受診をすると肝硬変から来る腹水が溜まっている症状だった。
20	鎮痛剤購入希望者に対して問診で、貧血（潜在性の鉄欠乏）を疑い受診勧奨 鉄剤が開始されて投薬時に栄養指導も行い主訴の生理痛、片頭痛の頻度が減り和らいだ
21	便秘の訴えがあり浣腸の購入を希望されたが、1週間以上排便が無いと言われたので受診勧奨したところ、腸閉塞を起こしており、検査の過程で大腸癌が見付かった。
22	貧尿で悩んでいるお客様に八味地黄丸を飲んでも改善されないというお客様へ前立腺がん、膀胱がんの可能性もあるかもしれないので受診勧奨。結果、膀胱がんだった。
23	お客様が目がチカチカ光る症状で目薬を購入したいとご相談がありましたが、白内障の症状では無いかと思い受診勧奨したところ、眼科で白内障であると診断されました。
24	腹痛症状あり、市販薬購入希望者に対して聞き取り。腹痛強度と判断。受診勧奨。（店舗にいる間に腹痛増悪、救急車依頼、搬送）後日、家族が来店。手術になったとのこと。

	(4-2)Q10_従事している店舗で、薬剤師又は登録販売者が関与した好事例（利用者の治療などの利益につながった事例）
25	大きな水ぶくれを伴う皮膚炎に対しステロイド外用剤を求めていたが、ジャヌビアによる類天疱瘡の可能性を考慮し主治医に相談するよう指導、ジャヌビア中止後皮膚炎改善。
26	市販のナザールスプレーを長期間(何十年も)、1日規定以上に使用していたため、薬剤性鼻炎の疑いがあり、耳鼻科の受診をすすめ、ナザールスプレーを中止することができた。
27	視界が暗くなったから目薬欲しい。喋りづらい、ふらふらするとも言われた。一度直ぐに病院で受診すべきと勧奨。動脈流の病気で直ぐに入院。退院後にお礼の言葉をいただいた。
28	便秘薬の販売時に、高齢者のため、現在服用している内服薬をお薬手帳にて確認すると、すでに便秘薬の処方はあることを確認。医師の診断を仰ぐことを提案させていただきました。
29	しっしんかぶれだと思って市販薬顔面に使える軟膏をお求めだったが症状と経過より初回の顔面部帯状疱疹の疑い神経内科に受診勧告した所即日入院点滴治療がおこなわれ、遅ければ失明していた
30	60代くらいの女性の方で不正出血があるのですがとご兄弟で買い物時のついでにご質問があり、医療機関への受診を勧めた。病院で子宮頸がんステージ1だったとの事で、病院にて治療された。
31	ひどい口内炎になり、食べ物が食べられないと相談があり、3週間前から飲み始めた処方薬の副作用を疑って、処方されたクリニックに相談して薬を中止してみるように助言して、早い回復に結びつきました。
32	利尿剤、降圧薬(ACE、ARB)服用患者がロキソニンの購入を希望された。ロキソニン服用でトリプルワーマーによる急性腎不全防止のためアセトアミノフェンに変更を勧め、患者はアセトアミノフェンを購入された。
33	・NSAIDsの購入を希望していたが、腎不全患者だったのでアセトアミノフェンを推奨し有害事象を防いだ。・NSAIDsの服用頻度を確認したところ、高頻度で服用していたので、薬剤性頭痛について説明し受診勧奨した。
34	日中出歩くことのできない不眠症の方（顔色悪かった）（院内処方の内科には受診されていたが、他科受診はしていなかった。）に対して心療内科に受診するよう提案。数か月後、顔色がよくなり1人で外出することができるようになったとたいへん喜ばれた。
35	鎮痛薬を購入しに来た方で、高頻度で鎮痛薬を使用しているとのこと。今回も、使用している物が無くなったから、と購入しに来店。登録販売者の方が、あまりにも期間も長いので、何か別の原因があるのではないかと受診勧奨し、結果的に、脳の血管に異常があり、早期発見に繋がった。
36	手荒れにステロイド外用剤を使用していたが、長期に渡り使用していた影響（保湿剤代わりに使っていた）で逆に悪化した患者様に、外用剤の使用をやめ市販の化粧水（ローションタイプ）の商品を紹介したところ、数日で改善し、後日追加で買いに来られた。外用剤の処方もなくなった。
37	OTC頭痛薬(イブ)と処方薬ロキソニンの併用例。毎月20回分処方されるロキソニンでは足りず、毎食後イブを服用していると聴取した。薬剤誘発頭痛の可能性がある事伝え、イブはできるだけ飲まないよう伝えた。2ヶ月後受診時イブは頭痛時だけ飲むようになり、ロキソニンの処方回数も減った。

	(4-2)Q10_従事している店舗で、薬剤師又は登録販売者が関与した好事例（利用者の治療などの利益につながった事例）
38	殺虫スプレーを週に1回以上買いに来ることが2、3回あったため対応した登録販売者が不審に思い聞き取りをしてみると「枕元に虫が大量にいて殺虫剤をかけても消えない」と返答があった。認知症を疑い薬剤師と相談した結果、処方薬の中に最近ブプレノルフィンの坐剤が追加になっていたことに気づき、副作用のせん妄を疑い処方医に疑義照会して投与中止に。その結果枕元の虫は消えた。
39	・便秘薬として1日1回で服用する酸化マグネシウムを購入にいらっしゃった患者様。お薬手帳を持参されていたため確認した所、前日に風邪症状でニューキノロン系抗生物質が朝食後、1日1回 7日分処方されていた。近い時間に酸化マグネシウムを服用すると、抗生物質の吸収低下による効果低下が起こる可能性があるため、抗生物質服用中は酸化マグネシウムは昼以降の時間に服用するようお話しした。

	(4-3)Q11_1_従事している店舗で、過去１年以内にPMDAへ医薬品副作用報告を行った事例 【一般用医薬品関連と思われるものを抜粋】
1	総合感冒薬による血圧上昇
2	咳止めで眠気
3	バファリンプレミアムによる手湿疹
4	ロキソニン服用後の排尿障害の可能性
5	通販で購入された健康食品（イタドリ）による薬疹
6	バファリンを飲んで湿疹が出た。服用を辞めるよう伝えた。
7	ロキソプロフェン錠60mg 服薬で足に赤い湿疹が多数できた。
8	アレグラを飲んだお客様が全身に湿疹が出たため報告した。
9	フェキソフェナジンの錠剤服用後、眠気とひどくうつろな状態が続いた事例。
10	高頻度で頭痛になる女性。都度バファリンを服用していたが、服用後胃に痛みを伴った。
11	インフルエンザの疑いがあるお客様が麻黄湯を購入されたあとに、全身に湿疹。
12	ロキソプロフェン錠を２日間服用後、失神し病院搬送され、点滴治療となる。１０年前にも市販の鎮痛剤で、消化管出血治療のため入院されていた歴があった。
13	ベトネベート軟膏を購入、皮膚が赤く腫れてきたと報告した。

	(4-4)Q16_1_過去1年以内で要指導医薬品を購入しようとした者に対して販売を断った事例（代わりに他の医薬品の購入に切り替えてもらった等の対応も含む）
1	ご家族が代理来局時。（ロキソニン総合風邪薬やアレグラFXプレミアム、アライ、バップフォーレディなど）
2	バップフォー、ロキソニン年齢対象外
3	アライの販売要件に満たさず
4	ヘルペス薬・カンジダ治療薬の販売を未診断だったためお断りした。
5	胃潰瘍治療中の方へのロキソニン総合風邪薬の販売をお断りした。
6	胃腸が弱い方に、ロキソニン総合風邪薬をアセトアミノフェン配合の風邪薬へ変更した。
7	ヒアレインを購入希望の患者さんがおられ、ドライアイと診断されている事を確認したため、眼科受診と販売をお断りした。
8	一週間で5日、タリオンAR錠を繰り返し買い求めに来た。オーバードーズ、ディペンデンスを考慮して医師の受診を勧めた。
9	ニコチネルパッチとニコレットを併用して購入しようとしたため、併用できない旨を説明しどちらで禁煙していくか話し合ったうえでパッチの販売を断ることになった。
10	希望者は足のむくみを訴えてベルフェミンを購入するか検討していたが、症状を聞くと、「靴下をはいた後、ゴム紐の跡がすごく残る」という内容だった指で押さえてへこみが続く症状はあるかと確認したがそのような症状ではないと返答があり、むくみではないと考えベルフェミンの適応に該当しないと判断し販売しなかった。
11	ロキソニン、胃腸障害、腎機能低下、心疾患、喘息などの疾患がある場合や、他のNSAIDsなどの併用薬がある場合
12	バップフォーレディ、緑内障などの疾患や併用薬がある場合

	(4-5)Q17_1_過去1年以内に要指導医薬品を購入しようとした者に対して受診勧奨した事例
1	年齢制限
2	対象症状・適応外
3	禁忌となる既往歴・持病・状態、多数の処方薬併用
4	製品の使用状況に問題があるケース（長期連用、効果不十分など）
5	定められた期間使用しても効果なし、悪化
6	過去に処方薬で効果なし
7	検査の必要性
8	市販薬では対応困難と判断
9	飲み合わせ
10	頻回の購入
11	火傷ひどい症状
12	重症・継続症状（風邪・発熱・咳、胃痛・胸やけ、頭痛・疼痛）
13	同種同効薬を飲んでいて
14	使用により改善がないため
15	インフルエンザ・コロナウイルス感染が疑われる事例
16	頭痛の頻度が多い人に受診勧奨した
17	処方箋薬を服用中で併用禁忌だったため
18	処方箋で鎮痛剤を含む医薬品を飲んでいたので
19	ウイルス性の感染症に受診している可能性あり
20	アレグラプレミアムを2週間服用して改善しなかったため
21	アライに関して、使用条件を満たしていない
22	過去の診断歴がない、自己判断（ヘルペス、カンジダ）
23	基礎疾患が多く主治医と相談の上で医薬品を使用した方がよいと判断したため
24	腎機能低下患者にてロキソニン総合風邪薬をお求めになられて、ロキソニン含有のため受診勧奨
25	偏頭痛が疑われる患者さんが繰り返し、ロキソニンエスプレミアムを購入希望したため、受診勧奨
26	眼科で緑内障の目薬を定期的に貰っている方がパップフォーレディを購入しようとしていたため、漢方の紹介または泌尿器科の受診勧奨
27	足のむくみでベルフェミンの購入希望があったが、聞き取りをしたところ、過去に乳癌・子宮癌等の手術歴があったため販売を断わり、受診勧奨

	(4-6)Q22_1_過去1年以内で第1類医薬品を購入しようとした者に対して販売を断った事例（代わりに他の医薬品の購入に切り替えてもらった等の対応も含む）
1	薬の重複
2	年齢制限
3	禁忌疾患
4	飲み合わせ
5	年齢制限のため
6	本人以外が来店
7	長期連用（ロキソニン、ガスター等）
8	乱用の疑い
9	症状が重い、市販薬で対応できる範囲を超えるため
10	在庫切れや流通不足
11	頻回購入だったため（ロキソニン、ガスター）
12	リアップ高血圧の方・女性
13	子どもへのロキソニン
14	ロキソニン錠の大量購入希望
15	胃の痛みでロキソニンを希望
16	カンジダ・ヘルペス治療薬（過去に診断を受けていない、再発かどうかの判断ができない）
17	ガスター80歳以上のため受診勧奨
18	すでに服用している同種同効薬があるため
19	喘息のある人がロキソニンを欲しいと言った
20	PPI服用中のためガスターの販売をお断りした
21	インフルエンザで受診の患者にロキソニン→アセトアミノフェン
22	蕁麻疹に対してタリオン購入希望の客が来店。適応外のため他のOTCをご紹介した。
23	インフルエンザ治療中で、すでにアセトアミノフェン製剤を医師より処方されている小児の患者様で、足りなくなってしまったのでロキソプロフェン錠のご購入をご希望されたが、医師の判断がアセトアミノフェン製剤だったので、再度受診するか、アセトアミノフェン製剤を他薬局でご購入いただくかでロキソプロフェン錠の販売は断った。
24	特定の基礎疾患・既往歴がある（胃潰瘍、消化性潰瘍、腎機能障害、心臓病、高血圧、喘息など）人へのロキソニンの販売
25	アライの販売条件を満たさなかったため。
26	ニコチネルパッチ服薬期間終了後も購入に来られたため・自己中断しており販売対象とならないと判断したため。

	(4-7)Q23_1_過去1年以内で第1類医薬品を購入しようとした者に対して受診勧奨した事例
1	長期使用・頻回購入（ロキソニン、ガスター）、ガスター（80歳以上、PPI服用中）
2	感染性の発熱
3	症状の改善が無かった・症状が重い・症状の継続
4	乱用の可能性がある・濫用習慣がある人に、危険性を提示後、受診勧奨
5	歯痛のため鎮痛薬を希望する人に歯科受診を勧奨
6	持病・基礎疾患があるため。
7	多剤服用患者のため受診勧奨
8	禁忌疾患や項目に該当
9	腎機能低下
10	未受診のヘルペス・カンジダ
11	範囲の広い火傷
12	慢性頭痛による鎮痛剤乱用
13	帯状疱疹 扁桃腺炎
14	インフルエンザの疑い
15	1日に複数回の購入だったため。
16	片頭痛の可能性あり、受診勧奨
17	逆流性食道炎の患者繰り返しガスター購入の時
18	生理痛での使用の多い患者に婦人科受診を推奨
19	からだの痛みが続く方に整形外科に行くよう指導
20	動悸症状があるため念のため循環器受診するよう勧めた。
21	強い胃炎症状が出ているため、消化器内科受診を勧めた。
22	頭痛薬購入時、半月以上服用することがあると聞き取ったため受診勧奨行った。
23	鼻の痛みを訴えられ、ロキソニン錠を購入された。副鼻腔炎が疑われたため、受診勧奨し、その後、受診され、抗生物質などを処方してもらった。

	(4-8)Q33_1_過去1年以内で濫用等のおそれのある医薬品を購入しようとした者に対して販売を断った事例
1	未成年である、または年齢確認ができなかったケース（12歳メジコン、未成年ブロン錠）
2	身分証明書が提示できなかったため。
3	質問に答えない、または回答に不信感がある。
4	ブロンの頻回購入
5	複数・大量購入希望のため（風邪薬全般、ブロン（錠、液）、パブロン（特にゴールドA）、ジキニン、メジコン、ウット、ナロンエース、リココデ）
6	頻回購入・短期間での再購入だったため（ブロン液、ブロン錠、パブロン（特にゴールドA）、ジキニン、メジコン、ウット、トニン、新トニン液）
7	ブロン濫用の恐れがあった。
8	小児用ジキニン大量買い、小児用医薬品の大人使用に関する事例（小児用ジキニンシロップ、小児用リココデ、小児用ユリアンシロップ、小児用マイフレンS）
9	ジキニン連日購入のため。
10	咳止めで薬効が重複した薬
11	ブロンの購入期間が短いため
12	ウットとドリエルの同時服用、同時購入（ブロン液と咳止め、総合感冒薬と咳止め、パブロンゴールドと新ブロン液エースなど）
13	長期服用で本人も不安になっていた。
14	10代の方が風邪薬を買おうとしていた。
15	1日に2回来店し購入しようとしていたため。
16	効能が重複する風邪薬の販売をお断りした。
17	一日おきに同一商品を購入しようとしたため。
18	ウット 短期間で複数回購入しようとしたため。
19	咳よりも痰が酷い患者に、咳止めから切り替えた。
20	リココデ頻回購入が認められる方にお声掛けし、購入をお断りした。
21	販売管理シートに購入時期を記載していて、頻回購入が確認できたので、販売をとめた。
22	中学生らしきお客様に年齢を確認しても証明書を出さない、氏名等確認しても教えない（ウット）。
23	3人組の若い女性が来店。うち1人はあからさまに虚な様でした。1人がメジコン20錠を10個欲しいとのご相談、ウエルシアの濫用の恐れのある医薬品の販売マニュアルに則ってお断りした。
24	2.3日前にパブロン鼻炎薬を購入した者が再び、同じ鼻炎薬を購入しようとしていたので丁重にお断りした。そのお客様は鼻詰まりがひどいので複数必要と言っていたが購入頻度が高いため、断わった。

25	数日に一度、何度もお買い求めに来るお客様がいらっしゃり、病院に行くことが出来ないからという事だったのですが販売管理シートの記入をお願いして、「何度もご購入のようですが、原則数日の服用で、それでも治らない場合は受診をお願いしておい る。次回、お求めに来られても当店では販売をお断りさせていただきます。」と案内し た。それでも再度来店されたので、ご購入をお断りした。医薬品は「パブロンゴールドA細粒 44包」であった。
26	予備や常備薬として購入したいという理由だが、適正使用が確認できなかったケース (ブロン、パブロン、ルルA、エフェドリン配合医薬品)
27	処方薬との飲み合わせが悪い、症状にあっていない薬を購入しようとしたケース（頭 痛のみなのに総合風邪薬、鼻炎症状なのに総合風邪薬、咳が出ていないのに咳止めと いった事例）
28	一気飲み（目撃）やトイレで飲み切るといった行動が見られた、濫用の恐れがある医 薬品の適正使用が確認できない、用法用量を守っていない可能性があるケース。

	(4-9)Q34_1_過去1年以内で濫用等のおそれのある医薬品を購入しようとした者に対して受診勧奨した事例
1	連続購入のため（パブロン、ブロン液、新トニン、ブロンA、ウット、ジキニン、ナロンエース、風邪薬、咳止め、リココデ、大正トンプク、ロキソニン、アネトン）
2	毎日買いに来た。
3	症状が一定期間以上続いている、あるいは市販薬を使用しても改善が見られない場合（咳が一ヶ月止まらない。）、症状を聞き受診が必要と判断
4	複数購入
5	対応が難しい症状だったため・市販薬では対応しかねる症状
6	過去の購入履歴、他店での購入状況より頻回購入や重複購入が疑われた場合
7	何度も咳の症状を繰り返す方に受診勧奨した。
8	睡眠導入剤を購入の方に受診勧奨を行った。
9	長距離ドライバーで眠気が問題となる場合
10	処方せんでの治療薬を複数服用が判明した時
11	インフルエンザの疑いがあり、受診勧奨した。
12	高血圧、心臓病、甲状腺機能低下症などのお客様
13	便秘薬を繰り返し購入しようとする方へ受診勧奨を行った。
14	肩こりで4日間隔でナロン錠を服用しているのを、医療機関を勧めた。
15	病院でもらった薬で眠れない。再度、受診し詳細を医者に伝えるよう勧奨した。
16	慢性頭痛を訴える方に対し近医ではなく、専門医の診察意見を聞くことを強く伝えた。
17	精神科を受診しており、睡眠導入剤なども服用していたためかかりつけ医に受診するよう促した。
18	明らかに咳止めシロップ依存症の方について対応する際に、店舗の該当在庫を全て売り切れということにして店舗から引っ込めた上で、咳が続くようであれば受診をする必要があること、無いのに服用を継続しているようであれば依存症の治療のために受診が必要なことを説明した。

	(4-10)Q39_1_過去１年以内で指定第２類医薬品（濫用等のおそれのある医薬品を除く）を購入しようとした者に対して販売を断った事例
1	毎日購入
2	直近購入
3	複数購入
4	大量購入
5	常習性があったため
6	複数購入年齢制限
7	高校生で身分証無し
8	持病があったり、他の医薬品や処方薬との飲み合わせが悪い場合
9	購入希望の医薬品が症状に合わない、または市販薬の適用範囲外（爪水虫）
10	運転をする方への眠気を催す成分を含む医薬品の販売の場合
11	症状がないのに予防目的で服用しようとする場合（風邪薬、咳止め）
12	フルコートの長期連用
13	他の薬と重複していたため。
14	明らかなオーバードーズが疑われた。
15	ドクターに雇っている方の併用希望者
16	イブをほぼ毎日服用していると言う場合
17	ブロン錠常用者の顔を覚えていたので断った。
18	メジコンを大量購入使用とした方を断った。
19	小児用ジキニンを大人が服用しようとしていた。
20	医療機関で同成分をすでに服用していたため販売を断った。
21	パイロンPL眠れるからという理由で購入しようとしたため。
22	睡眠薬を処方されている方、効かないということでドリエルを購入希望お断りした。
23	ボラギノールを何年も使っているお客さまに、一旦薬をやめ、アルコールなどの生活習慣を改善するように伝えた。
24	コーラックを長期仕様されていた方に、体に優しい便秘薬のピコラックを提案。確認したところ整腸剤を使用していないとの事だったので、ビオスリーの併用を提案し、スイッチに成功。

	(4-11)Q40_1_過去1年以内で指定第2類医薬品を購入しようとした者に対して受診勧奨した事例
1	妊娠中
2	40度を超える高熱
3	症状が改善しない、または長引く、悪化する場合
4	お薬の購入を繰り返されている方
5	腎機能が心配な方に、受診を勧めた。
6	ムヒ購入の方が、鉢に刺されており症状がひどかったため販売をせずに受診勧奨
7	乾燥で全身痒く、ベトネベートを購入しようとする方。範囲が広いので受診勧奨
8	持病の喘息が悪化しているお客様に、市販薬では対応できないため受診勧奨
9	妊婦さんが飲める薬をご紹介したが、それでは効かないと言われたため受診を勧めた。
10	胃腸薬を飲まれているが、痛みが無くならないと相談。主治医へ相談するよう伝えた。
11	陰部のかゆみのために購入をされようとしたが、受診の方が適切と判断し、受診勧奨した。
12	顔にステロイドのストロングを塗ろうとしていたため、ノンステロイドへ変更。しかし目の周りの腫れがひどかったため一度病院受診勧奨
13	同じ医薬品を長期または頻繁に購入している（長期連用・頻回購入）特に鎮痛剤（イブ、バファリン、ナロンなど）、睡眠導入剤（ドリエルなど）、便秘薬（スルーラック、コーラックなど）、胃腸薬、咳止め、皮膚薬（ステロイド剤を含む）
14	基礎疾患（持病）や併用薬がある。高血圧、心臓病、糖尿病、喘息、腎臓病などの持病がある方 や、病院から複数の薬を処方されている方
15	症状が重篤である、または特定の疾患が強く疑われる。例えば、高熱（38℃以上や40℃以上）、広範囲の火傷や皮膚炎、化膿、インフルエンザやコロナウイルスの疑い、带状疱疹の疑い、肺炎、爪水虫、痔瘻 など、市販薬では対応が困難である

	(4-12)Q45_1_過去1年以内で第2類医薬品（濫用等のおそれのある医薬品を除く）を購入しようとした者に対して販売を断った事例
1	薬を一定期間使用しても症状が改善しない場合 や、症状が薬の効能・効果に合わない場合
2	同じ商品や類似薬を頻繁に、または繰り返し購入するケース
3	基礎疾患や併用薬 持病がある場合、通院している・処方薬を服用している場合、他の薬との飲み合わせが悪い、または成分が重複する している場合
4	症状が市販薬の適用範囲外である事例
5	症状がない、または予防目的での購入に対し販売を断る事例
6	年齢制限を満たさない小児 への販売拒否
7	透析療法を受けている方
8	メジコンのオーバードーズ
9	医師に雇っている方の併用希望者
10	コーラックのまとめ買いをお断りしました
11	目薬をお求めのお客様で、緑内障の持病がある方。
12	葛根湯お薬手帳より、医療機関での処方と重複していたため
13	似たような薬でアレルギー症状がでた事があるそうなので断った。
14	酔い止めを購入の方、てんかんの持病があったため販売せずに受診勧奨
15	正露丸を少しの症状や予防的にまた継続的に購入される方がいたため、お断り。
16	キャベジン購入の患者さんが病院の処方せんで胃薬の処方があった
17	バンテリンを購入しようとしていたお客様の患部を見ると腫れがひどく骨折している可能性があったため受診勧奨
18	複数の薬を試したがあまり効果がなかったと言いつつ、再度同じ商品を購入しようとした方へ受診勧奨して販売はお断りした。
19	点鼻薬を購入している方で連用不可の医薬品であったが長期間使用している
20	消炎鎮痛剤であるバンテリンを傷の消毒目的として誤って認識し使用しようとしていたお客様に対し正しい用途を教えるとともに販売を断った。

	(4-13)Q46_1_過去1年以内で第2類医薬品（濫用等のおそれのある医薬品を除く）を購入しようとした者に対して受診勧奨した事例
1	妊娠
2	鎮痛剤・風邪薬の長期服用・常用
3	高熱が続く場合 や、咳が長引く場合、風邪薬を服用しても改善しない場合
4	インフルエンザやコロナの疑いがある場合
5	鼻炎症状の長期化・長期購入
6	胃腸薬の長期連用 や、症状が長く続き市販薬で改善しない場合
7	検査の必要性
8	床ずれで受診勧奨した。
9	爪水虫の方に、受診勧奨した。
10	褥瘡で相談の方へ受診勧奨した。
11	目の充血。改善しないなら眼科へ受診勧奨した。
12	便秘薬の過剰な使用者に受診勧奨した。
13	蜂に刺され来店した方に受診勧奨した。
14	うつ病の方で風邪薬の相談、受診勧奨を行った。
15	太田胃酸を毎日飲み続けている方に受診勧奨した。
16	男性のお客様が排尿痛がひどくて受診勧奨をした。
17	スズメバチに刺されたと言われるお客様に受診を促した。
18	浣腸2日に1回、3回使った人の購入を断り、受診勧奨した。
19	涙がまったく出ない方への目薬の販売を断り、受診勧奨を促した。
20	白内障を診断をされたが、目薬を購入しにきた。病院を受診勧奨した。
21	胃痛が1か月続いており何を飲んでも改善しないという方へ受診勧奨した。
22	正露丸をまとめ買い。下痢が全然治らないとのことだったので受診を案内した。
23	麦門冬湯をお求めの方に、酷い咳だったので肺炎の疑いもあるため受診勧奨した。

	(4-14)Q51_1_過去1年以内で第3類医薬品を購入しようとした者に対して販売を断った事例
1	服用中の医薬品との飲み合わせ
2	症状と医薬品の効能・効果が一致しない場合
3	検査をしないと疾患が断定できなかった。
4	効能効果の重複、処方薬を飲んでいる場合
5	市販薬での対応が困難、または長期使用しても改善が見られない場合
6	甲状腺機能障害の方にイソジンうがい薬の販売を断った。
7	症状がでていないにも関わらず使用されていたかたへ販売を断った。
8	のびのびサロンシップを継続使用している方にかぶれが見られたため。
9	アリナミンEXプラスを購入希望していたが、処方薬で同じ系統のビタミン剤が処方されていた。
10	アリナミンAを購入の方へカウンセリング。疲れが取れない、怠いとの事であったため、食事バランス、睡眠状況を確認。食事の偏りがあったため、食事バランスの見直しを提案した。
11	多数のビタミン剤・健康食品を服用し明らかに過多になっていた。
12	風邪薬使用しているお客様が、同時使用の目的でカフェイン含有のドリンク剤購入しようとした。
13	緑内障がある方への特定の目薬の販売する場合
14	心臓病の方がエスタロンモカを購入しようとした事例
15	皮膚の状態が化膿しており、オロナインが適切ではないとして断った。
16	便秘薬、イチジク浣腸 やイソジンうがい薬 など、妊婦への使用が推奨されない医薬品の販売を断った事例
17	ガスピタンの対象者が15歳未満だったため。
18	目薬の同一商品を10個以上購入しようとしたお客様に対し販売をお断りした。
19	小児用ジキニンを栄養ドリンク代わりに飲もうとした事例

	(4-15)Q52_1_過去１年以内で第３類医薬品を購入しようとした者に対して受診勧奨した事例
1	長期服用のため
2	症状が重症の場合、市販薬では対応できない場合
3	便秘薬（長期服用、改善なし）
4	虫歯対応
5	怪我による出血が多いため、やけどの症状がひどい場合
6	症状の改善がみられないため。
7	低温やけどで重傷と思われるものの場合
8	認知症と思われる方のご家族へ受診勧奨した。
9	手荒れがひどい方に皮膚科の受診をお勧めした。
10	消毒液を購入しようとした方の出血がひどく受診勧奨
11	整腸薬購入希望でしたが、下痢が数日続いていたようだったため。
12	龍角散ダイレクトを長期間服用しているという方からご相談があり症状を詳しく伺ったところ、食事のあとのむせが気になるとのことだったので嚥下機能の低下を疑い受診勧奨した。
13	口内炎治療薬（症状がちがう、改善しない等）
14	骨折の可能性があるため。
15	動物に咬まれた傷や蜂（スズメバチ）刺された場合
16	高熱等でインフルコロナなどが疑われる場合

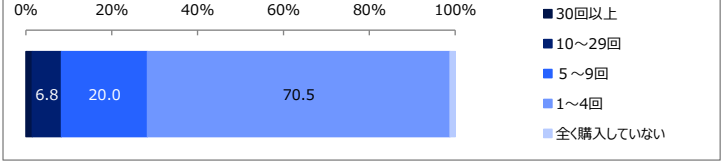
	(4-16)Q58_1_過去１年以内にインターネット販売で一般用医薬品を購入しようとした者に対して販売を断った事例（代わりに他の医薬品の購入に切り替えてもらった等の対応も含む）
1	基礎疾患があった方
2	メジコン総合感冒薬
3	風邪薬複数購入希望者
4	複数回購入していたため
5	レスタミンコーワの連日の購入
6	お子様が服用対象外年齢だった
7	濫用の恐れのある医薬品を複数個購入希望の場合
8	薬局製剤の汗止め液購入希望の方に対して皮膚科受診を勧奨
9	咳止めシロップで購入してから一週間しか経ってなかったため。
10	他店より濫用の薬の購入があり止めたという連絡があったのでうちもキャンセルして販売しませんでした。
11	メジコンをアカウントを変えて何回も購入されている可能性が出てきたため、売り切れ対応にしたことがある。
12	同じような効能のお薬の注文が入ったときに電話をかけて、症状などを確認して、一部キャンセルになったことがある。

	(4-17)Q59_1_過去１年以内にインターネット販売で一般用医薬品を購入しようとした者に対して受診勧奨した事例
1	購入前の相談で受診勧奨
2	続けてお子様の浣腸薬購入の方に受診勧奨
3	症状が重くOTCでの対応が難しいと判断した方

別添 D 要指導医薬品及び一般用医薬品の店舗販売に関するアンケート調査結果

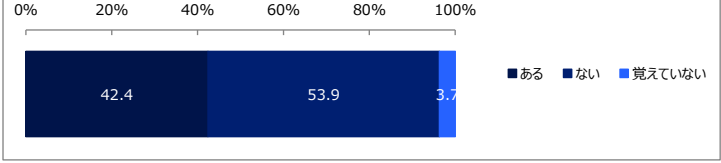
Q1. 直近1年で薬局やドラッグストアあるいはインターネット等で自分用に市販薬を何回くらい購入しましたか。
SA

	n	%
全体	1000	100.0
1 30回以上	15	1.5
2 10～29回	68	6.8
3 5～9回	200	20.0
4 1～4回	705	70.5
5 全く購入していない	12	1.2



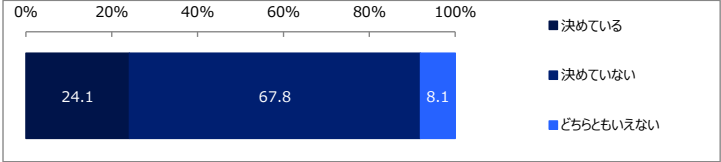
Q2. 今までに実際に薬局やドラッグストア等で薬のことについて相談したことがありますか。
SA

	n	%
全体	1000	100.0
1 ある	424	42.4
2 ない	539	53.9
3 覚えていない	37	3.7



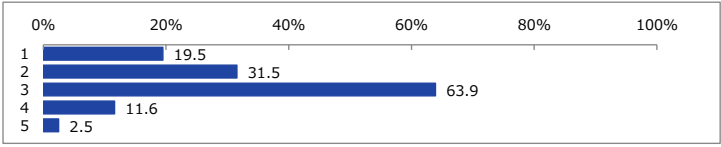
Q3. 薬局やドラッグストア等で薬の相談をする時は店舗を決めていますか。
SA

	n	%
全体	1000	100.0
1 決めている	241	24.1
2 決めていない	678	67.8
3 どちらともいえない	81	8.1



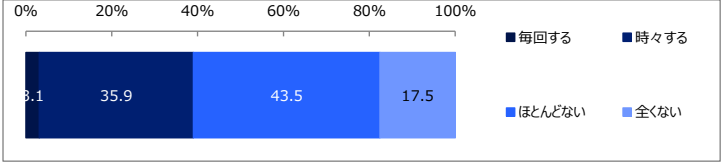
Q4. その店舗に決めている理由は何ですか。(いくつでも)
MA

	n	%
全体	241	100.0
1 いつも相談するかかりつけの専門家（薬剤師、登録販売者）がいるから	47	19.5
2 相談しやすい雰囲気だから	76	31.5
3 家から近いから	154	63.9
4 交通の便が良いから	28	11.6
5 その他：	6	2.5



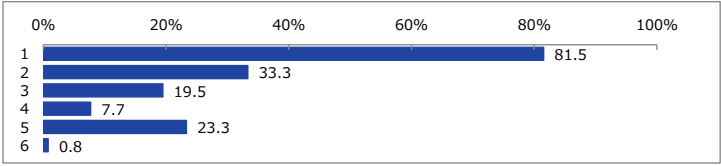
Q5-1. 薬局・ドラッグストア等で市販薬を買うときに専門家（薬剤師、登録販売者）に選び方や使用方法等について相談することはありますか。
SA

	n	%
全体	1000	100.0
1 毎回する	31	3.1
2 時々する	359	35.9
3 ほとんどない	435	43.5
4 全くない	175	17.5



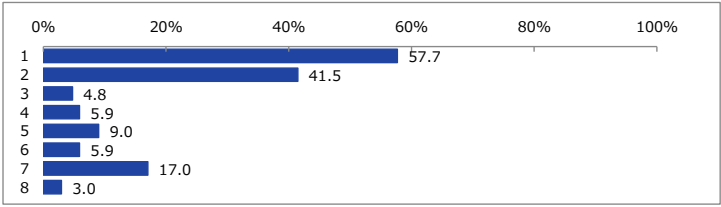
Q5-2. どのような内容を相談しましたか。(いくつでも)
MA

	n	%
全体	390	100.0
1 症状に合っているか	318	81.5
2 使用方法や使用量	130	33.3
3 副作用について	76	19.5
4 (説明文書に書かれた)してはいけないこと、注意すること等に該当しているか	30	7.7
5 併用している薬との飲み合わせ	91	23.3
6 その他：	3	0.8



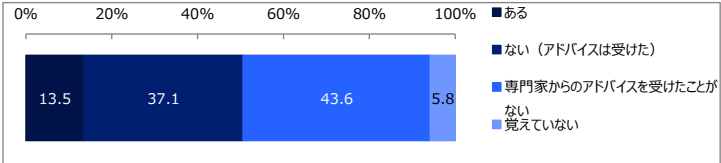
Q5-3. 相談しない理由は何ですか。(いくつでも)
MA

	n	%
全体	610	100.0
1 よく利用する市販薬だから	352	57.7
2 外箱等を確認して自分で判断できるから	253	41.5
3 忙しい・相談する時間がないから	29	4.8
4 店が相談できる雰囲気でないから	36	5.9
5 何を質問・相談したら良いかわからないから	55	9.0
6 相談できることを知らなかったから	36	5.9
7 相談する必要があるかわからないから	104	17.0
8 その他：	18	3.0



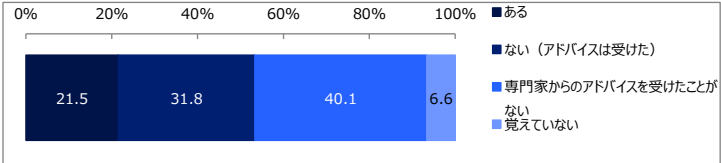
Q6. 市販薬を購入する目的で薬局やドラッグストア等に出向いた際、専門家（薬剤師、登録販売者）からのアドバイスで医師の診察を受けた（病院や診療所に行った）ことがありますか。
SA

	n	%
全体	1000	100.0
1 ある	135	13.5
2 ない（アドバイスは受けた）	371	37.1
3 専門家からのアドバイスを受けたことがない	436	43.6
4 覚えていない	58	5.8



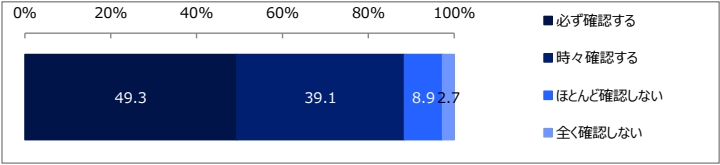
Q7. 市販薬を購入する目的で薬局やドラッグストア等に出向いた際、専門家からのアドバイスを受けて購入する市販薬を変更したり、市販薬の購入を中止したりしたことはありますか。
SA

	n	%
全体	1000	100.0
1 ある	215	21.5
2 ない（アドバイスは受けた）	318	31.8
3 専門家からのアドバイスを受けたことがない	401	40.1
4 覚えていない	66	6.6



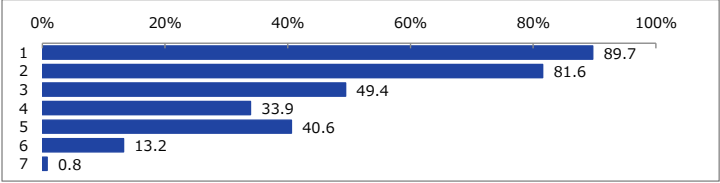
Q8-1.市販薬を購入する時、外箱等の説明を確認しますか。

SA		
	n	%
全体	1000	100.0
1 必ず確認する	493	49.3
2 時々確認する	391	39.1
3 ほとんど確認しない	89	8.9
4 全く確認しない	27	2.7



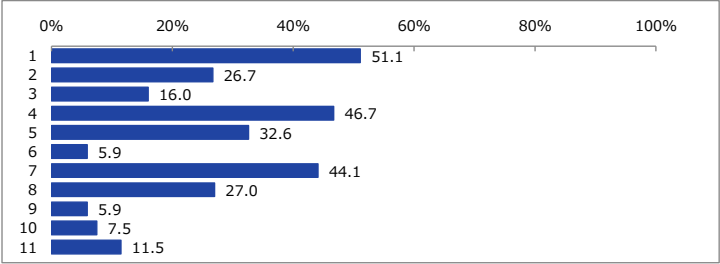
Q8-2.市販薬を購入する際、外箱等で必ず確認する事項はどれですか。（いくつでも）

MA		
	n	%
全体	884	100.0
1 効能・効果	793	89.7
2 用法・用量（服用・使用方法）	721	81.6
3 成分・分量	437	49.4
4 してはいけないこと	300	33.9
5 注意すること等	359	40.6
6 保管上の注意	117	13.2
7 その他：	7	0.8



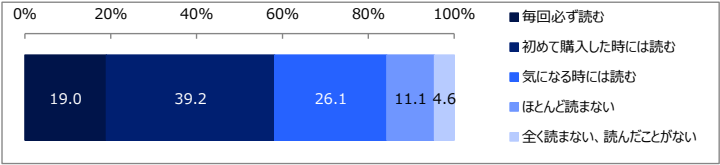
Q9.市販薬を購入する際、専門家から教えてほしいことはどれですか。（いくつでも）

MA		
	n	%
全体	1000	100.0
1 効能・効果	511	51.1
2 用法・用量（服用・使用方法）	267	26.7
3 有効成分	160	16.0
4 副作用とその対応	467	46.7
5 してはいけないこと、注意すること等に該当するか	326	32.6
6 保管上の注意	59	5.9
7 飲み合わせ	441	44.1
8 似ている薬との違い	270	27.0
9 治療や予防に必要な生活習慣の改善	59	5.9
10 価格	75	7.5
11 教えてほしいことはない	115	11.5



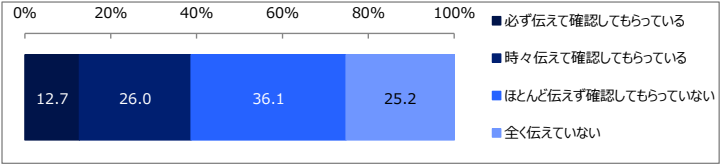
Q10.市販薬を使用する時、添付文書（医薬品の容器の中に入っている説明書）の説明を読みますか。

SA		
	n	%
全体	1000	100.0
1 毎回必ず読む	190	19.0
2 初めて購入した時には読む	392	39.2
3 気になる時には読む	261	26.1
4 ほとんど読まない	111	11.1
5 全く読まない、読んだことがない	46	4.6



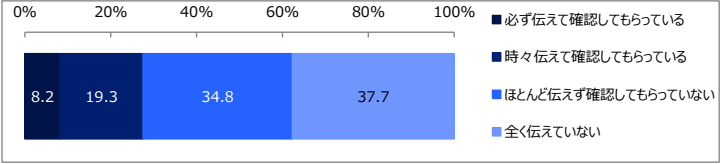
Q11.市販薬を購入する際、服用・使用している薬（市販薬、医療用）を専門家に伝えて飲み合わせなどを確認してもらっていますか。

SA		
	n	%
全体	1000	100.0
1 必ず伝えて確認してもらっている	127	12.7
2 時々伝えて確認してもらっている	260	26.0
3 ほとんど伝えず確認してもらっていない	361	36.1
4 全く伝えていない	252	25.2



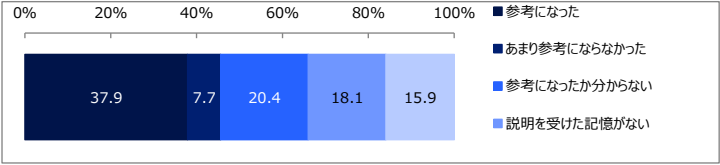
Q12.市販薬を購入する際、服用・使用しているサプリメント・健康食品を専門家に伝えて飲み合わせなどを確認してもらっていますか。

SA		
	n	%
全体	1000	100.0
1 必ず伝えて確認してもらっている	82	8.2
2 時々伝えて確認してもらっている	193	19.3
3 ほとんど伝えず確認してもらっていない	348	34.8
4 全く伝えていない	377	37.7



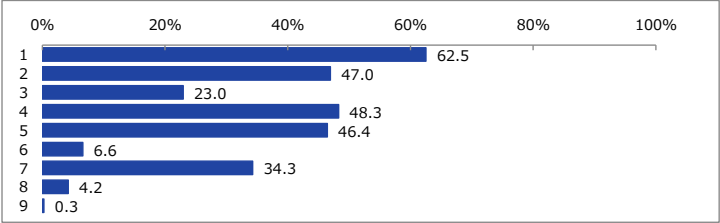
Q13-1.要指導医薬品、第1類医薬品（薬剤師の説明が必要な医薬品）は、副作用などのリスクがあり、特に注意が必要なものであるため、販売時に薬剤師が使用上の注意などを説明する必要があります。薬剤師からの説明

SA		
	n	%
全体	1000	100.0
1 参考になった	379	37.9
2 あまり参考にならなかった	77	7.7
3 参考になったか分からない	204	20.4
4 説明を受けた記憶がない	181	18.1
5 薬剤師の説明が必要な医薬品を購入したことはない	159	15.9



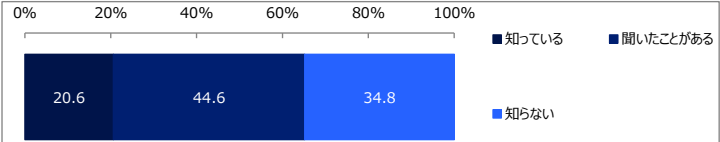
Q13-2.薬剤師からの説明でどのような内容が参考になりましたか。（いくつでも）

MA		
	n	%
全体	379	100.0
1 効能・効果	237	62.5
2 用法・用量（服用・使用方法）	178	47.0
3 有効成分	87	23.0
4 副作用とその対応	183	48.3
5 してはいけないこと、注意すること等に該当するか	176	46.4
6 保管上の注意	25	6.6
7 飲み合わせ	130	34.3
8 何かあった時の相談先	16	4.2
9 その他：	1	0.3



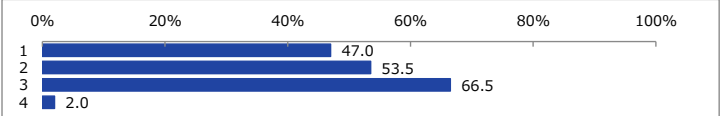
Q14.「濫用等のおそれのある医薬品※」を知っていますか。※一定の成分を含む風邪薬、咳止めなどのことで、間違った使い方により、健康被害が出たり、やめられなくなったりするリスクがあります。

	n	%
全体	1000	100.0
1 知っている	206	20.6
2 聞いたことがある	446	44.6
3 知らない	348	34.8



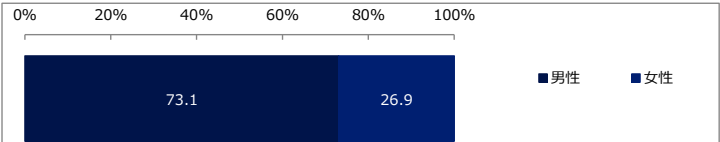
Q15.「濫用等のおそれのある医薬品」について、過剰摂取や若者による不適正な購入を防ぐため、販売時に専門家が行う対応で特に有効だと思うものを選んでください。（いくつでも）

	n	%
全体	1000	100.0
1 若年者と思われる者の氏名と年齢を確認	470	47.0
2 複数、頻回の購入を防止するため他の店舗での購入状況の確認	535	53.5
3 一度に複数の購入を防止するため複数回数購入の理由の確認	665	66.5
4 その他：	20	2.0



性別
SA

	n	%
全体	1000	100.0
1 男性	731	73.1
2 女性	269	26.9

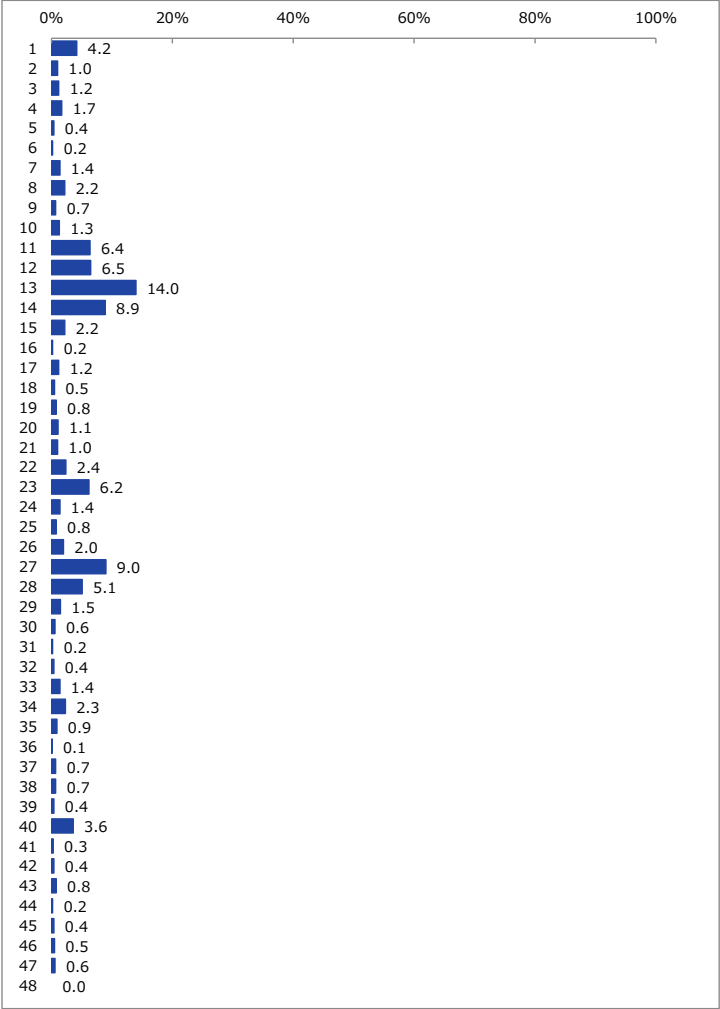


年齢
歳

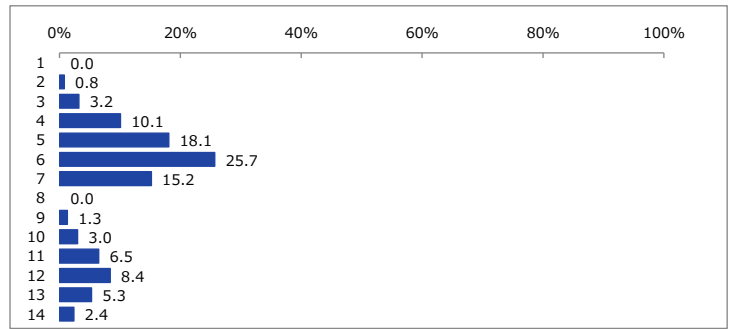
	値
全体	1000
平均値	57.68
最小値	21.00
最大値	91.00

都道府県
SA

	n	%
全体	1000	100.0
1 北海道	42	4.2
2 青森県	10	1.0
3 岩手県	12	1.2
4 宮城県	17	1.7
5 秋田県	4	0.4
6 山形県	2	0.2
7 福島県	14	1.4
8 茨城県	22	2.2
9 栃木県	7	0.7
10 群馬県	13	1.3
11 埼玉県	64	6.4
12 千葉県	65	6.5
13 東京都	140	14.0
14 神奈川県	89	8.9
15 新潟県	22	2.2
16 富山県	2	0.2
17 石川県	12	1.2
18 福井県	5	0.5
19 山梨県	8	0.8
20 長野県	11	1.1
21 岐阜県	10	1.0
22 静岡県	24	2.4
23 愛知県	62	6.2
24 三重県	14	1.4
25 滋賀県	8	0.8
26 京都府	20	2.0
27 大阪府	90	9.0
28 兵庫県	51	5.1
29 奈良県	15	1.5
30 和歌山県	6	0.6
31 鳥取県	2	0.2
32 島根県	4	0.4
33 岡山県	14	1.4
34 広島県	23	2.3
35 山口県	9	0.9
36 徳島県	1	0.1
37 香川県	7	0.7
38 愛媛県	7	0.7
39 高知県	4	0.4
40 福岡県	36	3.6
41 佐賀県	3	0.3
42 長崎県	4	0.4
43 熊本県	8	0.8
44 大分県	2	0.2
45 宮崎県	4	0.4
46 鹿児島県	5	0.5
47 沖縄県	6	0.6
48 国外	0	0.0



性年代 SA		
	n	%
全体	1000	100.0
1 男性 10代	0	0.0
2 男性 20代	8	0.8
3 男性 30代	32	3.2
4 男性 40代	101	10.1
5 男性 50代	181	18.1
6 男性 60代	257	25.7
7 男性 70歳以上	152	15.2
8 女性 10代	0	0.0
9 女性 20代	13	1.3
10 女性 30代	30	3.0
11 女性 40代	65	6.5
12 女性 50代	84	8.4
13 女性 60代	53	5.3
14 女性 70歳以上	24	2.4



別添 E

実地調査結果（一般用医薬品等販売の好事例及び課題・要望）

1 販売管理体制の工夫

- ・レジシステム連動：資格者スキャン・バーコード認証により、資格不一致は販売不可としていた。
- ・陳列の工夫として、薬効別・リスク区分別に色分けフラッグや電子棚札で明示していた。

2 相談対応体制の充実

- ・服装の色（薬剤師：長袖白衣、登録販売者：短白衣など）で職種を明確化していた。
- ・カウンター/相談コーナーに常駐する体制を構築していた。
- ・相談しやすい環境づくり（呼び出しボタン、「ご相談ください」表示等）が行われていた。
- ・相談販売時に登録販売者と薬剤師が作製したわかりやすいオリジナルの情報提供ツールを用いていた。
- ・タブレットを用いた販売時の聴き取り内容を、POS と連動して販売記録との重複確認を行っていた。
- ・タブレットに成分・副作用・服用方法などを表示しながら説明していた。
- ・相談対応時に、一般用医薬品等の情報や、使用者の症状別の注意事項、必要なケアなどを確認・提供できる店舗専用アプリを用いていた。
- ・症状別パンフレット（ヘルシーニュースなど）を 20～30 種類常備していた。

3 受診勧奨の実践的対応

- ・関係団体が作成した受診勧奨ガイドラインを研修に組み込み、相談時の適切な受診勧奨に結び付けていた。
- ・受診勧奨カード追跡の社会実装を行っていた。
- ・以下の受診勧奨事例等があった。

解熱鎮痛剤を購入しようとした際に高熱（39℃）が確認できた事例

相談者への聞き取りで医師の診断を受けたことがない初発の口唇ヘルペスの可能性があった事例

胃腸薬相談時に発覚した止まらない下痢及び倦怠感の事例

日焼けの薬購入希望時に確認したところ広範囲のやけどであった事例
湿疹の薬を購入希望で带状疱疹ではないかと判断した事例
頭痛薬相談時に確認した血圧高値患者の頭痛（脳卒中疑い）の事例
ロキソプロフェンを購入しようとした透析患者への販売中止事例
鎮痛薬購入希望で症状が強く長引く場合の販売中止＋受診勧奨事例

4 一般用医薬品等の濫用防止の取り組み

- ・複数購入時の POS レジのアラート、システム上で資格者確認必須とするなどの対応が行われていた。
- ・会員データ分析（月・金等の定期抽出）で購買パターンを検知してチェックしていた。
- ・販売時の記録をレシート再発行や名簿作成で保存して継続購入をチェックしていた。
- ・ポイントカードに紐づく販売記録から他店舗での購入履歴を確認することで、同一チェーン内で重複購入をチェックしていた。
- ・頻回購入者等の情報を店舗間又はグループ内でメール配信により共有していた。
- ・怪しい顧客は毒物劇物販売伝票を参考に名前・連絡先を控えていた。

5 職員教育・研修体制

- ・全従業員対象として、勤務時間内・店舗で e-ラーニング必修化（テストは満点合格まで）していた。
 - ・最新情報を 1～2 分程度の動画にまとめ配信し、スタッフがいつでも手軽に視聴できるようにしていた。
 - ・OJT 制度により登録販売者 1 年目は必ず上級者「師匠」について 3 か月現場研修を行うこととした。
 - ・社内資格制度により適切な販売を行っているか、相談に対応できているかを確認する現場での観察試験等を取り入れ、ステップアップを評価していた。
-

6 データ管理・継続的対応

- ・薬歴・顧客情報：一般用医薬品等の情報を把握
- ・クラウド管理：他店舗でも薬歴・購買履歴を閲覧可能
- ・健康台帳：相談内容・測定結果を記録し、継続的指導を実施

- ・一般用医薬品等の販売情報を電子版お薬手帳へ自動記録することによる医薬品服用歴の一元的情報管理
 - ・ID-POS データの分析：購買パターンから不適切な事例を検知
-

7 地域貢献・健康イベント

- ・店舗内：健康支援（相談、測定など）
 - ・健康相談会：栄養相談、育児相談、測定会（血圧・骨密度・ヘモグロビン等）
 - ・地域イベント参加：市民まつり、公民館講演（ポリファーマシー、オーラルフレイル等）
 - ・認知症サポーター活動：来店者情報を店舗内で共有し対応
 - ・管理栄養士による店舗での定期的な有料相談：定期的な体重・血圧・食事指導等を会員制で実施して独居の高齢者等の健康サポートを店舗スタッフとも連携して実施
-

8 多職種連携

- ・店内の薬剤師・登録販売者・管理栄養士が顧客の相談内容に合わせ（聞き取り→商品選定→相談）時にそれぞれの専門家が対応することで顧客満足度の高い指導を行っている事例があった。
- ・医療用医薬品の関連相談は登録販売者から薬剤師へつなぐこととしていた。
- ・不審な顧客情報を従業員ノート・店舗ミーティングで共有していた。
- ・店舗スタッフが顧客の相談等に困った時の電話相談窓口を本部 DI 室に用意していた。
- ・地域で医療マップを整備し、受診先を具体的に案内していた。

9 課題として感じていること

- ・丁寧な確認がカスタマーハラスメントを招くことも多く、現場が疲弊している。
- ・他社・他店舗間での購買履歴の把握には限界がある。
- ・医療用医薬品と同一成分、同一用量の一般用医薬品等の中には、禁忌の範囲が医療用医薬品と比べて広いものがある。

10 行政等への要望

- ・マイナンバーカードの活用：医薬品購入時の年齢確認・購買履歴の一元管理

- ・国民向け啓発の強化：CM・SNS 等で「専門家に相談を、医療用医薬品を服用時には使用薬を専門家に必ず確認を」等のメッセージ周知
- ・運用指導の統一化：地域ごとの解釈差を是正（一般用医薬品の陳列方法、情報提供場所の設置方法等）
- ・セルフメディケーション教育：学校での正しい医薬品使用方法の啓発

店頭相談によるOTC販売 アクティブラーニング

スモールグループディスカッションによる販売体験の
「振り返り」と「共有」

ロールプレイによる「シミュレーション」学習

<店頭での対応をより有効に行うために>

店頭での貴重なOTC販売経験を活かそう！

OTC販売の店頭相談では、個々のお客様への問診から適切なOTCの選定や受診勧奨を行っていけるように日頃から学習を続けていると思います。



店頭での貴重なOTC販売経験を活かそう！

個々のお客様の多様な症状や状況などから体調不良の原因を推測し、その治療に必要な薬剤の選定には日頃多くの相談を体験することが最も役立ちます。

貴重な日頃の相談対応を「記録」し、「振り返って」検討したことはありますか？



販売体験を「振り返って」検討する

毎日の店頭対応の中で、「これで良かったのだろうか」
「もっと良い回答や選択はなかっただろうか」と考えたことはありますか？

店頭での体験は一期一会で、個々のお客様によって「同じ症状」でも年齢・性別・職業などその方の条件によって、勧める薬も対応が違ってきます。そのお客様について最適な対応ができたのか。まずは対応を「記録」して「振り返って」おくことでその体験を活かしていくことができます。

体験はみんなで「共有」し「一緒に検討」する

体験の検討は、一人で行うよりみんなで「共有」して、一緒に検討する方がいろいろな見方を知ることができ、他の人の体験を学ぶことにもなり効果的です。



体験はみんなで「共有」し「一緒に検討」する

少し恥ずかしくても 仲間で一緒におしゃべりしながら自分の体験を披露し、他の人から感想や意見を聞くこと。

また、他の人の体験を聞いて自分の感想や意見を言うこと。

そこから学びを深める学習をしてみましょう。



まずは 自分の販売経験を思い出して記録する

まず最近の販売で相談に困ったり、これで良かったのかという店頭体験を書き出してみましょう。

＜事例レポート 例＞

相談日時 相談対象者(本人・家族・その他()) 年齢・性別

相談内容

【顧客情報】

初回来店・継続購入／店舗で把握している事項

【お客様から聞き取ったこと】

症状／現在の状態・いつから・どのくらい、

治療／治療をしている・これから、服用している薬、受診

希望／購入したい薬の銘柄、剤形、価格など

【販売で考えたこと、販売した薬・指導内容】

体調不良の原因の推測

推奨した薬・指導の内容

みんなで発表して話し合ってみよう！

Small Group Discussion(SGD)

一人一人が書いた体験レポートを、まずは、順番に発表しましょう。

発表された「体験」についてグループ参加者で自由に感想や意見を言い合います。

全員の体験が検討できるように時間配分を最初に決めてディスカッションを始めましょう！

SGDをやってみよう！ 話し合う時気をつけること

みんなが公平に話せるように(誰かが長く話してしまうことのないよう)なるべく簡潔に説明する。(人数が多い時は「司会・進行役」を決める)

すぐに批判するのではなく、まずは相手の話を良く聞く。

その時感じたことや思ったことは、遠慮なく言う。経験や立場が違うことを意識する必要はない。いろいろな立場での見方が大きな「気付き」になることは多い。批判的なことを言われたら、「そうかもしれない」とまずは受け止めて、それから自分の意見を言う。

SGDから、「シナリオ」を作って「ロールプレー」

事例をあらためて振り返り、もっと適切な対応ができるのではないかとみんなで考えることができれば、その対応の簡単な「シナリオ」を作ってみましょう。

シナリオができれば、実際にスタッフ役・来局者役となって「演じて(ロールプレー)」みて、それぞれの役で感想を述べ合いシナリオの完成度を高めます。

体験から学んだ事例で、より適切な対応を目指して「ロールプレー」

シナリオを販売する人と相談する人にわかれて、実際に「演じて」(ロールプレイ)みる。

相談する役の人は、相談する立場になって、相談を受ける役の人は、受ける立場になって演じよう！



体験から学んだ事例で、より適切な対応を目指して「ロールプレー」

「演じた」あとは正直な感想を共有しましょう。「ロールプレー」ではこ
の振り返りも重要です！



「ロールプレー」なら何度でも失敗できる

実際のお客様との対応で「練習」することはできませんが、「ロールプレー」なら何度でも「失敗」「やり直し」ができます。さらなるレベルアップを目指して、「練習」しましょう。

それぞれの役を演じることで、今まで気づかなかったお客様目線での課題に気づくこともできます。スタッフ役・お客様役を入れ替わって「演じて」みましょう。「演じた」後の感想共有も「振り返り」として重要です。

SGD→ロールプレー 開始

- 1) 皆さんの対応事例を順番に発表する
- 2) 対応事例個々について、それぞれ参加者の視点から考察した
意見や感想を述べる
- 3) その事例で、こうすればもっと良かったのではないか という
「振り返り」をして「シナリオ」作成
- 4) 「シナリオ」を基にロールプレー開始



研修事例 その1

咳止めを継続して購入している方のOTC相談



概要

咳止めを継続して購入している方のOTC相談

相談者 本人(家族の分も含む)・男性・40代



【顧客情報】

レジでチェックが入ったのでスタッフから連絡で登録販売者が対応した。

スタッフから3日前にも同じ薬を購入していたと情報あり。

【聞取り内容】

シロップは良く効いた。シロップが無くなり、自分だけでなく家族の咳も止まらないので再度同じ咳止めを購入に来た。

【販売した薬・指導内容】

特に不審な態度は無く、本人もまだ咳がでるし、家族(お母様)も咳がでるということだったので希望の咳止めシロップを1本販売。

SGDで今回の症例を考察する

咳止めを継続して購入している方のOTC相談

店舗レジスタッフ、登録販売者、薬剤師

店舗レジ
スタッフ

3日前にも同じ咳止めシロップを買いに来たが、その前にも同じシロップを購入していたように思う。

特に不審な感じはしなかったし、3日で使ってしまい、家族で使う分がなくなったということとで販売を断る理由がなかった。

登録
販売者

薬剤師

本人や家族がどのような症状か確認したか。不適切な連用への注意は行ったか。OTCでは直らない疾患の可能性もあり受診勧奨も必要だったのでは。

「シナリオ」を作成し「ロールプレー」を試みよう

咳止めを継続して購入している方のOTC相談

ロールプレー例示ビデオ

<https://youtu.be/GdDIJXYm3t4>

※ロールプレーが終わったら演じた人、観察した人で感想を共有しましょう。ここに示したのはあくまで一例です。

※皆さんの実際の店舗の状況に合わせて、さらに良い「シナリオ」を作り「演じて」検討してみてください。



研修事例 その2

医療用と同じ薬が欲しいというOTC相談



概要

医療用と同じ薬が欲しいというOTC相談

相談者 本人・男性・60代



【顧客情報】

病院でもらったかゆみ止めの軟膏(ステロイド配合)と同じものが欲しいと医療用の薬を持参して来局。

【聞取り内容】

体に湿疹ができてかゆい時病院でもらったかゆみ止めが良く効いた。

また体がかゆくなったので以前に病院でもらった薬を売っていれば購入したい。

【販売した薬・指導内容】

持参した薬が、お店にある薬と同じ成分の薬だったので販売した。

SGDで今回の症例を考察する

医療用と同じ薬が欲しいというOTC相談

登録販売者、登録販売者

登録
販売者

薬を確認したら、お店で売っている軟膏と同じ成分だったので、そのように説明したら買っていかれた。

いつどのような症状でもらった薬か確認したか。体のどこがかゆいか確認したか。

登録
販売者

登録
販売者

本人が体に塗る ということだったし、以前にも使用したということだったので問題ないと思った。

この薬は強いステロイドの薬なので、かゆみの原因によっては使わない方がよいこともある。前と同じ症状だったのかなどを確認して慎重に販売する必要があったのではないか。

登録
販売者

「シナリオ」を作成し「ロールプレー」を試みよう

医療用と同じ薬が欲しいというOTC相談

ロールプレー例示ビデオ

<https://youtu.be/lrP7C1pQuW0>

※ロールプレーが終わったら演じた人、観察した人で感想を共有しましょう。ここに示したのはあくまで一例です。

※皆さんの実際の店舗の状況に合わせて、さらに良い「シナリオ」を作り「演じて」検討してみてください。



研修事例 その3

最近疲れやすいので栄養剤が欲しい
というOTC相談



概要

最近疲れやすいので栄養剤が欲しいというOTC相談

相談者 本人・男性・50代



【顧客情報】

よく買い物にくるお客様。糖尿病の治療を継続中。

【聞取り内容】

最近今までより疲れやすく、ふらふらすることが多くなった。

何か元気のでる栄養剤はないかと相談。

【販売した薬・指導内容】

糖尿病の治療中ということだったので、カロリーの高い栄養

ドリンクは避けて、カロリー0のドリンクを販売した。

SGDで今回の症例を考察する

最近疲れやすいので栄養剤が欲しいというOTC相談

登録販売者、薬剤師

登録
販売者

問診で糖尿病の薬を飲んでいるということだったのでカロリーの高いものを進めてはいけ
ないと思った。すぐ効くのが良いということでカロリー0ドリンクを勧めた。

本当に糖尿病か薬を確認したか。他に何か飲んでいないか確認したか。

薬剤師

登録
販売者

以前にも相談があり、お薬手帳を薬剤師さんに確認してもらっていて糖尿病の治療中なのは
間違いない。

糖尿病の薬が変更になっていたりして低血糖症状の可能性がある。治療のための運動や食事
制限が疲れの原因の可能性もある。

薬剤師

「シナリオ」を作成し「ロールプレー」を試みよう

最近疲れやすいので栄養剤が欲しいというOTC相談

ロールプレー例示ビデオ

<https://youtu.be/dmW-JSLuJIA>

※ロールプレーが終わったら演じた人、観察した人で感想を共有しましょう。ここに示したのはあくまで一例です。

※皆さんの実際の店舗の状況に合わせて、さらに良い「シナリオ」を作り「演じて」検討してみてください。



研修事例 その4

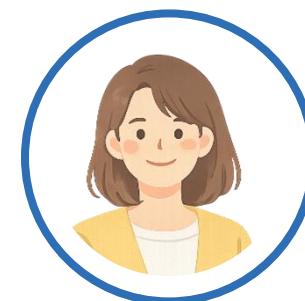
便秘が改善せず追加で薬を買いに来たOTC相談



概要

便秘が改善せず追加で薬を買いに来たOTC相談

相談者 本人・女性・40代



【顧客情報】

便秘薬の種類を変えて次々と購入している。

【聞き取り内容】

どの便秘薬を使ってもスッキリとお通じが出ない。

毎日お通じが来ないとどうしても気になってしまう。

【販売した薬・指導内容】

毎日お通じがなくても問題ない。便秘薬だけを使っているとだんだん効かなくなることが多い。まずは少しでも腸に良い環境を整えた方がよいので整腸剤と一緒に飲むよう指導し販売した。

SGDで今回の症例を考察する

便秘が改善せず追加で薬を買いに来たOTC相談

登録販売者、登録販売者

登録
販売者

便通で悩んでいる人は年代を問わずいる。一度気になると、薬を追加してでも何とか改善しようとするケースも多い。

便通の薬の種類も解らず、同効薬を選んでいることも多い。まずはどの薬を使用したことがあるか聞き取りをするべきだが、覚えていないこともある。

登録
販売者

登録
販売者

すぐに改善が難しい場合でも一度での改善をするのではなく、まずは整腸剤や生活改善から始め、こまめな来店を促しカウンセリングを行うことが良いと考えた。

病院の薬の効果が感じられなくて、追加で購入しに来ることもあるので、お薬手帳を確認した方がいい。情報が足りない場合は再来店して頂きたい。薬剤師は便秘薬が出ている患者には定期的に相談をするように声をかけておいて欲しい。便秘薬販売の際も使用方法などを丁寧に伝え濫用を防ぐように心がけたい。

登録
販売者

「シナリオ」を作成し「ロールプレー」を試みよう

便秘が改善せず追加で薬を買いに来たOTC相談

ロールプレー例示ビデオ

<https://youtu.be/E1IB7Q3Zpbo>

※ロールプレーが終わったら演じた人、観察した人で感想を共有しましょう。ここに示したのはあくまで一例です。

※皆さんの実際の店舗の状況に合わせて、さらに良い「シナリオ」を作り「演じて」検討してみてください。



研修事例 その5

未成年者が睡眠改善薬のOTC購入を希望



概要

未成年者が睡眠改善薬のOTC購入を希望

相談者 本人・女性・10代



【顧客情報】

マスクをしていて年齢が解りにくい。年齢を尋ねたら17歳と答えた。

【聞き取り内容】

最近悩み事があって眠れてない。

ネット調べて眠りを助ける薬があると知った。

【販売した薬・指導内容】

ジフェンヒドラミンを含む薬は、未成年者には濫用のおそれがあるので販売はできないと伝え、医師に相談するよう指導した。

SGDで今回の症例を考察する

未成年者が睡眠改善薬のOTC購入を希望

薬剤師、登録販売者

薬剤師

今回のお薬は、若年者へのOTC販売は適正使用・濫用の観点から可能であれば控えたいところだが、販売しないのではなく、必要なものを適切に販売することもできたのではないか。

年齢確認には素直に応じてくれたし、もう少し適切にカウンセリングし保護者とも連絡がとれるようであれば販売も可能だったかもしれない。

登録
販売者

薬剤師

濫用の恐れがある成分の若年者への商品は特に注意が必要だが想定される場面での適切な対応は予め考えておく必要がある。

年齢確認だけでなく、保護者への連絡先を確認するなどして、販売した後に見守ることができるよう、再来店を促すことも重要であるように思える。

登録
販売者

「シナリオ」を作成し「ロールプレー」を試みよう

未成年者が睡眠改善薬のOTC購入を希望

ロールプレー例示ビデオ

<https://youtu.be/7hAqiL1ddx4>

※ロールプレーが終わったら演じた人、観察した人で感想を共有しましょう。ここに示したのはあくまで一例です。

※皆さんの実際の店舗の状況に合わせて、さらに良い「シナリオ」を作り「演じて」検討してみてください。



制作：名古屋市立大学大学院薬学研究科 臨床薬学分野

※本教材は令和7年度厚生労働科学研究費(24KC1009)の補助で制作されたものである。

